





# ガイド目次

---

## 序

<b>出来事 1</b>	<b>国際的な質問と参照箇所の必要性</b>	
1 課	国際的な質問 ..... 9 世界和我有目的吗?	
2 課	判断基準の必要性 ..... 11 参考点是什么以及我需要什么?	
<b>出来事 2</b>	<b>声——聖書という名の本に、すべての時代のための記録がある。</b>	
3 課	聖書の特性——1部 ..... 13 史上最独特与出版最多的。	
4 課	聖書の特性——2部 ..... 17 需要信心相信圣经不是神写的。	
5 課	最も偉大な物語 ..... 19 能解其他所有故事的最大事。	

## 1章——初めに

<b>出来事 3</b>	<b>歴史は神によって始まる——神の属性</b>	
6 課	神の属性 ..... 21 圣经了什么关于神的事。	
<b>出来事 4</b>	<b>創造——神の力と性質の反映</b>	
7 課	創造——1部 ..... 25 表匠理——明要有。	
8 課	創造——2部 ..... 27 造的科学案件。	
9 課	アダムとエバの創造——1部 ..... 29 人类与其他所有受造物物的区别。	
10 課	アダムとエバの創造——2部 ..... 31 我的目的——以永享受神来荣耀他。	

## 2章——選択

<b>出来事 5</b>	<b>いのちの木と知識の木</b>	
11 課	2本の木——2つの道 ..... 33 接近神的两种方法——靠功德和靠恩典	
12 課	進んで、進んでするようにさせられる ..... 35 人的角色和神的角色	
13 課	神を愛し、神に愛されるために造られた ..... 37 你神的知从何而来?	
<b>出来事 6</b>	<b>サタンの反抗と地獄の創造</b>	
14 課	我らの不満な敵人 ..... 39 撒旦不甘心要神的的目的, 你呢?	
15 課	大いなる戦いの終わり ..... 41 有一天神会永到底撒旦、罪和死亡!	

### 3章 —— 死に至る病

#### 出来事7 欺瞞と人の墮落

16章	悪の美しい面.....43
	撒旦主要的策略:曲解良善

#### 出来事8 靈的死の病が世に入る

17章	致命的な考え方.....45
	第一个☒☒不是他是否良善,而是他是否是神?
18章	罪——正確にはそれは何?.....47
	感染了所有人类的致命属灵疾病
19章	恥と責め——罪の実.....49
	受害者心☒——一个☒性循☒

#### 出来事9 最初の救い主の約束

20章	問題以前の神の解決策.....51
	神首次☒☒会有救☒主

### 4章 —— 約束の前ぶれ

#### 出来事10 神は悲しまれた——洪水

21課	いかに速く罪が広がったか快.....53
	需要有个甩掉☒☒☒的解决☒法
22課	そして神は「悲しむ」ことを「良し」とされた.....55
	神愿意☒心☒示他有多☒你
23課	裁きの中でさえ安全.....57
	神拯救的方式是惟一得救的方式

#### 出来事11 諸国の始まり——バベルの塔

24課	生めよ、ふえよ——あるいはそうでなく.....59
	神☒福的方法是惟一蒙福的方法
25課	民族の始まり.....61
	神完全照他☒大的☒划行事

### 5章 —— 祝福となるために祝福される

#### 出来事12 アブラハムの召命

26課	アブラハム——信仰によって歩んだ人.....63
	一步一步,神主☒——☒伯拉罕回☒
27課	神はだれを義とお認めになるか.....65
	不是努力做好人,而是信靠神
28課	神なしに神のみ旨を求めることへの注意.....67
	☒今人☒仍然☒受他☒的好意☒来的重担
29課	捨てられる民ではなく.....69
	在神面前每个人都有价☒

#### 出来事13 アブラハムが息子を捧げる——神は身代わりをお備えになる

30課	神は備えてくださる.....71
	神会供☒他呼召我☒去做的事的一切需要

### 6章 —— 約束の民

#### 出来事14 イサク、ヤコブ、ヨセフ——約束は生き続ける。

31課	アブラハム——最初に終わりを知る.....73
-----	-------------------------

他走遍神已向他表示的地方

3 2 課	ヨセフ—— 神の目的に明け渡す .....	75
	☐☐☐八章28☐的活例子	

**出来事 1 5 神はヘブル人を導くために、モーセをお備えになる。**

3 3 課	モーセ—— 神のためには決して遅くない .....	77
	当他以☐他到了尽☐, 他才☐于准☐好了	

3 4 課	過越し—— 約束された救い主のひな型 .....	79
	神☐☐的救☐主的☐像	

**出来事 1 6 神はヘブル人を、奴隷状態から解放なさる。**

3 5 課	障害が大きいほど栄光も大きくなる .....	81
	荣耀神的人生, 会有神那么大的挑☐	

## 7 章 —— 神の道に歩むように召される

**出来事 1 7 神がヘブル人に律法をお与えになる**

3 6 課	律法 —— 聖なる信頼、聖なる召命 .....	83
	律法 —— 映照出神圣洁的性格	

3 7 課	罪のための覆い .....	85
	祭性能遮盖罪, 但不能除去罪	

3 8 課	律法 —— 神の鏡 .....	87
	☐子能照出☐☐的☐, 但不能擦乾☐☐	

3 9 課	祝福から隷属へ .....	89
	你在☐循☐的哪里?	

**出来事 1 8 救い主の必要**

4 0 課	揺るぎない希望の源泉 .....	91
	通☐神的故事来☐☐他	

## 8 章 —— 約束されたお方

**出来事 1 9 約束された救い主の降誕**

4 1 課	予期せざることの神 .....	93
	主耶☐降生	

4 2 課	イエスはどのように罪なくうまれたか .....	95
	罪如何☐☐下去	

**出来事 2 0 子どものころのイエス**

4 3 課	完全に人、完全に神 .....	97
	天父喜悦他, 是因他「属于☐」	

**出来事 2 1 イエスの受洗**

4 4 課	イエスの受洗 .....	101
	主耶☐宣告他要替我☐受死的决心	

**出来事 2 2 イエスの誘惑**

4 5 課	イエスの誘惑 .....	103
	☐☐和☐探的区別	

## 9 章 —— イエスの奉仕

**出来事 2 3 イエスが弟子をお召しになる**

4 6 課	イエスに従うように召される .....	105
	比起能力神更看重待命性	

**出来事 2 4 イエスの奉仕**

47課	イエスの奉仕.....	107
	主耶☒☒明他自己	
48課	祝福の与え主でなく、祝福を求めること.....	109
	即使今天人☒仍旧☒求福祉☒于☒福者	
49課	最も大いなる奇跡.....	111
	赦免罪☒——奇迹中的奇迹	

#### 出来事25 イエスが宗教指導者をつまづがせる

50課	間違い、嘘つき、主——「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」.....	113
	主耶☒☒何没留☒我☒别的☒☒	

## 10章—— 神の愛とさばきとの交錯

#### 出来事26 イエスがご自分の使命を語られる

#### 出来事27 イエスが宗教指導者と対面なさる

51課	良いことか神のことか.....	115
	每人☒主耶☒都☒有自己的意☒, 你呢?	

#### 出来事28 弟子たちとのイエスの最後の時間

52課	神の小羊が過越しの祭りを祝う.....	117
	是他写的故事, 然后自己☒服在那故事中	

#### 出来事29 イエスの「裁判」

53課	真理とは何か?.....	119
	别离☒。真理是一个人, 就是主耶☒	

#### 出来事30 イエスの十字架

54課	神の愛と正義の交差点.....	121
	在十字架上神的公☒得到☒足, 他的☒也☒☒出来	
55課	あなたのためにイエスに注がれた神の怒り.....	123
	挽回祭的不可思☒意☒	

## 11章—— 主は甦られた!

#### 出来事31 イエスの葬り

56課	復活: 事実か虚偽か?.....	127
	复活的☒据	

#### 出来事32 イエスの復活

57課	復活の重要性——1部.....	129
	如果主耶☒没从死里复活, 怎么☒?	
58課	復活の重要性——2部.....	131
	人☒成新人——「老我」死去	
59課	復活による靈感.....	135
	因☒复活, 凡事都做得到	

#### 出来事33 復活後の顕現

60課	最後の言葉.....	137
	主耶☒在离世前☒明神的☒划	

## 12章—— 主の従者たち——昨日、今日、永遠

#### 出来事34 聖霊の到来

61課	聖霊の到来.....	139
	圣灵和三位一体的奥秘	
62課	教会の神秘.....	143
	基督的身体	

### 出来事 3 5 時代を通じての主の弟子たち

6 3 課	教会 —— 進行中の働き ..... 145 <i>不要因☒教会不完美的☒☒而拒☒主耶☒</i>
6 4 課	大いなる歴史の最終目標 ..... 147 <i>每国都有人敬拜主</i>
6 5 課	大いなる歴史におけるあなたの役割 ..... 151 <i>要完成大使命的挑☒</i>

## 付記

神を知る	..... 155
神にあって成長する	..... 159
イエスの奇跡	..... 163
祈りの模範	..... 165





# 国際的な質問

## 序 1課



ザ・ホープのビデオは次のような言葉で始まります。歴史を通じて人々は、自分たちの住んでいる世界について考えました。自然の美しさや美、生と死の神秘、人間の喜びと痛みの深さ…そして人々は不思議に思いました、「どのようにしてすべてが存在するようになったのだろうか。」この世界は偶然の結果なのか…それとも計画されたものなのでしょうか。すべての背後に何か、あるいは誰かがいるのでしょうか。そしてもしそのような方がいるならば、どんな方なのでしょうか。その方はこの世界に目的をお持ちでしょうか。その方はこの世界にいる私に目的をお持ちでしょうか。その方はこの世界を超えて私に目的をお持ちなのでしょうか。

— ザ・ホープ 序

## 観察し、考える

ザ・ホープの冒頭にあるこの質問は、新しいものではありません。人々は長い間自分の人生の意味や目的について考えてきました。そして神的存在者の存在について尋ね求めてきました。多くの人にとって、目的に関する質問と神の存在に関する質問は切り離すことができません。20世紀の著名な無心論者バートランド・ラッセルでさえ、かつて「もしあなたが神を認めないならば、人生の目的を尋ねることは無意味である。」と言いました。

どうして顕著な無心論者がそのようなことを言ったのでしょうか。なぜなら目的は意図を暗示し、意図は計画を暗示するからです。そしてもし計画がこの世界にあるならば、計画した方がいるに違いありません。ですからおそらく、人生の目的の質問よりもさらに基本的な質問があるのです。

計画した方がおられるのか…そしてその方を知ることはできるのか。

どうぞ神を証明することがザ・ホープの意図だとは思わないでください。…いやむしろ神を顕わすことなのです。ビデオの最初でナレーターが語るように、「答えを求める者には、聞く者には、声がある」のです。

あなたはどうですか。聞いていますか。一たぶん神は存在しないとたかをくくっているか、神がいると信じていてもどんな方なのか良く分からないでしょう。学びの目的のために、前に進む前に自問自答すべきです。「私は本当に聞いているだろう

か。神についてまだ聞いたり理解したりしていないことがあるのではないかと。聖書の中で、神は長い間人々に語りかけておられるが、人は必ずしも聞いておらず、メッセージを受け取っていないということが言われている節があります。

「神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界が創造された時からこのかた、被造物に現れており、これを通して神をはっきりと知ることができます。従って彼等に弁解の余地がありません。それゆえ、彼らは神を知っていながら、その神を神として崇めず、感謝もせず、かえってその思いは空しくなり、その無知な心は暗くなりました。」(ローマ1:20-21)

神は沈黙しておられません。時間が始まって以来、神は被造物を通して語ってこられました。そして同じく長い間、単純にこの啓示を受け入れ神を崇めるよりもむしろ、自分で神とはどのような方なのか思い巡らし、その答えを自分で決めてきました。ローマ人への手紙1章で見るように、このような思いの結果は無益なのです。ローマ人への手紙1章をさらに読み進むならば、このような思いは結局破壊的であることがわかります。

私たちの学びのコースで、神がご自分を啓示なさる時、神のことを考えますか(あるいは神についてもっと多くのことを思い出そうと決心しますか)。神に関する自分の考えや思いに固執するかわりに、聞きますか。もしそうするならば、このスタディ・ガイドは、信仰のすばらしい冒険となることでしょう。

## 質問し、黙想する

- ある人々は、聞きたいこと(あるいは聞く必要のあること)だけを聞きます。…ある人々は全然何も聞きたいと思いません。注意して聞くこと、神の言葉を純粋に聞くことを妨げるいくつかの理由を考えてください。

プライド—支配する必要性

ライフスタイル—直感的に神に受け入れられないとわかるが、変えたくない行動

傷—他の人の信頼を失いかねない過去の痛みの経験

- 他に、神の御心を注意して聞き純粋に聞くことを妨げるものがありますか。
- 「人生の目的は何ですか。」あるいはもっと具体的に「あなたの人生の目的は何ですか。」という質問に、どう答えますか。

## 決心し、行動する

エレミヤ書のもう一つの聖句には、「もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つかるだろう。」

(エレミヤ29:13)とあります。神との旅路でどこにいるかにかかわらず、この節はあなたのためのものです。あなたは神の存在について質問しているかもしれませんが。あるいはすでに自分はクリスチャンだが、神をもっと親しく知りたいと思っています。神は、私たちが心を尽くして探し求めるなら、見出されるお方だと約束してくださっています。

この学びを始めるにあたって、神がどういうお方かを示していただくために、また神と自分についての新しい関係を発見するために備えてください。「心を尽くして神を捜し求め」る決心をし、またその結果に向かって目的文を書くことを決心してください。

ザ・ホープのこの学びを始めるにあたって、私は、

---

<sup>1</sup> Dr. Hugh Moorhead, *The Meaning of Life* (Chicago Review Press, December 1988). Dr. Moorhead, a philosophy professor at Northeastern Illinois University, once wrote to 250 of the best-known philosophers, scientists, writers, and intellectuals in the world, asking them, "What is the meaning of life?" Their responses are published in this book.

# 判断基準の必要性

## 序 2課



### 観察し、考える

1課では、人生の意味と目的の質問について考えました。ザ・ホープからの以下の引用を再び思い起こしました。「答えを求め人には、聞いている人には、声がある。」(ザ・ホープ・ビデオ 序)そして最後には、「私は聞いているだろうか。」という質問で終わりました。

おそらくあなたは、人生の意味についてその質問への答えを求めて、耳を傾けています。問題は、非常に多くの競い合う声があるということです。主な世界宗教(たとえば仏教、イスラム教、ユダヤ教、ヒンズー教、キリスト教)の他に、何百という宗教と世界観があります。これらはみな、人生の特定の研究法を擁護します。多くの場合、それぞれが神を見出す道であると主張します。しかしどれも神の性質について、また神がどのように見出されるかについて十分な同意がありません。そこで私たちはどれが進むべき道であるかをどの様に見分ければよいのでしょうか。判断基準はあるのでしょうか。

すべて旅行者は、初めての土地で正しい道を発見するには助けが必要です。ある人は信頼できる案内役—自らの旅を完了させ他人の旅路の導き手になれる人—により頼みます。ある人は、道に詳しい人が示す地図や教えに従います。他の人は、自分の位置を知り、どれだけ進んだのかを知るために、動かない見印として標識や星を頼りにします。

初めての土地にやって来た旅行者のように、私たちも人生と呼ばれる旅のプロセスで、自分の道を発見する手助けが必要です。他の人によって試され、信頼できると証明された助けが必要です。判断基準—進路の決定に役立つ不動の真実が必要なのです。このような判断基準がないと、私たちは濃い霧の中の広大な海に浮かぶ小さな船の上の人間のように、一進むべき方向を見失い…迷い、さ迷ってしまいます。

### 質問し、黙想する

あなたは目隠しをされて、サッカー場のゴールの線に立っていると想像してください。今だれかが反対の端の方にあなたを向けて、反対のゴールまでまっすぐ歩いて行くように言っただけです。この状況で人は、ほとんど必ずと言ってよいほど、フィールドの真中に行かないうちに一方か他方に曲がってしまいます。

より長い歩幅をとる優勢な片方の足が舵の働きをしてこうなるのです。言い換えれば、私たちの体はみな優勢な側に「偏って」いるのです。(このゆえに人は荒野で迷うと、普通円を描いて堂々巡りの様に同じ場所を歩くようになります。)

この例えの基本原則はまた、魂についても適用できます。まわりの世界をどう見るかということになると、私たちはみな、独特の感情的、知的、霊的傾向によって、一方か他方に偏っています。多くの人は、自分の偏りが歩みにどれだけ影響するのか気づかずに、歩き通します。

さらに悪いことには、あなたが目隠しをしてサッカー場を歩くと、「こっちだ—」「あっちだ—」と両側から絶えず声がかかっていることを想像してください。現代の多くの宗教や世界観は、常にあなたに「ついて来なさい」と両側から呼び掛ける声に似ています。広いフィールドを歩く試みは、個人的な偏りだけでなく、まわりの人々の偏った影響によっても、影響を受けるのです。

しかしもしだれかがあなたの目隠しをとり、フィールドの向こうの端がはっきり見えたとしたらどうでしょう。そのゴールは、あなたが進路を決める際の参照地点となります。あなたはまっすぐ歩くことができ、まわりの声によっても迷わされません。多くの人は目標に向かって人生の進路を決めますが、そこに至るのは容易ではありません。あるいは着いた後で、そ

れが自分の考えていたものでないことがわかります。見知らぬ土地での旅人のように、私たちは人生の旅路において、他の多くの人によって試され、信頼できると証明された、失望させられることのない参照地点が必要なのです。

- あなたの人生で、魂のために信頼できる参照地点がありますか。人生の進路を決め、必要ならば方向を正すための参照地点がありますか。
- もしそうならば、その参照地点は何ですか。
- あなたの神についての見方が形成される上で、主に影響を与えてきたもの(声)は何ですか。(例えば、子供時代、家族、先生、あるいは教育者、友人、模範、ヒーローからの声)

## 決心し、行動する

聖書の中で、箴言の書が次のように述べています。「人の目にはまっすぐに見える道がある。その道の終わりは死の道である。」(箴言14:2)

今週、あなたに手招きしたことのある人生の声をリストアップしてください。それらは従うに値し、信頼し得る、安全なものですか。神についての見方がどこで、だれによって形成されたのかまとめるために、時間を割いて下さい。

参照地点の必要性に関する今日のテーマは、ただ抽象的な思考ではありませんでした。あなたの信念があなたの道を決め、あなたの道があなたの運命を決めるということは、まさに真実なのです。進路を選ぶ時は十分に気をつけてください。あなたの選択が、重大な永遠の結果をもたらします。

神のことば(聖書)に「私の足のともしび、私の道の光です。」(詩篇109:105)と言う一節があります。今週の残りのテーマは、人生の旅をする時、聖書を参照地点とする理由を与えてくれます。これらのテーマを急いで通り過ぎないようにしてください。読み終えて注意深く考えるために、必要な時間を割いてください。そうしてよかったと思うことでしょう。

---

<sup>1</sup>Robert Schleip, *The Dominant Leg* (<http://www.somatics.de/DominantLeg.htm>). Retrieved October 2, 2006. Robert Schleip summarizes an article by Simone Kosog from the science section of the 'Süddeutsche Zeitung Magazin' 1999.

# 聖書の特異性—1部

## 序 3課



### 観察し、考える

聖書は、人類史上もっとも多く引用され、翻訳され、出版された書物で、その製法、内容、正確さにおいても特異な存在です。その特異性をもってしても聖書が神の啓示であると完全に証明できなくても、人がこの本の本質を真剣に考えるならば、それが人間によって書かれ蓄積されたと信じるには、それが神の働きであると信じる以上に、より深い信仰を持つことが求められるでしょう。このことを更に深く考えてみましょう。

#### 聖書は多様性と調和において独特です

40世代、約1600年間に渡って、40人以上の筆者がさまざまな人生の歩みの中で、三大陸（アジア、アフリカ、ヨーロッパ）に及び、三言語（ヘブライ語、アラム語、ギリシャ語）を用いて書いた聖書は、世界中の他のどの本とも異なっています。聖書には、歴史、詩、預言、法律、たとえ話、説教が含まれ、神の性質から人の起源に至るまで幅広い範囲の主題（数百に及ぶ問題提起とテーマ）を扱っています。

この多様性を考える時、聖書にある内容や主題に少なくとも何らかの論争や不一致が予想されますが…

- 聖書は、唯一の特別な存在を前面に出した、一つの完全な叙事詩的歴史に集中しています。
- 聖書では、信じられないほどの調和と解決に至る本文を通して、数え切れないテーマとストーリーが述べられます。（たとえば、聖書の最初の部分で失われた楽園が、聖書の最後の部分で取り戻されます。聖書の最初の部分で閉ざされた命の木へ通じる道が、聖書の最後の部分で永遠に開かれます。）

シンフォニーを奏でる楽器のように、聖書の筆者たちは、他の著作者たちと全く異なっています。オーケストラの完全な

ハーモニーを聞く時、当然優れた指揮者が指揮をしていると考えるでしょう。シンフォニーの楽譜よりも、内容や広がりにおいてずっと複雑な聖書に関して、どうして別の考え方が出来るのでしょうか。

#### 聖書は本文の信頼性において独特です

世界で最も重要な古文書には原典が（もしあっても）めったに現存していないので、当然次のような疑問が生じるでしょう。「現存している一番初期の写しは、原典の内容を正確に伝えているだろうか。」専門家は本文の信頼性を検証するに当たり、いくつかの要素を考えます。

- 写しが作られた方法
- 最も初期の写しと原典との間の時間
- 現存する初期の写しの数
- 初期の写しに見られる多くの一致点

この基準で見ると、世界のどんな本も、新約聖書本文の信頼性には遠く及びません。後のページの図表を見てください。新約聖書の一番初期の写しを作成した人たちが、原文著者と同時代か数世代しか離れていない場合、その期間内に作られた写しの数に注意してください。聖書の新約聖書と古文書の違いには、驚かされます。

新約聖書と違って、旧約聖書の初期の写しは多くありません。そこで旧約聖書本文の信頼性を考える時、古代写本の写し方を理解することが大切です。

写本に携わるのは、ユダヤ文化で写本筆写者として知られる特別なグループの人たちに限られていました。写本筆写者は、高度な正確さを達成するために厳格で組織的なプロセ

スを用いて写本を実行する、専門的な書き手でした。

たとえば：

- 写本筆写者は、文から文や単語から単語に写すことを許されず、文字から文字に移しました。
- 写本筆写者は、原典のページの言葉の正確な数が変わらないように写さなければなりません。もし原典のページに296語あれば、写すページも同じ296語でなければなりません。
- 新しいページの各行は、古いページの行と正確に同じ長さでなければなりません。もし原典の最初の行に9語あれば、写しの最初の行にも9語なければなりません。
- 各ページが写され、別の人が確かめた後、さらに三番目の人が写しの真中の文字が、原典の真中の文字と同じであることを確認するためにチェックしました。
- もし一つの間違いでもあれば、写しは無効にされました。

このステップによって、旧約聖書写本が正確に原典の内容を伝えることが可能になりました。新約聖書の場合も同様ですが、旧約聖書本文の信頼性にまさる古代写本は世界に類がありません。

## 質問し、黙想する

- 今日学んだことから、聖書を見る見方が変わりましたか。
- もしそうなら、どのように変わりましたか。もしそうでないなら、なぜですか。
- 聖書を別の視点で見るために、おそらくまだ見たことのないものを見るために、何が必要ですか。(この質問は、聖書にまだ親しんでいない人たちだけでなく、聖書に既に親しんでいる人たちのためでもあります。)

## 決心し、行動する

今日のテーマは、これまでの殆どのテーマに比べ幾分長めです。ここでの内容を全部消化できないと感じたら、再度このテーマに取り組む機会をつくってください。

## 参照

- Josh McDowell, *Evidence That Demands a Verdict*, Thomas Nelson, HERE'S LIFE PUBLISHERS, San Bernardino, Ca, 1972.

表1 - 聖書の独自性

著者	著作年	最古の写し	期間	写しの数
シーザー(ガリヤ戦記)	紀元前 100-44 年	紀元 900 年	1,000 年	10
プラトン(テトラロギーズ)	紀元前 427-347 年	紀元 900 年	1,200 年	7
タキトス(アナルズ)	紀元 100 年	紀元 1100 年	1,000 年	20
年下のプリニー(歴史)	紀元 61-113 年	紀元 850 年	750 年	7
トキディデス(歴史)	紀元前 460-400 年	紀元 900 年	1,300 年	8
スエトニウス (デ・ビタ・カエサルム)	紀元 75-160 年	紀元 950 年	800 年	8
ヘロドトス(歴史)	紀元前 480-425 年	紀元 900 年	1,390 年	8
ソフォクレス	紀元前 496-406 年	紀元 1000 年	1,400 年	193
カトゥルス	紀元前 54 年	紀元 1550 年	1,600 年	3
ユーリピデス	紀元前 480-406 年	紀元 1100 年	1,500 年	9
デモステネス	紀元前 383-322 年	紀元 1100 年	1,300 年	200
アリストテレス	紀元前 384-322 年	紀元 1100 年	1,400 年	49
アリストファネス	紀元前 450-385 年	紀元 900 年	1,200 年	10
ホメル(イリアド)	紀元前 900 年	紀元前 400 年	500 年	643
<b>新約聖書</b>	<b>紀元 40-100</b>	<b>紀元 125</b>	<b>25 年</b>	<b>5300-ギリシャ語 10000-ラテン語 ブルガータ 9300以上 他</b>

<sup>1</sup>All-Time Best Selling Books and Authors. (Internet Public Library, © 1995-2006 The Regents of the University of Michigan). (<http://www.ipl.org/div/farcq/bestsellerFARQ.html>). Retrieved November 13, 2006.

<sup>2</sup>Josh McDowell, *Evidence That Demands A Verdict, Historical Evidences for the Christian Faith*, Revised Edition. (© Campus Crusade for Christ, 1972, 1979. Published by Here's Life Publishers, San Bernardino, CA, 1972, Chapter 1, pp. 15-24).

<sup>3</sup>Ibid, pp.39-65.

<sup>4</sup>Ibid, pp. 42.

<sup>5</sup>Ibid, pp.53-56.





# 聖書の特性—2部

## 序 4課



### 観察し、考える

3課で聖書の多様性と調和、及び本文の信頼性について学びました。世界のすべての本の中で、聖書を特異なものにしている二つの特質についてです。今日は聖書を他のいかなる本とも区別する残りの二つの違い、人生の旅路で最も信頼すべき判断基準であるという真実を聖書に与えているもう二つの違いを考えます。

#### 聖書は歴史的正確さにおいて独特です

歴史的正確さは、古代文書の信頼性を決定するために考慮すべき、もう一つの要素です。「本文に記録されていることが、考古学の発見によって立証されていますか。」聖書の場合には、答えは明白です。

- 「いかなる聖書引用も、どんな考古学の発見とも矛盾することはないと確信を持って言うことが出来る。考古学発見は、聖書の明確なあらすじや正確で詳細な歴史的事実の叙述において確証され、得点を重ねてきた。同様に、聖書の叙述を適切に評価することによって、驚くべき発見にしばしば導かれた。」

(ネルソン・グエルエク博士「リバーズ・イン・ザ・デザート」31頁)

- 「考古学者は、批評家が非歴史的であるとか既存事実と矛盾しているとして拒絶した数え切れない聖句を確証してきている。…考古学的発見はこれらの批評家の非難が間違いであることを示し、信頼に足らないとして隅においやられたまさにその叙述において、聖書が信頼できるものであることを示してきた。…聖書が間違っていると証明された場合を私たちは知らない。」

(ジョセフ・P・フリー博士「アーキオロジー・アンド・バイブル・ヒストリー」1、2、134頁)

#### 聖書は預言的記録において独特です。

聖書の預言的記録について考える前に、聖書の預言者を他

のいわゆる預言者と区別して理解することが大切です。聖書の申命記によれば、真の神の預言者のテストは、100パーセントも自分が預言者であるといつてこのテストに合格しなければ、その罰は死を意味しました。それが神を正確に伝えようとする動機なのです！

聖書に1800以上の預言が語られている事実は驚くべきことです。この預言の多くは、それを伝えた預言者の生存中に成就しました。聖書が書かれてから今迄に、さらに多くのことが成就してきました。多くの預言がまだこれから成就するところです。今日まで聖書の預言はいずれも、偽りであると証明されたことはありません！

聖書の旧約聖書には、新約聖書に記録されているように、特にイエス・キリストによって成就した300以上の預言があります。数学者ピーター・ストーナーは、その著書「サイエンス・スピークス」で一人の人が300以上の預言の8つだけを成就する数学的確率を計算しました。結果は10の17乗分の1でした。

ストーナーはこの数をたとえて、1017個の銀貨をテキサス州の全土に敷き詰めることを想像します。銀貨は2フィートの深さで全州をおおいます。銀貨の1つに印をつけ、全州で全部の銀貨を十分にかき混ぜます。1人の人に目隠しをして、望むところどこにでも旅行できると告げます。しかし1つの銀貨を取り上げて、「これだ。」と言わなければなりません。正しい銀貨を取る確率はどれだけでしょう。預言者がこの8つの預言を書いて、だれか1人の人ですべてが成就するのと同じ確率なのです。

ストーナーが、1人の人で48の預言を成就する確率を計算した時、結果は10の157乗分の1でした。それは、10の後に156個の0が続くのです！イエスにおいて成就した300以上の預言が、1人の人で成就する確率を考えてみてください。このスタディ・ガイドには、その確率の0を全部入れるだけのページはないでしょう。実際、神の介入なしに、1人の人がこのすべての預言を成就することは、確率から考えて不可能なことです。

## 質問し、黙想する

- ・ 聖書の性質を本当に考えるならば、聖書が神のことばであると信じる以上に、それがただ人間によって書かれ蓄積しただけのものだと信じることの方に、より深い信仰が求められることを、前に触れました。

このことに同意しますか。もし同意しないなら、それはなぜですか。もし同意しない場合、成就した聖書の預言をどう説明しますか。

- ・ 1課で、人生の目的についての質問を取り上げました。2課では人生の旅路で道を見出すための参照地点の必要性を扱いました。3課と4課で、聖書が他のどんなものとも違う人生の信頼できる参照地点である理由をいくつか学びました。

もしあなたの人生の参照地点が聖書以外の何かであるなら、聖書と比べてどうですか。

## 決心し、行動する

あなたの信念があなたの道を決定し、あなたの道があなたの運命を決定するという2課の記述を思い出してください。人生の参照地点として信頼するために、あなたが何を選ぶかということが、とても大切です。

詩篇109:105は、神のことばは「私の足のともしび、私の道の光です。」と語ります。聖書が人生の参照地点(あなたの道を照らし導くともしび)として信頼できるかどうか、まだ答えられていない疑問があるなら、今日その疑問を解決するために必要なことは何でも実行する決心をしてください。疑問のリストを作り、さらに探求するために牧師や聖書教師の助言を求めてください。

## 参照

- ・ Josh McDowell, *Evidence That Demands a Verdict*, Historical Evidences for the Christian Faith, Revised Edition. (© Campus Crusade for Christ, Inc. HERE'S LIFE PUBLISHERS, INC, San Bernardino, Ca, 1972).
- ・ Ron Ritchie, *The Messianic Prophecies* (Discovery Publishing Company, Palo Alto, CA, 1993). (<http://www.pbc.org/library/series/8205>). Retrieved October 5, 2006.

<sup>1</sup> Deut. 18:20.

<sup>2</sup> J. Barton Payne's *Encyclopedia of Biblical Prophecy* (© New York: Harper & Row, 1973) lists 1,239 prophecies in the Old Testament and 578 prophecies in the New Testament, for a total of 1,817. These encompass 8,352 verses.

<sup>3</sup> Josh McDowell, *Evidence That Demands a Verdict, Historical Evidences for the Christian Faith*, Revised Edition. (© Campus Crusade for Christ, Inc. HERE'S LIFE PUBLISHERS, INC, San Bernardino, Ca, 1972, p. 144.

<sup>4</sup> Peter Stoner in *Science Speaks* (Chicago: Moody Press, 1963). [This title is currently out of print. (<http://www.amazon.com/exec/obidos/ASIN/0802476309/abundanlifeher0c>)]. Referenced in *Evidence That Demands a Verdict*, by Josh McDowell, 1979 edition, pages 166,167.

<sup>5</sup> Ibid.

<sup>6</sup> Ibid.

# 最も偉大な物語

## 序 5課



### 観察し、考える

私たちには話をする心があります。一つの話の糸口から、それに関連した話を他の誰かがして、さらに他の人が同じような反応をするという状況に多くの人が居合わせたことがあります。それはずっと続いて行きます。大いなる話の力に、私たちはみなひきこまれます。さらに言えば、自分の話よりもっと大いなる話と一つになり、その中に引き込まれたいと願います。

事実ある社会学者は、人間の基本的な欲求は、「メタナラ」を求めるということで理解されると言います。この言葉は、他の話とその意味を与えられるような、大いなる話、手本となる説明や思想を意味します。文化の地位や身分や職業に関わりなく、人は他のすべての話に意味を与えられるような話、自分自身で自分の意味がわかるような話を自然に探し求めます。

時代を通じて人々は、文化や宗教を通して受け継いできた話から意味や目的を引き出してきました。しかし19世紀後半に現代主義(モダニズム)と呼ばれる世界観が登場し、伝統的な「メタナラ」は現代世界にもはや通用しないと主張しました。現代主義は、「古い」宗教的価値観や話を、理性の議論や科学の発見で置き換えようとしてきました。このことで人生の意味や目的がわかると現代主義者は言いました。そして新しい「メタナラ」を作り出したのです。

しかし現代主義は、科学や理性から大いなる話を伝えることに失敗しました。今や私たちは、「後現代」(ポスト・モダン)と呼ばれる世界、どんな大いなる話の存在も全く否定する世界に住んでいます。

この後現代世界においてさえ、以前として人々には、人生に意味を与える話に引かれます。大いなる話は無いという後現

代のうそを買ったとしても、多くの人はいかにも偉大でない話に落ち着くのです。こういった自分独自の話には、「私による世界」とか「私の必要なはずっと幸せな人生」といった題が付いています。個人の家族や経歴、それをどう生きて

ゆくかということが中心になります。私たちの世界には、異なった種類の人たちがいる分だけ、小さい話が数多くあります。この果てしない細分化によって、「相対主義」と呼ばれるもの、真理はただあなたにだけ真理であるという考えが生まれてきます。

聖書のことを多くの人は、賢明な著作や良い話(一番良くても少しだけ関連している)を含む66冊の別々の本だと思っています。神について、人間のできごとへの神の介入について、何かを明らかにするかもしれないし、しないかもしれないと思っています。しかし聖書にはずっと、ずっと多くのことがあります。事実聖書は、他のすべての話が意味を与えられる偉大な物語なのです。人類が意味と目的を見出すだけでなく、あなたと私が自分の意味を見出すことのできる物語なのです。

### 質問し、黙想する

あなたの歴史—自分のための心に描くできごとについて考えてください。

- 主人公はだれですか。何が起こりますか。何が歴史の要点ですか。
- 気づいていようといなからうと私たちにはみな、住んでいる歴史があります。毎日起きて何かをするのはそのためです。おそらくあなたは、残る生涯を通しての長い歴史を思い描いているのでしょうか。あるいは今日の歴史を心に抱いているだけかもしれません。
- 人生で全うされるようにと思い描いている歴史は何ですか。あなたの歴史は、より大きな歴史の一部ですか。
- より大きな歴史をどのように言い表しますか。自分の歴史の結果について、どれだけ支配できるでしょう。

## 決心し、行動する

二人の人が美術館で美しい彫像を見ている場面をを想像してください。それぞれ違う角度から彫像を研究しました。見たものを描写するなら、同じ彫像を見ていたにもかかわらず、当然その説明は違うものになるでしょう。

これまでの数日間、多くの違った角度から聖書を学んできました。その構成や公けの影響において、他に類を見ない本であることがわかりました。疑いなく人生の指針となる信頼できる本であることもわかりました。また聖書は、あなたや私が自分の意味や目的を見出すことのできる大いなる歴史であるということを考えました。

聖書を見るのに、もう一つの違った角度があります。

聖書にあるテモテへの第二の手紙では、聖書全体は「神の靈感による」(第二テモテ3:16)とされています。「靈感による」という言葉は、最も古い写本の「セオプニューストス」というギリシャ語からの翻訳です。この言葉は文字通りには「神が息を吹き入れられた」という意味です。この節によれば、聖書はただ神についての本であるだけでなく、まさに神のことばなのです。神で自身が…あなたや私に語っておられるというのです。

このことや、これまで聖書について学んできたことの光の中で、次のように自問してみてください。「もし神が今夜私に現われて語ってくださるとしたら、どうだろう。なぜ神はそうする時を持たれるのだろうか。どのように私は応答するだろうか。何をし、どうあるべきであるという靈感を受けるだろうか。」

神は、聖書を通してあなたに語りかけておられます。どのように応答しますか。

## 参照

- Art Lindsley, *C. S. Lewis on Postmodernism*. This article originally appeared in the Spring 2002 issue of *Knowing & Doing*, © The C. S. Lewis Institute, 2002. (<http://www.cslewisinstitute.org/pages/resources/publications/knowningDoing/2002/LewisPostmodernism.pdf>). Retrieved on November 14, 2006.
- Stan Wallace, *The Real Issue: Discerning and Defining the Essentials of Postmodernism*. (© Leadership U, 1995–2006). (<http://www.leaderu.com/real/ri9802/wallace.html>). Retrieved November 14, 2006. This article addresses the essential properties of the postmodern way of thinking.
- Bob Hostetler, *Who Changed the Cultural Channel?* (© The Navigators, Discipleship Journal, 2006). (<http://www.navpress.com/EPubs/DisplayArticle/1/1.129.3.html>). Retrieved November 14, 2006.
- Donald Macloud, *The Inspiration of Scripture*. ([http://www.ouruf.org/d/cvt\\_inspiration.pdf](http://www.ouruf.org/d/cvt_inspiration.pdf)). Retrieved from the Reformed University Fellowship website on November 14, 2006.

<sup>1</sup>Wikipedia®, *Metanarrative*. (<http://en.wikipedia.org/wiki/Metanarrative>). Retrieved November 14, 2006.

<sup>2</sup>Todd Kappelman, *The Breakdown of Religious Knowledge*. (© Probe Ministries, 1996–2006). (<http://www.leaderu.com/orgs/probe/docs/breakdown.html>). Retrieved November 14, 2006. “What constitutes truth? The way we answer that question has greatly changed since the Middle Ages. This essay provides an overview of three areas in philosophical thought, with their impact on Western culture: premodernism (the belief that truth corresponds to reality), modernism (the belief that human reason is the only way to obtain truth), and postmodernism (the belief that there is no such thing as objective truth).”

<sup>3</sup>Wikipedia®, *Postmodernism*. (<http://en.wikipedia.org/wiki/Postmodernism>). Retrieved November 14, 2006.

<sup>4</sup>Wikipedia®, *Relativism*. (<http://en.wikipedia.org/wiki/Relativism>). Retrieved November 14, 2006.

<sup>5</sup>Strong's Greek Dictionary, *Theopneustos*. (<http://strongnumbers.com/greek/2315.htm>). Retrieved November 14, 2006.

# 神の属性

## 1章 6課



何物よりも前に、時間、空間、物質の前に、神はおられました。私たちの理解や叙述の能力をはるかに超えたお方。神の歴史を通して、神は初めも終わりもない霊のお方であることがわかります。神は、何も欠けるものがなく、ご自身のうちで完結しておられるお方。神は、全知で、すべての知恵があるお方。神は、すべての点で完全なお方。神は、何物にも制限されないお方です。

— ザ・ホープ 1章

## 観察し、考える

聖書は、神についての真理を二つの方法で明らかにします。一つは示威です。世界と人類への神の行動と介入を記録します。もう一つは宣言です。神の語性質、特徴について直接に述べ、宣言します。

上記のザ・ホープの引用を支持する以下の聖書箇所を考えてください。

- 何物よりも前に、神はおられた。「なぜなら、万物は御子にあって造られたからです。天にあるもの、地にあるもの、見えるもの、また見えないもの、王座も主権も支配も権威も、すべて御子によって造られたのです。万物は、御子によって造られ、御子のために造られたのです。御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。」

(コロサイ1:16-17)

- 神は、私たちが理解する能力を越えているお方である。

「主は大いなる方。大いに賛美されるべき方。その偉大さを測り知ることができません。」

(詩145:3)

「ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょう。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りたいたいことでしょう。」

(ローマ11:33)

- 神は、霊である。

「神は霊です…」(ヨハネ4:24)

- 神は、永遠のお方であり、初めも終わりもない。

「山々が生まれる前から、あなたが地と世界とを生み出す前から、まことに、とこしえからとこしえまであなたは神です。」(詩90:2)

「…あなたの年は尽きることはありません。」  
(詩102:27)

「どうか、世々の王、すなわち、滅びることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄えとが世々限りなくありますように。アーメン。」(第一テモテ1:17)

- 神は、欠けるものがない、ご自分のうちで完結しておられるお方である。

「この世界とそこにあるすべてのものをお造りになった神は、天地の主ですから、手でこしらえた宮などにはお住みになりません。また、何かに不自由なことでもあるかのように、人の手によって仕えられる必要はありません。神は、すべての人に、いのちと息と万物とお与えになった方だからです。」

(使徒17:24、25)

- 神は全知で、すべての知恵を持たれる。

「…その英知は測りがたい。」(詩147:5)

「…主はすべての心を探り、すべての思いの向かうところを読み取られるからである。」  
(第一歴代28:9)

「あなたは知らないのか。聞いていないのか。主は永遠の神、地の果てまで創造された方。疲れることなく、たゆむことなく、その英知は測り知れない。」  
(イザヤ40:28)

- 神は完全で、聖いお方である。

マタイ5:48で、神は「完全である」と語られています。この神の属性は、他の属性「神は聖い」ということと非常に関連しています。ザ・ホープの作者は、聖いという言葉よりも完全という言葉を選びました。なぜなら、より普通に理解される言葉だからです。しかし聖いという言葉を理解することで、どんなに神が完全であるかを理解できます。

聖いという言葉は、分かれたる、あるいは他のようではないという意味です。神は完全であるだけでなく、その完全さにおいて、他に類を見ないので。

「主よ。神々のうち、だれかあなたのように、聖であって力強く、…」  
(出エジプト15:11)

「主のように聖なる方はありません。あなたに並ぶ者はないからです。」  
(第一サムエル2:2)

「あなたのような方はほかになく、あなたのほかに神はありません。」  
(第二サムエル7:22)

「…あなたのような方はほかになく、あなたのほかに神はありません。」  
(第一歴代誌17:20)

「ただあなただけが、聖なる方です。」(黙示録15:4)

- 神は何物にも制限されない

神はどんなものよりも力がある

「まことに、あなたは大きな力と、伸ばした御腕とをもって天と地を造られました。あなたには何一つできないことはありません。」(エレミヤ32:17)

「あなたには、すべてができること、」(ヨブ42:2)

「神にはどんなことでもできます。」(マタイ19:26)

神は時間、空間に制限されない

時々、「神はいつ始まったか」という質問があります。時間、空間を超越した存在を考えるのは難しいことです。しかしそれが神なのです。時間、空間は造られたものです。神はいつでも、同時にどこにでもおられます。

「人が隠れたところに身を隠したら、わたしは彼を見ることができないのか。…天にも地にも、わたしは満ちているではないか。」(エレミヤ23:23、24)

「たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。」(詩139:8)

「主の御前では、一日は千年のようであり、千年は一日のようです。」(第二ペテロ3:8)

神は完全に支配しておられる

「主は望むところをことごとく行われる。天で、地で、」  
(詩135:6)

「あなたは万物を創造し、あなたのみこころのゆえに、万物は存在し、また創造されたのですから。」  
(黙示4:11)

「その望むところをことごとく行われる。」  
(詩115:3)

「みこころによりご計画のままをみな行方目的に従って、」(エペソ1:11)

「彼は、天の軍勢も、地に住むものも、みこころのままにあしらう。御手を差し押さえて、『あなたは何をされるのか』と言う者もない。」(ダニエル4:35)

## 質問し、黙想する

- これらの聖書箇所は、神の品性について何かを知ろうとする時、その表面をなでるだけのようなものです。上記の属性を考える時、神について何が確かになりましたか。新しいことを発見しましたか。
- 大きな都市に車で入ると、普通最初は一番高い建物の所在を突き止めます。遠くから見ると小さく見えますが、通り過ぎる時にはおおいかかる巨人のようです。これは見方の問題です。何かに近づけば近づくほど大きく見えます。どれだけ神に近づいていますか。神はどれだけ大きいお方ですか。

## 決心し、行動する

聖書のヤコブの手紙は、「神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。」(ヤコブ4:8)と語ります。神に近づくことは、私たちの選択です。もしこれがあなたの願いであるなら、どのようにそうしようと決心なさいますか。(スタディ・ガイドの終わりにある「神を知る」の箇所を参考にしてください。)

## 参照

- John Piper, *Holy, Holy, Holy Is the Lord of Hosts*. (© Desiring God Ministries, 2006; from a sermon dated January 1, 1984). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1984/419\\_Holy\\_Holy\\_Holy\\_Is\\_the\\_Lord\\_of\\_Hosts/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1984/419_Holy_Holy_Holy_Is_the_Lord_of_Hosts/)). Retrieved November 15, 2006.

<sup>1</sup>Holy. Dictionary.com. *The American Heritage® Dictionary of the English Language*, Fourth Edition, Houghton Mifflin Company, 2004. (<http://dictionary.reference.com/browse/holy>). Retrieved November 15, 2006.





# 創造1部

## 1章 7課



### 観察し、考える

前の課で、神の多くの属性のいくつか(それぞれに一つ以上の聖句を挙げて)を調べました。学びを続けながら、神と被造物について聖書が語ることを考えます。しかしそうする前に、歴史の1ページを短く見ましょう。

1794年に、イギリスの神学者であり哲学者のウィリアム・パリーが「キリスト教の証拠について」という本を出版しました。この本はケンブリッジ大学で、100年以上に及んで必読書になりました。更に1802年、パリーはもう一冊の本を出版し、それによってもっと広く知られるようになりました。本のタイトルは「自然神学：自然の外観から収集された神の存在と属性の証拠」でした。この本でパリーは、自然界の中の証拠を調べることで、超自然の神は最もよく理解され得ると論じました。中でも時計屋のたとえ話は、科学哲学の最も有名な比喩の一つになりました。200年以上前に書かれたものが、ここで繰り返す価値があります。

野原を横切るうちに、足が石に当たり、どのように石がそこに存在するようになったか尋ねられたとします。私はおそらく、私の知っている限り、それはずっとそこにあったのだでしょうと答えます。しかし地面に時計を見つけたと思ってください。私の知っている限り、時計はずっとそこにあったというように、前と同じ答えを考えるべきではありません。なぜ石と同じ答えを、時計に使うべきではないのでしょうか。その理由はこうです。時計を調べる時、石ではわからなかったことがわかります。いくつかの部品が作られ、目的をもって置かれています。つまり動くように造られ調整されています。その動きは規則正しく、その日の時間を差し示すのです。この装置

を見る時、次の推論が不可欠です。時計には作者がいる。

被造物自体が創造者を差し示すというパリーの支持する考えは、次の聖書箇所にも反映されています。

「神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物に現れており、これを通して神をはっきりと知ることが出来ます。従って彼らに弁解の余地はないのです。」(ローマ1:20)

パリーの時計屋のたとえとローマ人への手紙のこの節を心に留めながら、私たちの住む世界を短く描写したザ・ホープの以下の引用を、今考えてみましょう。

私達が住む宇宙は、何十億もの星雲と呼ばれる巨大な星の群れでできています。それぞれの星雲に何百万、しばしば何十億もの星があります。この星の一つが、太陽系と呼ばれる燃え立つ領域です。太陽を囲んで独特な惑星があり、その中に私たちの住んでいる地球があります。

地球は、美と多様性を最高に表わしています。何十万という動植物にとって理想的な世界です。小さいものから大きいものまで、それぞれの色、音、香り、生地があります。生命の繊細なバランスのうちに、それぞれの特別な場所があります。私たちの回りの世界を、いろいろな次元から詳細にわたって考えると、心踊る思いがします。すべてのものをお造りになったお方がおられるということを思うのは、もっと驚くべきことです!

— ザ・ホープ 1章

## 質問し、黙想する

- パリーの時計と時計屋のたとえば、被造物と創造主に適用できると信じますか。
- 上記のローマ1:20の光から見て、神の属性、力、性質を啓示しているように思われる自然の例を挙げてください。

## 決心し、行動する

多くの人は自然の只中で、おそらく山や浜辺で、神を最も近く感じると言います。悲しいことですが、ある人たちはそこまでしか神を経験しません。他の人たちは創造主よりも被造物(山や海や宇宙)を拝み始めて、神を見失ってしまいます!被造物を通して神を見ることは恐れ多いことですが、そのつかの間の経験は、個人的に神で自身を知る喜びや満足感に比べるなら色あせてしまいます。

自然から得ることのできる神の印象だけに留まらないように決心してください。創造主で自身を親しく個人的に知ることだけで、満足しないでください。J.I.パッカーは、「神をほんの少し知ることは、神についてたくさん知っていることよりも価値がある。」と言っています。

<sup>1</sup> J. I. Packer, *Knowing God* (Intervarsity Press, 1993).

# 創造2部

## 1章 8課



神の歴史によれば、神が語り、すべての被造物が存在するようになりました。神のことばによって、無からすべてをお造りになりました。神の歴史によれば、神は6日で天と地とすべての生きものをお造りになりました。

— ザ・ホープ 1章

## 観察し、考える

世界が神によって造られたと信じる人々の間でさえ、聖書にある創造の記述についての異なった解釈があります。しかし優勢な聖書解釈の間で、鍵となる概念について的一致もまたあります。ザ・ホープ・ビデオからの前掲の引用を読んだ後で、この概念のいくつかを考えましょう。

最初に、神は全能であり、何によっても制限されないお方です。ただ語るだけで、どのように選ぶと創造することがおできになります。この概念は、聖書で明確に示されています。

「神は仰せられた。光あれ。すると光があった。」  
(創世記1:3)

「天は古い昔からあり、地は神のことばによって水から出て、」  
(第二ペテロ3:5)

第二に、神は無から、存在するものすべてをお造りになりました。そのことを考えてみてください。私たち人間が創造する時には、以前に存在していたものを利用したり、引き出したりしなければなりません。私たちが「創造」する時は、実は「再創造」しているのです。しかし無から創造なさった神は、究極的な意味で創造的なお方です。

「死者を生かし、無いものを有るもののようにお呼びになる方」 (ローマ4:17)

第三に、神は6日で全世界を創造なさいました。この概念が明確に聖書に示されています。

「主が6日のうち、天と地と海、またそれらの中にあるすべてのものを造り、」 (出エジプト20:11)

聖書の生徒たちが、「6日」の意味について長い間論じてきましたが、神が天と地とその中にいるすべてのものをお造りになったという宣言は、世界がただ自然進化の結果であるという観念とは明らかに矛盾します。

進化論者は同意しません。世界が設計者によって創造されたのではなく、生命の単純組織の始まりから現在見るような複雑な体系に進化したのだと論じます。しかしこの考えは、物理学の基本的な法則を無視しています。熱力学第二法則では、閉じられた体系ではすべてのものが衰退原理(腐敗)に向かうと述べます。この技術的に聞こえる宣言は基本的には、外側の影響や力の介入なしには、自然界のすべてのものは、時間をかけて進歩しない—結局ばらばらになると言っているのです!

このことをより明確にするために、7課のパリーの時計屋のたとえをもう一度見ましょう。

野原を歩いていて、時計の部品の小さい集まりに遭遇したとします。進化論では、ある日このばらばらの部品がよく整えられた時を刻む機械に集まってくるというかもしれません。あるいは自動車になってしまうでしょう。時計屋のたとえによれば、この部品は設計者の介入なしには、動く時計に組み立てられるということは、決してあり得ないということなのです。熱力学の第二法則によれば、この時計の部品は結局さびつき、土の中でばらばらに分解してしまうでしょう!

簡単に言い換えれば、この世界が自然進化の過程の結果であるという考えには、単純なものが時間をかけてよりずっと複雑なものに進化するということを信じるのが求められます。物理学第二法則は、ちょうどその逆が期待できることを、私たちに教えています!

さらに聖書は、神が今世界を保持しておられると告げます。コロサイ1:17にあります。「御子は、万物よりも先に存在し、万物は御子にあって成り立っています。」原子力学は、原子の一番小さい粒子が、不可解な速度で回転しているのを測定しました。しかし何によって原子がばらばらにならないように守られているかの説明がこれから必要です。コロサイ1:17で、聖書は神がすべてのものを一番小さい原子さえも保持しておられるお方であると語っています。

## 質問し、黙想する

- ・ 今週学んだ神の属性を考える時、聖書に書かれているように神が全世界をお造りになったと考えるのは難しいですか。
- ・ 聖書の創造の記述を見る見方によって、残りの聖書の部分を見る見方が決まるということが言われました。このことはどのように真実だと言えるでしょうか。もし聖書の創造の記述が真実でないなら、そのことから神についてどういうことが言えるでしょう。

## 決心し、行動する

ある人々は、聖書の創造のプロセスに関する記述を受け入れるのに困難を覚えます。結局、それは自然法則に反するようにはみえるし、結果は見えるが顔の見えない創造主の存在を信じるのが求められます。信仰は必要ですが、盲目の信仰は必要ではありません。このスタディ・ガイドを学び、聖書を考えたり調べたりしてゆくうちに、聖書的信仰は不合理なものではなく、盲目ということからはかけ離れているということを知りましょう。

なぜ聖書が信頼できるのかを理解するために、この学びに大変多くの時間を費やしました。このことが確かになると、神の属性について聖書が何と語っているかが大切になります。そして神の属性について学ぶことによって、聖書に書かれているように、このような神が世界とそこにあるすべてのものをどのように創造なさったかということがよりよく理解できます。このように神の品性と性質を理解しても信仰が必要です。しかし盲目の信仰は必要でなくなります。

多くの人は文脈から離れ、信仰の土台を置くことなしに、聖書のことばに触れるので、それを拒んだり避けたりします。このスタディ・ガイドの目的は、聖書のことばを理解するための文脈をつくり出すことであり、教えを積み上げ、信仰の土台を築き上げることです。この学びで、理解したり信じたりするのが難しいことに会っても、すぐにあきらめないでください。そのかわりに、信仰の土台を強めてくださるよう神に祈り求めてください。そしてみことばに啓示されているままに神を知ろうと努めてください。

<sup>1</sup> Wikipedia®, *Second Law of Thermodynamics*. ([http://en.wikipedia.org/wiki/Second\\_law\\_of\\_thermodynamics](http://en.wikipedia.org/wiki/Second_law_of_thermodynamics)). Retrieved November 15, 2006.

# アダムとエバの創造 1 部

## 1 章 9 課



神は仰せられた。「さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地を這うすべてのものを支配するように。」神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

— 創世記1:26-27

そして6日目に、神はすべてのものを創造なさいました。神は最初の人間を地のちりから造り、それからその人に息を吹き入れました。そして人は生きる者となり、神は彼をアダムと呼ばれました。人の肉から神は最初の女を造り、アダムは彼女をエバと呼びました。アダムとエバは他の被造物とは異なっていました。というのは、ご自分のかたちに彼らをお造りになったからです。

— ザ・ホープ 1章

## 観察し、考える

上記のザ・ホープの引用と聖書箇所から、人は「神のかたち」に創造されたことに注意を向けてください。神のかたちに造られたとはどういう意味でしょうか。この質問に答えるために、神の属性に似ている、人の特徴がよく挙げられます。この中には、創造的であったり、論じたり、選択したり、伝達したり、複雑な感情を体験する能力が含まれるかもしれません。

ある動物には(ある程度)同じ「神のような」特徴があると、ある人たちは言います。人間と動物の主要な違いは、本質や性質の違いではなく程度の違いである、人間はより高度に進歩した(進化した)動物であると、この人たちは(正しくても間違っても)言います。しかし聖書は、「人は神のかたちに創造された」と語り、他のどの被造物にも与えられていない区別がここにあります。創世記2:7はこの問題について、ある重要な洞察を与えています。

「神である主は土地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。」

この節で、地のちりから人の体を形造った後に、神は「その鼻にいのちの息を吹き込まれた。そこで人は生きものとなった。」ということに注意してください。ここで「もの」と訳されているヘブル語(ネフェシユ)はまた「霊魂」とも訳されます。霊魂は、人の非肉体的、非物質的部分を言い表わします。ある

人たちは動物にも「霊魂」があると信じますが、そうであるかどうかは、ここでの問題ではありません。重要なことは、一聖書によると一人が霊魂を受けた方法は、全く人に特有のものであったということです。人は霊魂を神ご自身から直接に受け取りました!

神は世界が存在するように命じました。神は最初の人のも物質的部分を地のちりから形造られました。しかし人の霊魂は、造られたというよりも、与えられたのです。地のちりから、神はアダムの体を形造りましたが、彼の霊魂は神が吹き入れたのです。この神の分与もしくは注入が、神に似た者として創造したり、論じたり、伝達したり、選択したり、複雑な感情を体験したりする人間の能力の源泉なのです。

神が「いのちの息」を人間に吹き込まれた時、人が神のかたちに造られるようにする何かをお渡しになったのです!この神の息が、人間を他のすべての被造物と区別するものであり—すべての男と女に信じられないほどの価値を与えるものなのです。

## 質問し、黙想する

一枚の紙幣は、それ自体には価値がありません。普通貴重品保管室に安全に置かれている金や銀のような価値あるものを代表しているということで、その価値が出てくるのです。紙幣はある意味で、金や銀の印刷された「画像」なのです。同様に人々には一すべての人に一価値があります。なぜなら神（その価値はあまりに偉大で測り知ることのできないお方）のかたちにつくられているからです。多くの人々は自分の価値が、功績や富や名誉また容貌等にあると信じています。しかし聖書によれば、私たちはみな神のかたちに造られているので価値があるのです。

- あなたに価値があると感じさせる神意外のものが何かありますか。もしそれが取り去られるなら、自分の価値にどんな変化がありますか。
- 人間の歴史は、戦争・犯罪、集団虐殺、テロ等の非人間性の例で満ちています。もし地上のすべての人が、他のすべての人が神のかたちにつくられているので測り知れない価値があると信じるなら、どんな違いがあるでしょうか。
- もし神のかたちに造られていると本当に信じるなら、その人の自己評価にどんな影響があるでしょうか。
- あなたが神のかたちに造られているということがわかるなら、どんな違いがありますか（あるいはあるべきですか）。

## 決心し、行動する

詩篇139:13-17の次の引用を読んでください。

*「それはあなたが私の内臓を造り、母の胎内で私を組み立てられたからです。*

*私は感謝します。あなたは私に、驚くべき奇跡をなさいました。私の魂は、それをよく知っています。*

*私がひそかに造られ、地の深いところで組み立てられたとき、あなたの目は私の骨組みまではっきり見通していました。*

*あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書きしるされました。私のために作られた日々が、しかも、その一日も経たないうちに。*

*神よ。あなたの御思いを知るのはなんとむずかしいことでしょう。その全ては何と壮大なことでしょう。」*

聖書に「自己評価」の語は全然出てきませんが、神をより真実に理解すればするほど、人は自分についてよりよい、より真実な評価をするようになります。（詩篇139編にあるように）神が私たちを造ってくださり、神のなさることはすべて完全である（申命32:4）と真に理解するなら、確かに自己評価は積極的なものになるでしょう。よい自己評価の出発点は、よい神の評価です。決意をあらたにして、あなたを造ってくださったお方をもっと理解するよう努力をしてください。そしてそうすることで、自分自身をもっとよく理解してください！

# アダムとエバの創造2部

## 1章 10課



神は彼らを神々とするために造られたのではありませんでした。しかし月が太陽の光を反射するように、アダムとエバは神の光を反映するように造られたのです。

— ザ・ホープ 1章

人の主要な目的は、神の栄光をあらわし、神を永遠に楽しむことです。

— ウェストミンスター小教理問答(1640年に書かれる)

## 観察し、考える

前の課で、人は神のかたちに造られたという真理について考えました。この課では、人をお造りになる神の目的について考えます。学びを深めるにつれて、人を創造する神の目的を理解する助けとなる聖句が少ないと感じ始めます。この主題を一つに要約する聖句もありません。少なくともほとんどの聖書学者は満足しないでしょう。

しかし、人を創造する神の目的について、聖書が語っていることの要約を試みる叙述文書は存在します。この文書はウェストミンスター教理問答として知られ、言及している叙述は上に記されています。この叙述は、多くの聖書学者が正確であるとして受け入れているものです。ザ・ホープが人を創造する神の目的について語っていることを考えるとき、引用されるべきものです。

疑いもなく、私たちの世界で一番明るいものと言えば、太陽です。あまり明るいので、直接見つめると、目に回復不能のダメージを与えかねません。しかし神の輝きは、太陽の輝きより、測り知れないほど強いのです。1ヨハネ1:5で、神はきよく、完全な光であることを学びます。出エジプト記33:20では、神の栄光は余りにも大きいので、人が神を直接見て生きて行くことはできないと言われていました!もし神がとても輝いて、直接見た人が生きて行けないのであれば、神の栄光を人はどのように見ることができのでしょうか。

ローマ1:20は、神がお造りになった世界から、神について多くを学ぶことができると教えていることを思い出してください。ザ・ホープの上記の引用ではこの聖書的原則を、神と人の関

係を太陽と月の関係に例えて語っています。

神は男と女を「神々」とするためにお造りになったのではなく、月が太陽の光を反映するように神の光を反映するためにお造りになったと、ザ・ホープのビデオは語っています。人が月から出ている光を本当に考えるためには、その源である太陽を究極的に考えなければいけません。こうして、月は太陽の輝きに注意を向けるのです。私たちの人生で神の光を反映させる時、私たちは他の人に神の栄光について考えさせます。言い換えれば、私たちは神の栄光をあらわし、ウェストミンスター教理問答で述べられる人の目的に向かって自分を連れ戻すのです。(マタイ5:16)

この考えを少し先に進ませて、月は努力の結果としてではなく、太陽との特別な関係のゆえに輝いているということを考えてください。もし月が自分の光をつくり出すというなら、太陽から栄光を奪うことになるでしょう。しかし月は光をつくり出すことができないので、太陽に全ての栄光があるのです。

ある人は神のために光(栄光)を生み出そうとします。しかし月のように、私たちは光の源ではありません。ですからヨハネ15:5では「わたしを離れては、あなたがたは何もすることができない」と言われているのです。しかしまた月のように、神の栄光を反映させる能力は、神との個人的関係の直接の結果なのです。神に栄光をもたらすことは、私たちが神のためにすることよりも、むしろ私たちと神との関係の結果として神がしてくださることなのです。

## 質問し、黙想する

- あなたには、神の光を輝かし、神の栄光をあらわすことのできる神との関係がありますか。
- あなたの神との関係は、徐々にもっと親密なものに成長していますか。その結果はだんだん神の栄光をまわりの世界により効果的に（より反映させながら）現わしていますか。

## 決心し、行動する

もし最初の質問に肯定的に答えられなかったなら、この学びの「神を知る」の箇所に行ってください。

この箇所でも説明されている段階を祈り深く読んで考えてください。それから遅れないで従ってください。もし神との関係で、前進する備えがなければ、ただ、神に備えさせてくださるよう祈ってください。

ある現代の聖書学者は、ウェストミンスター教理問答の上記の引用を次のように言い換えました。「人間の目的は、神を永遠に喜ぶことによって、神の栄光をあらわすことである。」今日神を喜んでいますか。そうでないなら、神を喜ぶべきです。時々立ち止まって、本当に大切なことにまた焦点を合わせる必要があるでしょう。

## 参照

- John Piper, *God Created Us for His Glory*. (© Desiring God Ministries, 2006; from a sermon dated July 27, 1980). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1980/238\\_God\\_Created\\_Us\\_for\\_His\\_Glory/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1980/238_God_Created_Us_for_His_Glory/)). Retrieved November 15, 2006.

<sup>1</sup> John Piper, *Worship: The Feast of Christian Hedonism*. (© Desiring God. From a sermon delivered September 25, 1983). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByTopic/85/406\\_Worship\\_The\\_Feast\\_of\\_Christian\\_Hedonism/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByTopic/85/406_Worship_The_Feast_of_Christian_Hedonism/)). Retrieved November 14, 2006.



# 2本の木 — 2つの道

## 2章 11課



神である主は、その土地から、見るからに好ましく食べるのに適したすべての木を植えさせた。園の中央には、いのちの木、それから善悪の知識の木を植えさせた。——神である主は人に命じて仰せられた。「あなたは、園のどの木からでも思いのまま食べてよい。しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるとき、あなたは必ず死ぬ。」

—— 創世紀 2:9, 16-17

園の中央に2本の木がありました。1つは命の木、もう1つは善悪を知る知識の木でした。神はアダムに、園のどの木から食べてもよいが、善悪の知識の木から食べてはならない、食べると必ず死ぬと言われました。

—— ザ・ホープ 2章

## 観察し、考える

ここまで神の物語の多くのドラマを見ましたが、争いはありませんでした。神はアダムとエバをお造りになり、必要なものすべてが存在する美しい園に彼らを置かれました。しかし2本の木が園の中央に立っていました。1つの木は命を生み出し、もう1つの木は死—まず霊的な死、そして結果として肉体的な死を生み出しました。

聖書学者は歴史を通して、この2本の木の意味を考えてきました。ほとんどの学者は、この木は神への全く異なった2つの接近のしかたを表すと言います。善悪の知識の木は、人間の努力(しばしば知識の獲得)あるいは正しいことをする試みによって神に達し、神を喜ばせる人間の試みを表します。聖書はこの道の終わりは死であると語っています。

しかし命の木は、神学者ジョン・カルビンによれば、「人間は

自分の力で生きているのではなく、神の御計らいによって生かされていること、命は自分から出た善ではなく、神から出ていることを人間が思い出すためのものです。命の木は神から注がれる恵み(それを得るに相応しくない私たちでも、ただ謙遜と感謝をもって受けることのできる恵み)を与えるいのちを表すものです。

前の課で、人間の目的は神の栄光をあらわし、神を永遠に楽しむことであるということ学びました。結論として、この目的の成就是、私たちが神のためにすることよりも神との関係の故に神がしてくださることであると述べました。もしこのレッスンの主題がそれと似ていると思うなら、あなたは正しいのです。自分に頼ることと神に頼ることとの違いが、神の物語を通じてよく現われる主題なのです。

## 質問し、黙想する

なぜ人には、人生においてまた神との関係においてこれ程の葛藤があるのでしょうか。なぜ非常に多くの方が命の木よりも善悪を知る知識の木を選ぶのでしょうか。それは、あなたが今耳にしている神のいのちを与える愛の福音を、これまで聞いたことがないからという場合が多いのです。あるいは聞いたかもしれませんが、神から進んで受けることをしなかった、あるいはできなかったのでしょうか。真実に神を知り神に従いたいと思う人でも、知識の木から食べるという罫に落ち得るのです。

今日のレッスンから二つの木について考える時、「私はどちらの木から食べているだろうか。」と自問してください。

## 決心し、行動する

命の木から食べることは、神との個人的な関係で始まります。自分の人生と、永遠に確信をもって神の善との間に信頼を築かせる、神との親しい、個人的な関係がまだないなら、今時間を割いて、この学びの背後にある「神を知る」のセクションに行ってください。神はあなたにご自分を知ってほしいと思っておられ、それが実現するように、道を備えておられます。

すでに神との個人的な関係を持っていながら、自分の力で人生を生きようとする罫に落ちているなら、神に信頼することから自分を遠ざけているものは何か、自分の力でもがいているのは何かを見出すために、今時間を割いてください。更なる助けを得るために、「神にあって成長する」の箇所に行ってください。

<sup>1</sup> Watchman Nee, "The Choice That Confronted Adam" from his book *The Normal Christian Life*. Copyright Angus Kinnear 1961, Kingsway Publications, Eastbourne, England. (<http://www.ccel.org/ccel/nee/normal.xi.iii.html>). Retrieved October 4, 2006.

<sup>2</sup> Romans 8:5–13

<sup>3</sup> John Calvin, *Institutes of the Christian Religion* 1.1.2

# 進んで、 進んでするようにさせられる

## 2章 12課



進んで、進んでするようにさせられるアダムは選択する自由、即ち神の目的にとって中心的な自由を与えられました。というのは人は神を愛するため、また神に愛されるために造られたからです。愛を選ぶ自由なしには、愛は本当の愛ではありません。そこでアダムには、実を食べるか食べないかの自由、命か、さもなければ死の結果を伴う選択がありました。

— ザ・ホープ 2章

### 観察し、考える

神がアダムに、善悪を知る知識の木から味わってはならないと告げられた時から、アダムは選択に直面しました。この地における神の主権(あるいは支配)の概念と人の選択する責任(あるいは自由)の概念との間にある、張り詰めた緊張関係について、多くのことが書かれてきました。

ある人は、神はすべての人の運命を決定なされると言い、他の人は、人は自分の運命を決定する自由な道徳的行為者だと言います。実際は、聖書は両方の概念を教えているように見えます。たとえばヨシュア記 24:15 はこのようにヘブル人たちに勧めます。「あなたが仕えようと思うものを、どれでも、今日選ぶがよい。私と私の家とは、主に仕えることを選ぶ。」

そしてヨハネ 15:16 で、イエスは最も近い友人と弟子たちにこのように言われます。「あなたが私を選んだのではありません。私があなた方を選び、あなた方を任命したのです。それは、あなた方が行って実を結び、あなた方の実が残るためです・・・」

このスタディ・ガイドは、神の支配と人間の選択の間にある緊張関係を徹底的に調べて解決しようとするものではありません。この神学的議論は、私たちの限界を超えています。しかし、この資料を準備してくれた人々による以下のような考えを思いめぐらすことは、助けとなるでしょう。

### 質問し、黙想する

もし100人の人に、どのように神を知るようになったか尋ねるなら、多くの人は知的に求めた結果神を知るようになったと答えるよりも、むしろ神が自分を見出してくださったと答えるでしょう。さらに、そのうちのある人々は、ついに神を知るようになる以前は、当初神をどのように拒んで来たかについて劇的な話をしてくれることでしょう!

霊的な旅について多くの人に尋ねても、長いあいだ神の支配と人間の選択の間に存在した神学的緊張関係を解決することは全くできないでしょう。しかし、次のような結論に至るかもしれません。私たちはみな自由に神を拒絶できるが、人生の歩みへの神的介入なしには、だれも実際に、神を見出すことはできない。

## 決心し、行動する

おそらくあなたは、神との個人的な関係を始めたいという願いや導きを感じていることでしょう。しかしこれまでは気が進みませんでした。あるいはすでに神を知っているのですが、神のために選択できるかどうかという問題や状況と取り組んでいます。選ぶことを拒むならば、それは本当の選択ではないということ覚えてください。もしあなたの選択が神のためのものでなければ、神に反するものなのです。

あなたの状況がどうであれ、神のための選択ができないと感じる時でも、少なくとも選ぶ方向へ導いてくださいと神に祈り求めることはできます。

あなたは進んで、進んでするようにさせられますか。もしそうでないなら、そうならせとくさるように神に祈り求めましょう。

<sup>1</sup> John Piper, *A Response to J. I. Packer on the So-Called Antinomy Between the Sovereignty of God and Human Responsibility*. (This article is dated March 1, 1976. © Desiring God, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Articles/ByDate/1976/1581\\_A\\_Response\\_to\\_JI\\_Packer\\_on\\_the\\_SoCalled\\_Antinomy\\_Between\\_the\\_Sovereignty\\_of\\_God\\_and\\_Human\\_Responsibility/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Articles/ByDate/1976/1581_A_Response_to_JI_Packer_on_the_SoCalled_Antinomy_Between_the_Sovereignty_of_God_and_Human_Responsibility/)). Retrieved November 10, 2006. Piper addresses this issue as follows: "Therefore, in order to see how God's sovereignty and man's responsibility perfectly cohere, one need only realize that the way God works in the world is not by imposing natural necessity on men and then holding them accountable for what they can't do even though they will to do it. But rather God so disposes all things (Eph. 1:11) so that in accordance with moral necessity all men make only those choices ordained by God from all eternity."

One last guideline for thinking about God's action in view of all this: Always keep in mind that everything God does toward men – his commanding, his calling, his warning, his promising, his weeping over Jerusalem, – everything is his means of creating situations which function as motives to elicit the acts of will which he has ordained to come to pass. In this way He ultimately determines all acts of volition (though not all in the same way) and yet holds man accountable only for those acts which they want most to do."

# 神を愛し、 神に愛されるために造られた

## 2章 13課



人は神を愛するため、また神に愛されるために造られました。

—— ザ・ホープ 2章

### 観察し、考える

人をどう見るかということは、その人にどう反応するかに決定的な影響を与えます。例えば、上司があなたにことをとても怒っていると同僚から聞いたとします。その上司が突然オフィスの入り口に現われるのを見て、あなたはどう感じますか。

あるいは、好きな音楽を聞きながら通りを運転していて、警察の車がライトを点滅させながら近づいてくるのを見ます。あなたは法律を破っていないかどうか確かめるために、直ぐに速度計に目をやります。あなたが普通の人なら、そうするでしょう。

同じように、神をどう認識するかで、神に対してどう応答するかが決まってきます。上記のザ・ホープからの引用を目にした時はあまり深く考えませんでした。しかしこの簡単な叙述はとても重要なので、もう一度考えてみることにしましょう。そして私たちにどういう意味があるのかをもっと深く掘り下げてみましょう。もしこの文が真実であるなら、ザ・ホープを通じて神の歴史を学ぶ時に、それはわたしたちの考える他のすべての真理の土台になります。もしそれが真実でないなら、この努力を今ここで放棄しても、何ら責められることはないでしょう。

このザ・ホープからの引用は、2, 3の聖書箇所です。正しいとされるようなものではありません。ですからザ・ホープが作られ、このスタディ・ガイドが書かれたのです。聖書に記されているように、神の歴史全体を真摯に考える時にだけ、「神は愛だからです」と単純に告げる第一ヨハネ4:8のような節の真理を理解し始めることが可能なのです。

この節をしばらく考えてみてください。それは神は愛しますとは言わないで、神は愛ですと言っています。神は愛であるから、愛するのです。神は愛が含まれていないことは何もありません。なぜなら愛がご自身のあり方だからです。

もちろん神の歴史の深い学びは、神の愛の概念的理解を深める助けとなります。しかしまた、人生の曲折や浮き沈みの中で、神の愛を体験することによってのみ、神の愛が私たちにとって真に現実のものとなるのです。神について抱いている誤った概念が消され、正しく真実なものに置き換えられる過程で、この真理が私たちの魂に刻まれることが必要です。神を真実あるがままに知るまで、神に正しく応答することは無理でしょう。

## 質問し、黙想する

- 今日神をどのように理解していますか。この課の最初で考えた怒りっぽい上司や警察官のようですか。愛する父親か友人のように神を見ますか。今この時神をどのように見えていますか。答える前にそのことについて考えてください。
- この神の印象はどこから来ましたか。そのことは、今日神に応答する仕方にどのように影響していますか。
- 今あなたの人生で、神の愛を体験していると言えますか。なぜですか、なぜそうではないですか。過去における経験が現在の経験にどのように寄与していますか。

## 決心し、行動する

上記の質問は、数分だけ考えればよいというものではありません。十分にこの質問について考え、答を見出すのに時間を費やすべきです。思いを書き留めて置くのも良いかもしれません。

神の印象が、どのように曲げられてしまっているか示してください。神に求めてください。神が真実の心像を描いてくださるように求めてください。このような探究心は生涯かかるかもしれないことを忘れないでください—しかしそれは恵みに満ちた時間として甦るでしょう!

# 我らの不満な敵

## 2章 14課



アダムが初めて息をした時、神は天使と呼ばれる多くの霊的存在を創造されました。この被造物は地上において、また天と呼ばれる神に仕えるための聖所において、大いなる力と知性を与えられました。その中の一人の天使が他の天使よりも強い力を与えられました。今日サタンと呼ばれるこの天使は、本来の目的を果たすことで満足しませんでした。神の代わりになりたかったので、そこでサタンは神の敵となり、非常に多くの天使を導いて神に反逆しました。それで神の御前の特権ある地位から追い出されてしまいました。

—— ザ・ホープ 2章

### 観察し、考える

この人生において、私たちには敵対者、敵、反対者がいると、聖書とザ・ホープは告げています。サタンの創造と墮落の出来事について、聖書は多くを語っていません。しかしこの神に反逆する墮落した天使について、私たちが知っておくべきことを要約するのに十分な箇所が存在しています

多くの聖書学者は、サタンの墮落について学ぶために、イザヤ 14:12-14と

エゼキエル 28:12-18を引用します。この二つの箇所は普通バブロンとツロの王の物語として知られていますが、同時に王の背後にいる霊的な力、サタンについても語られており、多くの人は二重の意味があると信じています。

この箇所は、サタンが神から多くのものを与えられたことを示しています。しかし、自分が造られた本来の目的を果たすことに満足しませんでした。その不満から、サタンは反逆しました——そして反逆した時、すべてを失ったのです。サタンはすべての被造物の中で最も卑しめられる存在となりました。そして誰もが間もなく目にするように、その終りは確実に悲劇的でした。サタンは神に反逆することを選んだからです。

### 質問し、黙想する

あなたはどのような目的の為に創造されたか理解していますか。もしそうなら、その目的を果たすことに満足していますか。

「それはあなたが私の内臓を造り、母の胎内で私を組み立てられたからです。私は感謝します。あなたは私に、驚くべき奇跡を行いました。私のたましいは、それをよく知っています。私がひそかに造られ、地の深い所で組み立てられたとき、あなたの目は私の骨組をも見通していました。あなたの目は胎児の私を見られ、あなたの書物にすべてが、書きしるされました。私のために作られた日々が、しかも、その一日も経たないうちに。神よ。あなたの御思いの全てを知るのはなんとむずかしいことでしょうか。その御計らいは、なんと数多いことでしょうか。」（詩篇 139:13-17）

「私たちは神の創造物であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださったのです。」（エペソ2:10）

この聖書箇所から、神が私たちをお造りになった—そして目的をもって私たちをお造りになったということがわかります。

- ・ 造られた目的を果たすということよりも、それによって満たされる何かについて考えることができますか。
- ・ サタン の例から何を学ぶことができますか。サタンも神によって目的のために造られましたが、神に反逆し、自分自身の計画を追い求めました。
- ・ 「私は、造られたような人間にはなりたくない。」と、どうして神さまに言えるでしょうか。

## 決心し、行動する

もしあなたの人生に対する神の計画について思い悩んでいるのなら、あなたの創造者との間で整理すべき、心から心に通じる何かがあるのかもしれませんが。エレミヤ書の次の節が再確認しているように、あなたへの神の計画は、他のどんな計画よりも必ずよいものです。

「わたしはあなたがたのために立てている計画をよく知っているからだ。一主の御告げ—それは災いではなくて、平安を与える計画であり、あなたがたに将来と希望を与えるためのものだ。」（エレミヤ29:11）

もし人生への神の計画について手がかりがないなら、「どれくらい神をよく知っているだろうか?」と自問してください。おわかりになるように、人生の目的を知ることは、目的をお与えになる方を知ることから始まります。まだ個人的に神を知る第一歩を踏み出していないのなら、この学びの終わりにある「神を知る」の箇所であなたのために書かれている資料を、じっくりと読んでください、あるいはもう一度読み直してください。

あなたは人生のための神の目的について、かなりはっきりした考えがすでにあるのですが、そこに充実も満足も見出していないのかもしれませんが。おそらく恐れやプライドによってその目的から逃げているのでしょう。サタンが犯した同じ間違いを犯さないでください。神にはあなたに教えるべきことがあるのです。神との関係のうちに、成長することを求めてください。主を自分の喜びとする時、「主はあなたの心の願いをかなえてくださる。あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる」（詩37:4,5）のです。

<sup>1</sup> Charles C. Ryrie, *Basic Theology* (Victor Books, A Division of Scripture Press, Wheaton, Illinois, 1988, pp. 141–143).



# 大いなる戦いの終わり

## 2章 15課



私たちの敵サタンは、私たちの人生における神の力や目的を曲げてしまおうとしています。しかし聖書には、はっきりとサタンは勝てないことが書かれています。最終決定は神に属し、神にだけ属しています。ザ・ホープではそのことを、このように言っています。

サタンは神に打ち勝つことはできません。なぜなら、神は全能のお方だからです。サタンとすべての悪霊は、神が備えた永遠の苦しみの場所、火の池と呼ばれる場所に投げ込まれる日が来ます。しかしその時までサタンは神の愛されるものを滅ぼそうとして、神を傷つけるために、あらゆることを試みます。

—— ザ・ホープ 2章

## 観察し、考える

聖書の最後の本は、サタンが火の池に永遠に投げ込まれる日について告げています。サタンが征服された後、神は「彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださる。もはや死も無く、悲しみ、叫び、苦しみもない、なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからである。」（黙示録 21:4）と記されています。

それは何と素晴らしい日でしょう！その日が来るのを望みますか。苦しみや死のない将来が可能であると思いますか。神によるならば、それは可能であるだけでなく確かなのです。私たちの見方で世界を見るならば、死も悲しみも叫びも苦しみもない日を思うことは難しいのですが、もう1つの見方があるのです。

刺し編み刺繍は、普通布のキャンバスに正確に針を刺すことで出来る刺繍の一種です。美しい像や光景をそれで描くのです。刺し編み刺繍の表面は美しいが、裏を返すと、縫い合わせ

が全く無秩序に見え、醜くさえ見えます。

私たちの住んでいる世界は、時々刺し編み刺繍の裏側に似ています。しばしば混乱状態に見えます。

—— 痛みや苦しみによって私たちの見方が支配されると、この世界は醜く、暗闇です。しかし神のデザインのもう一方の側で完成した像が見えるなら、創造者が計画を持っておられ、それによって美しいものが生み出されることがわかるでしょう。

神の計画は隠されてはいません。聖書の中にご計画が書かれています。それは私たちが善い完全なご計画だと確信できるものなのです。

## 質問し、黙想する

聖書を通して神は、世界のための計画を持っておられるだけでなく、その中の一人一人のための計画をもお持ちであることを私たちに思い起こさせてくださいます。あなたの人生で、刺繍み刺しゅうの裏側のように見える状況がありますか。裏側からどのように見えるかには関わりなく、神はあなたの人生に計画を持っておられます。そしてその計画は、神の見地から見ると全く違って見えるのです。そして神の見地とは、聖書を読む時私たちが見るものなのです。

聖書は、「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださること」(ローマ3:28)を約束しています。神はあなたのための計画を持っておられ、サタンさえも神の計画を変える力はありません。その逆はほとんど確実にやってきます。しかし神は従う者にとって、「あなたがたのうちにおられる方が、この世のうちにいる、あの者よりも力がある」、(第一ヨハネ4:4)そういうお方なのです。

## 決心し、行動する

刺繍み刺しゅうの裏側から人生を見えていますか。神のことばである聖書を身につけ、神があなたの人生で創造したいと思っておられる美しい絵を見出してください。

ローマ8:28から、「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださること」を見ました。

神との愛の関係はいかがですか。もし神を愛しているなら、この聖句はあなたのためのものです。神との関係を妨げているものを示してくださるよう神に求めてください。

もし神が、あなたとの間に入り邪魔する者を示してくださるなら、それを取り除いてくださるよう神に求めてください。

<sup>1</sup> Revelation 19:20

<sup>2</sup> Ephesians 2:10

# 悪の美しい面

## 3章 16課



さて、神である主が造られたあらゆる野獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。蛇は女に言った。「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか？」女は蛇に言った。「私たちは、園にある木の実を食べてよいのです。しかし、園の中央にある木の実について、神は、あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけなからだと仰せになりました。」そこで、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」

— 創世紀 3 : 1 - 5

ある日エバが園の中央、知識の木の前を歩いていると、サタンが彼女に話しかけました。エバは恐れませんでした。というのは恐れはまだ世界に存在しなかったからです。サタンは禁断の実についてたずねました。神の人への警告とその動機に疑問を投げかけました。エバはそれに聞き、神を疑い始めました。彼女はその実のことを考え、食べました。それからエバはアダムに実を与え、アダムも食べました。ただちに彼らは自分たちが裸であることを知り、恥ました。

— ザ・ホープ 3章

## 観察し、考える

私たちが考えているザ・ホープの部分は、創世紀3章により詳しく書かれています。上記の聖書箇所、サタンがエバに現れ、へびとして話しかけたことに注意して下さい。しかしエバは、あなたや私のようにではなく、このへびを怖がりませんでした。なぜそうだったのかを考えましょう。

最初に、神の歴史でこの時までには、神がお造りになった世界に恐れがあるという徴候はありません。最初に記録されている恐れは、アダムが神に背いた創世紀 3 : 10 にあります。創造記 9 : 2 から、その時までには動物は人間を恐れていなかった(少なくとも人間への恐れは最小限だった)ということがわかります。恐れを起こさせる何物にも遭遇したことがないというこの時のエバの思いを想像してみてください。

次に、サタンが自分を表す方法を考えましょう。創世紀の中でへびと訳されている言葉は、文字通りには「輝く者」を表すヘブライ語ナカシュから来ています。エゼキエル 28 : 12 - 18 は、サタンを特に美しい被造物として描い

ています。第二コリント 11 : 14 では、「サタンさえ光の御使いに變化するのです。」と言っています。これらの節から、悪が必ずしも悪に見えないということが明らかです。私たちは普通、悪は不吉で暗く、脅かすものという考えを持っています。しかし実際は、悪はしばしば上手に身を隠してやって来るのです。サタンは恐らくエバにはとても美しく見えたことでしょう。神の美しい被造物の助言を聞いて、何が悪いのでしょうか。結局、知識を得ることはよいことなのではないでしょうか。

時々私たちは、自分や周りの人々にとって良いと思える道を選ぶことができます。しかし実際は、良いように見えるものは、全然神の道ではないかもしれません。邪悪という言葉が聖書にはよく出てきますが、語源の意味は「善の歪曲」です。邪悪はサタンの主要な戦術の一つです。私たちが神から引き離すために、サタンは全面総攻撃を始める必要はありません。時々ただ巧妙に、真理を変えたり、曲げたりするだけで良いのです

## 質問し、黙想する

- あなたの人生における人々、物、状況のことを考えてください。あるものに見えたのが、親しくなってゆくとつれて、別なものに見えてきたということがあるでしょうか。そのことは、今日扱っている問題を理解する上で助けとなりますか。
- 2課で、「人の目にはまっすぐに見える道がある。その道の終わりは死の道である。」(箴言14:12)という聖句を見ました。道を選択しなければならない時、それが神の道であるか、それとも「美しい」死の道であるか、どのように見分けますか。

## 決心し、行動する

14課から、「人生の目的を知ることは、目的を与えてくださった方を知ることから始まる」ということを思い出すかもしれません。私たちは神を個人的に、親しく知るようになることで、神の道を知るようになります。

合衆国財務省が、偽札がわかるように職員を訓練する時、偽札の研究に時間を使いません。むしろ本物の札に親しむことに、信じられないほどの時間を費します。彼らは本物のお金を何度も見たり、手にとったり、調べたりするので、偽札に出会うとすぐにわかるのです。

聖書全体を実際に読み通したことがありますか。ある意味で聖書は、神の自叙伝です。私たちは、財務省職員がお金を研究する時間よりも、もっと多くの、あるいは大きな注意を払って神の出来事を学ぶべきではないでしょうか。普段の聖書研究に身を捧げて、御ことばを通して神を知ること始めてください。

## 参照

- Ray C. Stedman, "The Enticement of Evil" from his series *Understanding Man* (Message No. 4, Catalog No. 314, January 28, 1968). (<http://www.ldolphin.org/RCSgenesis/0314.html>). Retrieved October 4, 2006

<sup>1</sup> John MacArthur, *Satan: What Is He Like? Part 2*. (© 1997, Grace to You). (<http://www.biblebb.com/files/MAC/1355.HTM>). Retrieved October 4, 2006. "He [Satan] appears as an angel of light. Most interesting, nachash was the Hebrew word that was used to speak of him as a serpent. That word really has two meanings; to hiss or whisper, and it also means to shine. He is the hissing, shining one."

<sup>2</sup> D. Miall Edwards, *Iniquity*. (© Bible.org, 2005). (<http://net.bible.org/dictionary.php?word=Iniquity>). Retrieved October 4, 2006.

<sup>3</sup> Gary H. Strauss, *The Real Thing*. (© Questia Media America Inc., 2006). (<http://www.questia.com/PM.qst?a=o&se=gglsc&d=5002480464&er=deny>). Retrieved November 20, 2006. "It is commonly understood that when currency agents are trained to recognize counterfeit bills, they do not spend time examining and becoming familiar with the vast array of the best samples of the counterfeiter's art. Rather, they spend many hours developing an intimate acquaintanceship with "the real thing," to quote a familiar advertising phrase. Literally, every "jot and tittle" are scrupulously examined and pored over to the point that agents develop an indelible and finely detailed mental image of both sides of the various bills that make up the U.S. Treasury issue. Having developed such a thorough knowledge of even the most minute details, they are prepared to spot the incredibly subtle variations from the standard of perfection, "the real thing." No aspect of these bills is ignored. Thus, when these agents encounter a counterfeit bill, a careful examination can typically result in the ready identification of the fake item, even though its degree of match with the real might be so close that most who regularly use these bills would never suspect the truth."

# 致命的な考え方

## 3章 17課



さて、神である主が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。蛇は女に言った。「あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神は、ほんとうに言われたのですか。」女は蛇に言った。「私たちは、園にある木の実を食べてよいのです。しかし、園の中央にある木の実について、神は、あなたがたは、それを食べてはならない。それに触れてもいけない。あなたがたが死ぬといけなからだと仰せになりました。」そこで、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」

——創世紀 3：1－5

ある日エバが園の中央、知識の木の近くを歩いていると、サタンが彼女に話しかけました。エバは恐れませんでした。というのは、恐れはまだ世界になかったからです。サタンは禁断の実について尋ねました。神の人への警告とその動機に疑問を投げかけました。エバはそれを聞き、神を疑い始めました。彼女はその実のことを考え、食べました。それからエバはアダムに実を与え、アダムも食べました。ただちに彼らは自分たちが裸であることを知り、恥ました。

——「ザ・ホープ」3章

## 観察し、考える

この課では、知識の木のところサタンがエバと対話したことについて、学びを続けます。上記の聖書箇所記録されている、サタンのエバへの戦略について学びましょう。

エバは、神が禁断の木について言われたことをサタンに告げました。「『あなたがたは、それを食べてはならない。そえに触れてもいけない。あなたが死ぬといけなからだと。』と仰せになりました。」サタンは答えました。「あなたがたは決して死にません。あなたが食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」

初めにサタンは、ただ神と矛盾しているように見えます。あるいは少なくとも、かみが言われたことを再解釈している様に見えます。サタンは、エバが自分で聞いたと思っていることを本当に聞いたかどうか疑わせようとしているように見えます。疑いと混乱を吹き込むことは、確かにサタンの主要な戦術の一つです。

しかしさらに深く探るなら、サタンの戦術はまだ他にもあるように見えます。サタンが、「あなたがたは決して死にません。」

と言った時、まるでそれはエバにこう言っているかのようです。「冗談じゃない。神様はそんなことをあなたにしないはずだよ…。神様がそうしたの？サタンはエバを、神のご意図を疑うように誘導しているのです。それからこう続けます。「あなたがそれを食べる時、あなたの方の目が開け、あなたの方の神のようになり、善悪を知るようになることを神は知っているのです。」と。神はエバが最高に成長してほしいとは思っておられないと、サタンがほのめかしているように聞こえます。それによって今度はエバが「神は本当に私の最善を願っておられるだろうか。」と神を疑うように誘導されて行きます。

この考え方の中心は、「神は本当によいお方なのだろうか。」という非常に危険な質問が潜んでいます。時を通じて人々は、将にこの質問につまずいてきました。エバがその質問を始めた時に、バタン…とわながかかりました。彼女が神を見る自分の目を疑ったその時、エバは自分の興味に従い始めるのです。

## 質問し、黙想する

神に信頼するのをためらっている、人生の領域はありますか。

神が信頼するようにと求められる時はいつも、神について知る必要のあることは明らかで確信できることです。あなたが知りたいと思うことすべてではないかもしれませんが、あなたが知る必要のあることはすべて明らかにしておられます。

エバがサタンに出会う前、彼女は神が知識の木について言われたことを受け入れました。なぜ食べてはいけないのか。エバは、神は神であり、神の仰言ることは何でも受け入れるべきであるという、単純なしかし深い信仰によって行動していたのです。サタンは、神が神であるかどうかという疑いを投げかけたのではなく、神が良いお方かどうかという疑いでエバを誘惑しました。私たちが神に信頼し従うことで神を神と認め、応答する時、神の善を見出します。信仰と信頼が必要でないと分かったら、決して従わないでしょう。

## 決心し、行動する

聖書のこのできごとから、二つのとても実際的な適用を引き出すことができます。

- 悪を行ったり、心に抱いたりしないでください。勝つことはありません。エバはサタンとの会話に引きずられ、その罠にかかりました。サタンはエバにとって余りにもずる賢かったのです。そして私たちにも同様にずる賢すぎるのです。
- 自分にこう尋ねてください。「私は、ある領域で神に信頼する前に、神がどういうお方かについてもっと示してくださいるように待っているのだろうか。」もしそうであるなら、おそらく信仰の一步を踏み出すべきです。  
*「信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられること、そして神を求めらる者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。」* (ヘブル11:6)

## 参照

- Bob Deffinbaugh, Th.M., *“Satan’s Part in God’s Perfect Plan.”* (© bible.org, 2006). ([http://www.bible.org/page.php?page\\_id=186](http://www.bible.org/page.php?page_id=186)) Retrieved September 27, 2006. More on Satan: his fall, his character and conduct, Eve’s adversary in the Garden.

<sup>1</sup> Genesis 3:1-4

<sup>2</sup> Matthew 9:4; 2 Timothy 2:22

# 罪——正確にはそれは何？

3章 18課



そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと同様に、——それというのも全人類が罪を犯したからです。

——ローマ 5:12

それからエバはアダムに実を与え、アダムは食べました。ただちに彼らは自分たちが裸であることを知り、恥じました。恐ろしい何かが起こったのです。何かが変わったのです。サタンの悪は伝染病のようでした。アダムの不従順によって、この病は世界中に広まりました。それは罪と呼ばれます。神との関係を断つために、人の中で働く力であり、最後には、それが触れるすべてに死をもたらします。アダムとエバは、神との完全な調和をももって永遠に生きるように創造されました。実を食べることで彼らは神から独立して行動しました。そしてそれは、正にサタンがやり遂げたことでもありまました。今や彼らは、まず霊的に、それから肉体的に死を経験するのです。そして罪は世代から世代へと伝わり、今日に至るまで全人類を汚染しているのです。

——ザ・ホープ 3章

## 観察し、考える

罪という言葉は、聖書に350回以上出てきます。神に背いた行動を表すために、もっともよく用いられます（聖書ではよく、違反としても言及されます）。事実、罪の定義の一つは、「的を外す」ということです。このことを心に留めて、神の道を外れる時、罪を犯しているということが出来ます。

罪は又、神の権威に反逆するように人々に影響を与える力を表す言葉として、聖書の中で用いられます。神に背く行動であるだけでなく、神に背くように私たちに影響を与える擬人化された力でもあるのです（創世紀4:7、ローマ6:12, 13）。アダムを通して、この死の力は全人類にひろがりました。

ザ・ホープがどうして罪を伝染病のようなものと表現するのか分かるでしょう。罪は医学技術では処方されません。なぜなら肉体の病ではないからです。罪は霊的病気であり、いつも死をもたらします。ただ神だけが治せる病なのです。

## 質問し、黙想する

多くの人が、神との正しい関係に入るためになすべきことは、ただ善くなることだという考えを持っています。人生において、悪いことよりも良いことを何とかして多くやる人は、だれでも天国に行けるというポピュラーな考えがあります。問題は、たとえ完全な人生を送ったとしても（誰もできないのですが）「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、」ローマ3:23）、その人は以前として罪に汚染されているということです。それによって神との正しい関係がもてないのです。私たちと神との間にあるくさびは、私たちの「罪の行為」だけではなく、私たちの「罪の性質」なのです。17課でサタンを見て、自分たちでは立ち向かえないとわかったように、私たちの内に働く神の力なしには、罪を制することはできません。

- あなたの人生で、おそらく習慣的にも、もがいていることがありますか。
- どんなに一生懸命試みても、消すことのできない衝動や欲求がありますか。
- これらの質問に正直に答えて、罪と呼ばれる力があなたの内で働いているの信じるのは、難しいですか。

## 決心し、行動する

もし神に全てを委ねれば、神はあなたを罪の力から解放し、ある日罪の存在から全くあなたを自由にしてください。しかし選択肢はあなた次第です。問題への神の答えを受け入れ、自分の力で打ち勝てないことを告白しなければなりません。

神の方法以外に解決法はありません。神はそれをすべての人に賜物として与えてくださいます。神の賜物を受け取りましたか。

賜物は、あなたが受け取るまで賜物ではないことを理解してください。神の賜物とどのようにそれを受け取るかについては、このスタディ・ガイドの後ろにある「神を知る」の箇所に、詳細にわたって記されています。

## 参照

精神的な病気として罪の綿密な研究のために、次のリソースを読むことを考慮しなさい:

- Dr. Bill Gillham, "The Power of Sin" from the November 1988 issue of *Discipleship Journal*. (<http://www.lifetime.org/get/equipped/dj-read/not-the-sin-nature/>) Retrieved October 6, 2006.
- John Calvin, *Institutes of the Christian Religion*. (<http://research.yale.edu:8084/divdl/adhoc/text.jsp?objectid=3154&page=31>) Retrieved October 6, 2006. "Declaring that all of us died in Adam, Paul at the same time plainly testifies that we are infected with the disease of sin."
- William Perkins, *The Art of Prophecy* (1592, repr. Banner of Truth Trust, 1996, 54–55). As quoted by R. Scott Clark (Associate Professor of Historical and Systematic Theology, Westminster Seminary California), *Classical Covenant Theology – Part 1: On Law and Gospel*. (<http://public.csusm.edu/guests/rsclark/LawGospel.html>) Retrieved October 6, 2006. "The law exposes the disease of sin, and as a side-effect, stimulates and stirs it up. But it provides no remedy for it. However the gospel not only teaches us what is to be done; it also has the power of the Holy Spirit joined to it."
- John Wesley, *The Works of John Wesley, 14 Volumes, 5:449* (Peabody, Massachusetts, Hendrickson Publishing House, 1986). As quoted by Earl Robinson, *Wesleyan Distinctives in Salvation Army Theology*. ([http://www.salvationist.org/extranet\\_main.nsf/vw\\_sublinks/8E93913570C2699B80256F16006D3C6F?openDocument](http://www.salvationist.org/extranet_main.nsf/vw_sublinks/8E93913570C2699B80256F16006D3C6F?openDocument)). Retrieved October 5, 2006. "The preaching of the gospel, on the other hand, is the offer of a physician for the disease of sin. Wesley said: 'It is absurd ...to offer a physician to those that are whole, or that at least imagine themselves to be. You are first to convince them that they are sick; otherwise they will not thank you for your labor.'"

<sup>1</sup> Charles C. Ryrie, *Basic Theology* (© Victor Books, a Division of Scripture Press Publications, Inc., Wheaton, Illinois, 1988, p. 212). "Indeed, it might be a good idea to define it [sin] thus: sin is missing the mark, badness, rebellion, iniquity, going astray, wickedness, wandering, ungodliness, crime, lawlessness, transgression, ignorance, and a falling away."

<sup>2</sup> Billy Graham, "When Having It All Isn't Enough" from the June 2004 issue of *Decision* magazine. ([http://www.bgea.org/DMag\\_Article.asp?ArticleID=1](http://www.bgea.org/DMag_Article.asp?ArticleID=1)). Retrieved October 5, 2006.



# 恥と責め——罪の実

## 3章 19課



アダムとエバが実を食べる前・・・人とその妻は、ふたりとも裸であったが、互いに恥かしいと思わなかった。

——創世記 2 : 2 5

後・・・このようにして、ふたりの目は開かれ、そこで彼らは自分たちが裸であることを知った。そこで、彼らは、いちじくの葉をつづり合わせて、自分たちの腰のおおいを作った。

——創世記 3 : 7

それからエバはアダムに実を与え、アダムは食べました。ただちに彼らは自分たちが裸であることを知り、恥じました。何か恐ろしいことが起こったのです。何かが変わりました・・・。アダムとエバは、神から隠れようとして、葉で自分をおおうことで恥を除こうとしました。しかしこれはうまくいきませんでした。というのは、問題は外側ではなく、内側にあったからです。恥は罪の結果でした。そして罪が毒のように、彼らの中で働いていました。

——ザ・ホープ 3章

## 観察し、考える

禁断の実を食べる前に、アダムとエバが恥を知っていたという兆候はありません(創世記 2 : 2 5)。彼らが神に従わなかった後で裸であることがわかり、初めて暴露され、傷つきやすいと感じました。そこで自分たちをおおい、神から隠れようとしてしました。なぜですか。恐れたからです。神の反応を恐れたかもしれません。しかし本当に自分たちを助けることのできるお方、彼らがまさに一番必要としているお方から身を隠そうとしていたのです。

「あなたはどこにいるのか。」と神がお尋ねになったことは、とても興味深いことです。神はすべてをご存知です。アダムとエバがどこにいるのかをご存じでした。しかし神の質問は、ただ修辭的なものだったわけではありません。神はアダムとエバを連れて来て罪の結果に直面するようにしておられたのです。「あなたはどこにいるのか。」という質問は、体の場所以上のことに適用するなら、ずっと大きな意味があります。彼らは絶望的な場所にいましたが、神の質問は鏡をかざしているようでした。アダムとエバは状況の深刻さを認める必要があったのです。彼らが「見つかる」時、次に起こることに注意して下さい。アダムはエバを責め、エバはサタンを責めます。恥は罪の最初の実の一つであり、非難がその直接の結果でした。

## 質問し、黙想する

アダムとエバの場合のように、人は恥によって問題に正直に取り組みなくなり、問題の解決に必要な助けを得ようとしなくなります。恥によって人は身を引き、隠れるようになり、事態はいつそう悪くなるだけです。それから「私がこういう状態なのは、彼のせいだ。」と人を責めるようになります。これは犠牲者意識と呼ばれています。この考えにある危険性は、その状況に入ることにこそそこから出ることに、個人的な責任をとらない弁解になるということです。「犠牲者」は、状況は変わり得ないと信じるようになります。

恥や責めは、チェックされないと悪循環になります。この循環は、家庭や職場での小さいできごとや、中毒症状や壊れた人間関係のような大きな人生の戦いによって触発されます。どのように始まるにしても、その循環は普通、何かを、又は誰かを私達が実際にチェックをするようになり、「あなたはどこにいるのか。」という質問に私たちが直面するまで続きます。そしてもしその場所に留まるなら、それは私たちが犠牲者だからではなく、私たちがそうすることを選んでいるからだということに気づくのです。

おそらく次の質問を自分にしてみる時間が必要でしょう。あるいはもっと効果的には、以下の質問について、「あなたはどこにいるのか」と神に質問していただきましょう。

- 私には罪があるか。何が原因か。(たとえそれが小さなことでも、ほとんどの人は人生のどこかで恥を経験しています。そしてもし恥があると、基本的な問題が解決されません。約束が守れなかったり、罪のない嘘のように些細な事で、恥が生まれます。)
- 私は恥のために身を引いているだろうか。何かを避けているだろうか。
- 私は自分の行動の責任をとるべきなのに、何かのことで誰かを責めているだろうか。時々、難しい状況のゆえに神を責める人がいます(「これが私の運命なのだ。」というように)。実際には神は、よりよい場所に導きたいと思っておられるのです。

## 決心し、行動する

今日のテーマは、扱うのに難しいかもしれませんが。しかしこの教材の著者は、神が問題への完全な、絶対の答えをお持ちであるという深い確信をもってこの主題を扱ったことを理解してください。事実、アダムとエバに本当にあったことは、今日の私たちにも本当のことなのです。神だけが、恥の問題を解決することがおできになります。

もしこの学びの最後の部分を読むと、神が恥の原因である罪を、イエスの十字架で完全に取り除いてくださったことがわかります。恥は、神をまだ知らない人たちと同じように、神に従っている人たちの問題でもあり得ます。あなたの状態が何であれ、もし恥を抱えているならば、神と共に解決することを後回しにしないでください。この学びの後ろにある箇所へ行き、神があなたを訪れるようにしてください。

## 参照

- *Shame from a Biblical Perspective* (InterVarsity Christian Fellowship/USA, 2006). (<http://www.intervarsity.org/ism/article/503>) Retrieved October 5, 2006.
- *Life Recovery Bible*, New Living Translation. According to the Amazon.com blurb, “Designed for both the Christian who is seeking God’s view on recovery and the non-Christian who is seeking God and answers to recovery, the Life Recovery Bible will lead readers to the source of true healing—God himself. The features of this best-selling Bible were brought together by two of today’s leading recovery experts, David Stoop, Ph.D., and Stephen Arterburn, M.Ed.” (<http://www.amazon.ca/Life-Recovery-Bible-Nlt-David-Stoop/dp/084233341X>). Retrieved October 5, 2006.
- Bruce Thomas, *The Gospel for Shame Cultures: A Paradigm Shift*. For further reading in more depth on this area of shame and the gospel, this article appeared in the July 1994 Evangelical Missions Quarterly. (<http://guide.gospelcom.net/resources/shame.php>). Retrieved October 5, 2006.

<sup>1</sup> *Shame [Definition]*. (© Merriam-Webster Online Dictionary, 2006). (<http://www.m-w.com/dictionary/shame>). Retrieved October 19, 2006.

# 問題以前の神の解決策

## 3章 20課



神である主は蛇に仰せられた。「おまえが、こんな事をしたので、おまえは、あらゆる家畜、あらゆる野の獣よりも呪われる。おまえは、一生、腹ばいで歩き、ちりを食べなければならない。わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかとかみつく。」

——創世記 3:14, 15

神である主は、アダムとその妻のために、皮の衣を作り、彼らに着せてくださった。

——創世記 3:21

そこで神である主は、人をエデンの園から追い出されたので、人は自分がそこから取り出した土を耕すようになった。こうして、神は人を追放して、いのちの木への道を守るために、エデンの園の東に、ケルビムと輪を描いて回る炎の剣を置かれた。

——創世記 3:23, 24

神は受け入れられる覆いとして、動物の皮の衣をおつくりになりました。しかし、それはただ部分的救済であり、罪を取り除くことはありませんでした……。彼らはその時には分かりませんでしたが、それは人類を罪から解放するために神が支払われる代価のひな型でした。神はアダムとエバを、いのちの木から食べた後、地上を永遠に歩まないように、いのちを十分に知らないまま、園から追放なさいました。サタンに関しては、神は裁きを宣告されました。その裁きの中に、エバの子孫を通して神はある日、サタンを永遠に打ち滅ぼすために救い主をお送りになるという最初の約束があります。

——「ザ・ホープ」3章

## 観察し、考える

人生ではしばしば、よい知らせが来る前に悪い知らせを聞かなければなりません。3章の最初の4課で、悪い内容——サタンと罪——を取上げました。しかしこの章の最後のレッスンに曲がり角があります。この部分で(この学びを通してみるように)、神には曲げることの出来ない麗しいご計画があることが示されます。

先に進む前に、ザ・ホープからの先の引用と聖句を読んでみてください。それからそれぞれの聖句で鍵となるポイントを考えましょう。

創世記3:14, 15——ここで神がサタンに宣告された裁きについて考えます。この裁きの最後の部分で、この時点では十分意味をなさないあることを神は語っておられます。しかしその意味は、神の歴史を通して考える時、次第に明らかになって行きます。神は女の子孫から来るある方のことを語

っておられます。彼はサタンに傷つけられますが、この約束された方からもっとひどい傷——頭の傷をこうむります。神の歴史を更に読み進むと、このお方がある日サタンと罪を死の世界から自由にすることを知ります。聖書では、このお方はまたキリスト、メシヤとして知られています。ローマ16:20(と他の節)には、彼のサタンに対する勝利が書かれています。「平和の神は、速やかに、あなた方の足でサタンを踏み碎いてくださいます。」

創世記3:21——神が究極の勝利を約束して下さいましたが、アダムとエバは依然として恥に対応しなければなりません。自分たちの作った覆いは十分でなく、神が作ってくださったもう一つの覆いを受けました。この備えによって、恥と云う当面の問題が解決しました。それは又、再び死を前にして必要となる覆い……約束の救い主によって備えられる人類の罪への完全で最終的な覆いを予測しました。

創世記3：23, 24——最後に神がアダムとエバを園から、いのちの木から追放された場面を考えます。彼らが戻れないように神は天使たちを入口に立たせました。このことは、すばらしい結果をもたらす筈の出来ごとの悲劇的結末の様に見えます。でも考えてみてください。もしアダムがいのちの木の所に戻ってきて食べたなら、どんなことが起こったでしょうか。自分たちを汚染した罪に縛られたまま、永遠に生きることになったでしょうし、人類への神の計画は妨げられてしまったことでしょう。それは、神にとって許されないことだったのです！

裁きにおいても、神は憐れみ深い方なのです。

今日のレッスンで見たことは、サタンの罪の呪いから人類を永久に解放する神のご計画でした。神の歴史の最後のページにたどり着く時、神は創造前からこの計画を持っておられたことが分かるでしょう。言い換えれば、問題が起きる以前から、神には解決策があったのです。

## 質問し、黙想する

- 私たちがこの課で学んだ聖句は、神について何を教えていますか。
- あなたの人生で、望みのないように見えるものがありますか。あなたの状況に神は驚かれないと思いますか。あるいは神はすでにあなたを救い出す計画を持っておられるということがあり得るでしょうか。

## 決心し、行動する

神の歴史を学ぶ過程で、私たちがこのスタディガイドで学んだ多くのことが、より大きな意味を持ってきます。ある人々は、神と自分の人生への神のご計画について、あまりにも早くあきらめてしまいます。これまで神について学んできたことをしっかり保っててください。神があなたの状況の中でどのように働いておられるかがわからないからという理由だけで、神について直ぐに諦めてしまわないでください。神にはご計画があることを確信してください！

# いかに速く罪が広がったか

4章 21課



「しかし、カインはアベルに話しかけた、『野に行こうではないか。』そして、ふたりが野にいたとき、カインは弟アベルに襲いかかり、彼を殺した。

——創世記4:8、

「地は、神の前に墮落し、地は、暴虐で満ちていた。」

——創世記6:11

アダムとエバの子孫が増えた時、罪もまた増えました。

——ザ・ホープ 4課

## 観察し、考える

「エイリアン」というSF映画で、宇宙旅行の一団が、邪悪なエイリアンの住む惑星にやって来ます。エイリアンとの恐ろしい出会いの後、一行は災難を逃がれ、無傷で旅を再開したように見えます。表面的には普通に見えましたが、実際にはエイリアンが一人の乗組員の体に侵入していました。乗組員と一緒に食事をしている時、全く思いがけない時に、感染した乗組員の中でふ化していたエイリアンが、その殻を破ってスクリーン中にとび散るのです。

映画の描写は恐ろしいものでしたが、人間を汚染している罪という「エイリアン」の力ほどには恐ろしいものではありません。アダムという「エイリアン」の力ほどには恐ろしいものではありません。アダムとエバは「産めよ。増えよ。」(創世記1:28)という最初の神の命令を、もう一度やり直すために園を去りました。しかし彼らは罪に汚染されており、幾分普通に見えましたが、そうではありませんでした。罪の醜さが表面に出るまでに、一世代もかかりませんでした。アダムとエバの長男カインは、野蛮にも弟のアベルを殺しました。

11世代のうちに(創世記5章に挙げられています)、「神が地をご覧になると、実に、それは墮落していた。すべての肉なるものが、地上でその道を乱していたからである。」とあります。(創世記6:11)そして神は「心を痛められた」のです。(創世記6:6)

罪が世の中に非常に速く広がるその広がり方を考える時、簡単なたとえを見てみましょう。ほとんどの人はドミノ—それぞれ表面に違う数の点がある小さい直角のタイル—をよく知っています。もしドミノに親しんでいればおそらく人々が小さい柱のように一列に並んでいるのを見たことがあるでしょう。最初のドミノが倒れると、連鎖反応が起こり、次のドミノその次のドミノと次々に倒れてゆきます。

これまでで一番大がかりなドミノ展示のひとつは、3800万のドミノ倒しでした。100人の作業員が一日8時間3ヶ月かかってドミノの展示をつくりあげました。51の異なる連結のプロジェクトが含まれていました。それぞれが非常に複雑で微妙に均衡を保っていました。最初のドミノが倒されるや否や、連鎖反応はすぐに考えられるあらゆる方向に広がりました。ほんのわずかの時間で、残ったものは巨大な混乱状態だけでした。

神は世界を、そのドミノ倒しの展示よりもはるかに複雑に、相互依存し合い、微妙に均衡を保つように造られました。しかしその展示のように、最も小さな間違った動きでさえ被造物全体にさざ波を立てる結果を及ぼすのです。無限の神に反する一番小さな罪が、無限の結果をもたらすと言われます。

## 質問し、黙想する

上記の二つの例は、実際には不適切かもしれないが、罪がどのように広まるかを理解する上で助けになります。表面的にはすべてのことが正常に見えるかもしれませんが、もし見過ごしてしまえば、最も小さな罪でも成長し、驚くべき速さで広まり、それが触れるすべてのものに滅びをもたらします。今日見た聖書の箇所は二つの例と異なり、そのことを適切に物語っています。

今日学んだことは、罪の重大性を見る見方に影響を与えますか。もしそうなら、どのようにですか。

今あなたが、ドミノ展示を倒す役だと想像してください。最初のドミノを倒した瞬間、展示の責任者が「待ってください、まだです!」と言いました。あなたはこの時何をすることができますか。もし解決策があるなら、以下のようなものでなければなりません。 (1) おどろくほどの速度で広がって行くその問題を即座にくい止めること。 (2) すでに起こっている被害を元に戻すこと。

このような解決は、人間的には不可能です。

世の中の罪の問題は、この例えに描かれたジレンマよりずっと複雑で絶望的です。しかし私たちにも、問題の拡がりをくい止め、結果を戻す罪への解決策が必要です。ありがたいことに、神はその解決策を備えてくださいました。

## 決心し、行動する

もしこれまで、あなた自身の罪への性向、罪から離れるための無能力さについて考えたことがなければ、今考えてください。罪は、個人的に表われる「国際的」問題です。かつて「世界で何が間違っているのか」について話すように求められ、イギリス人作家G.K.チェスタートンは、「私が間違っています。」と答えました。

ローマ7:15-25にある使徒パウロの言葉を読み、同じ考えをどう表現しているかを見てください。そしてパウロが何を自分の罪のための解決策であると信じていたか見出し、教えてください。

<sup>1</sup> *Alien*, Directed by Ridley Scott, Produced by 20th Century Fox and Brandywine Productions Ltd., 1979.

<sup>2</sup> Edward Payson, *Our Sins, Infinite in Number and Enormity* (Sermon No.7). ([http://www.pbministries.org/articles/payson/the\\_works\\_vol\\_2/sermon\\_07.htm](http://www.pbministries.org/articles/payson/the_works_vol_2/sermon_07.htm)) Retrieved October 6, 2006. "...we must acknowledge that our wickedness is great, and our iniquities infinite, –absolutely numberless. It is further necessary to show, that our sins are infinite, not only in number, but in criminality; that every sin is, in fact, infinitely evil, and deserving of infinite punishment. It is so, because it is committed against an infinite being, against God, a being infinitely powerful, wise, holy, just and good." Payson uses Job 22:5 as the basis for this sermon: "*Is not your wickedness great, And your iniquities without end?*"

<sup>3</sup> Scott Phillips, *Front Page Reflection*. (Reformed University Fellowship of Tennessee Tech University, 2006). (<http://orgs.ntech.edu.ruf/pages>). Retrieved December 19, 2006.

# そして神は悲しむことを「良し」とされた

4章 22課



「人にはおのおの、負うべき自分自身の重荷があるのです。みことばを教える人は、教えてくれる人とすべての良いものを分け合いなさい。」

—— ガラテヤ6:5,6

地は悪で満ち、神は悲しまれました。

—— ザ・ホープ 4章

## 観察し、考える

前の課で、アダムとエバの後の世代で、罪がどのように急速に地上で増えていったかを考えました。今日創世記6:6に記録されている、このことに対する神の応答を考えます。しかし神がこの節を通して何を語られるかを知る前に、そこで語られていないことをはっきりさせましょう。

「それで主は、地上に人を造ったことを悔やみ、心を痛められた。」という箇所は、色々な見方で理解することができます。たとえばある人はこう言うかも知れません。「この混乱、私のせいでごようになってしまっただけで済ませよう。」と。それによって意味しているのはこういうことです。「この状況になるために自分がしたことを、しなければよかったと思う。」とか「もう一度やり直すことができるなら、違ったようにするだろう。」ということです。こういった考え方をあてはめるなら、創世記6:6を読んで、神は悪い決定をしたかのように、ご自分のしたことを悔いておられると結論づけることになるでしょう。

私たちはこのように結論づけることはできません。以下がその理由です。聖書はそれ自体決して矛盾していません。どの節も、常に聖書全体に照らして考えるべきです。聖書全体が神について語っていることを理解する時、以下のことを学ぶことが出来ます。

- 神の道は完全です。(申命記32:4) 神は失敗なさらないので、人間をお造りになったことが間違いだったはずがありません。
- 神はすべてのことをご存知です。(詩篇139:16) アダムとエバが造られる以前から人類の罪を悲しみ憂えることになるのをご存知でした。

ですからこの節は何を語っているのでしょうか。神が悲しみ心を痛められたことの意味は、神に感情があることを示しています。実際聖書はしばしば神の感情を表現しています。さまざまな時に、神は悲しみ(詩78:40)、怒り(申命記1:37)、喜び(第一列王3:10)、楽しみ(ゼパニヤ3:17)、憐みに動かされる(士師記2:18)と記されています。しかし無限のお方である神の感情を、誰が本当に理解できるのでしょうか。

原典で「主は…心を痛められた。」という箇所は文字通りには「主は…心まで痛められた。」と読めます。言い換えれば、神は世の悪をご覧になって「心に至るまで」痛められたということです。聖書の一つの訳(NIV)ではこの節を、「神の心は痛みで満たされた。」と訳しています。

今、感情を持たれた神についてのこの見方を、完全で全知であるお方の姿と重ね合わせてください。神は、人間をお造りになった結果として、このように深く心が痛むことになるのをご存知でした。そして実際に痛みを感じられました。それだけでなく、そうしようと意図されたように、間違いなくそうなされたのです。しかし神はなぜそのようなことをなさるのでしょうか。

13課で神の愛を学び、愛が含まれていないことは何もなさらないと結論を出しました。15課で神は完全な計画一つに悪の存在しない世界になるという計画一を持っておられるのを見ました。なぜ神がこのような痛みをあえて引き受けられたのかという質問に、完全に答えることはできないかもしれませんが。しかしその答えは、想像を超えた神の愛と、神の完全な計画に関係しているものだということがわかります。

## 質問し、黙想する

神はとても偉大なお方で、私たちの理解をはるかに超えておられます。ですから神が地上の悪をご覧になって悲しまれたほどに、私たちのどの様な行為が神を深く悲しませる結果を招くのか想像するのは難しいことです。しかし「無限の神に対する最も小さな罪には、無限の結果がある。」という21課のことばを思い出してください。私たちの最も小さな罪でさえ、計り知れないほど神を悲しませるということもまた真実ではないでしょうか。

- 神が感情を持っておられるお方として見ることは、神に対する見方を変えますか。もしそうなら、どのように変えますか。
- 結果として痛みがあることを御承知の上で、神はあえて人間をお造りになったということは、あなたにとってどんな意味がありますか。

## 決心し、行動する

ある人々は、神を全く無視して人生を過ごします。ある人はただ、神が求めておられると信じる境地に達しようとし、しかしある人はさらに多くを求めます。その人たちは、神の心を知り、褒め讃えたいと思います。だれかを知れば知るほど、何がその人の心に喜びをもたらすかがわかるようになります。神の心をどのくらいよく知っているでしょうか。何が神に喜びをもたらすかがわかるほど、神をよく知っていますか。もしそうでないなら、神をもっとよく知りたい、神に喜びをもたらしたいというあなたの願いを、神に伝えてください。

## 参照

- William A. Simmons, *Grief, Grieving*. (From Baker's *Evangelical Dictionary of Biblical Theology*, 1996 by Walter A. Elwell). (<http://bible.crosswalk.com/Dictionaries/BakersEvangelicalDictionary/bed.cgi?number=T313>). Retrieved October 6, 2006.

<sup>1</sup> *Lexicon and Strong's Concordance Results for 'el (Strong's 0413)*, from The Blueletter Bible, 1996–2002. (<http://www.blueletterbible.org/cgi-bin/strongs.pl?book=&chapter=&verse=&language=H&strongs=0413>). Retrieved on October 6, 2006.



# 裁きの中でさえ安全

## 4章 23課



神に従ったノアという名前の人がいました。神は箱舟と呼ばれる巨大な舟を建造するように細かな指示をノアに与えました。それから神は、すべての種類の動物の雄と雌を、箱舟に入るよう送り込みました。ノアと家族が箱舟に入った後、神は箱舟の扉を閉じられました。それから神は40日間昼夜雨を降らせ、全地が洪水となり、地上の生き物はすべて滅びました。しかしノアと家族と動物たちは、箱舟の中で安全でした。ついに水が引いた時、箱舟は山の上にとどまり、動物たちは箱舟から外へ出ました。ノアと家族は、世の悪への神の裁きから免れました。それは罪がなかったからではなく、神を信じたからです。

——「盼望」影片，第四章

## 観察し、考える

ノアのできごとは、正に驚くべきことです。懐疑(かいぎ)論者は作り話だと言います。しかし世界のあらゆる地域の古代文明において、世界の洪水の話がたくさんあります。H.S.ベラミーは「月、神話、人間」の中で、500以上の洪水の伝説が世界中にあると推測します。

聖書ではこのできごとは創世記6章から9章に記されています。何冊もの本がこの章に関して書かれていますが、今日の学びのために、三つの題目に焦点を合わせます。

### 1. 神の裁き—聖い品性の結果

前の課で創世記6:6から、神が人類の罪を深く悲しまれたということを知りました。創世記6:7で、神が人間を地上から「消し去る」計画であることを読みました。先ず最初に、7節の人を消し去る神のご意思は、6節の神の悲しみによってもたらされたものだと思えるかもしれません。神は人に失望して、忍耐を失われたかのように見えるかもしれません。しかしそれが真実なのでしょうか。

私たち人間は、期待が外れると失望します。しかし時間と空間の次元を超えた神は、未来をご存知です。(6課の聖句を見てください。)

神が期待されることは、起こることなのです。起こることは、神が期待されたことなのです。ですから神が失望するとはどのようなことでしょうか。

神が忍耐を失われるということはどうでしょう。聖書を学ぶと、裁きが直ちに行われないのは、神の驚くべき忍耐の故であることがわかります。(第二ペテロ3:9) 裁きは神がお決めになる時に起こり、1秒前でも後でもありません。(使徒17:31) 神の裁きは、悲しみや失望や忍耐をなくしたことによるものではありません。裁きに伴う神の品性は、聖さ以外の何物でもありません。

神は聖く、義で、正しいお方です。神は罪を犯さず、罪を見逃すこともおできになりません。もし神が罪を許容するなら、聖いお方ではなくなってしまいます。神は裁きをなさるか、そうでなければご自分の品性を曲げなければなりません。

### 2. ノアの信仰—ノアを区別した一つのこと

18課で学んだように、アダムを通して世に蔓延した罪は、生存するすべての人に広がりました。ノアも同じです。ですからもしノアの時代の人々が自分の罪のゆえに裁かれたのなら、(同様に罪に汚染されていた)ノアはどうして助かったのでしょうか。

20課で、ある日、人間をサタンと罪と死から自由にする救い主を送るといふ、神の約束について学びました。ノアがこの約束の意味を理解していたかどうかに関わらず、一つのことであるように思えます。ノアは神を救い主として信頼していたことがわかります。彼の信頼は、服従によって明らかになりました。

た。同時代の人々からノアが区別された理由は、神への信仰だったのです。(ヘブル11:7)

### 3. 神の備え—救われる唯一の道

アダムとエバが罪を犯した時、神が彼らのために被り物を備えられたことを思い出してください。同様に、世界を滅ぼす大洪水からノアの家族を守る箱舟のつくり方を教えることで、神はノアのために備えをされました。世界中で洪水を生き延びた者は他に誰も居ません。神の備えだけがノアと家族を救うことができたのです。それは救われるための唯一の方法でした。

聖書では、ペテロの第二の手紙が今日の世の罪深さをノアの時代と比べています。神がなぜ私たちの世界を裁くのを遅らせておられるのか、第二ペテロ3:9が告げています。それは神が、「あなたがたに対して滅びることを望まず、すべての人が悔い改めるようにと望んでおられるのです。」「悔い改め」という言葉は文字通りには、もう一度考える、思いを変えるという意味です。神は人々に、もう一度自分の道を考え神に信頼する機会を与えたいと思っておられるので、私たちの世界をまだ裁いておられないのです。

神は忍耐深いお方ですが、それを当然のこととやってしまっはなりません。神の裁きは即座であるかもしれないしそうでないかもしれませんが、必ずやって来ます。神の聖い品性がそれを要求するのです。「思い違いをしてはいけません。神は侮られるような方ではありません。人は種を蒔けば、その刈り取りもすることになります。」(ガラテヤ6:7)

## 質問し、黙想する

ノアの系図を詳述する聖書箇所を学ぶなら、少なくとも70年間ノアは箱舟を作るために働いたと推定されます!洪水の前に雨が降り続いたという記録がないことも考えてください。神の歴史によれば、地の植物は「地から湧き出て」(創世記2:6)いた霧によって水を得ていました。そのことを思うと、ノアは、まだだれも見つけない洪水を予期して、少なくとも70年間舟のために働いたのです。

- ノアの時代の人々は、ノアの70年「箱舟計画」について何を考えたか想像しますか。
- 時期を得て目標が達成されない時、ライバルに出会って失望することがありますか。
- もしノアの立場にいたなら、何をしたらと思いますか。
- 第二ペテロ3:9に、あなたはどのように反応しますか。

## 決心し、行動する

もし神が、あなたに何かするようにお求めになるなら、ノアを見習ってください。信頼し、従ってください!生活のある部分を「再考する」ように求められたら、後回しにしないで、直ぐに従ってください。

<sup>1</sup> H. S. Bellamy cited in the article *Flood Legends from Around the World*, Northwest Creation Network. (<http://www.nwcreation.net/noahlegends.html>). Retrieved October 6, 2006.

<sup>2</sup> Blue Letter Bible. *Vine's Expository Dictionary of New Testament Words for Repent, Repentance.* 1996–2002. ([http://www.blueletterbible.org/cgi-bin/new\\_choice.pl?string=Repent%2C+Repentance&live\\_word=Repent%2C+Repentance&choice=VT0002364&Entry.x=51&Entry.y=13](http://www.blueletterbible.org/cgi-bin/new_choice.pl?string=Repent%2C+Repentance&live_word=Repent%2C+Repentance&choice=VT0002364&Entry.x=51&Entry.y=13)). Retrieved November 9, 2006.

<sup>3</sup> *How Long Did It Take Noah to Build the Ark?* (© Copyright 2002–2006 Got Questions Ministries). (<http://www.gotquestions.org/Noahs-ark-questions.html>). Retrieved October 6, 2006.

# 生めよ、ふえよ… あるいはそうでなく

4章 24課



「それで、神はノアと、その息子たちを祝福して、彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地に満ちよ。」

— 創世記9:1

「さて、全地は一つのことば、一つの話しことばであった。そのころ、人々は東のほうから移動して来て、シナアルの地に平地を見つけた。そこに定住した。…そのうちに彼らはこう言うようになった。『さあ、われわれは町を建て、頂が天に届く塔を建て、名をあげよう。われわれが全地に散らされるといけないから。』」

— 創世記11:1、2、4

ついに水が引いた時、箱舟は山の上にとどまりました。動物たちは自分たちで出てゆきました。ノアと家族は、世の悪への神の裁きを免れました。罪がなかったからではなく、神を信じたからです。神はノアと息子たちを祝福して言われました、生めよ、ふえよ、地を満たせと。ノアの子孫の数は大いに増えましたが、一つの民族にとどまりました。神が命じたようには地を満たしませんでした。かわりに都市を建て、天に届くような塔を建てました。神はお喜びになりませんでした。

— ザ・ホープ 4章

## 観察し、考える

新しい出発を望んだことがありますか。洪水の後でノアと家族は、人類史上最も注目すべき再出発を経験しました。自分たちの人生の全く新しい歴史を始めるための、何も書かれていない石板を持っていたのです。さらに神は彼らの繁栄を約束して祝福を語られました。(創世記9:1、7)それから神は洪水で世界をもう二度と滅ぼすことはしないと約束なさいました。そして最初の虹でその約束を保証なされたのです。(創世記9:13-15)

何という更新の約束でしょう。しかし不幸にもそれは実現しませんでした!神はノアと家族に地を満たすように言われました。そのかわりに彼らは一か所に集まり都市を建てたのです。一つの場所で一つの民族でありたいと願ったのです。しかしそれは神の望まれることではありません。次の課で彼らの不服従への神の応答を見ます。しかし今日は、この祝福の道を歩むという信じ難い素晴らしい機会を、どうして彼等は失ってしまう結果を招いたのかを考えましょう!

神の歴史によれば、ノアと家族は第二の月の第二週に箱舟に入りました。次の年の第二の月の27日に箱舟を離れました。(創世記8:14、15)365日の大陰暦を考えてみても、ノアと家族

は一年中ずっと箱舟にいたことになるでしょう!先に進む前にそのことを考えておきましょう。

ついに箱舟から降りた時、どんな気持ちだったでしょう。ほとんど一年中すべてのものが水面下にあった後で、地上に彼らは何を見たのでしょうか。それは奇妙な、恐ろしい光景で、超現実的でさえあったのでしょうか。

彼らがどんなものを見たにせよ、すべての人の中でノアと家族は神に従う準備ができていたはずでした。

- 全世界で彼らだけが、洪水の時も神に守られていた。
- 彼らは個人的に神の声を聞き、神が驚くべきことをなさるのを見た。
- 神は、彼らに実りある人生を送るという祝福を与えた。

神を特別に信頼し、神の真実を経験した後だったにもかかわらず、ノアの家族は神が命じた通りにすることを怠りました。注意深く聞かなかつたのか、あるいは聞いたのに従わなかつたのか。数には安全があるという諺をおそらく聞いたことが

あるでしょう。おそらく彼らは恐怖心から、一緒に大勢で居た方が安全と思ったのでしょう。どのような理由であるにせよ、彼らは神に従いませんでした。彼らは地を満たそうとはしなかったのです。

今日の課から、以下のことを考えてください。

- 神はノアと家族に、繁栄して地を満たしてほしいと思われました。(創世記9:1)それが神の祝福を見出す道でした。しかし祝福への道は、彼らには祝福の見えませんでした。その人々は、全地に「散らされる」ことを恐れました。(創世記11:4)地を「満たす」こと(神がお命じになったように)と全地に「散らされる」こととの違いは、根本的には見方の違いであり、選択するか強制されるかの違いです。
- 彼らは名をあげたかったのです。(創世記11:4)その誇りに満ちた動機は、サタンの墮落を招いた態度によく似ているように思えます。(14課)
- 彼らは神に従いたくなかったのですが、依然として天国には行きたかったのです。そして自分たちのやり方でつまり塔を建てることでそうしたかったのです。(創世記11:4)

## 質問し、黙想する

- ノアと家族は、神の業をあれほど多く見、体験した後で、どうして神の指示に従えなかったと思いますか。
- 神の求められたことが、最初は祝福には見えなかったけれども、最後には祝福であることがわかったという状況について、考えることができますか。
- 天国に行きたいけれども、神の方法ではなく自分の方法で行きたいという人に、何と言いますか。
- ノアの霊的な「後退」について理解できますか。今日のあなたよりも、もっと徹底的に神を信頼した時があったと思いますか。なぜですか。もしそうなら、何が起こったのでしょうか。

## 決心し、行動する

前の課で、箱舟を造った時のノアのように神を信頼し、従うように励ましを受けました。しかしノアの残された生涯を考えると、そこに明らかな警告があります。信頼し、従うことをやめないでください。もし霊的に怠けているなら、直ぐにでそのことを告白してください。

バベルの人々は天に届く塔を建てました。同じように歴史を通じて人々は、天に行くために自分の方法や宗教を築き上げました。天に行くにはたった一つの道しかありません…それは神の道です。

## 参照

- Jimmy Williams, *Why a Moral Life Won't Get Us to Heaven* (Probe Ministries, 1998). (<http://www.leaderu.com/orgs/probe/docs/moralife.html>). Retrieved October 9, 2006.
- *World Religions Index Table on Major World Religions* (Probe Ministries, 1995–2006). (<http://www.leaderu.com/wri-table2/table2.html>). Retrieved October 9, 2006. This site provides a more comprehensive exploration of the beliefs of major world religions across a grid of subjects (such as God, Man and the Universe, Salvation and the Afterlife, Morality, and Worship). Links to data on Biblical Christianity, Buddhism, Hinduism, Islam, Judaism, and Primitive Religion.

<sup>1</sup> *How Long Did It Take Noah to Build the Ark? How Long Was Noah on the Ark?* (<http://www.gotquestions.org/Noahs-ark-questions.html>). Retrieved October 8, 2006.

<sup>2</sup> *How Major Religions View Salvation and the Afterlife*. (Probe Ministries, 1995–2006). NOTE: Taken from: *The Spirit of Truth and the Spirit of Error 2*. Compiled by Steven Cory. (Moody Bible Institute of Chicago. Moody Press, 1986). (<http://www.leaderu.com/wri-table2/salvation.html>). Retrieved October 8, 2006.

# 民族の始まり

## 4章 25課



その内彼らはこう言うようになった。『さあ、われわれは町を造り、頂が天に届く塔を建て、名をあげよう。われわれが全地に散らされるといけないから

——創世記11:4

それゆえ、その町の名はバベルと呼ばれた。主が全地のことをそこで混乱させたから、すなわち、主が人々をそこから地の全面に散らしたからです。

——創世記11:9

ノアの子孫の数は、非常に増えましたが、一つの民族のままでした。神がお命じになったようには地を満たさず、かわりに都市をつくりました。それから天に届く塔を建てました。神は喜ばれませんでした。そこで神は彼らの言葉を混乱させました。ただちに互いに言葉の通じない、少なくとも70の民族グループが生まれました。それから神はこのグループを地の果てにまで散らされました。それが私たちの世界の言語や民族の始まりでした。

——ザ・ホープ 4章

## 観察し、考える

ノアと家族が箱舟を去った時、神は彼らを祝福して地を満たすように言われました。(創世記9:1,7)しかし、地を満たすかわりにノアの家族はひとつところに集まり、都市を造りました。それから天に届くような塔を建て始めたのです。(創世記11:4)その動機は自分たちの名を成すためであり、地のあらゆる場所に散らされないようにするためでした。

創世記11:5-9で、不従順への神の応答を見ます。神は彼らの言葉を乱され、お互いの話が通じないようになさいました。洪水とバベルの塔建設の間に正確にどれだけの時間が経ったかについては、聖書学者の間に意見の違いがあります。しかし創世記10章の記録から、バベルの塔の時には70家族いたと結論できるでしょう。そこで神が言葉を乱された時、聖書学者は70の異なった言語が話されただろうと推測します。それは全くの混乱であつたに違いありません!塔の建設は突然止み、人々は全地に散らされました。(創世記11:9)

また前の課で、地を満たすようにという神の命令(創世記9:1)と、地の上に散らされる人々の恐れとを対照させたことを思い出してください。神に従わない結果として、創世記11:4で避けようとしていたそのこと(散らされること)が、創世記11:9でまさに起こったのです。(彼らは散らされました。)

今このことすべては大変な混乱に見えますが、すでに神の歴史を通じて多くの時代を見てきたように、神にはご計画があるのです!そのご計画で後ろへの一歩に見えるものは、もし神の見方で見るならば、しばしば本当に前への一歩なのです。

神が言葉を乱さないうちは、全地で一つの言語が話され、同じ言葉が用いられました。(創世記11:1)多くの言語が生まれ、人々が散らされたのは、今日私たちが知っている民族の始まりでした。ところで聖書的な意味では、民族とは地理的な国家のことではありません。言語、文化、部族の血縁関係などの点で他と違った人々のグループのことです。今日世界には何千という民族が居ます。もし聖書の最後の部分にスキップするなら、神の歴史の最高峰である天の光景を見ることが出来ます。(黙示録7:9)そこではすべての民族から、人々が神を礼拝し神を楽しむために集まってくるのです。

今日学んだ歴史より以前には、民族は存在していませんでした。しかしある日、地上のすべての民族が、神を礼拝するために一致して集まるのです!

一致!世界はそれを望んでいます。オリンピックの祭典は、その優雅さの中でヒントを与えてくれます。世界の「家族」はし

ばしばそれを促進します。国際連合はそのために働きます。しかし世界はまだそれを達成していません。ただ神だけが、複雑な罪に汚染された世界の多様性に、一致をもたらすことができになるのです！神がそうなさる時、神がいかに偉大なお方であるかが明白になるでしょう！

## 質問し、黙想する

バベルの人々が一番避けたかったことは、地上に散らされることでした。しかしご自身の目的を達成するために、神は彼らの生活を再度劇的に整えられました。前に見たように神の究極の目的は、従うすべての者を祝福し、ご自身に栄光と栄誉をもたらすことでした。

- 神はあなたの人生で何を再調整しておられますか。
- あなたは神を信頼し従うことによって、神に協力していますか。
- あるいは(天に届く塔を建てた人々のように)自分の力で祝福を達成しようとしていますか。

## 決心し、行動する

神は、あなたの人生を再び導くために、何か劇的なことをなさるかもしれません。しかし結局、神はあなたにご自分の計画に協力することを選ばせるために、あなたの意思を支配しようとは決してなさいません。ご自分の計画に合わせて、機械的に無表情に動く小さなロボットの様になって欲しいとは思われません。ましてや、いつも正しい選択をするスーパー人間に、あなたを造り変えようとはなさいません。

神との生活はダンスのようです。あなたを通して神はご自分を表現なさりたいのです。神の導きに従うあなたを通して、神がどういうお方であるかを人々に分かって貰おうとなさるのです。その結果美しく振り付けられた人生をあなたは体験することになります。神の導きに従うことで、あなたがどのような人間であるかを人々に示してくださるよう、今日神に求めてください。そうして、自分の働きが神のあらゆる働きと親しく一致できるように神に求めてください。

## 参照

- John Morris, *What Happened at the Tower of Babel?* (© The Institute for Creation Research, 2006). (<http://www.icr.org/article/519/2/>). Retrieved October 9, 2006.
- Rick Wade, *The Sovereignty of God*. (© Probe Ministries, 2004). (<http://www.probe.org/content/view/875/77/>). Retrieved October 10, 2006. This article explores the mystery of God's sovereignty and man's will.

<sup>1</sup> Henry M. Morris, *The Biblical Basis for Modern Science, Part 4, Chapter 15– Babel and the World Population: Biblical Demography and Linguistics*. (Baker Books, Grand Rapids, Michigan, 1984). (<http://www.ldolphin.org/morris.html>). Retrieved October 9, 2006.

<sup>2</sup> Claude Hickman, *What Is a People Group?* (<http://www.thetravelingteam.org/2000/articles/pg1.shtml>).

Retrieved October 8, 2006. "In the New Testament, the Greek word for "nations" is the word "ethne." We get our word ethnicity from it. It means something like an ethnic group. The idea is much more specific than the political nation-states we think of such as Indonesia, Turkey, or Nigeria. An anthropologist would call this "ethne" a "People Group." A people group is the largest group within which the gospel can spread without encountering barriers of understanding or acceptance due to culture, language, geography, etc."

<sup>3</sup> *Global Summary*. (Joshua Project, A ministry of the U.S. Center for World Mission, PO Box 64080, Colorado Springs, CO 80962 USA ) (<http://www.joshuaproject.net/index.php>). Retrieved October 9, 2006.

# アブラハム—— 信仰によって歩んだ人

5章 26課



主はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、わたしが示す地へ行きなさい。そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとしよう。あなたの名は祝福となる。あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたを呪うものをわたしは呪う。地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。

——創世紀12:1-3

信仰によって、アブラハムは、相続財産として受け取るべき地に出て行けとの召しを受けたとき、これに従い、どこに行くのかを知らずに、出て行きました。

——ヘブル11:8

地上の国々の中から、アブラハムとして知られるひとりの人を、神は召しだしました。神はアブラハムに家を離れるように、ご自身が示す地に行くように言われました。アブラハムは家族と持ち物を取り、神が言われる通りにしました。神は、アブラハムがその土地を所有し、大いなる国民の父になると約束なさいました。アブラハムを通して地上のすべての国民が祝福される、それは奇妙な約束でした。というのは、アブラハムと妻サラには子供がなかったからです。しかしアブラハムは神に従いました。そして家族をカナンの地に導きました。

——「盼望」影片、第五章

## 観察し、考える

前の課で、どのように神が世界の国々をもたらしただのかを見ました。また神の計画は、ついには国々に一致と祝福を、神には栄光をもたらすことを学びました。この課では、その目的に向かって非常に重要な一歩を記す出来事を考えます。

すべての民族の中から、神はアブラハムという名の一人の人を召し出されました。神の声を聞いた時、アブラハムがどのようにサラに話したかは、ただ想像するのみです。

アブラハム——荷物をまとめて、家を出るよ。

サラ——なぜそうするの。

アブラハム——神様が仰ったからさ。

サラ——なぜそう仰るの。

アブラハム——神様が私を、大いなる国民の父にして下さるんだ。そして私を通してすべての国民を祝福して下さる。

サラ——でも私たちには子供がいないわ。

アブラハム——わかっている。

サラ——それに私たちは若くないし。

アブラハム——わかっている。

サラ——それでどこへ行くの。

アブラハム——わからない。

アブラハムには行動の基となるものは何もありませんでした、……神への信仰以外の何も。しかし神がとるように言われた一歩を取ったのです。そして今日アブラハムは、世界三大宗教(イスラム教、ユダヤ教、キリスト教)の父として知られています。アブラハムは、疑いもなく、歴史を通じて最も重要な人物の一人です。彼の名は聖書に260回以上、大いなる信仰の模範として出てきます。

この出来事から、アブラハムの信仰について二つのことを見てください。

1. 神は、アブラハムの信仰の歩みを始めた方でした。神はアブラハムに家を出て旅に出るように言われ、彼を大いなる国民の父とし、すべての国々を祝福すると言われました。アブラハムは自分の考えを夢見て、「もしそのために十分信じれば(十分働けば)実現する。」と言ったものではありませんでした。聖書はヘブライ人への手紙11:1で、信仰は「目に見えない

ものを確信させるものです。」と述べています。アブラハムは、見えない将来について、神からの確信を得ました。それが聖書的な信仰です。アブラハムは神からの約束を受けとり、それを信じ、それに基づいて行動したのです。

2. アブラハムは一度に一步、神に応答しました。第二コリント 5:7で、神に信頼する人は、「見るところによってではなく、信仰によって歩んでいます。」と言われます。歩みには一度に一步が求められます。アブラハムは信仰の旅が終わるところ(すべての国々への祝福というような)について神からの確信を得ましたが、どう展開するかについては全く分かりませんでした。アブラハムはただ神が示しておられる次の一步——家を離れて他の地へ旅すること——が分かったただけだったんです。

## 質問し、黙想する

- ノアの信仰(23課)とアブラハムの信仰には、どのような類似点があると思いますか。
- アブラハムの立場にあったなら、神の召命にどのように応答したと思いますか。
- アブラハムが応答したように神に応答するには、何が必要ですか。

## 決心し、行動する

エペソ2:10には、私たちは「良い行いをするために」神によって造られた、「神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをもあらかじめ備えてくださった」とあります。この節で神が、あらかじめ良い行いを備えてくださったお方であると言われていることに注目してください。それは神によって始まっています。アブラハムのように、私たちは自分の目的を夢見でつくり上げません。それを実現させるのも、確かに私たちの役目ではありません。私たちの役割は、アブラハムのようにその中を一步ずつ歩むことなのです。

アブラハムは神の召命が聞こえるために、聞いていなければなりません。また神を知らなければ、そのみ声を認めることはできません。神を知ることについてもっと知りたければ、このスタディ・ガイドの終わりにある「神を知る」の箇所に行ってください。

もし神が何かをするように(働きのために備える、新しい仕事を探す等)あなたを召しておられると信じるなら、最後のゴールについて心配しないでください。最初の一步を示してください。最初に神に求め、それから信仰によってその一步をとってください。

## 参照

- M. G. Easton, *Abraham*. (Illustrated Bible Dictionary, Thomas Nelson Publishers, 1897). ([http://www.biblegateway.com/resources/dictionaries/dict\\_meaning.php?source=1&wid=T0000054](http://www.biblegateway.com/resources/dictionaries/dict_meaning.php?source=1&wid=T0000054)). Retrieved from GospelCom.Net on November 10, 2006.
- Dr. Charles Stanley, *What Is Faith?* (© In Touch Ministries, 2006. From The Charles Stanley Handbook for Christian Living, © Thomas Nelson Publishing, Nashville, Tennessee, 2006). ([http://www.intouch.org/myintouch/exploring/bible\\_says/faith/faith\\_150026.html](http://www.intouch.org/myintouch/exploring/bible_says/faith/faith_150026.html)). Retrieved October 10, 2006.
- John Piper, *The Faith of Noah, Abraham and Sarah*. (© Desiring God Ministries, 1997). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1997/1001\\_The\\_Faith\\_of\\_Noah\\_Abraham\\_and\\_Sarah/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1997/1001_The_Faith_of_Noah_Abraham_and_Sarah/)). Retrieved October 10, 2006.

<sup>1</sup> *Abraham*. (<http://www.answers.com/topic/abraham>). Retrieved October 10, 2006.





頼したので、律法に関して正しいと認められたのです。神はやがて、サタン・罪・死を永遠に克服される救い主をこの世に送ると約束されました。このことについて20課のアダムとエバの学びを思い出してください。アブラハムは、罪から神が自分をどうお救いになるのか知る必要はありませんでした。しかしアブラハムは、神が罪から彼を救うことのできる唯一のお方であるとわかったのです。

## 質問し、黙想する

- パンを盗んだ男が、自分のために自分でできないことを裁判官にさせなかったなら、愚か者だったでしょう。しかし多くの人々が、自分のために神だけにしか出来ない事を自分でやろうとしています。すなわち自分の功徳を積み神との正しい関係に入れると思っているのです。なぜでしょうか。なぜ人は、自分自身でよくなれると思うのでしょうか。
- 今日考えた箇所から、神はアブラハムを祝福されたかっただけではなく、その祝福の中を歩むアブラハムに必要なすべてのものを、備えたいと思われたことがわかります。このことは、神について何を私たちに教えますか。

## 決心し、行動する

聖書のエペソ人への手紙の中に、次のような箇所があります。「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることをないためです。」(エペソ2:8,9)この節の言う「救われる」とは、罪からの救いです。この救いは賜物であり、私たちにふさわしいものでも、獲得できるものでもありません。アブラハムのように私たちは、救いの賜物のために神に信頼することができません。アブラハムとは違って私たちは、神がそれをどのように達成させたかを知ることができます。もしあなたが、この学びの最後にある「神を知る」の箇所にまだ進んでいなければ、出来るだけ早くそこに行ってください。

エペソ2:8,9は特に、罪からの救いについて語っています。実際には、私たちが自分のためにできない、私たちのために神だけにしか出来ない多くのことがあります。詩篇127:1-2を読んでください。そして実際は神だけにしか出来ない事を、あなたは自分ひとりでやろうとしていないかどうか示してください。神の前に立つアブラハムのように、又裁判官の前に立つ男性のようになってください。一神があなたに与えたいと思っておられるものを受け取ってください。

<sup>1</sup> Definition of the Word "Righteous" from the *Merriam Webster Online Dictionary*. (<http://www.m-w.com/dictionary/righteousness>). Retrieved October 10, 2006.

<sup>2</sup> Definition of the Word "Reckon" from Answers.com. (<http://www.answers.com/topic/reckon>). Retrieved October 10, 2006.

<sup>3</sup> Brennan Manning, *The Ragamuffin Gospel*. (© Multnomah, 1990, pp 91-2; online at SermonIllustrations.com). (<http://www.sermonillustrations.com/a-z/g/grace.htm>). Retrieved November 10, 2006.

# 神なしに神のみ旨を求め ることへの注意

## 5章 28課

アブラムの妻サラは、彼に子どもを産まなかった。彼女にはエジプト人の女奴隷がいて、その名をハガルといった。サラはアブラムに言った。「ご存じのように、主は私が子どもを産めないようにしておられます。どうぞ、私の女奴隷のところにお入りください。たぶん彼女によって、私は子どもの母になれるでしょう。」アブラムはサラの言うことを聞き入れた。

— 創世記 16:1, 2

しかしどのように神の約束は、アブラムを通して成就するのでしょうか。サラが子供を産むのは不可能にみえました。神と神の時を待ち望むかわりに、サラはしもべのハガルをアブラムに与え、ハガルはイシマエルという子供を産みました。しかし結局神が約束されたように、サラにもまたアブラムの子供が生まれました。彼らはその子をイサクと名づけました。サラはハガルとイシマエルに苦い感情を抱き、アブラムは悩みました。

— ザ・ホープ 5章

## 観察し、考える

前の課で、アブラムの神への信仰、また彼を大いなる国民の父とし、彼を通してすべての民族を祝福するという約束への信仰をみました。今日の課では、最初に神が約束されてから10年後のアブラムを見ます。妻サラは推定75歳で、まだアブラムに子供を産んでいませんでした！そこでサラは妻の最大の特権、夫の愛情を独占する権利を放棄し、彼女の召使いハガルを夫に与えました。ハガルによって子供が生まれ、神の約束が成就しました。もちろんアブラムは拒むことができたが、そうしませんでした。

サラの愚かな行動で、結婚生活に混乱が生じただけでなく、その愚かさから生じた争いと悲劇は、今日でも以前として語られています。ハガルの息子イシマエルは世界のアラブ国家の父となり、後にサラが身ごもった息子はイスラエル国家の父となりました。それ以来、イスラエルとアラブ間の紛争に関連した暴力事件や、神がアブラムに約束なされた地を巡る論争のニュースをメディアが流さない日はほとんど一日たりともありません。

神の歴史の学びの中で繰り返されたテーマを思い出してください。私たちから見ると絶望的な出来事に見えるものが、しばしば神の永遠の目的を達成する上で、より高いゴールを目指す計画に必要な一部分なのです。例えば、バベルの塔で人々の高慢を戒めるため、神は言語を乱されました。混乱の中で、神は人々を全地に散らしました。これが今日あるような民

族の始まりです。そしてついに神はご自身だけに出来ることを実行に移されました、すなわち神と人との完全な一致と平和のうちに生きるよう民族を結集させ、ご自身には栄光を、人類には祝福をもたらすことです。

今日考えている出来事は、人類史上最大の争いの一つに発展しました。この争いは単に、正しい人と間違った人との争い、「良い人」と「悪い人」との間の争いと見られるかもしれませんが。しかし実際はそれよりもっと深いのです。次の課でみるように、神は依然として支配しておられ、この状況をご自身の栄光のためにお用いになるのです。先に進む前に、次の二つの真理を覚えてください。(1) 神は天であらゆる民族の人々をお集めになる。(2) すべての争いの背後にいる本当の敵はサタンである。

## 質問し、黙想する

「いったいサラはなんでそんなことができたのか。」と言うことは簡単です。しかし自分の行動がずっと後でどんな結果をもたらすかについては、サラは全く理解していませんでした。サラの身になって、そのような行動に至った背景を考えてあげべきです。というのは同じような思いを恐らく一度か二度は私たち誰もが持ったことがあるからです。

サラは神が約束されていたことを知っていましたが、その約束のどの部分が自分の責任なのか恐らく分かっていないようでした。「神は自ら助くる者を助く。」という言葉聞いたことがあるでしょう。これは良心的な、責任ある態度に聞こえるかもしれませんが。しかし本当は、そのような見方が、神のみ心とは反対に自分の思いをとげてしまう根拠になるのです。一度自分の決意で始めると、その行動を正当化し、正しいことをしていると思ってしまうことは難しくありません。

ある人々は、サラの行動を高貴な自己追求の道として見るかもしれませんが。さらに、サラとアブラハムが住んでいた一夫多妻の社会では、サラの提案は尤もなことでした。そしてこの時点まで神は、約束の世継ぎがアブラハムを通して(創世記15:4)来るとお告げになっていただけでした。サラに生まれる子によってアブラハムへの約束が成就すると言われたのは、ずっと後のことでした(創世記17:15-19)

- ・ サラとアブラハムがしたのと同じことをしている自分を想像できますか。なぜですか、なぜそうではないのですか。
- ・ 「神は自ら助くる者を助く。」という諺(ことわざ)をどう思いますか。同意しますか。同意しませんか。
- ・ 何をすべきかを知っているのに、自分の役割か神の役割かを知るのに苦労したことがありますか。

## 決心し、行動する

神の歴史上、サラは実はサライと呼ばれ、アブラハムはアブラムと呼ばれた時期があったことを知るのは重要な事です。時間が限られている為、ザ・ホープはこのことを強調していません。しかし聖書の説明では、イシマエルの誕生後に、神は彼らの名前を変えられました(創世記17:5、15)。サライの文字通りの意味は、「議論を呼び起こす女性」であり、アブラムの文字通りの意味は「尊敬すべき父」です。しかしよい時に、神はその名前を変えられました。サラの意味は「王女」、アブラハムの意味は「豊かな実を結ぶ父」「非常に多くの者の父」です。

「議論好きな女性」は、事を成し遂げるために、企みや共謀をするかもしれません。しかし「王女」は、王である父に自分のためにしてもらう特権があります。ある人々は自分の努力でことを起こそうとるように見えますが、神だけが人を「実を結ぶ」人にするのがおできになるのです(詩篇127:1-3)。

アブラハム(アブラム)とサラ(サライ)は神のみ心を知っていました。しかし彼らのうちの神の超自然的なみ業なしには、神の道を知ることは出来ません。もしあなたが、神の道を求めているなら、示してくださるように神に求めてください。そして神を待ち望んでください。神なしに神のみこころを追い求めないようにしてください。

## 参照

- ・ Dr. Charles Stanley, *Discovering God's Will*. (© In Touch Ministries, 2006). ([http://www.intouch.org/myintouch/exploring/bible\\_says/God\\_Will/index\\_129456.html](http://www.intouch.org/myintouch/exploring/bible_says/God_Will/index_129456.html)). Retrieved October 10, 2006.

<sup>1</sup> *Timeline: A History of the Land*. (From the April 15, 2002 Issue of The Baptist Standard; © 2006 by Baptist Standard Publishing Co). ([http://www.baptiststandard.com/2002/4\\_15/pages/mideast\\_timeline.html](http://www.baptiststandard.com/2002/4_15/pages/mideast_timeline.html)). Retrieved November 16, 2006. Although this timeline does not extend past the year 1993, it nonetheless overviews the centuries of unrest in the Middle East.

<sup>2</sup> Revelation 7:9.

<sup>3</sup> Ephesians 6:12. Revisit Lessons 14-17 of this Study Guide.

# 捨てられる民ではなく

## 5章 29課



イシュマエルについては、あなたの言うことを聞き入れた。確かに、わたしは彼を祝福し、彼の子孫をふやし、非常に多く増し加えよう。彼は12人の族長たちを生む。わたしは彼を大いなる国民としよう。しかしわたしは、来年の今ごろサラがあなたに産むイサクと、わたしの契約を立てる。

——創世紀17:20-21

神はアブラムに取り乱さないように言われました。というのは、イシュマエルは大いなる国民の父となるのです。そしてイサクを通して、神はすべての民族を祝福するお約束を成就なさるのです。

——ザ・ホープ 5章

## 観察し、考える

前の課で、サラが召使ハガルをアブラムに与えることで彼女がどのように息子についての神の約束を成就しようとしたかを見ました。イシュマエルとイサクがそれぞれアラブ、ユダヤ各民族の父となったことで、今日に至るまで多大の影響を与える悲劇的結果についても注目しました。この出来事を(神の前に先走りしない、さもなければその結果は大変なことになるとい)単なる道徳的な学びに還元してしまいがちですが、この出来事をそのような一次的な方法で見るとは、ハガルとイシュマエルを、単なる「捨てられる」人物、道徳的な学びをするために、必要なだけの人々にしてしまう危険があります。

しかしまへの課で見たように、そんなに簡単になことではありません。すべての恵みとなる神は常に、私たちが理解し得るよりずっと大きなことの出来るお方です。聖書の著述によれば(創世紀16:4-8)、ハガルがイシュマエルを身ごもって間もなく、サラはハガルを見下げ、つらく当たるようになりました。ハガルはサラの前から荒野に逃れ、そこで「主の使い」(神ご自身お顕現と考えられます)が彼女に会い、名前を呼んで話しかけました。ハガルは聖書中「主の使い」に出会う最初の人物で、これがこの出来事でハガルが名前前で語られる最初の時です。この時までアブラムやサラが、ハガルのことを名前を使って話したり、名前前で呼んだりしたという記録はありません。むしろ「あなたの女奴隷」とか「私の女奴隷」と呼んで、ハガルのことを話しています。神にとってはハガルは神の形に造られた真の価値をもった人物なのです。主の使いはそれからハガルに、サラのところに戻り、彼女の権威に従うように語ります。しかし又主の使いは、ハガルとその息子に大いなる約束を与えます。イシ

マエルの子孫は、数えられない程の大いなる国民になります。み使いは、ハガルにとって容易ではないが、神は彼女の苦しみに目を留めておられると告げます。全宇宙の神が、彼女の人格を認め、彼女の状況と一体感を持ってくださっているのです。その時ハガルは神を「エル・ロイ」(見ておられる神)とお呼びします。ハガルは聖書で、神に名をつける最初の人物です。そしてハガルはその従順によって、神を崇めます。

もちろん読み進むうちに、サラが90歳でイサクを生むと記されています。創世紀17:19は、すべての民族を祝福するという栄光ある約束を果たされるのはイサクを通してであると告げています。ついには、約束の救い主ご自身がイサクの系図から来られ、祝福の仲介者になられることが分かります。

イサクの奇跡的な誕生と彼を通しての祝福の約束は、この出来事と最もよく関連して出てくるテーマで、それは適切なことです。しかしわきに押しやられた人々を見失ってしまうべきではありません。なぜなら、私たちの多くの者に、それは信じられないほど関係しているからです。神にとっては、捨てられる人物はいません! 結局サラは自分の前からハガルとイシュマエルが追い出されるように仕向けますが、世界中のハガルのような人たちでも、神の約束のうちに将来が約束されていることを見ます。そして神の歴史が展開する時、救い主が神の約束通りに来られた時に、迫害されている者や苦しんでいる者…わきに押しやられ見失われているように見える人たち…この世のハガルのような人たちにも救い主は来て下さいました。

## 質問し、黙想する

- 神がハガルを心にかけておられたということは、あなたにとってどんな意味がありますか。このできごとで誰が一番共感を覚えますか。なぜですか。
- もしこのことがあなたのグループで起こったとしたら、アブラハム、サラ、ハガル、イシマエル、イサクはどう見られますか。誰が犠牲者と見なされますか。誰が立派だと思われますか。

## 決心し、行動する

アラブ - イスラエル紛争のように白熱し、分裂している状況に直面する時、人を型にはめてどちらかの側につくことは簡単です。しかしその誘惑を避けてください。神は一人一人を一個人として見ておられます。私たちの学びでここまで学んできたように、私たちはみな同じ土台に立って一罪のための神の備えを信じる謙遜な信仰によって、神のみもとに来なければなりません。

アラブ - イスラエル紛争を特徴づける信じられないような複雑さと根の深い敵対心は、絶望的に見えるかもしれません。しかし約束の救い主を通していつか、神はすべてのことを正しく整えられます。神の歴史によれば、人には達成できない永遠の平和を、神はもたらしてくださいます。そしてその時、神に栄光が帰せられ、神がほめたたえられます！

誰か他の人の話で、「見捨てられた」登場人物のような状況にあなたがいるならば、このことを思いめぐらせてください。ちょうどハガルのように、他の人からつらく扱われるかもしれません。しかし誰もあなたから神との個人的な関係を奪うことはできません。それはあなたのものであり、あなただけのものです！

## 参照

- *El Roi – God Who Sees. Precept–Austin Website.* ([http://www.preceptaustin.org/el\\_roi\\_-\\_god\\_who\\_sees.htm](http://www.preceptaustin.org/el_roi_-_god_who_sees.htm)). Retrieved October 10, 2006. Studies on the names of God can be accessed on this site.

<sup>1</sup>Genesis 16: 2,5, 6

<sup>2</sup>Genesis 16:10

<sup>3</sup>Genesis 16:13

<sup>4</sup>For more information on the Israeli–Arab conflict, the following link may prove to be helpful: [http://en.wikipedia.org/wiki/Arab–Israeli\\_conflict](http://en.wikipedia.org/wiki/Arab–Israeli_conflict). Retrieved October 10, 2006.

# 神は備えてくださる

5章 30課



これらの出来事の後、神はアブラハムを試練に会わせられた。神は彼に、『アブラハムよ』と呼びかけられると、彼は、『はい。ここにおります』と答えた。神は仰せられた。『あなたの子、あなたの愛しているひとり子イサクを連れて、モリヤの地に行きなさい。そしてわたしがあなたに示す一つの山の上で、全焼のいけにえとしてイサクをわたしにささげなさい。』

— 創世記22:1、2

アブラハムは手を伸ばし、刀を取って自分の子をほふろうとした。そのとき、主の使いが天から彼を呼び、『アブラハム。アブラハム』と仰せられた。彼は答えた。「はい。ここにおります。」御使いは仰せられた。『あなたの手を、その子に下してはならない。その子に何もしてはならない。今、わたしは、あなたが神を恐れることがよくわかった。あなたは、自分の子、自分のひとり子さえ惜しまないでわたしにささげた。』アブラハムが目を上げて見ると、見よ、角をやぶにひっかけている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを自分の子の代わりに、全焼のいけにえとしてささげた。そうしてアブラハムは、その場所を、アドナイ・イルエと名づけた。今日でも、『主の山の上には備えがある』と言い伝えられている。

— 創世記22:10-14

彼らは一緒に命じられた場所に行きました。そこで祭壇を備え、たき木をつくりました。その祭壇にはまだもうひとつの献げ物が供えられていません。そこでアブラハムは息子を祭壇の上で縛りました。そしてアブラハムは、息子を生贄として殺そうとナイフを振り上げました。その時天から声がかかったのです。「息子に手をかけてはならない。」やぶで小羊が藪に角をひっかけて動けずにはいました。アブラハムの息子のかわりに、神は別のささげ物を備えておられたのです。これは、神がある日人類の罪のために備えてくださる献げ物のひな型です。

— ザ・ホープ 5章

## 観察し、考える

この課では、聖書の中で一番劇的で深い話の一つを取り上げます。アブラハムは何十年もの間、忠実な献身をもって神を愛し、従ってきました。しかし、いのちを愛し、人を愛する神は、アブラハムに想像を絶するようなことをするよう命じました。犠牲として、愛する息子を捧げよということです。その上イサクは、彼を通して神が人々を祝福するとされた人でした！祭壇に縛られていたのは、アブラハムの望みだけでなく、全世界の望みであったのです。この歴史をどう見ますか。それをどう理解することができますか。

表面的にはこの話は、神について聖書が示していることの多くと矛盾しているように見えます。しかし前の課ですで見たとように、聖書は私たちを訓練し、理解にチャレンジを与えるかもしれません。大切なことは、聖書を読む時矛盾に「見える」ことに基づいて、結論に飛び込んでしまわないということです。これまでの神の歴史の勉強から、神は善と知恵において完全な

お方であるということがわかっています。ですから私たちの土台としてのその理解をもって、アブラハムとイサクの話を考えましょう。

創世記22:1は、神はアブラハムを「試み」られたと述べています。テストには二つの見方があります。私たちのほとんどは、学校でのテストに親しんでいます。このようなテストは学びのコースをどれだけ習得したかという程度を調べるものです。ほとんどの人は、結果がよいかどうかを知りたいのです。しかしもう一つのタイプのテストがあります。することよりも、自分が何であるかが測られるテストです。例えば金属は、純粋かどうか調べるためにテストされます。金属にはテストをパスするためにできることは何もありません。その金属が純粋であるかそうでないかということだけです。この種のテストは、ただテストされるものの中味を測ります。

アブラハムの場合を考えてください。彼をテストした方は、彼をテストに備えた方でもあり、そのお方は神でした。不純物をのぞくために火で精錬され、純粋にされる貴金属のように、アブラハムは、信仰の歩みの火によって何年もかけて神によって精錬されていました。アブラハムがテストでうまくやるかどうかについて、神には何の疑問もありませんでした。これは危うい試みではなかったのです。神はアブラハムがどういう人物になっていたか—すべてのことよりも、息子よりも神を最優先にする人物になっていたということを正確にご存知でした。神はアブラハムの中味をご存知で、テストによってそれが明らかになったのです！アブラハムの生涯は、神の導きに喜んで従う人物に対して、神が何を成し遂げてくださるかの証しでした。この話は、世界が見るべきアブラハムの信仰を劇的に表し、…結果として、神が栄光をお受けになるのです。

もちろん、聖書のどの話にもあるように、大切な洞察やオブジェクト・レッスンが多くあります。神の歴史の学びの最後で見えるように、神ご自身がイサクの代わりとするために備えられた小羊は、世界を罪から解放する約束の救い主を預言的に深く表わしています。神がアダムとエバに備えられた覆いや、ノアに備えられた箱舟のように、神からのこの備えによって、私たちは自分では自分を救うことができないということをもう一度自覚させられます。「神こそ、わが岩。わが救い。」(詩篇62:2)

## 質問し、黙想する

- このできごとを最初にザ・ホープで見た後で、あるいはそれを聖書で読んだ時、どんな感じがしましたか。
- 神がこのことをアブラハムに求めたのは奇妙だと思いませんか。なぜですか、なぜそうではないですか。
- アブラハムの立場にいたら、どうしたと思いますか。なぜですか。
- アブラハムの時のように、神は人生にもたらされる試練のために私たちを備えられます。試練に直面していますか。神があなたをどう備えられたか、わかりますか。神があなたの人生の為に建てたものを明らかに示すために、神はこの試練をどうお用にしますか。

<sup>1</sup>John 1:29

<sup>2</sup>Hebrews 11:17

<sup>3</sup>Genesis 22:6-8

## 決心し、行動する

いけにえを供える場所に歩いて行く途中で、イサクは父親に尋ねました。「全焼のいけにえのための羊は、どこにあるのですか。」アブラハムは答えました。「神ご自身が全焼のいけにえの羊を備えてくださるのだ。」しかし祭壇に近づいた時、まだ羊はいませんでした。アブラハムが息子を祭壇の上で縛ったとき、まだ羊はいませんでした。アブラハムが刀を取って手を伸ばしたときでさえ…羊はまだいませんでした。それから、アブラハムが息子をほふろうとした直前で、神は彼を止め、やぶに置いておいた羊をお見せになりました。

アブラハムが「神ご自身が全焼のいけにえの羊を備えてくださるのだ。」と言う時、どうしてそのような確信を持っていたのでしょうか。信仰によって歩むうちに、アブラハムは次のとても大切な原則を学びました。それがどんなに難しく見えても、神はいつも、私たちをお召しになるために必要なすべてのものを備えてくださる。神はその過程で、ご自分の品性を曲げることも、私たちの良心を曲げるように求めることも決してなさらない。

神は非常に難しいことをするように求めておられますか。もしそうなら、神はあなたに必要なものを備えてくださいます。信仰によって神とともに歩み続けてください。み声に耳を傾け、従うための主にある信仰と確信をもつ人になれるように、主に働いていただきなさい。

## 参照

- BibleGateway.com, a ministry of Gospel Communications International, provides online commentaries for many passages of scripture. Read their commentaries on the testing of Abraham as follows:
  1. God commands Abraham to offer up Isaac – (<http://www.biblegateway.com/resources/commentaries/?action=getCommentaryText&cid=18&source=2&seq=i.1.22.1>)
  2. Abraham's faith and obedience to the Divine command – (<http://www.biblegateway.com/resources/commentaries/index.php?action=getCommentaryText&cid=18&source=2&seq=i.1.22.2>).
  3. Another sacrifice is provided instead of Isaac – (<http://www.biblegateway.com/resources/commentaries/index.php?action=getCommentaryText&cid=18&source=2&seq=i.1.22.3>).



# アブラハム— 最初に終わりを知る

6章 31課



そこで神は、アブラムに言われた『あなたはこの事をよく知っていなさい。あなたの子孫は、よその国で寄留者となり、奴隷となり、四百年の間、苦しむことになるだろう。しかし、彼らが奴隷として仕えるその国民は、わたしによって裁かれる。その後、あなたの子孫は多くの財産を得て、そこから去って行く。あなた自身は、平安のうちに、あなたの先祖のもとに行き、長寿を全うして葬られる…。』

— 創世記15:13-15

神は、アブラハムを祝福し、彼を通して地のすべての民族を祝福すると約束されました。アブラハムの息子イサク、イサクの息子ヤコブにも同様の約束をされました。

— ザ・ホープ 6章

## 観察し、考える

26課から30課を通して、アブラハムとその生涯の出来事をいくつか学びました。神はアブラハムを召し、すべての民族の祝福となるように彼を祝福すると約束されたことを覚えているでしょう。先に進む前に、神が約束された祝福について以下のことを考えてください。

1. アブラハムを通して約束された祝福は、信仰によって喜んでそれを受け入れるすべての人の為でした。
2. 聖書は、この祝福の約束を契約と呼びます。神の契約とは、ご自分の言われたことを実現させるという不変の約束なのです。神は約束の成就のために必要なことは何でもなさいます。
3. 永遠で、全知全能の神は、どのように実現したらよいかと思考する必要などありません。すでに細かいところまで計画されているからです。次の課で、このことがより明らかになるでしょう。

ザ・ホープを読み続けると、神がアブラハムの子イサクとイサクの子ヤコブにも同様の約束をしておられることが分かります。「同様」と言うのは、基本的に同じ約束がアブラハムの子孫に受け継がれてゆくという事実に基づいています。ある意味で、彼らは神のアブラハムに対する約束受け継ぐのです。

今触れたように、この約束の成就是、神によって詳細に至るまで計画されました。このことをより深く理解するために、創世

記15章に戻りましょう。ここで神はアブラハムを義と認められました。(27課) またこの章で、アブラハムが深い眠りに導かれた後、神はこれから起こること—アブラハムの生涯だけでなく、その後数百年にわたって起こる事の詳細にわたる幻—をお見せになりました。

この幻は、上記の聖書箇所に書かれています。何と具体的に書かれていることでしょうか！

- アブラハムの子孫は、見知らぬ土地で寄留者となる。
- 400年間奴隷となり迫害を受ける
- 神の裁きの後に、アブラハムの子孫は多くの富を得てその国を去る。
- アブラハムの生涯は平安と長寿のうちに閉じられる。

この幻がアブラハムに告げられたのは、イシマエルの生まれる前、イサクの生まれる前、そしてイサクに代わって生贄が供えられる前のことでした。神の計画はどんな一人の人物よりも偉大です。おそらくこのことは、アブラハムがイサクに「*神ご自身が…羊を備えてくださるのだ。*」と言った時、いかに確信に満ちていたかを理解する助けとなるでしょう。アブラハムは最初に終わりを見ていたのです。イサクが生きることが、神の約束の成就にとって不可欠の条件であるを知っていたのです。その意味でアブラハムの生涯は、神が既に計画されていたことが一つ一つ実現して行く道筋であると言えるでしょう。

この章の残りの部分で、神がアブラハムの幻をいかに成就されたかを見ます。「神は小さいところにまでおられる」ということを聞いたことがあるかもしれません。詳細にわたって見てゆく時、この章の終わりまでに、神の臨在とその力の大きいなる証拠に出会うことでしょう!

## 質問し、黙想する

- 神がこの世界とそこに住むすべての人のために、詳細なご計画を持っておられることを知ったことで、違いが生じましたか。
- 神がアブラハムに将来のビジョンを与えられた時、アブラハムは初めに、終わりを見ました。聖書の約束を通して神は、ご自分を信頼するすべての人に、生涯の終わりを見せてくださいます。私たちは、神を信じる生涯は、天で神と共に完成することを知っています。この知識は、あなたにどんな影響を与えますか。
- 神の約束にもかかわらず、将来について心配していますか。なぜですか。

## 決心し、行動する

神が約束してくださる時、それを実現するために必要なことは神がしてくださいます。必要であれば個人や国でさえ動かしてください。この真理の光の中で、ご自分を信頼する者のために記された何百という神の約束を見出す決心をしてください。そして神がご自分のことばに常に真実であることを知り、神の約束を信頼し、心を平安に保つことを学んでください。

## 参照

- Dr. Charles Stanley, *God's Promises*. InTouch Ministries. ([http://ww2.intouch.org/site/c.7nKFISNvEqG/b.1034467/k.9C8E/Gods\\_Promises.htm](http://ww2.intouch.org/site/c.7nKFISNvEqG/b.1034467/k.9C8E/Gods_Promises.htm)). Retrieved October 11, 2006.

<sup>1</sup>Matthew Slick, *Covenant*, Christian Apologetics and Research Ministry. (<http://www.carm.org/doctrine/covenant.htm>). Retrieved on October 11, 2006.

<sup>2</sup>Review Lesson 6 of this study guide.

# ヨセフ—神の目的に明け渡す

## 6章 32課



あなたがたは、私に悪をたくらみましたが、神はそれを、善に変え、多くの人々を救うために、今日のようにしてくださったのです。

—創世記50:20

ヤコブには12人の息子がいましたが、その中にヤコブが最も愛するヨセフという名の息子がいました。ヨセフの兄弟たちは彼を深くねたみました。そこでヨセフを捕え、穴に投げこみました。その後エジプトに向かう隊商が穴の中のヨセフを発見し、エジプトの地で奴隷として売りました。兄弟はヨセフの衣を血に浸し、父にはヨセフが野獣に食べられてしまったと告げました。

ヨセフはエジプトに奴隷として連れて来られました。しかしその地で神は、ヨセフを力ある人々に仕える者となさいました。やがてヨセフは、全エジプトの支配者パロの前に召し出されました。ヨセフはパロの夢を解き明かすよう命じられました。神は間もなくやって来る大飢饉についての正しい解釈を、ヨセフに与えました。パロはヨセフの解釈を喜び、エジプトの地の権威者としたのです。

大飢饉が地上を襲った時、カナンのに暮らすヨセフの家族は非常に苦しみました。一方のヨセフはエジプトの地で、飢饉に備え倉庫を食べ物で満たしていました。ヨセフは兄弟に裏切られましたが、依然として家族への深い愛がありました。神がヨセフに与えた高い地位ゆえに、家族全員がエジプトに来て住むことを許され、飢饉を逃がれました。こうして、全ての国の祝福の基になると約束された民族が、見知らぬ土地に来て住むことになったのです。

—ザ・ホープ 6章

## 観察し、考える

多くの聖書学者は、ヨセフの人生は、これからのザ・ホープの諸章で学ぶ神の約束された救い主を予測していると信じています。実際、ヨセフと約束の救い主との間の類似性は、実に驚くほどです。

ヨセフと約束の救い主の双方に以下のような共通点があることを考えてみてください。

- ある日父はヨセフに兄弟の所に行くように言った。ヨセフの兄弟たちは彼を憎み、殺そうとした。同じく救い主の親族は彼を拒絶し、殺そうとした。  
(創世記37:13以降、ヨハネ7:3、ルカ22:47)
- 衣を奪われた。(創世記37:23-24、ヨハネ19:24)
- エジプトで時を過ごした。  
(創世記37:25-28、マタイ2:14-15)
- 奴隷として売られた。(創世記37:28、マタイ26:15)
- 鎖でつながれた。  
(詩篇105:18、創世記39:20、マタイ27:2)
- 誘惑された。(創世記39:7-10、マタイ4:1-11)
- 偽わって告発された。  
(創世記39:16-17、マタイ26:59)
- 他の二人の囚人と共に置かれ、そのうちの一人は救われ、もう一人は救われなかった。  
(創世記40:2-22、ルカ23:32-43)
- 30才で働き始めた。(創世記41:46、ルカ3:23)
- 苦しみの上に、神によって天に引き上げられた。  
(創世記41:41-43、ピリピ2:9-11)
- 自分を傷つけた者を赦した。  
(創世記45:1-15、ルカ23:34)

- ・ 多くの人を救うために神によって遣わされた。  
(創世記45:7、マタイ1:21、マルコ10:45)
- ・ 神は悪を善に変えることが出来ることを理解した。  
(創世記50:20、ローマ8:28)

ヨセフと約束の救い主の生涯を学ぶ時、もう一つの類似性がわかります。それは上記の類似性を明らかにさせるものです。ヨセフも約束の救い主も双方とも、自分以外の目的の為に命をかけました。彼らは自分の生涯が、より大きな計画の一部であることを理解していました。そしてその計画に協力したのです。ヨハネ6:38に約束された救い主の言葉が記録されています。「わたしが天から下って来たのは、自分のところを行うためではなく、わたしを遣わした方のみところを行うためです。」

ヨセフを通して、彼の人生の目的に向かって働く神的影響の証拠を見ることができます。大きな川に落ちた一枚の葉っぱのように、ヨセフの生涯は神という力強い川の流れによって動かされていました。自分の人生に起きたそれぞれのできごとにおいて(難しいものであっても)、ヨセフは流れに逆らうよりも、その流れに身を委ねました。神はあらかじめ計画しておられたことを正確に成就するために、ヨセフをお用いになりました。そしてヨセフ(と他の人々)に善をもたらし、ご自分には栄光をもたらされました。

## 質問し、黙想する

- ・ ヨセフの生涯から、神について、また神との関係について何を学ぶことができますか。
- ・ なぜ神は、ヨセフの生涯が約束の救い主の生涯と非常に多くの共通点があるようになさったと思いますか。
- ・ 神はすべての人を目的をもって創造されます。(エペソ2:10) 回顧することで、ヨセフの人生の目的を認識することは難しくありません。しかしヨセフ自身はどうだったでしょう。ヨセフは、自分の人生の目的や、起きているできごとの意味をいつも理解していたと思いますか。

## 決心し、行動する

自分の人生や起こってくる事の目的を、あなたはまだわからないかもしれませんが、人生に目的を与えてくださるお方を知ることができます。ヨセフのように、あらゆる境遇の中で神のみ旨に、身を委ねることができます。

ヨセフが神を知っていたように、神を知っていますか。ご臨在を確信しますか。もしそうでないなら、今すぐこのスタディ・ガイドの最後の「神を知る」のセクションに行ってください。

神はあなたの人生に、難しい状況をもたらされましたか。もしそうなら、ヨセフの例にならってください。神があなたの内であなたを通して働かれる機会としてみてください。あなたや周囲の人に善を、ご自分に栄光をもたらしてください。なぜなら「神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださる」からです。(ローマ8:28)

## 参照

- ・ Barbara Rainey, *No Cinderella Story*. (FamilyLife.com Articles, 2006). ([http://www.familylife.com/articles/article\\_detail.asp?id=1126](http://www.familylife.com/articles/article_detail.asp?id=1126)) Retrieved October 12, 2006. *"I acknowledged at the very beginning my submission to God's will for my life...In the aftermath of these two unexpected parts of God's plan for my life..."*

<sup>1</sup>Some of this listing was suggested by "Parallels between Joseph and Jesus," *Life Application Study Bible: New International Version*. (Tyndale House Publishers, 1997).

# モーセ— 神のためには決して遅くない

6章 33課

モーセは、ミデヤンの祭司で彼の義理の父、イテロの羊を飼っていた。彼はその群れを荒野の西側に追って行き、神の山ホレブにやって来た。すると主の使いが彼に現れた。柴の中に炎があった。よく見ると、柴は燃えていたのに燃え尽きていなかった。モーセは言った、『なぜ柴が燃え尽きないのか、あちらへ行ってこの不思議な光景を見ることにしよう。』主は彼が横切つて見に来るのをご覧になった。神は柴の中から彼を呼び、『モーセ、モーセ』と仰せられた。彼は、『はい、ここにおります』と答えた。神は仰せられた、『ここに近づいてはいけない。あなたの足のくつを脱げ。あなたの立っている場所は、聖なる地である。』神は続けて仰せられた、『わたしは、あなたの父の神、アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。』モーセは神を仰ぎ見ることを恐れて、顔を隠した。主は仰せられた、『わたしは、エジプトにいるわたしの民の悩みを確かに見、追いつく者故の彼らの叫びを聞いた。わたしは彼らの痛みを知っている。わたしが下つて来たのは、彼らをエジプトの手から救い出し、その地から、広い良い地、乳と蜜の流れる地、カナン人、ヘテ人、エモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人のいる所に、彼らを導き入れるためだ…。』

— 出エジプト 3:1-8

モーセは荒野に逃げました。そしてそこで40年間羊飼いと生活しました。それからある日、柴の燃える炎の中で、神はモーセに現れました。神は炎の中からモーセに語られました。『自分の民のもとに戻り、彼らをエジプトから導き出さなさい』『わたしはあなたと共に居る。』

— ザ・ホープ 6章

## 観察し、考える

6章の最初の課で、神がアブラハムにお与えになったとても特別な幻について学びました。神はアブラハムに以下のことを言われました。

- ・ アブラハムの子孫は、よその土地で寄留者になる。
- ・ 彼らは奴隷となり、400年間抑圧される。

それから32課で、ヨセフが自分の家族(アブラハムの子孫)をエジプト(よその土地)に住まわせて、飢饉から救うために神にどのように用いられたかを見ました。エジプトのヨセフの家族はその数を増やし、結局奴隷となって、エジプトの支配者から厳しく扱われました。この間に彼らはヘブライ人として知られるようになりました。ある時エジプトの支配者は、ヘブライ人家族に生まれるすべての男の子を殺すように命じました。しかしひとりのヘブライ人の子供を、その母親がかごに入れて隠し、王女の宮殿のそばを流れる川に流したので助かりました。

王女はその男の子を見つけ、自分の子供にしてモーセと名づ

けました。彼はエジプトの王子として育てられました…が、ヘブライ人として生まれたことを決して忘れませんでした。

ある日モーセが40才の時、エジプト人がヘブライ人を鞭打っているのを見て、そのエジプト人を殺しました。モーセは自分の命の危険を恐れて荒野に逃がれました。そこで出逢った羊飼いの娘と結婚して、40年間をその場所で過ごしました。この課が始まるのはここからです。ちょうど神が言われたとおり、アブラハムの子孫は40年間外国の地で奴隷となりました。モーセは80才で、契約の主となられるアブラハム、イサク、ヤコブの神に出会おうとしています。

エジプトの王子として、富と権力が与えることのできるすべてをモーセが手中に収め得たことを考えてみてください。しかし以前として彼は、自分の民の苦役を見ていました。(出エジプト2:11)彼の影響力からすれば、ヨセフがしたように自分の民を救えたかもしれません。しかしモーセがエジプト人を殺した時、すべての人が一自分の民でさえ一彼に敵対しました。彼の可能性が全く無くなったように見える中で、モーセは荒野に身を隠したのです。

多くの人がモーセの人生の中に、自分の霊的な旅のひな型を見ます。最初の40年間モーセは、世の中のやり方に従って十分な教育を受けました。しかし神から離れて自分のやり方でやろうとした時、みじめな失敗をしました。荒野にいる間に、モーセのうちに神が何をづくり上げよう(取り去ろう)となさったとしても、いくつかのことが明白です。荒野での40年のあとに、モーセの中には富、権力、名声を求める利己的な野心、あるいは何か(自分の民を奴隷状態から救い出すというような)大切なことをする必要でさえなくなっているように見えるのです。彼が生まれ育った世の中で大切なもの(こと)を持ったりしたりすることを願わなかったのです。荒野でモーセは、以前の世の中のやり方から離れました。

おそらくモーセは、荒野での残る人生を…無名のうちに生きぬくという思いで、燃える柴の体験をした日を始めたことでしょう。その場所で40年過ごした後で、自分の人生は棚上げされていると思ったかもしれません。最良の日々がまさに始まるようとしていることを、モーセはほとんど知りませんでした!

エジプトの最良の学校で経験したのとはかなり異なる卒業式を、神はモーセに燃える柴で体験させてくださいました。ある意味で神は、モーセが造られている目的を果たす準備がついにできたと仰言っていたのです。今モーセはそのことを、人間の方法ではなく神の方法で実行する準備ができていました。モーセは常に大いなる能力(あるものは先天的に、あるものはエジプトで後天的に得た)の持主でした。しかし今やモーセは自分の能力を、神から離れて用いるよりも神に服従させる備えができていたのです。

これから見るように、モーセはヘブライ人を奴隷状態から救い出すために、そして40年以上彼らを導くために前進し、ついに人類史上最も重要な人物の一人となったのです。

## 質問し、黙想する

- モーセにとって、荒野は単なる場所以上の意味がありました。彼の魂にとってそこは、エジプトでの身分を決定づけるものをはるかに超越した場所だったのです。荒野でモーセは、本当のチャレンジや…失敗を避けることができました。不思議なことに、不快な場所であると同時に居心地のよい場所でもあったのです。もし神が介入なさらなければ、そこにずっと

いたかもしれません。あなたも同じような場所にずっといたことがありますか。もしそうなら、説明してください。

- 人は弱さ故にしばしば、神を頼りにします。しかし人の力は、神に頼る必要がないという方向に、人を導きます。そうすると、人の一番大きな力が、霊的生活にとって大きな損失になり得ます。神に頼る必要がないと思わせる、人生での強い領域を考えることができますか。
- 神はモーセの生涯から何を学んでほしいと思っておられると思いますか。

## 決心し、行動する

もしモーセのできごとと自分をあてはめられると思うなら、もし神が自分になってほしいと思われるものになる機会を逃したとを感じるなら、もし自分が「棚の上」に置き去りにされているとを感じるなら、モーセの生涯から励ましを受けてください。神が、望まれることをするために、私たちを備え、その時を決定してくださるお方です。ある時は荒野に導いて私たちを試練に備えてくださるお方なのです。

神があなたをお用いになるのに、遅すぎることは決してありません!「さあ、今だ」と神が言われる時を逃さないで下し。

## 参照

- Sandy Sheppard, "Wilderness Survival: Rich Lessons from a Season of Suffering." (Discipleship Journal, The Navigators, NavPress, July/August 1998). (<http://www.navpress.com/EPubs/DisplayArticle/1/1.106.10.html>). Retrieved October 13, 2006.
- Scriptures for the Desert, a sidebar to the article above.* (<http://www.navpress.com/EPubs/DisplayArticle/1/1.106.10.1.html>). Retrieved October 13, 2006.

<sup>1</sup>Exodus 2:1-10.

<sup>2</sup>Exodus 2:11-23

# 過越し— 約束された救い主のひな型

6章 34課

イスラエルの全会衆に告げて言え。この月の十日に、おのおのその父祖の家ごとに、羊一頭を、すなわち、家族ごとに羊一頭を用意しなさい。あなたがたの羊は傷のない一歳の雄でなければならない。それを子羊かやぎのうちから取らなければならない。あなたがたはこの月の十四日までそれをよく見守る。そしてイスラエルの民の全会衆は集まって、夕暮れにそれをほぶり…

— 出エジプト12:3、5、6

あなたがたのいる家々の血は、あなたがたのためにしるしとなる。わたしはその血を見て、あなたがたの所を通り越そう。わたしがエジプトの地を打つとき、あなたがたには滅びの災いは起こらない。

— 出エジプト12:13

モーセはエジプトに戻りました。そして兄アロンと一緒にパロの前に出ました。しかしパロの心はヘブライ人にかたくなだったので、彼らがエジプトを去るのを拒否しました。そこで神はエジプトにおそろしい災禍をもたらしました。しかしどの一つもヘブライ人には起こりませんでした。多くの災いの後でも、パロはかれらの出国を拒絶しました。それから神は、子羊を殺してその血を住まいの戸口に塗るよう、ヘブライ人の家族に命じられました。そして神は、入り口に血の目印のある家の家族以外の、すべての家族の長子を死に至らしめました。園のアダムとエバのように、山の上のアブラハムと息子のように、神が代わりになる生贄をそなえられたように、サタンと罪と死からいかにして人類を救い出すか、これはもう一つの絵なのです。

— ザ・ホープ 6章

## 観察し、考える

上記のザ・ホープの引用と聖書箇所で見ると、モーセは自分の民を救うためにエジプトに戻りました。しかしモーセの要求の背後に神の存在を悟らせるような一連の災いが起きた後でも、エジプトの支配者は彼らの出国を認めませんでした。病気、昆虫、地を這うもの、さまざまな自然災害をエジプトにもたらした9つの災禍（ヘブル人は影響されませんでした）の後、神は今日に至るまでヘブル人が守り祝う定めとするよう、モーセに語られました。今日それは過越し祭として知られています。

モーセを通じて神は、傷のない子羊を家につれて来て4日間世話するように、ヘブル人家族を教育されました。その純真で無害の子羊は、家族の一員のようになったに違いありません。4日後に子羊は殺され、食事に供えられました。神は子羊の供えと共に食するその他の食べ物についても特別な教えを与えました。

過越の食事のあらゆる部分に、特別な豊かな意味があります。数えきれないほどの本が、このことのために書かれてきま

した。（さらなる学びを見てください。）

神はまた、子羊の血を家の戸口に塗るように、ヘブライ人を教えられました。神はその地のあらゆる長子に死を与えるが、戸口に血のある家は過ぎ越すとされました。そして神が言われた通りのことがすべて起こりました。

このできごとから学ぶべきことは沢山ありますが、中でも中心的なことは、神は信頼し従う者を守り救い出されるということでしょう。ヘブライ人は奴隷状態から、まわりで起きる裁きから、自分自身を救うことはできませんでした。しかし神はもう一度、救いの道を備えてくださいました。ちょうど神がアダムとエバには覆いを、ノアには箱舟を、アブラハムの息子には代わりの犠牲を備えてくださったように、神はヘブライ人が救われるように、過越の子羊を備えてくださいました。

このような神の備えの一つ一つが、約束された救い主について何かを明らかにしています。神を信頼する者にとって約束の救い主は、罪の結果を防ぐ覆いのようにであり、裁きの中で

安全に運んでくれる箱舟のようです。神がやぶの中の雄羊をイサクのために与えたように、救い主は人々のためにご自分を与えたのです。そして過越の子羊のように、救い主の血は人々が永遠の死から救われるように、流されたのです。

## 質問し、黙想する

- 上記の神の「備え」を考える時、約束の救い主がどういとお方であるかを信頼する者に理解させるため、神が長い説明をしておられることが分かります。これらの例は、神が約束された救い主について何を示していますか。
- あとの課で見ると、ある人々は約束の救い主を神の小羊と呼んでいます。無傷の子羊を家に連れて来て、愛着を持つまで長い間共に生活を共し、その血が人々を死から守ると信じてその子羊を殺すという、神のヘブライ人への教えについてどう思いますか。
- 物の価値は、人がそのために支払う代価によって測られます。ものごとの重大性は、人が解決策を見い出すために費やす労力や努力によって測られます。父親が過越の子羊を殺す時、子供たちの心にどんな変化があったか想像してみてください。おそろしい行為以外の何物でもないと見えたかもしれません。あるいはこの行為の重大性は、満たされるべき結果の重大性に匹敵するのだと悟ったかもしれません。このことは、サタンと罪と死に永遠に打ち勝つ約束の救い主の使命にどう関わっているのでしょうか。

## 決心し、行動する

モーセのヘブライ人に対する教えは、当時は奇妙に思えたかもしれませんが。同じことが、神がノアに対して洪水に備えるために、箱舟を造るようお命じになった時にも言えます。雨が地上に一度も降っていなかったという事実を考えると、なぜ人々がノアをあざけたかが容易にわかります。しかし続いて起こった裁きを考えるなら、この教えがとっぴなものとは思えません。

神はあなたに対して、世の中の基準では奇妙に思えることをするように求めておられますか。もしそうなら、ノアやモーセやヘブライ人のようになってください。神に信頼して従ってください。神はあなたを守り、祝福してください。

## 参照

- *Passover*. (Jews for Jesus, 2006). (<http://www.jewsforjesus.org/judaica/passover>). Retrieved October 13, 2006.
- Moishe Rosen and Ceil Rosen. *Christ in the Passover*, (Moody Bible Institute, 1978). ([http://www.amazon.com/Christ-Passover-Moishe-Rosen/dp/0802413897/sr=8-32/qid=1158163699/ref=sr\\_1\\_32/102-1316407-0306557?ie=UTF8&s=books](http://www.amazon.com/Christ-Passover-Moishe-Rosen/dp/0802413897/sr=8-32/qid=1158163699/ref=sr_1_32/102-1316407-0306557?ie=UTF8&s=books)). Retrieved October 17, 2006. Book Description from Amazon.com: A best-selling title from the ministry of Jews for Jesus, *Christ in the Passover* is now revised with an updated appendix. It is written for Jews, messianic believers, and Gentiles curious about the connection between the ancient holy day of the Old Testament and Jesus Christ, and for missionaries evangelizing to Jewish people. A comprehensive and convincing look at how the Passover is fulfilled in Christ.



# 障害が大きい ほど栄光も大きくなる

6章 35課



そのとき、モーセが手を海の上に差し伸ばすと、主は一晚中強い東風で海を退かせ、海を陸地とされた。それで水は分かれた。そこで、イスラエル人は海の真ん中のかわいた地を、進んで行った。水は彼らのために右と左で壁となった。エジプト人は追いかけて来て、パロの馬も戦車も騎兵も、みな彼らのあとから海の中に入って行った。

—— 出エジプト14:21-23

このとき主はモーセに仰せられた。『あなたの手を海の上に差し伸べ、水がエジプト人と、その戦車、その騎兵の上に返るようにせよ。』モーセが手を海の上に差し伸べたとき、夜明け前に、海がもとの状態に戻った。エジプト人は水が迫って来るので逃げたが、主はエジプト人を海の真ん中に投げ込まれた。

—— 出エジプト14:26-27

イスラエル人は主がエジプトに行われたこの大なる御力を見たので、民は主を恐れ、主とそのしもべモーセを信じた。そこで、モーセとイスラエル人は、主に向かって、この歌を歌った。彼らは言った。『主に向かって私は歌おう。主は輝かしくも勝利を収められ、馬の乗り手を海の中に投げ込まれたゆえに。主は、私の力であり、ほめ歌である。主は、私の救いとなられた。この方こそ、わが神。私はこの方をほめたたえる。私の父の神。この方を私はあがめる。主はいくさびと。その御名は主。』

—— 出エジプト14:31-15:3

とうとうパロはユダヤ民族を解放し、人々はエジプトから出て行きました。しかしパロは心をひるがえしました。軍隊を率いて、海境までユダヤ人たちを追いかけてきました。そこで神は、ユダヤ人が濁った地面を歩いて行けるように海を分けてくださいました。エジプト人が追いかけてきた時、神は海を元に返し、全軍がおぼれてしまいました。

—— ザ・ホープ 6章

## 観察し、考える

カメラのレンズを通して見るように、今日の学びを2つの見方から見ましょう。最初に閉ざされた視野で、次に広角の視野で見てください。

閉ざされた視野では、エジプト軍が背後に近づいて来る時、あなたは前に横たわる海の塩霧を感じる事ができるほどでしょう。エジプトでは生涯奴隷として生活していました。それから信じられないほどドラマチックな展開で、エジプトの支配者があなたを去らせただけでなく、多くの高価な物を持たせて送り出したのです。エジプトを去ったとは言えないような状況で、数千人の人たちが、あなたと家族のまわりにひしめいています。みな顔には恐れがあります。そして自由への希望がつかえたと思った時、モーセが杖を伸ばして、前にあった海が分かれたのです！神は道がないところに、道をつくられました…ただあなたの民が逃げるためだけではなく、強力なエジプト

軍の脅威を打ち滅ぼすための道を！

今度は広角にして、もっと広い文脈で同じできごとをもう一度見てみましょう。この章の最初の課で、アブラハムにこれから起こることについて、神は夢の中で驚くべきことをお見せになりました。

- アブラハムの子孫は異国の地で寄留者となる。
- 彼らは奴隷となり、400年間抑圧される。
- 最終的に神は、奴隷にした国家をさばかれる。
- 神のさばきの後、アブラハムの子孫は富を持ってその国を離れる。
- アブラハムの生涯は、平安と長寿のうちに閉じられる。

今日の箇所で、神がアブラハムに言われたすべてのことが実現しました。世代を越えて語り継がれたアブラハムの話を聞いた(信じた)人々は、この日を待ち望んでいたに違いありません。神が海を分けた時人々は驚きましたが、彼らの不安はそれほど大きくはなかったと想像できます。神が彼らを救い出すと既に約束しておられ、この時点までに約束された他のことは、すべて実現していたからです。

## 質問し、黙想する

- なぜ神はヘブライ人をエジプトから一旦解放して、その後でエジプト軍に再び追われるようになさったと思いますか。(ヒント—この課の初めで引用された、出エジプト14:31—15:3の部分を読んでください。)
- 道が閉ざされたように見えた時、神はヘブライ人に新たな道を備えられました。道に迷った時、神はあなたに道を備えられましたか。もしそうなら、説明してください。あなたの応答はどんなでしたか。出エジプト14:31—15:3で引用されたような、ヘブライ人の応答に似ていましたか。
- もし本当に、ヘブライ人が、アブラハムへの神の特別な約束に注意を向けていたならば、神がエジプト人から救ってくださるという確信をどれ程持てたかわかりますか。聖書にある神の約束を学ぶことで、神にあってもっと強い確信を持てることがわかりますか。

## 決心し、行動する

このできごとを詳述する聖書の章(出エジプト14章と15章)は、私たちのための学びに満ちています。時間をとってこの章を読み、読んだ後思いをめぐらせてください。

出エジプト14:14に、「主があなたがたのために戦われる。あなたがたは静かにしていなさい。」とあります。確かに戦うか議論するか選択のときがありますが、ヘブライ人にとってはそういう時ではありませんでした。神がこの状況を、言い表すために(それはできないことでしたが)、何かなさることがあったならば、世々の人々はヘブライ人は実にすばらしいと言うでしょう。しかし神は、ただ神だけが解決することの出来る、神のみがほめたたえられる状況を計画なさいました。

もしもあなたの人生を通して神が栄光を受けてほしいと願うなら、試練に備えてください。神だけが打ち勝てる障害物によって、あなたの人生が試されるかもしれません。事実、障害物が大きければ大きいほど、それに神が打ち勝つ時、神は更なる栄光をお受けになるのです。そしてもし神が、貴女に静かにするよう申しておられるなら、あなたのために神に戦っていただきなさい。「主はいくさびと。」(出エジプト15:3)という言葉の意味がわかるでしょう。道が閉ざされたように見える時に、道をつくることがおできになるのです!

## 参照

- Adrian Rogers, *Promises of God*. (Love Worth Finding Ministries, 2006). ([http://www.lwf.org/site/PageServer?pagename=dis\\_PromisesOfGod](http://www.lwf.org/site/PageServer?pagename=dis_PromisesOfGod)). Retrieved October 17, 2006.

# 律法 — 聖なる信頼、聖なる召命

7章 36課



モーセは神のみもとに上っていった。主は山から彼を呼んで仰せられた。「あなたは、このように、ヤコブの家に言い、イスラエルの人々に告げよ。あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に載せ、わたしのもとに連れて来たことを見た。今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中にあつて、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエル人にあなたの語るべきことばである。」

モーセは行って、民の長老たちを呼び寄せ、主が命じられたこれらのことばをみな、彼らの前に述べた。すると民はみな口をそろえて答えた。「私たちは主が仰せられたことを、みな行います。」それでモーセは民のことばを主に告げた

—— 出エジプト記 19:3-8

神は、エジプトからヘブライ人を砂漠の中のシナイという山に導かれました。ここで神は、もしヘブライ人が従うなら、神の宝の民として祝福し、地上の全民族に神をあらわす者とすると言われました。民は、神がお求めになることは何でもしますと言いました。それから稲妻と雷、煙と火のうちに神はその山に降りてこられました。そしてモーセは神に会うために山に登って行きました。神は石板の上に、従い守るならば祝福が約束される律法をお書きになりました。ヘブライ人に与えるために、神はモーセにその律法を託しました。それは聖なる信頼、聖なる召命でした。この律法が神の道だったのです。

—— ザ・ホープ 7章

## 観察し、考える

何という栄誉でしょう！ 何という責任でしょう！ 試練と奇跡的な勝利によって、ヘブライ人は神との契約に入るために、世界のすべての民族から選び分けられました。この契約は、神がシナイ山でモーセを通してヘブライ人にお与えになった律法を中心にしています。十戒として知られていますが、この律法は、エジプト記20:1と申命記5:6-21に私たちのために記されています。この契約で、もしヘブライ人が律法に従うなら神の民となり、神が祝福してくださると約束されました。もし従わないなら、神は罰しなさい。この契約に伴う祝福と呪いの詳細が、申命記28章に書かれています。

この契約は第一義的にヘブライ人と彼らの神との関係の言葉で定められていますが、この契約の究極的意義は全世界に広がっています。上記で引用された出エジプト記19章の箇所では、もしヘブル人が自分に従うなら、彼らは「祭司の王国」になると約束しておられます。基本的に祭司は、神と人との間の仲介者です。祭司は人々を導き、人々に対しては神を表します。

律法は人のための神の道と神のみむねを表しました。ヘブライ人が律法に従う時、まわりの世界に神の道と神のみむねを

表したのです。ヘブル人が神に従って忠実に神を表す時、神がどういとお方であるかを世界が知るために、神はヘブル人を祝福するとは約束して下さいました！

簡単に言うならば、神の契約はヘブライ人が祝福される為だけでなく、神の民の忠実さを通して世界が神を知る為でもあるのです。

もし31課の神とアブラハムとの契約の学びを振り返ると、今日学んでいることが実際的にどのように契約であり得るのか不思議に思えるかもしれません。アブラハムについての課では、契約は無条件の変わることをない神の約束であると定義しました。今日取り上げる契約では、ヘブライ人が「もし」従うなら、祝福が約束されているのです。彼らの祝福は無条件ではありません。それは彼らの従順次第なのです。しかしそれでもこれは契約です。というのは、たとえ繰り返しヘブル人が神の律法に背いたとしても、神に立ち返り従うことを拒絶されることはありません。その意味でこの契約は、無条件の変わることをない神の約束であると言えます。神はもし従うならヘブライ人を祝福され、もし従わないなら罰されます。しかし決して手放したり、放棄したりはなさらないのです。

## 質問し、黙想する

- もし聖書の記述を注意深く読むなら、ヘブル人は律法（出エジプト20:1-17、申命記5:6-21）を受ける以前に、神との契約（出エジプト19:8）に入ることに同意したことがわかります。言いかえれば、ヘブル人は神が何を求めているか知る前に、神が求めることは何でもすることに献身したのです。なぜ彼らがこうすると思いますか。
- それが何かを知らないで、神が要求されることには何にでも献身したいと思いますか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。
- 新約聖書は、聖書の神を信頼し、従う者は誰でも神の祭司であり（第一ペテロ2:9）、大使である（エペソ6:20）と教えています。ヘブライ人に与えられた律法のように、この召命は聖なる信頼です。この信頼をする準備ができていますか。説明してください。

## 決心し、行動する

ヘブライ人は、すぐに神の申入れを受け入れ、神との契約に入りました。彼らは神を静かに見ていました。神は彼らをエジプトから救い出しただけでなく、その奇跡の後の日々で、知らない土地を旅する間、更なる奇跡を行いました。

- 出エジプト13:21—神は夜は火の柱で、昼は雲で導かれました。
- 出エジプト16:13-15—神は、朝にはマナというパンのような食べ物を、夕にはウズラを毎日食物として備えてくださいました。
- 出エジプト17:6—神は岩から水を出されました。
- 出エジプト17:9-13—神は軍隊に勝利をもたらしました。

神はヘブライ人に繰り返しご自分を証されました。ご自分が神であること、また善いお方であることを証明なさいました！結果的にヘブル人は、神が何を求めになっても「はい」と言える備えができたのです。

私たちもまた神のことばである聖書を学ぶことで、神の奇跡について知り、神の備えと約束に親しむことができます。聖書は、神が私たちに見てほしいと思っておられる、まさに神の自画像なのです！多くのことを記録しています！もし神が行動なさるのを見たければ、神のことばの学徒になってください。

## 参照

- Covenant in the Bible*. (Preceptaustin, 2006). ([http://www.preceptaustin.org/covenant\\_in\\_the\\_bible.htm](http://www.preceptaustin.org/covenant_in_the_bible.htm)). Retrieved October 18, 2006. This site provides in Table form a summary of the foundational biblical truths of various Biblical Covenants.
- John Piper, *Why the Law Was Given, A Sermon Given November 15, 1981*. (© Desiring God, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByTopic/11/320\\_Why\\_the\\_Law\\_Was\\_Given/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByTopic/11/320_Why_the_Law_Was_Given/)). Retrieved October 18, 2006.
- Philip Yancey and Brenda Quinn, *Meet the Bible: A Panorama of God's Word in 366 Daily Readings and Reflections* (Zondervan, 2000).
- The Bible Gateway, A Searchable Online Bible*. (<http://www.biblegateway.com>). Retrieved October 17, 2006. The Bible Gateway is a tool for reading and researching scripture online — all in the language or translation of your choice! It provides advanced searching capabilities, which allow readers to find and compare particular passages in scripture based on keywords, phrases, or scripture reference.

# 罪のための覆い

## 7章 37課



幕屋の型と幕屋のすべての用具の型とを、わたしがあなたに示すと全く同じように作らなければならない。

—— 出エジプト25:9

毎日、贖罪のために、罪のためのいけにえとして雄牛一頭を捧げなければならない。祭壇のための購いをするときには、その上に罪のためのいけにえを捧げ、これを聖別するために油をそそぐ。

—— 出エジプト29:36

その所でわたしはイスラエル人に会う。そこはわたしの栄光によって聖とされる。わたしは会見の天幕と祭壇を聖別する。またアロンとその子らを聖別して、彼らを祭司としてわたしに仕えさせよう。わたしはイスラエル人の間に住み、彼らの神となろう。

—— 出エジプト29:43-45

今や神は、人類を汚染した罪の故に、民は律法を守ることが出来ないということをご存知でした。ですから神は、彼らの中に臨在し、民が罪のための供え物として殺される動物を持ち来る聖なる場所の作り方を、モーゼにお告げになったのです。生贖の血に覆われても、神は罪を見過ごしにされません。いけにえは罪を覆いましたが、罪を取り去ることはしませんでした。

—— ザ・ホープ 7章

## 観察し、考える

神がヘブル人に律法をお与えになった時、人類を汚染していた罪の故に(18課)、ヘブル人が律法を守ることが出来ないということを、神はご存知でした。守れないという視点でヘブライ人を見るのは残酷であるように思えるかもしれません。しかし少し深く見ていきましょう。人にとって最も大切なことは、神との健康な関係を保つことです。律法は神の品性を表しますから、律法を避けて、神と正しい関係にあるということではできません。律法は、神がどういってお方であることを表します。丁度、神が聖なる、義と善のお方であるように・・・律法もそうなのです(ローマ7:16)。

もし神と正しい関係にありたいなら、律法と正しい関係になければなりません。

ヘブル人はしばしば律法を破りますが、恵み、憐れみ、知恵に満ちた神は、ご自分と正しい関係を保つ道を、ヘブル人お与えになりました。ザ・ホープで語られるように、「ですから神は、彼らの中に臨在し、民が罪のための供え物として殺される動物をもち来たる聖なる場所の作り方を、モーゼにお告げになったのです。神は罪を見過ごしにされないで動物の血はおおいのようでした。」幕屋として知られる、このいけに

えの聖所のために、神は詳細に亘る指示を出エジプト25章～27章に記しています。捧げられるいけにえのための指示の詳細は、出エジプト29章～30章にあります。

出エジプト29:36では、この「いけにえは贖いのためであるとあります。「贖い」という言葉は、文字通り「おおうこと」を意味するヘブライ語「カファル」から来ています(この同じ言葉は、神がノアに箱舟を松やにで「おおう」ように言われた時、用いられました)。いけにえが罪の為の贖いであると言われる時、ある意味で罪を「おおって」いるのです。すべてのものを見、ご存知であるお方があたかもいけにえを通して見ることが出来ないかのように、罪を見れないと考えるのは愚かしいことでしょう。少なくとも一定の期間、神は罪を見過ごさないこと、罪を裁かないことを選ばれることで、いけにえに栄誉を与えられたというのがもっと正確な言い方でしょう。

新約聖書に目を移すと(ヘブライ人への手紙10:4)、このいけにえが罪を「おおって」も、罪を取り除かないということが分かります。さらには、隠されたものが明らかにされる(第一コリント4:5, 3:13)時が来るということも分かります。

言い換えれば、おおわれている物のおおいが取り去られ、善であれ、悪であれ、あらゆる人の行為が明らかにされるのです(第二コリント5:10、黙示20:12)。

罪を贖うためのヘブライ人のいけにえは、約束手形に似ています。人が大金を借りる時、金貸しは、ある時まで返金しますという同意書(約束手形)に署名することを求めます。その手形は借金を除きませんが、最後の支払い時期が来て、借金が支払われるまで、その人の信用と生活を守ります。同様にこのいけにえは、ヘブライ人が神との正しい関係に生き続けるようにさせるのです。それは罪を除きませんが、約束の救い主が罪を永遠に取り除く(ヨハネ1:29)時まで、罪の問題を一時的に解決します。このいけにえは、一つの完全ないけにえが、罪の負い目を完全に消し去る最後の支払いとなる時を、指し示すのです。

## 質問し、黙想する

- 聖書は、神の律法はよいものであると言っています。(ローマ7:12、第一テモテ1:8)神の律法(あるいは一般的な律法)を考えると、あなたは良い気持ちになりますか、悪い気持ちになりますか。なぜですか。
- ほとんどの人にとって、動物のいけにえの考えは、不快なものです。しかし医療の大きさは、扱われる病気に比例していることを考えてください。例えば、ガンの方はキモセラピーを受けるかもしれません。心臓疾患の方は、バイパス手術を受けるかもしれません。病気に必要でなければ、誰もこの種の治療は受けないでしょう。

罪の行為は、単なる失敗ではありません。それは神の律法を破ることであり、それゆえに神で自身を冒とくすることでもあります。あらゆる人の内に住みつく罪の力は、ただ悪い態度だけではなく、処置されなければ死をもたらす暗闇の力なのです。動物の命をとることは、ある人には過激に思えるかもしれませんが、罪の問題はさらにずっと過激なのです。罪のなだめとして動物の犠牲を捧げるようにとの神のヘブライ人への教えについて、どう感じますか。説明してください。

## 決心し、行動する

出エジプト記29章、30章を読んでください。ヘブライ人が、神との正しい関係を保つために、罪の贖いとしていけにえを捧げ続けなければならなかったことを考えてください。しかし救いの主のみわざを信頼する者にとっては、罪の問題は一度限りで解決しています。もしあなたが救い主をこれまで信頼していないなら、このスタディ・ガイドの終わりにある「神を知る」の箇所へすぐ行ってください。もし罪を償うために、救い主をすでに信頼しているなら、出エジプト記29章、30章を読んでください。自分の為に深く祈り、そしてあなたの為に神がしてくださったことのゆえに、神に感謝してください。

## 参照

- Lehman Strauss, *The Atonement of Christ*, by Lehman Strauss. (© bible.org, 2006). ([http://www.bible.org/page.php?page\\_id=658](http://www.bible.org/page.php?page_id=658)). Retrieved October 18, 2006.

<sup>1</sup>Easton, Matthew George, *Atonement*. (Easton's Bible Dictionary Online, 1897; accessed on the Christian Classics Ethereal Library website). (<http://www.ccel.org/ccel/easton/ebd2.html?term=atonement>). Retrieved October 18, 2006.

<sup>2</sup>*Atonement (kaphar)*. (Hebrew Lexicon – Word Studies, Ancient Hebrew Research Center, 2006). ([http://www.ancient-hebrew.org/27\\_atonement.html](http://www.ancient-hebrew.org/27_atonement.html)). Retrieved October 18, 2006.

<sup>3</sup>*Promissory Note*, defined by Wikipedia, 2006. ([http://en.wikipedia.org/wiki/Promissory\\_note](http://en.wikipedia.org/wiki/Promissory_note)). Retrieved October 18, 2006.

# 律法—神の鏡

## 7章 38課



なぜなら、律法を行うことによって、だれひとり神の前に義と認められないからです。律法によっては、かえって罪の意識が生じるのです。

—ローマ3:20

## 観察し、考える

前の二つの課で、神がヘブライ人にお与えになった律法について考えました。神は、もしヘブル人が律法に従うなら祝福され、もし律法に従わないなら罰せられると約束なさいました。また神は、ヘブル人が完全に、継続的に律法を守ることが出来ないことをご存知で、いけにえを捧げるという、罪をおおう方法をお教えになったのを見ました。

しかし私たちが考えなければいけない、律法のもう一つの大切な面があります。多くの人は、律法は人間が神と正しくある為の手段として与えられたという考えを持っています。しかし、律法を守ることでは誰も神との正しい立場を得る(義とされる)ことはできないということが、聖書では明らかです(ローマ3:20)。そのことを考えてみてください。もし私たちが律法を完全に守れるとしても(完全に守れませんが)、依然としてアダム以来すべての人に受け継がれた罪に汚染されているのです(18課)。たとえ罪を決して犯さなかったとしても、あなたのうちにある罪が、あなたを神から引き離すのです。聖書を学ぶ時、律法は神にとっても人にとっても—鏡のようであることを学びます。律法において、神の品性が真に反映されているのを見ます。その反映によって、神が聖であり、義であることが明らかにされます。しかし、律法においてはまた、私たち自身の真の姿を見ます。律法を守れないことによって、私たちの不十分さが明らかになります。というのは、私たちは神の聖と義の基準には至れないということ、律法は明確に啓示するからです。私たちの内の何かが、力が足りないようにさせるのです。そしてローマ3:20によれば、その何かとは罪なのです。

鏡は、自分の顔を洗う必要があることを知るのに役に立ちます。しかし鏡で顔を洗うことは出来ません。正気の人誰も泥を取るために鏡をとり、それを顔にこすりつけるようなことは

しないでしょう。それには石鹸のような、きれいにするものが必要です。律法も同じです。律法は罪を明らかにしますが、洗剤ではありません。律法は私たちが罪から清めることはできませんが、私たちが清められる必要性を示すことができます。律法は、約束の救い主、罪を取り除くことのできる唯一のお方が私たちに必要であるという認識を持たせることができるのです。

## 質問し、黙想する

- 誰かが「律法主義」という言葉を使っているのを聞いたことがありますか。律法主義とは、救い(神と正しくされること)が律法を守ることによって得られるという信念です。しかし律法が洗剤よりも鏡のようであるならば、律法主義は義への道として意味をなすでしょうか。なぜある人々は、律法主義にしがみついていると思いますか。
- 律法に関しておそらく二つの極端な立場があります。一つは先に定義された律法主義です。もう一つの立場「放縦」は、律法はほとんどあるいは全く実際的な意味がないという見方で、神の恵みを見ることです。律法主義と放縦は、ほとんどの人の律法を見る見方の両極端に位置します。あなたはこの線上のどこにいますか、律法主義に近いですか、放縦に近いですか。なぜですか。

## 決心し、行動する

理想的には、律法主義と放縦の両極端の間の線のちょうど真中で、人はバランスを見出すことでしょう。おそらくバランスの真中の点は、自由という言葉で定義できるでしょう。神のみ前で本当に自由である人は、律法を神の聖く義なる基準として自由に敬う人です。(ローマ7:12)そして同時に、神との正しい関係を保つための手段として、律法に縛られることから自由な人です。

自由は、すべての神の従者のための神の目標です。もし線上の放縦に向かう傾向があるなら、神の律法、特に十戒を学ぶ時をつくってください。(出エジプト20:1-17、申命記5:6-21)もし線上の律法主義に向かう傾向があるなら、ローマ6章、7章、8章あるいはガラテヤ人への手紙の学びに時間を捧げてください。神がご自分のことばの学びを、律法と神への正しい関係にあなたを解放するためにお用いになるように、神に求めてください!

## 参照

- *Frequently Asked Questions about the Bible: In the Bible we read about "the law." What does this mean, and are we supposed to keep "the law" today?* (International Bible Society, 2006). (<http://www.ibs.org/bibles/about/17.php>). Retrieved October 18, 2006.
- Richard L. Mayhue, *Legalism: Does It Lead to True Righteousness?* (CrossMap.com, Pastoral Resources, August 20, 2005). (<http://pastors.crossmap.com/article/legalism-does-it-lead-to-true-righteousness/item46.htm>). Retrieved October 18, 2006.
- John MacArthur, *Liberty in Christ – What Is Christian Liberty?* (BibleBulletinBoard.com, 2006). (<http://www.biblebb.com/files/MAC/sg1667.htm>). Retrieved October 18, 2006.
- Ray C. Stedman, *What Are Bodies For?* (Discovery Publishing Company, A Ministry of Peninsula Bible Church, 1995). (<http://www.raystedman.org/1corinthians/3585.html>). Retrieved October 18, 2006.
- John Niles, *Legalism, License, or Liberty?* (The Evangelical Fellowship of Canada, 2004 posted this article which first appeared in Fellowship Magazine, June, 1998). (<http://www.christianity.ca/faith/bible-studies/2003/06.004.html>). Retrieved October 18, 2006.

<sup>1</sup>*Legalism (theology)*. (© Wikipedia, 2006). (<http://www.answers.com/topic/legalism-theology>). Retrieved October 18, 2006.

<sup>2</sup>*License*. (© Answers Corporation, 2006). (<http://www.answers.com/topic/license>). Retrieved October 18, 2006.

<sup>3</sup>*Liberty*. (© Answers Corporation, 2006). (<http://www.answers.com/topic/liberty>). Retrieved October 18, 2006.



# 祝福から隷属へ

## 7章 39課



千年以上の間、ヘブライ人は神が命じられた通りに生きようと努めました。しかし、何度も神から離れ、時々偽りの神々に従いました。神に立ち返らなかつた時、神はヘブライ人を訓練し、外国の民を送り、土地に侵入させ、彼らを支配させました。ヘブライ人は、その時自分の不誠実を認め、神に救いを求めました。神は迫害者から民を解放するために指導者を起こし、民は神の道に従って生きる献身を新たにしました。祝福から隷属へ、隷属から祝福へ、繰り返し、繰り返し、ヘブライ人は全世界に、神はどのようなお方を示すために用いられました。しかし世界を汚染した罪の故に、ヘブライ人は失敗なしには神の道を歩むことができませんでした。

— ザ・ホープ 7章

## 観察し、考える

この課を探究しながら、ザ・ホープは聖書要約の概観であることを心に留めることが大切です。

80分のビデオで、聖書全体をカバーすることはとてもできません。上記のザ・ホープの引用は、千年以上の期間を経て起こった事柄を描写しています。この期間、数多くの王や預言者が、ヘブライ人の歴史に足跡を残しました。彼らの出来事は、聖書の多くの箇所記録されています。しかしもしこの期間を一段落で著わすとしたら、上記の引用は的を得ていると言えるでしょう

この引用は、ヘブライ人の歴史によく繰り返された周期を表しています。ある著述家は、この周期を次のように書き著わしました。

信仰から従順へ  
従順から祝福へ  
豊かさから自己中心へ  
自己中心から裁きへ  
裁きから隷属へ  
隷属から謙卑へ  
謙卑から信仰へ

ヘブライ人は、エジプトからの脱出時に神の奇跡を見た後、

神に従う信仰を持ちました。神が何を求めても、直ぐに献身しました。彼らが従う時、実際にそうしたのですが、神は祝福を与えると約束されました。事実彼らは祝福を受けて豊かになりました。そして次の周期が始まり、数世紀間続きました。

この原因・結果の進行は、ヘブライ人を描写するだけではありません。神との関係を持ついかなる民族や個人にも当てはめることができます。

祝福と豊かさの間には違いがあることに目を留めてください。豊かさとは一般的に、必要以上に持つことを意味します。神の見方によるならば、必要以上に持つことは、他の人に祝福をもたらす神の栄光をあらわすのに、不必要な部分を用いるということを意味します。それ以下のことをするのは、自己中心的です。ヘブライ人の場合、裁きが自己中心の後に来ました。新約聖書には、神は愛する者を訓練なさと告げる説があります(ヘブル12:6)。ヘブライ人への神の裁きは、彼らへの神の愛によって動機づけられました。神の裁きに打ちのめされ、神が必要であることに目覚める好機へと導かれたのです。

## 質問し、黙想する

- 上記の周期が起こった国家、集団、個人の特別な状況を思いつくことができますか。説明してください。
- この周期の危機的な変遷は、豊かさから自己中心へ行くところです。自分の人生でこの変化がありましたか。どのようにそれが避けられると思いますか。説明してください。
- この周期で、自分はどこにいますか。説明してください。

## 決心し、行動する

私たちの考えている周期について、従順の歩みについて考えてください。信仰は神からの賜物です。(エペソ2:8) 私たちは神への信仰を祈り求めることができますが、自分で作り出すことはできません。打ちのめされるとは、神から離れた時の自分の不十分さを、圧倒的に思い知らされることです。私たちは自分の人生にぼいて神の厳しい判断を拒むことができますが、自分自身を打ちのめすことはできません。この周期における従順以外のすべての行程は、神が私たちのためにして下さることです。一方従順は人間の責任です。

従順の本当の意味を考えてください。第一サムエル15:22にこうあります。「聞き従うことは、いけにえにまさり、…」いけにえと従うことには違いがあります。いけにえは服従の行為ですが、他のことでもあり得ます。人は自分の好きなように—いつ、どこで、どのように捧げるかを選択して—いけにえを捧げることができます。神が全く求めておられないいけにえを捧げることが可能です。

従順は異なっています。従順はいつでも、人間の唯一の適切な神への応答です。真の従順は、心で始まるものです。従順は祝福をもたらします。従順だけが、豊かさの中から自己中心が生まれることを防ぐことができます。

何年にもわたってヘブライ人の本質を明らかにした周期に、自分の身を置いてみてください。あなたがどこにいようと、心からの従順をもって神に応答してください。

## 参照

- John Piper, *The Pleasure of God in Obedience*. (© Desiring God. Sermon delivered March 29, 1987). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1987/588\\_The\\_Pleasure\\_of\\_God\\_in\\_Obedience/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1987/588_The_Pleasure_of_God_in_Obedience/)) Retrieved October 19, 2006.

<sup>1</sup>Fred Carpenter, *GENERATION, Personal Study Guide*. (© Mars Hill Productions, 1997, page 10).

# 揺るぎない希望の源泉

7章 40課



エデンの園で、神は救い主を送ると約束なさいました。神はイスラエルの預言者を通して、いつか永久にサタンと罪と死を打ち破る救い主の到来についての何百もの約束をくださいました。神殿では、生贄の煙が日ごとに、年ごとに、世代ごとに立ちのぼり、イスラエル人は人類が救い主を必要としていることを絶えず心に留めていました。しかしいつ救い主は来るのでしょうか。どのように来られるのでしょうか。今に至るまで多くの人々が救い主が来られたかどうか疑問に思ったにちがいません。

—ザ・ホープ 7章

## 観察し、考える

今日の課は、ザ・ホープの中間地点です。ここまでで、聖書中の様々な真理とできごとを学びました。神が意図された通りに、これから来ることへの舞台が整えられました。私たちの扱ってきたことを振り返りましょう。

- 聖書が、神の人間への啓示として信頼できる理由。(3課と4課)
- 聖書が神について語っていること。一神はどなたであり、どのようなお方か。(6課)
- 聖書が人間について語っていること。一神のかたちに造られ、罪によって神から離された人間について。(9課と10課)
- 神の人間への目的一人を愛し、人に愛される神。(13課)
- 罪の性質と人への影響、人と神との関係への影響。(18課と19課)
- 聖書がサタンについて、サタンの神と人への戦いについて語っていること。(14課)
- サタンと罪と死を永久に打ち破る救い主を送るという神の約束。(20課)
- 世界の民族がどのように存在するようになったか。(25課)
- 全世界が彼を通して祝福されると約束されたアブラハムという人物を、神はどのように召し出されたか。(26課)
- 神の約束は、アブラハムの子孫を通じてどのように保たれたか。(31課)

- アブラハムを通してヘブライ民族一神が救い主を送られ、ヘブライ民族を通して全民族を祝福なさるといふ約束を神が成就なさる民族一を、神はどう形づくられたか。(32課)

これらのすべてのできごとと真理は、聖書の最初の五つの本に記されています。この五つの本(ヘブライ民族にはトーラーと知られている)は注意深く編集され、今の課でカバーされる期間(およそ紀元前400年から紀元後1年)まで念入りに保存されました。聖書写本の正確さを守るヘブライ人の方法については、3課を復習してください。

ヘブライ人がメシヤと呼ぶ約束の救い主の宣教と奉仕について、トーラーを通して繰り返し出てくる中心的な主題があります。この中心的な主題は、聖書の何百という預言や数多い物語によって表現されています。ザ・ホープの学びで、このいくつかには触れてきました。

- 神がアダムとエバに覆いとして備えた動物の毛皮(20課)
- 世界のさばきの中で、ノアを安全に運んだ箱舟(23課)
- 息子の身代わりの犠牲として、神がアブラハムに備えた小羊(30課)
- ヘブライ人家族の戸口で、死を追いやった過越の小羊の血(34課)
- 罪を贖う(覆う)ために捧げ物をするようにと、神がヘブル民族に与えられた指示(37章)

人が自分にできないこと一罪から解放されることや永遠に神との正しい関係の中で歩むこと一を、神が人のためにいつかしてくださる方法が、それぞれの歴史に深く刻まれています。ヘブライ民族に与えられた啓示によって、彼らは熱心に約束の救い主を待ち望んでいたと考える人が居るかもしれません。しかしそうではありませんでした。

歴史家によると、この課でカバーされる期間、形式宗教が常に盛んで、霊的には低迷していた時期があったのです。ある人は本当に聖書で約束された救い主を探し求めていましたが、ほとんどの人はただ、外国の支配から解放してくれる生活を向上させてくれる政治的な救い手を探し求めていたのです。聖書箇所には預言されている救い主への希望に満ちた期待から、人々の焦点がどのようにずれてしまったのでしょうか。

ほとんどの歴史家と聖書学徒は、神が与えた「律法」に、何百という法律を加えたヘブルの宗教指導者たちの影響を、その理由として挙げています。申命記12:32で神は、「あなたがたは、私があなたがたに命じるすべてのことを、守り行わなければならない。これにつけ加えてはならない。減らしてはならない。」と言われました。時を越えて、この種の影響がどのようにヘブライ民族の焦点をずらし、ビジョンを失わせたかを知ること、難しいことではありません。この事実から、私たちは学ぶべきです。

## 質問し、黙想する

- 私たちの学びの前半で学んだことを振り返り、あなたの神を見る見方、神との関係にどのような影響があったかを自問自答してください。
- 5課で考えたように、今日の「後現代」社会は、この世界やそこに住む私たちの目的を説明する大いなる歴史認識を拒絶します。この後現代の見解は、相対主義、すなわち私たちはみな、世界と自分がどうそこにあてはまるかを説明する自分の歴史に行き着くことを求め、その上ですべての歴史は等しく価値があり真実であるとする考えに導きます。私たちの住む世界やそこにおける目的を説明する大いなる歴史はないと言う、後現代主義者に、あなたはどうか反応しますか。

## 決心し、行動する

ヘブルの人の歴史のこの期間中で、彼らから学ぶべきことはとても単純で率直なものです。神のみことばを無視してはいけなし、それにつけ加えてもいけません！そのことを十分に告げる節が、ローマ15:4です。「昔書かれたものは、すべて私たちを教えるために書かれたのです。それは、聖書の与える忍耐と励ましによって、希望を持たせるためなのです。」相対主義の世界で、揺るがぬ希望を持ちたいなら、神のことばの生徒になってください。みことばによって、まわりの世界や自分の目的についての見方が形成されるように求めてください。

<sup>1</sup>Ernest R. Martin PhD., *The Intertestamental Period*. (This article was written in 1986; Transcribed and Edited by David Sielaff, June 2002; © Associates for Scriptural Knowledge, 1976–2006). (<http://askelm.com/doctrine/d020601.htm>). Retrieved October 19, 2006.

<sup>2</sup>*Postmodernism* [A Definition]. (Public Broadcasting Service, 1995–2206). (<http://www.pbs.org/faithandreason/gengloss/postm-body.html>). Retrieved October 19, 2006.

<sup>3</sup>*Relativism* [Definition, etc.]. (Answers Corporation, 2006). (<http://www.answers.com/topic/relativism>). Retrieved October 19, 2006. For insights into how relativism can be refuted: Matthew J. Slick, *Relativism*. (Christian Apologetics and Research Ministry, 2003). (<http://www.carm.org/cut/relativism.htm>). Retrieved October 27, 2006.

# 予期せぬ神のみ業

## 8章 41課



み使いが言いました。「マリア、怖がることはない。あなたは神から恵みを受けたのです。ご覧なさい。あなたはみごもって、男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。」

——ルカ 1：30－31

マリアは月が満ちて初めての男の子を産んだ。そして、布にくるんで、飼葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊る場所がなかったからである。

——ルカ 2：7

待つこと数千年、其れはついに起こりました。ある晩ナザレの町で、マリアという女性に予期せぬ訪問者がありました。神から遣わされた天使が、マリアが子を産むこと、その子に「主は私たちの救い」という意味のイエスという名をつけるようマリアに告げたのです。

・・・しかしベツレヘムの宿はどこも一杯で、マリアの泊る宿は見つかりませんでした。そこでマリアと夫のヨセフは馬小屋に泊りました。こうして約束の救い主、神のみ子は、もっとも貧しい場所にお生まれになったのです。

——ザ・ホープ 8章

## 観察し、考える

神はしばしば私たちとは大きく異なることをなさいます。事実、神は思いも寄らないことをなさるのです。イザヤ書55章8節にこうあります。「わたしの思いは、あなた方の思いと異なり、わたしの道はあなた方の道と異なるからだ。— 主の御告げ—」約束の救い主の到来について、イエス誕生の真相は信じられないほど何度も繰り返し引用されて来ました。主の到来について次の2点を考えて下さい。

第一に、人が神に至る道を創造するのではなく、神が人の世に来て下さったという点です。この単純で深い真理は聖書の基本的なメッセージで、世の中の他のどんな宗教とも異なるものです。他の宗教は、人が神への道を造らねばならないと教えます。しかしこのような教えは、(1) 罪によって神と人との間に生まれた溝の深さを認識していないし、(2) 溝を埋める人間の可能性を過大評価し、(3) そのようなことが可能であるとするので、神の聖域を狭めています。聖書は、人間が神への道をつくるために何も出来ないことを教えると同時

に、代わりに神が人を愛するがゆえに神ご自身が人間の下に来て下さったことを教えています。

第二に、神がどのような方法で人間のところに來られたかという点です。信じ難いほど親しく謙虚な姿で来てくださったのです。最もありふれた状況の下、粗末な家畜小屋でひとりの処女の初子としてお生まれになりました。人間の頭脳では考えつかないシナリオです。これこそ神の方法なのです。

多くの宗教は物質的な世の中が本質的に悪であると教えています。このような宗教では、聖なる創造主である神が人の肉体に姿を変え、罪に満ち、墮落した被造物にご自身を従属させたと思えるのは冒涇でしょう。(次の課で、このことをもっと深く考えます。)

神の到来の驚くべき方法を理解出来たととしても、常識では非常に奇妙な方法に思えるのではないのでしょうか。神は誰にも知られることなく静かに來られました。地上でこの出来事を見たのはほんの一握りの人間と生きもの、、、数人の羊飼いと

馬小屋に居た数匹の動物たちでした。この出来事は紀元前と紀元後という二つの年代の境目、つまり文明の節目という大事な時に起きましたが、誰もその時と場所に気づきませんでした。しかし永遠の神が人として時間と空間の世界に足を踏み入れたその瞬間、霊の世界では神の見使いたちの軍勢が天空で歓喜に満ちた大歓声を上げていました。

## 質問し、黙想する

- VIPの到着に備えるよう頼まれたことがありますか。もしそうなら、そのためのあなたの計画は、御子の降誕のための神の計画とどのように違いますか。
- なぜ全世界がそれとわかるような方法で、約束の救い主が世に来られなかったと思いますか。

## 決心し、行動する

神が何をなさろうとしているか、どのようにあなたの人生に現れてくださるかについて、前もって決めつけてしまうのは良くありません。神の道は私たちの道ではないことを忘れないでください。

ヨセフとマリアは、どこにも部屋が空いていなかったため宿屋に泊まれませんでしたが、ベツレヘムはその晩人々で溢れ活気に満ちていました。しかし多くの人々は、彼らの間近で永遠に重大なことが起こっているという事実に気づきませんでした。悪いことをしていたからではなく、神が傍に居られることに気づかずに一自分のことだけに集中していたためでした。

救い主の到来を通して、神はあなたの人生に重大なことをなさろうとしています。しかし神はあなたの全く予期しない方法を選んでそれを成し遂げられるかもしれません。もしあなたがそれを捜し求めていないなら、その方法に気がつかないでしょう。あなたの人生で起こる、神の予期せぬみ業を見逃さないように備えることが大切です！

## 参照

- John Piper, *The Word Became Flesh*. (A Sermon Given December 24, 1989, © Desiring God, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1989/703\\_The\\_Word\\_Became\\_Flesh/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1989/703_The_Word_Became_Flesh/)). Retrieved October 25, 2006.

<sup>1</sup>*The Big Religion Chart*. (© ReligionFacts Website, 2004–2006). Comparison of 25+ world religions. ([http://www.religionfacts.com/big\\_religion\\_chart.htm](http://www.religionfacts.com/big_religion_chart.htm)). Retrieved October 26, 2006.

<sup>2</sup>Marshall Brain, *How Time Works*. (How Stuff Works Inc., 1998–2006). (<http://people.howstuffworks.com/time7.htm>), Retrieved October 25, 2006.

# イエスはどのように罪無き人として生まれたか？

8章 42課



たったひとりの人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと同様に、——それというの  
も全人類が罪を犯したからです。

——ローマ 5:12

わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、  
彼のかかとかみつく。

——創世記 3:15

イエスはどのように罪無き人として生まれたか？神の計画が実行に移されました。しかし、それがこのような形で起こると誰が予  
期し得たでしょう。神の従来からの約束から見ても、救い主は罪に打ち勝つために来られた以上、神に罪がないように救い主にも罪  
がないだろうと多くの人は考えるでしょう。それにしても時代を超えて神に約束された救い主が、人の形をとられた神ご自身である  
と、だれが想像できたでしょうか。

——ザ・ホープ 8章

そしてアダムを通して、罪が世代から世代へと引き継がれ、今日に至るまで人類すべてに影響を及ぼしています。

——ザ・ホープ 3章

## 観察し、考える

人の肉体に形を変えた聖なる神の問題をもう一度取り上げ  
ましょう。罪のない神が、罪に汚染された世界にどのように人  
間として入り、しかも罪無き人のままでいることがおできになる  
のでしょうか。最初になぜこのことが大切なのかを考え、そ  
れからどのようにそれが可能なのかを考えます。

上記のザ・ホープ8章の引用から見ると、救い主が人類を罪  
から解放するためには、ご自身に罪がないことが必要です。  
このくだりは、主要な神学的教義の中でも真理として述べら  
れています。救い主は仲介者となり、神と人を和解させるため  
に、律法を成就しなければなりません。律法を成就す  
るために罪があってはならなかったのです。

聖書はしばしば、救い主に罪がなかったことを告げています。  
(ヘブル4:15、11コリント5:21、1ペテロ2:22、  
1ヨハネ3:5) しかしどのようにこのことが可能なので  
しょうか。ザ・ホープの学びで繰り返し、人類を汚した罪につ  
いて学んできました。(3章18課を見てください。) 上記  
のローマ5:12で 「たった一人の人によって罪が世界に入

り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと  
同様に、.. それというの全人類が罪を犯したからです。  
」と書かれています。それではどのように救い主は、人として  
生まれ、罪に汚されないでいられるのでしょうか。二つの可能性  
を考えましょう。

最初に、もし神は望むことは何でもおできになるなら、神がマ  
リアの胎内のイエスを、罪から守られた奇跡を事実として受  
け入れるべきでしょう。

二番目に、ローマ5:12を注意深く考えてみましょう。「一人  
の人によって罪が世界に入ったので、死が「全人類」に広がっ  
た」と述べていることに、注目して下さい。この節は、「ひとりの  
男とひとりの女」によって罪が世界に入ったとは言っていません。  
罪はエバではなく、アダムを通して世界に入ったのです。  
子孫に罪を伝えたのは、アダムであり、エバではありませんで  
した。ですから創世記3:15の神の約束で、サタンを潰す(文字通りには「噛み砕く」)  
のは女の子孫であり、男の子孫ではないのだと思われま

ある特徴、異常、病気は、父親だけ、又は母親だけから遺伝するということが知られています。同様に罪(罪の行為でなく、罪の力)は、母親でなく父親から、世代から世代へすべての人に伝わっていくことが可能なのです。イエスの場合は聖霊の力による奇跡的な受胎で、神を父として、罪の無い身でお生まれになりました。宗教のいかなる教えにかかわらず、このことでマリアに罪があっても、イエスが罪なく生まれることを説明できるのです。女であるマリアの罪は遺伝しませんでした。聖書は、生きていてすべての人に罪があると告げています。(ローマ3:23、ローマ3:10)・・・イエスには罪がないのです!(1コリント5:21、1ヨハネ3:5、ヘブル4:15)

## 質問し、黙想する

- なぜ救い主に罪がないことが必要だったのでしょうか。過ぎ越しの子羊は無傷でなければならなかった(出エジプト12:5)という事実は、救い主が罪に汚れていないお方である(第一ペテロ1:19)という事実の前触れでした。
- どのようにイエスは、生存した他のいかなる人物とも異なり、罪なく生まれることが出来たのか考えたことがありますか。なぜこのことが、ある人たちにとっては受け入れ難い概念であるのかわかりますか。

## 決心し、行動する

神に出来ることが何であるか理解できない時、人は心を静めて、葛藤する思いを解決しようとするでしょう。ある宗教は、神は罪に汚染されることなく人になることはできないと主張します。彼らはこの概念を忌まわしいものとみなし、イエスを単なる預言者に引き引き下ろしてしまいます。又ある人々は、イエスが罪無き人であるためにはマリアに罪があってはならなかったと言います。しかし聖書からわかるように、(1)神はイエスに目に見える人間のかたちをとらせ、(コロサイ2:9)(2)マリアには罪がありました。(ローマ3:23)またこの課で見たように、聖書をさらに詳しく調べると、真理を曲げることなく、イエスの無罪を説明する方法があることに気がきます。ここで教えられることは簡単なことです。

矛盾に思えることを解決するために、聖書の真理を曲げてはいけません。むしろみ言葉をさらに深く掘り下げ、理解する力を与えてくださるよう神に祈り求めてください。

<sup>1</sup>*What Is the Immaculate Conception?* (Got Questions Ministries, © 2002–2006). (<http://www.gotquestions.org/immaculate-conception.html>). Retrieved October 27, 2006.

<sup>2</sup>Matthew J. Slick, *If Jesus is God in the flesh, why did He not inherit original sin?* (© Christian Apologetics and Research Ministry, 1996–2006). ([http://www.carm.org/questions/Jesus\\_sin.htm](http://www.carm.org/questions/Jesus_sin.htm)). Retrieved October 27, 2006.

<sup>3</sup>*Genetic Counseling*. (Medindia Health Network Pvt Ltd, 2006). (<http://www.medindia.net/patients/patientinfo/geneticcounseling-print.htm>). An additional reference is Richard M. Lebovitz, *Natural Selection in Family Law: Legal Cases and Materials*; 3.7. Maternal transmission of citizenship. (Biojuris, 2005). (<http://www.biojuris.com/natural/3-7-0.html>). All retrieved October 27, 2006.



# 完全なる人、完全なる神

## 8章 43課



幼子は成長し、強くなり、知恵に満ちていった。神の恵みがある上にあつた。

——ルカ 2:40

聞いていた人々はみな、イエスの知恵と答えに驚いていた。

——ルカ 2:47

そして水の上から上がられると、すぐそのとき、天が裂けて御霊が鳩のように自分の上を下るのを、ご覧になった。そして天から声がした。「あなたは、わたしの愛する子、わたしはあなたを喜ぶ。」

——マルコ 1:10-11 ☒

少年時代を通して、イエスの力と知恵は大きく成長しました。ヘブライ人の教師たちでさえ、イエスが神に関して深く理解しているのを知り驚きました。

——ザ・ホープ 8章

そしてイエスは神について話す時には父と呼びました！ 神の恵みがイエスの上であり、彼を知る人々は皆好意を寄せました。

——ザ・ホープ 8章

## 観察し、考える

少年や青年時代のイエスについては、あまり知られていません。誕生の時から公の奉仕の始まりまで30年が過ぎました。聖書は、その間のことについては、ほとんど語っていません。イエスは神のみ子として、他の人とは違っていました。しかしマリアの息子としては、すべての人の子と変わりありませんでした。人間の形をした神として成長するとは、どんなことでしょうか。多くの疑問があることでしょうか。

宇宙の創造主でありながら、他のすべての子供と同じように、人の子として育てられ、被造物に依存するということは、どのようなことなのでしょう。イエスの最初の言葉は何だったのでしょうか。子供たちの遊び相手として、イエスだけがのけ者にされるような時があったのでしょうか。イエスはその時どのように感じたのでしょうか。にきびや思春期のやっかいな年齢に達した時、自分をぎこちなく感じたのでしょうか。イエスが可愛いと思った若い女の子はいたのでしょうか。イエスはどのように対処したのでしょうか。イエスを脅かそうとした弱い者いじめの子はいたのでしょうか。イエスはどのように対処したのでしょうか。

とにかくそのような時期はやり過ぎですが、誰にとっても簡単です。しかしイエスはやり過ぎませんでした。イエスはそれを十分に経験されました。聖句の中に、成長して大人になる時の神のみ子について知ることのできる特別な場面があります。

少年時代のイエスは、天の父の事についてもっと知りたいという強い願望を持っていたことが分かります。ルカ2:47は、神殿で起きた出来事を記しています。イエスが罪と死に打ち勝つために、最後に捧げる自分自身の犠牲を予測するまでとでもありました。過ぎ越しの祭りを祝うために、ヨセフとマリアはイエス伴ってエルサレムを訪れていました。どういふわけかイエスは肉親と離れ離れになってしまいました。三日後にやっと両親は、当時の宗教指導者たちと論じているイエスを、神殿の中で見つけました。聖書は、人々が「イエスの知恵と答えに驚いていた。」と述べています。両親が叱ると、イエスは「わたしが必ず自分の父の家にいることを、ご存じなかったのですか。」と答えられました。(ルカ2:49)

神殿のできごとから、上記マルコ1：10で引用されたイエスの洗礼まで、約18年がおぼろげな中で過ぎました。次の課でイエスの洗礼の模様にもっと時間を取りますが、今は、イエスが水から上がった時の神の言葉、「あなたは私の愛する子、わたしはあなたを喜ぶ」という天からの言葉に特別な注意をむけましょう。

歴史を永遠に変えたとされるイエスの三年間の公的生涯が始まらないうちに、この言葉が語られたという事実を見逃してはいけません。イエスが一つの説教も語らないうちに、一つの奇跡も起こさないうちに、そして罪と死に打ち勝ち、人と神とを和解させる最も大切な働きをイエスが成し遂げないうちに、この言葉が語られました。何故なら天の父は若いイエスを非常に喜ばれたからです。

父なる神は、イエスのなさったすべてのことの故に喜ばれたというよりも、イエスが誰であるか、、、もっと正確に言うならば、誰に属するかということの故に喜ばれたのです！自分の行いの故に神が愛し受け入れて下さると感じる人々にとってこの事は深い意味を持っています。

## 質問し、黙想する

- にきび顔で早口で得意そうに話す十代のイエスを考えると、不愉快ではありませんか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。このことについてのあなたの気持ちを説明してください。
- 聖書に記されているように、イエスが驚くべき、大切な働きを何もなさらないうちに、父なる神はイエスを喜んでおられたということは、あなたにとって新鮮に思えますか。神があなたをお喜びになるのは、あなたの行いの故だと思えますか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。

## 決心し、行動する

後に成人したイエスは、あるたとえ話をされました。それは、長い旅に出る主人から資産をまかされた忠実な僕がそれをいかに投資し増やしたかについての話です。主人が戻った時、僕に言いました。「よくやった。良い忠実なしもべだ。あなたは、わずかな物に忠実だったから、私はあなたにたくさんの物を任せよう。」

この話の中で、しもべは主人が喜ぶ働きをしました。主人が戻ったとき賞賛したのはそのためでした。このたとえの主人のように、神は私たちのしたことによって、もっと正確に言うならば、忠実に神に従い神の報いに値する行いを通して、「よくやった。良い忠実なしもべだ。」と言って貰えるのです。

さらに言うならば、今日の課で見たように、神の愛は、私たちが神のために何をするかということではなく、自分が誰であるか、もっと正確に言うならば、自分が誰のものであるかということによって注がれるのです。もしあなたが神に属しているなら、あなたは神のものであるから神はあなたを愛し、あなたを喜んでおられるという真理を実感できるでしょう。もし自分が神に属しているのかどうかははっきりしていないならば、すぐにこの学びの「神を知る」の箇所に行き、このことを永遠に…解決してください！

## 参照

- David Humpal, *Jesus as a Young Boy*, Luke 2:21–52. (Verse by Verse Studies in the Gospel, 1998). (<http://www.elite.net/~ebedyah/PastorsSite/gospels/luke2-21-52.htm>). Retrieved October 27, 2006.

下列文献都包含有关神的恩典与靠恩典才被接受的：

- Dr. Bill Gillham, *Polar Positions in God's Word*. (© Lifetime Guarantee Ministries, 1979). (<http://www.lifetime.org/get/equipped/dj-read/polar-positions/>). Retrieved October 27, 2006.
- Dr. Bill Gillham, *A,B,C,D,F or Pass/Fail?* (© Lifetime Guarantee Ministries, 1980). (<http://www.lifetime.org/get/equipped/dj-read/pass-fail/>). Retrieved October 27, 2006.
- Dr. Bill and Anabel Gillham, *The Life Video Series. How to Let Christ Live His Life in and Through You*. (© Mars Hill Productions and Lifetime Guarantee Ministries, 1996). ([http://www.mars-hill.org/media/christian\\_growth/christian\\_set.htm](http://www.mars-hill.org/media/christian_growth/christian_set.htm)). Retrieved October 27, 2006.
- Dr. Jerry Bridges, *Gospel-Driven Sanctification*. (© 2003, Modern Reformation Magazine, May / June 2003 Issue, Vol. 12.3). (<http://www.modernreformation.org/jb03gospel.htm>). Retrieved October 27, 2006.

<sup>1</sup>Matthew 25:14–28



# イエスの受洗

## 8章 44課



さて、イエスは、ヨハネからバプテスマを受けるために、ガリラヤからヨルダンにお着きになり、ヨハネのところに来られた。しかし、ヨハネはイエスへのバプテスマを否定してこう言った。「私こそ、あなたからバプテスマを受けるはずなのに、あなたが、私のところにおいでになるのですか。」ところが、イエスは答えて言われた。「今はそうさせてもらいたい。このようにして、すべての正しいことを実行するのは、わたしたちにふさわしいのです。」そこで、ヨハネは承知した。こうして、イエスはバプテスマを受けて、直ぐに水から上がられた。すると、天が開け、神の御霊が鳩のように下って、自分の上に降りて来るのをご覧になった。また、天からこう告げる声が聞こえた。「これは、わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ。」

—マタイ3:13-17

天の御国が近づいたと告げて、ヨハネは人々が神の道を歩むように招きました。神のために生きなさいというヨハネの説得を受け入れた人々は、水に浸される洗礼という慣習に従いました。これは、清めと神の律法に生きるという献身の意志を表すものでした。そしてある日、イエスがヨハネのもとに来られました。イエスが誰であるか知っていたので、ヨハネは洗礼を受けて下さるように願い出ました。しかしイエスの名による洗礼の時はまだ来ていなかったため、ヨハネが水から上がると、神の御霊がイエスの上に降りて来ました。そして天から「これはわたしの愛する子、私の喜ぶ者である。」という御声が聞こえました。

—ザ・ホープ 8章

## 観察し、考える

この課で見られる洗礼という慣習は、神が清めの目的であるようにとヘブライ人に教えられた洗い清めの習慣に起源があります。(レビ16:26, 28; 22:6; 民数19:7, 9) しかしイエスは清められる必要はありませんでした。その上ヨハネはイエスを子供の頃から知っていたので、洗礼を受けることを止めさせようとして、「私こそ、あなたからバプテスマを受けるはずなのに、あなたが、私のところにおいでになるのですか。」(またい3:14)と言ったのです。

清めが必要でなかったら、イエスの生涯でこの洗礼の目的は何だったのでしょうか。このことで少なくとも三つのことが成し遂げられたという点に、多くの神学者が同意します。同一性、塗油、確証の三つです。同一性については、律法を破棄するためではなく、成就するために来られたのであるから、イエスは(またい5:17)、神の道に生きるようにというヨハネの義への招きをご承知だったと多くの人が信じています。しかしある人はこの出来事でもう一つの同一性が生じたとみています。

聖書の教師であるH. A. アイアンサイド博士は、このように

述べています。

「私たちは借金が積み過ぎて払うことができない貧民のようなものです。これは私たちの罪を意味しています。この途方もない請求書を前に、私たちは到底払いきれません。しかしイエスが来られた時、払いきれないこのすべての借金、手形、契約書を引き受け、ご自分の名で裏書きして下さいました。そしてそれを払うつもりだと仰って下さったのです。これがイエスの受洗の意味であり、「すべての正しいことを実行するのは、私たちにふさわしいのです。」と洗礼者ヨハネに向かって言われた理由なのです。(マタイ3:15) イエスをご自分で人々の借金を肩代わりすることで、神の真の意図を成し遂げるといご自身の意志を明白にされました。

洗礼により、イエスは義に関して神と同一になられただけでなく、義の道を求めるあなたや私とも同一になられたのです。イエスは神の義の要求を満たす私たちの身代わりとして、ご自身を捧げるために来て下さったのです。この身代わりは、受洗で始まり、十字架で完了しました。

イエスは受洗と塗油の後、聖霊が鳩のようにイエスの上に降りて来るのをご覧になりました。(マタイ 3:16) 塗油によってイエスは、特別な使命を果たすための力を神から授かりました。イエスは、サタンと罪と死に打ち勝つために比類ない苦しみと犠牲の数々を乗り越えて、言語に絶する壮絶な三年間の公的生涯をまさに終わろうとしていました。イエスはまさにこの目的のために油を注がれたのです。

イエスが神の子であるという確証は、「これは、わたしの愛する子、私はこれを喜ぶ。」という天の父の声で明らかになりました。(マタイ 3:17) 前の課で見たように、この確証は、それまでにイエスが行った奇跡の結果ではありません。なぜなら、奇跡は未だ起きていなかったからです。この確証は、イエスが誰であるか(誰のものであるか)、そしてイエスが喜んで御父との関係の中で歩んでいこうとされたことの結果なのです。

## 質問し、黙想する

- ・ 洗礼は、あなたにとって親しみ易いですか。もしそうならどのようにですか。もしそうでないなら、洗礼についてどう思いますか。
- ・ 洗礼を受けたことがありますか。その時どんな意味がありましたか。
- ・ 洗礼を通してあなたと一つになってくださるイエスについてどんな思いがありますか。このようなことをして貰うことは、あなた個人にとって、どんな意味がありますか。

## 決心し、行動する

この課では、イエスが洗礼を通してあなたと一つになってくださったことを見ました。実際にイエスと一つにされたか。この質問をどう解釈するか、あなた次第です。洗礼は、あなたがイエスと個人的に一つであることの、誰もが認める大切な表現なのです。しかしあなたは、イエスと一人生やまわりの世の中におけるイエスの目的と個人的に一つになりましたか。もしそうでないなら、そこから始める必要があります。

あなたの人生を委ね、おまかせしてイエスと一つになる時、父なる神は、あなたを創造しこの世に送り出した目的を正確に果たせるように、あなたを力づけてくださいます。そしてあなたを力づけてくださる時、御父は、ご自分と正しい関係を歩んでいるあなたを喜んでおられることを確認してくださるのです。御父の確証は、天からはっきりと聞こえる声というよりむしろ、心を静めた時だけに聞こえるかすかな声かもしれません、しかしそれは必ず聞こえます。

イエスに従うことは、イエスと一つとなることを意味します。あなたはイエスと一つになりましたか。そうでないなら、早くそうなりましょう。この学びの最後にある「神を知る」の箇所に進んで、息子や娘への御父の大いなる招きを体験してください。

<sup>1</sup>What is baptism? The process of baptism is very simple. The one to be baptized begins by standing, sitting, or kneeling in some water. Another Christian then lowers him/her under the water and then brings him/her back up out of the water. Some literally call this "immersion." Some faiths sprinkle water on people instead of immersing them.

<sup>2</sup>Ray C. Stedman, *The Servant Who Rules*. Exploring the Gospel of Mark. Volume One: Mark 1-8. (Discovery House Publishers, © 2002 by Elaine Stedman). (<http://www.raystedman.org/mark/mark1.html>). Retrieved October 27, 2006.

<sup>3</sup>Dr. H.A. Ironside, as quoted by Ray C. Stedman in his book, *The Servant Who Rules. Exploring the Gospel of Mark. Volume One: Mark 1-8*. (Discovery House Publishers, © 2002 by Elaine Stedman). (<http://www.raystedman.org/mark/mark1.html>). Retrieved October 27, 2006.

# イエスの誘惑

## 8章 45課



さて、イエスは、悪魔の試みを受けるため、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。

—— マタイ 4:1

誘惑の手を尽したあとで、悪魔はしばらくの間イエスから離れた。

—— ルカ 4:13

それからイエスはサタンの誘惑に打ち勝つために荒野に行かれました。イエスは誘惑に抵抗し、サタンは逃げ去りました。この荒野の出来ごとは大きな試練でした。貴金属が錬金術を通して磨かれその本質を表すように、この試練は確かに、イエスが父のみ心を行うために地球に来られた神の御子であることを証明するものでした。サタンを退けた後、イエスは聖霊の力に満ちて荒野を後にしました。

—— ザ・ホープ 8章

## 観察し、考える

イエスは受洗後、神の霊に導かれ、誘惑に会うために荒野に行かれました。この誘惑は、マタイ4:1-11、マルコ1:12-13、ルカ4:1-2に書かれています。マタイ4:1には、「イエスは悪魔から誘惑を受けるため、霊に導かれて荒野に行かれた」と記されており、聖霊がイエスを誘惑したのではないことに注目して下さい。それは大きな間違いです。なぜなら、聖書はヤコブ1:13で、「神は悪に誘惑されることのない方であり、ご自分で誰かを誘惑なさることもありません。」と語っているからです。サタン(マタイ4:13と1テサロニケ3:5では誘惑者といわれる)こそ、誘惑する者なのです。

ヤコブ1:13によれば、イエスを誘惑しようとするサタンの努力は空しいことが分かります。なぜなら、「神は…誘惑されることのない方」だからです。結局、イエスへの誘惑は神の目的を更に押し進める結果となりました。それは全く神のご計画の一部だったのです。「誘惑」という言葉を考える時、このことは一層明らかになります。

「誘惑」(あるいは誘惑される)とは、ギリシャ語「ペイラゾー」から来ています。それは「証明する」という意味の法律用語なのです。この意味でみるならば、サタンがイエスを誘惑した結果、イエスが他のどんな人物とも同じ人間であること、アダムのように、暴力に弱い人間であることが証明されました。

究極的には、検察官が被告の証言を台無しにしようとするのと同じ方法で、サタンは、サタンと罪と死から人類を解放する救い主イエスを台無しにしたかったのです。

同じギリシャ語「ペイラゾー」はまた、聖書の中で「試みる」「試みられる」と訳されているのは大変興味深いことです。神は人々を誘惑する方ではなく、人々を試みるお方です。ヘブル11:17で、「信仰によって、アブラハムは試みられた時、イサクを捧げました。」とあります。このことは前に学びましたが、アブラハムがテストに合格したことを私たちは知っていますし、神はアブラハムが合格する以前からそのことを知っておられました。このテストは、アブラハムが合格するか失敗するかを決めるためのものではありませんでした。それはアブラハムの品性を証明するためのものでした。このテストは、アブラハムが神を信じていることを証明するステップだったのです。あるいは、同じ章の前の節で学んだように(ヘブライ11:2)、このテストは「信仰によって称賛される」為のものだったのです。

簡単に言えば、サタンは、私たちが神の思い通りの者ではないことを証明するために「誘惑」します。しかし神は私たちが神の思い通りの者であることを証明するために「試み」に会わせるのです。「試み」と「誘惑」の大きな違いは、それを誰がしているかということなのです。

## 質問し、黙想する

- 今日の課には、あなたにとって新しいことかもしれない考えが含まれています。同意しますか。それとも同意しませんか。なぜですか。
- 一般的に、テストをどう見ますか。人生のテストに出会う時、心配しながらテストを受けますか、それとも失敗するかもしれないという恐れを抱きますか。それともあなた自身を証明する機会として見ますか。説明してください。

## 決心し、行動する

高等教育の世界では、入学するのが極端に難しい後期大学院プログラムがあります。しかし一度入学が許可されると、学生はプログラムを完了できるように、カリキュラムが作成されます。

上記の後期大学院プログラムへの入学資格は極端に難しいですが、神との関係のための資格を得るのはさらにもっと難しいのです。もちろん人間的には可能な限り、完全さが求められます!ですからイエスは、私たちが自分では絶対できないことを、私たちのために可能にしてくださるために来られたのです。しかし神の備えを信頼して、神との親しい永遠の関係に入るならば、神が望む者にあなたを変えるのに必要なことを神は何でもしてくださるのです。この真理はピリピ1:6に書かれています。「あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。」

もしこのことが本当だという確信を持っていないなら、次の二つのうちの一つがあなたの人生に起こっていると考えてください。(1) おそらくあなたは、神が約束された救い主を本当に信じてはいないでしょう、もしくは(2) 信じたかもしれませんが、その関係が神にあってどれだけ確かなものであるかをまだ理解していないのでしょう。

もし最初の答えがあてはまると感じるなら、この学びの終わりにある「神を知る」の箇所に、移って下さい。神があなたのためにしてくださったことをもう一度読んでください。もし二番目の答えがあてはまると感じるなら、次の聖句を読み、深く祈り、黙想してください。そしてあなたの関係が神にあってどれだけ確かなものであるかを示してくださるよう、神に求めてください!ヨハネ6:47、ヨハネ6:40、ヨハネ10:28-29、ローマ8:1、ローマ8:29、ローマ8:39、第一コリント1:8、第一ヨハネ3:14

<sup>1</sup>*Does God Tempt Us to Sin?* (© Got Questions Ministries, 2002-2006). (<http://www.gotquestions.org/God-tempt-us-to-sin.html>). Retrieved October 27, 2006.

<sup>2</sup>ibid.



# イエスに従うように召される

## 9章 46課



イエスがガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、ふたりの兄弟、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレが湖で網をうっているのをご覧になった。彼等は漁師だった。イエスは彼らに言われた。「わたしについて来なさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」彼らはすぐに網を捨てて従った。そこからなお行かれると、イエスは、別のふたりの兄弟、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネが、父ゼベダイといっしょに舟の中で網を繕っているのをご覧になり、ふたりをお呼びになった。彼らはすぐに舟も父も残してイエスに従った。

——マタイ 4:18-22

イエスは十二弟子を呼び寄せて、汚れた霊どもを制する権威をお授けになった。霊どもを追い出し、あらゆる病気、あらゆるわずらいをいやすためであった。さて、十二弟子の名は次のとおりである。まず、ペテロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、ピリポとバルトロマイ、トマスと徴税人マタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイ、熱心党员シモンとイエスを裏切ったイスカリオテ・ユダである。

——マタイ 10:1-4

人々はイエスに従い始めました。従者のほとんどが普通の平凡な人々でした。彼等はイエスのうちに普通でない特別な何かを見たのです。ある人たちはイエスに従うために生活の保証を捨てました。ある人たちは漁師で、イエスは彼らに「わたしについて来なさい。そうすれば、あなた方を人間をとる漁師にしてあげよう。」と言われました。イエスに従った人たちは弟子として知られるようになり、ほぼ三年の間、イエスと共に旅をし、イエスから多くのことを学びました。彼らはイエスの目を通して、世界を見るようになりました。イエスに従った人々は皆、想像もできない事柄を体験する運命に備えられて行きました。

——ザ・ホープ 9章

## 観察し、考える

サタンの誘惑を退けた後、イエスは御霊の力をもって荒野から出て来られました。地上の奉仕のために備えができていました。人々がイエスに従い始める直前のことでした。イエスはこの人たちと共に生活しました。日々言葉と行いによって彼らを教えました。神の新たな御業が始まりました、神は歴史上全く比類のない教会での布教という新しい活動を始められたのです。

もし世界を変え得る活動を始めるためにグループを結集したいと思えば、あなたは才能豊かで優秀な人材を集めようとするでしょう。しかしまたもや、神はそれとは全く異なる方

法を選ばれました。イエスが親しくグループに招いた人々の多くは高い教育を受け影響力を持った人々たちではありませんでした。どう見ても、彼らは普通の平凡な人々たちでした。彼等の何人かは漁師でした。一人は徴税人でした。もう一人は革命家でした。しかしイエスはその一人ひとりに可能性を見出されました。そして神はついに、今日もお生き続け、永遠に続く驚くべき出来事のために、彼らを用いられました。

## 質問し、黙想する

- イエスの弟子を見ると、普通の人だと思いますか。偉大な人だと思いますか。説明してください。
- 使徒を描いた多くの古典的な絵画は、超人間のように彼らを描いています。どうしてだと思いますか。
- 使徒の場合のように、神は、特別なことをするために平凡な人をお用いになります。神は特別なことをするために、あなたをお用いになるとは思いますか。なぜですか。それともなぜそうではないですか。

## 決心し、行動する

弟子たちは、人間的(教育、富、力など)には特別な人ではなかったのですが、他の人と違うことが一つあります。喜んでイエスに用いていただいたのです。彼らはイエスと共に過ごすことを選びました。

もし神に用いられたいと思うなら、弟子たちから学んで、神に用いられるように備えてください。神は能力よりも用いられる為の備えを評価して下さいます。神に用いられる備えがあれば、神はあなたを用いて下さいます。極めて簡単なことなのです。

## 参照

- John MacArthur, *Twelve Ordinary Men*. (W Publishing Group, A Division of Thomas Nelson, Inc., Nashville, Tennessee, 2002). To quote the back cover: "This book...brings you face to face with the disciples as you've never seen them before. You'll walk in their shoes. You'll understand their doubts and hopes. And you'll hear the power of Jesus' words in a whole new way. The message of *Twelve Ordinary Men* is clear. If Christ can accomplish his purposes through men like these, imagine what He has in store for you!" (<http://www.amazon.com/Twelve-Ordinary-Men-John-MacArthur/dp/0849917735>). Retrieved October 9, 2006.
- *The Call. How God Used One Young Girl to Influence a Generation for the Cause of Christ*. (© Mars Hill Productions, 1995). This video tells the story of Sherri Howard, who in 1985 was the first student to start a student-led Bible study in her high school in Wichita, Kansas. By the end of the school year, there was a student-led Bible study on every campus in Wichita!
- *Who Were the Chosen Twelve?* (© BibleNet. Net, 1996-2001. (<http://www.biblenet.net/library/study/12disciples.html>). Retrieved November 1, 2006. A brief overview of Jesus' twelve disciples.

<sup>1</sup>Bible Encyclopedia, *Disciple*. (ChristianAnswers.net, a Ministry of Films for Christ/Eden Communications, 2006). (<http://christiananswers.net/dictionary/disciple.html>). Retrieved October 31, 2006.

<sup>2</sup>Compare these earlier paintings of Christ and His disciples that were downloaded from The Metropolitan Museum of Art's website ([http://www.metmuseum.org/Works\\_of\\_Art/gallery.asp](http://www.metmuseum.org/Works_of_Art/gallery.asp)) with these more recent renderings: ([http://christcenteredmall.com/stores/art/disciples\\_of\\_jesus.htm](http://christcenteredmall.com/stores/art/disciples_of_jesus.htm)). (Christ-Centered Art, 2006. Web pages copyright © 1998-2006 by Christ-Centered Mall, Inc.). Retrieved October 31, 2006.

# イエスの奉仕

## 9章 47課



彼らはまた尋ねて言った。「キリストでもなく、エリヤでもなく、またあの預言者でもないなら、なぜ、あなたはバプテスマを授けているのですか。

—ヨハネ 21:25

しかし、わたしにはヨハネの証言よりもすぐれた証言があります。父がわたしに成し遂げさせようとしてお与えになったわざ、すなわちわたしが行っているわざそのものが、わたしについて、父がわたしを遣わしたことを証言しているのです。

—ヨハネ 5:36

イエスと弟子たちが旅した先々で、人々がイエスの周りに集まりました。イエスはコミュニケーションの達人でした。すばらしい物語やたとえ話で神の道を教え、そう生きるように人々を説得しました。イエスは社会からはみ出した者や心の打ち砕かれた者に憐みの心を示し、そして誇り高ぶる者を断罪しました。神から遣わされた者の権威をもって語りましたが、単なる言葉だけの人ではありませんでした。

イエスは憐みの心を示し、奇跡によってご自身の権威を証明しました。嵐を静め、水の上を歩いたと記されています。少しのパンと魚を取り、それを増やして何千という人々の空腹を満たしました。目の見えない人を見えるようにし、足のなえた者を歩けるようにし、恐ろしい病気の人々を癒しました。人々から悪霊を追い出し、死んだ人々を生き返らせました。イエスは30年間目立たない生活を送られた後、今や肉と霊の世界の上に、いのちと死の上に、その大いなる力を鮮明に示されました。

—ザ・ホープ 9章

## 観察し、考える

受洗と死・復活の間の三年間、イエスはヘブライ人の地を、人々に仕えながら、くまなく旅しておられました。イエスの公けの奉仕には二つの面がありました。一つは教えです。

聖書にあるイエスの教えを読むと、権威(マタイ7:29、マルコ1:22、ルカ4:32)と知恵(マタイ13:54、マルコ6:2)に特徴付けられていることがわかります。「驚いた」(マタイ7:26、マルコ1:22、ルカ4:32)や、「驚嘆した」(マタイ13:54、22:33、マルコ6:2、11:18)が、イエスの教えを聞いた人々の反応を表すために最も多く用いられている言葉です。イエスが約束の救い主であるということに疑いを持つ人々の間でさえ、その教えはすばらしいと思われていました。「山上の説教」と数多くのたとえ話は、世界で最も偉大な知恵文学のひとつに数えられています。

イエスの奉仕の二つめの面は、彼の行った奇跡です。今日の課のほとんどがイエスの奇跡に関係しています。しかし先に

進む前に言葉を定義しましょう。現代の「奇跡」という言葉は、「不思議」とか「すばらしいこと」を意味するラテン語から来ています。聖書では「奇跡」と訳されている4つの言葉(2つのヘブル語と2つのギリシャ語)があります。それぞれの場合でこれらの言葉は、普通の自然のいとなみが支配され、止められ、変えられる神の介入を表しています。聖書の「奇跡」という言葉はラテン語の語源よりもずっと多くのことを意味しています。

聖書の中のこの言葉は、単に人間の営みへの神の介入を意味するだけではありません。C. S. ルイスによれば「超自然の力による神の自然への介入」なのです。神は私たちのために日々数えきれないほどのみ業を行っておられるが、必ずしも自然の法則を超えた行いばかりではありません。しかし、もしあなたがある日致命的なガンにかかり、翌日そのガンが消えてなくなっていたとしたら、それは全く自然の法則に反しています。奇跡は自然の法則さえも変えるので、常識の範囲で

説明するには無理があります。

聖書には、イエスが三年の公的生涯の間に行った35の奇跡が記録されています。この奇跡には、水の上を歩くことから死人を生きかえらせることまであります。このスタディ・ガイドの最後の「イエスの奇跡」の部分に、この35の奇跡がリストされています。しかし、これらはただ記録された奇跡に限られています。イエスのなされたことは、他にもたくさんあり、「もし詳しく書くならば世界もその書かれた書物を収めきれないであろう」と聖書は述べています！（ヨハネ21:25）

聖書に記録されている奇跡の最優先の目的の一つは（それがたとえ第一の目的でないとしても）、神の存在と啓示を確認するしるしになることでした。これはイエスの奇跡同様、旧約聖書の神の奇跡についても真実です。出エジプト記7章から11章に記されたモーゼによる災いの奇跡は神の存在を確認するものでした。新約聖書の中でイエスは次の様に言われました、「奇跡を通して私が誰であるか、そして私を遣わされたのは父なる神であることが証明される」と。（ヨハネ5:36）イエスはご自分が言葉通りであることを人々に信じさせるために奇跡を行いました。イエスの奇跡を考える時、あなたは信じるでしょうか！

## 質問し、黙想する

- 先に述べられた奇跡の聖書的な定義に同意しますか。なぜですか。あるいはなぜそうではないですか。
- イエスがこの世で、深い教えと奇跡の働きをされたことを知って、イエスを見る見方が変わりましたか。「はい」か「いいえ」か、なぜそう答えたのかを説明してください。

## 決心し、行動する

イエスは人々が信じるために奇跡を行いました。しかし場合によっては、人々が信じないとわかって、奇跡を行わない場面もありました。人々の心が奇跡さえも受け入れることができなかつたのです。「そして、イエスは、彼らの不信仰のゆえに、そこでは多くの奇跡をなさらなかった。」（マタイ13:58）

もし神が自分の人生で何かをしてってくれたら神を信じるのだが、、、と言う人々が居ます。しかし神は既にしてくださっているのです。神は御子を送ってくださり、御子は私たちが信じるようにと奇跡を行なってくださいました。マルコ9:23で、イエスは言われました。「信じる者には、どんなことでもできるのです。」神が先ずご自分を証明したら私たちも信じると言いますが、このみことばを聞けば信じる心がまず最初に生まれる筈です。

この学びの終わりにリストアップされた「イエスの奇跡」に目を通してください。その時、神ご自身についてもっと教えて下さいと、神に求めてください。

## 参照

- Ken Palmer, *The Sermon on the Mount*. (© Life of Christ, Ken Palmer, 1998–2006). (<http://www.lifeofchrist.com/teachings/sermons/mount/default.asp>). Retrieved November 1, 2006. "This is the greatest sermon Jesus ever preached. The Lord's prayer, the beatitudes, and the golden rule are in this sermon."
- John Piper, *Jesus Is Precious Because His Biblical Portrait Is True, Part 2*. (© John Piper, Desiring God, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1982/333\\_Jesus\\_Is\\_Precious\\_Because\\_His\\_Biblical\\_Portrait\\_Is\\_True\\_Part\\_2/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1982/333_Jesus_Is_Precious_Because_His_Biblical_Portrait_Is_True_Part_2/)). Retrieved November 1, 2006. A sermon delivered by John Piper on February 14, 1982.

<sup>1</sup>Ken Palmer, *Parables of Jesus Christ*. (© Life of Christ, Ken Palmer, 1998–2006). (<http://www.lifeofchrist.com/teachings/parables/>). "A parable is an earthly story with a spiritual truth."

<sup>2</sup>*Miracle* [LAT. *miraculum*, from *mirari*, to wonder. (© Net Industries, Online Encyclopedia, 2006; originally appearing in Volume V18, Page 572 of the 1911 Encyclopedia Britannica). ([http://encyclopedia.jrank.org/MIC\\_MOL/MIRACLE\\_Lat\\_miraculum\\_from\\_mira.html](http://encyclopedia.jrank.org/MIC_MOL/MIRACLE_Lat_miraculum_from_mira.html)). Retrieved November 1, 2006.

<sup>3</sup>*Miracles of Jesus – Man on a Mission*. (© AllAboutJesusChrist.org, 2002 – 2006). (<http://www.allaboutjesuschrist.org/miracles-of-jesus.htm>). Retrieved November 1, 2006.

<sup>4</sup>John-Erik Stig Hansen, *Do Miracles Occur?* (©John Visser, Into the Wardrobe: A C. S. Lewis Website, 1994–2006). (<http://cslewis.drzeus.net/papers/miracles.html>). Retrieved November 1, 2006.

# 祝福の与え主でなく、祝福を求めること

9章 48課



そのとき、目の見えない者の目は開き、耳の聞こえない者の耳はあく。そのとき、足のなえた者は鹿のようにとびはね、口のきけない者の舌は喜び歌う。荒野に水がわき出し、荒地に川が流れるからだ。

——イザヤ 35:5-6

それから、イエスは弟子たちとともに湖のほうに退かれた。すると、ガリラヤから来た大勢の人々がついて行った。また、ユダヤから、エルサレムから、イドマヤから、ヨルダンの川向こうやツロ、シドンあたりから、大勢の人々が、イエスの行いを聞いて、イエスのもとにやって来た。イエスは、余りに大勢なので、押しつぶされないう、ご自分のために小舟を用意しておくように弟子たちに言いつけられた。これまでに多くの人を癒されたので、病気に悩む人たちがみな、イエスにさわろうとして、押しかけて来たからである。

——マルコ 3:7-10

イエスの知らせは、素早くその地一帯に広まりました。数百年も前にヘブライの預言者は、神の約束された救い主の到来と共に、目の見えないものは見、耳の聞こえない者は聞き、足の動かない者は鹿のように跳びはね、話すことのできない者は喜び叫び、福音が宣べ伝えられると書きました！

神の約束された救い主に望みを置くある人は、「イエスがその方だろうか」と尋ねました。多くの人々は、イエスがどなたであるかということよりも、イエスは自分たちのために何ができるだろうかということに関心を払っていました。

——ザ・ホープ 9章

## 観察し、考える

イエスは説教や奇跡を行いながら、旅を続けその間に、イエスについての話がまたたく間に広がって行きました。マルコ 3:7-10によると、イエスの行いを聞いて、多くのひとびとが様々な地域から大群衆となってイエスのもとにやってきました。この時の人々の動機について、もう少し掘り下げて考えてみましょう。

人々はイエスから何かを受けたいと願っていました。しかしイエスは癒される目的で集まった大勢の人々にご自分が誰であるのかを教えなかったのです。聖書が語るように、イエスは多くの人たちを癒されました。しかし肉体の病の癒しがイエスの最大の目的ではなかったのです。牧師レイ・ステッドマンによれば、「イエスにはより大きな使命がありました。その使命とは人々の霊の傷をいやすために、みことばを教え、説教することでした。」しかし群衆の関心は肉体の癒しであったため、イエスの使命達成には様々な困難が伴いました。今日でも人々はイエスの神格以上に何がお出来になるかその

力の啓示の方により大きな関心を示すので、同様の混乱が生じています。

混乱が生じることを予期して、イエスはそれを避ける準備をするよう弟子たちに告げました。イエスに触れようと群衆が押し寄せ、もはや説教を続けることができなくなり、イエスは弟子たちが用意した舟でその場を離れました。マタイ 13:1-5、マルコ 4:1、ルカ 5:3では、実際に、イエスは舟の上から群衆に多くのことを語られました。

この出来事は何を意味するか考えてみてください。人々はイエスから具体的な何か、つまり肉体の癒しを求めました。体の癒しを求めることは悪いことではありません。しかし群衆はイエスの回りに押し寄せ、自分たちの求めを最優先に迫ったのです。彼らは祝福の与え主であるイエスよりも、祝福そのものを探し求めたのです。

## 質問し、黙想する

- あなた自身は、いやしのためにイエスの後を追った人々とは違っていると感じますか。なぜですか。あるいはなぜそうではないですか。
- このできごとと、現代社会で人々がイエスに近づく方法との間に、似たところがありますか。説明してください。
- 下記の聖句を読み、黙想してください。神と、神が与える賜物を求める人々について、何とされていますか。

## 決心し、行動する

神の助け、いやし、祝福を求めることは、何も悪いことではありません。マタイ7:9-11にはこう記されています。「あなたがたも、自分の子がパンを下さいと言うときに、だれが石を与えるでしょう。また、子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょうか。してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良い物を下さないことがありましょう。」

天の父として、神は祝福しようとしておられます。事実、私たちが自分でできないことを神がしてくださる時、神は栄光をお受けになります。今日の課の後で自問すべき大切な質問は、神の祝福を求めることはよいことかどうかということではありません。祝福してくださるお方以上に、祝福そのものを求めているかどうかということなのです。

*「だから、神の国と神の義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」*

—マタイ6:33

*「主をおのれの喜びとせよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。」*

—詩篇37:4

<sup>1</sup>Ray Stedman, *The Dimming of the Light*, from his sermon series *The Servant Who Rules*. (© Discovery Publishing, a Ministry of Peninsula Bible Church, 1974). (<http://www.pbc.org/library/files/html/3307.html>). Retrieved October 18, 2006.

# 最も大いなる奇跡

## 9章 49課



イエスは彼らの信仰を見て、中風の人に、「子よ。あなたの罪は赦される」と言われた。ところが、その場に律法学者が数人すわって、心の中で理屈を言った。「この人は、なぜ、あんなことを言うのか。神を冒涇している。神おひとりのほか、だれが罪をゆるすことができよう。」彼らが心の中でこのような理屈を言っているのを、イエスはすぐにご自分の霊の力で見抜いて、こう言われた。「なぜ、あなたがたは心の中でそんな理屈を言っているのか。中風の人に、「あなたの罪は赦された」と言うのと、「起きて、寝床をたたんで歩け」と言うのと、どちらが易しいか。人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを、あなたがたに知らせよう。」こう言ってから、中風の人に、「あなたに言う。起きなさい。寝床をたたんで、家に帰りなさい」と言われた。

— マルコ 2:5-11

しかしイエスの行いの中に、人々を何よりも怒らせた行いがありました。それはイエスが、あなたの罪は赦されたと言われた時でした。罪を赦す権威は唯一神だけにあるからです。

その時イエスは、神だけに出来ることを行うことで、自らが神であることを人々に告げようとしたのです。それはヘブライ人の法律によれば、死によって罰せられるべき行為でした。

— ザ・ホープ 9章

## 観察し、考える

奇跡に限って言えば、イエスの奇跡の数々はそれ自体第一級の偉業です。しかし歴史上、他にも奇跡を行った(あるいは行ったと言われる)人々がいます。聖書の中のイエス以外の人物、又は他の宗教の創設者等がその例です。

しかし聖書の中のイエス以外の人物にも他の宗教の創設者にも不可能なひとつの奇跡があります。それは罪の赦しです。イエスは意図的に、「罪が赦された」と言われました。(マタイ 9:2、マルコ 2:5、ルカ 5:20, 7:47) イエスによる罪の赦しは、ご自分の死と奇跡的復活によってのみ成就する赦しでした。

多くのヘブライ人宗教指導者たちは、「あなたの罪は赦された」とイエスが言われたことに立腹しました。何故なら神だけが罪を赦すことが出来ると信じていたからです。罪を赦す権威を宣言することで、イエスは事実上ご自分が神であると宣告されました。イエスの宣告の意図を、宗教指導者たちも理解していました。しかし実際に彼等はイエスが神であることを信じようとしなかったため、イエスの言葉は(神であると主張することは、神への暴言、神への反抗である。)神への冒涇だと考えました。冒涇は死の罰に値する罪でした。(レビ 24:16)

47課で見たように、イエスはご自分が神であることを証明するために奇跡を行いました。そして神として実際に罪をお赦しになりました。この大いなる奇跡が他の奇跡とどれだけ違っているか考えてみてください。罪の赦しは次のような奇跡です。

- 最大の必要を満たす——罪と神からの離別は、人の最も大きな問題なので、神への回帰と和解は人間にとって最も必要なのです。
- 最大の影響力を持つ——肉体の癒しは一時的です。罪の赦しは永遠の命に至ります。それは永遠に続く奇跡なのです。
- 最大の目的を果たす——イエスは、失われた者を探して救うために来たと言われました。(ルカ 19:10) この目的の成就是、神の至高の善を成し遂げ、神に最も大いなる栄光をもたらします。
- 最も大いなる代価として、神のみ子の死が必要でした。
- 誰でも救いを求めることが出来る——「だれでも主の御名を呼び求める者はみな救われる」  
(ローマ 10:13)

## 質問し、黙想する

- なぜイエスの時代の宗教指導者とイエスとの間にこのような問題があったと思いますか。イエスが冒涇の罪を犯していると思ったからでしょうか。それとももっと何か別の理由があったと思いますか。
- イエスの時代の人々は、赦しの奇跡よりも、目に見える奇跡に興味を抱いたと思いますか。今日ではどうでしょうか。なぜですか。

## 決心し、行動する

御子による罪の赦しは、それを受けた体験、又はその体験を他の人に語ることを通して証しできる奇跡です。もし神の赦しを受けていないなら、又は罪が赦されていることが確かでないなら、すぐにこの学びの終わりにある「神を知る」の箇所を読んで考えてみましょう。神を知るだけでなく、神も又あなたにご自分を知って貰いたいと思っておられる筈です！

神の赦しを受けたことに疑いの余地がなければ、あなたは本当の自由とはどういうものであるか、理解している筈です。しかしそれと同じ経験をしたことのない人があなたの周囲には大勢居ます。神の赦しは世界中のあらゆる人にとって必要です——たとえそのことを知らない人にとっても。

ある意味で私たちは皆、赦しのパンを求め、お腹を空かした乞食に喩えることが出来ます。神の赦しを受けることは、このパンをを探し当て味わうことと同じです。ではどこで、探し当てることができるか、多くの人にその場所を知らせるべきでしょう。

「イエスは言われた。『わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときにも、決して渇くことはありません。』」(白ハネ6:35)

## 参照

- Oswald Chambers, *The Forgiveness of God*. (© My Utmost for His Highest Daily Devotional, RBC Ministries, 2006). (<http://www.rbc.org/utmost/index.php?day=20&month=11>). Retrieved November 1, 2006.
- John F. MacArthur, *The Freedom and Power of Forgiveness*. (© John F. MacArthur, Crossway Boos, A Division of Good News Publishers, Wheaton, Illinois, 1998). From an excerpt on p. 18: "... then, are the basic truths underlying the Christian doctrine of forgiveness: God is the one who must accomplish forgiveness of sins; it is not possible for the sinner to earn his ..." Also includes contributions from Charles H. Spurgeon, and Alexander MacLaren. ([http://www.amazon.com/Freedom-Power-Forgiveness-John-MacArthur/dp/0891079793/sr=1-33/qid=1162420339/ref=sr\\_1\\_33/102-6866998-7379368?ie=UTF8&s=books](http://www.amazon.com/Freedom-Power-Forgiveness-John-MacArthur/dp/0891079793/sr=1-33/qid=1162420339/ref=sr_1_33/102-6866998-7379368?ie=UTF8&s=books)).

<sup>1</sup>Merrill Unger, R.K. Harrison, Howard Vos, Cyril Barber. *Blasphemy [A Definition]*. (Unger's New Bible Dictionary, 2006). "BLASPHEMY (Gk. ... Sometimes, perhaps, "blasphemy" has been retained by translators when the general meaning "evil-speaking" or "slander" might have been better (Psalm 74:18; Col. 3:8). ... There are two general forms of blasphemy: (1) Attributing some evil to God, or denying Him some good that we should attribute to Him (Leviticus 24:11; Romans 2:24). ... (2) Giving the attributes of God to a creature—which form of blasphemy the Jews charged Jesus with (Matthew 26:65; Luke 5:21; John 10:36)."



# 気遣い、嘘つき、主 —

## 「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

9章 50課

さて、ピリポ・カイザリヤの地方に行かれたとき、イエスは弟子たちに尋ねて言われた。「人々は人の子をだれだと言っていますか。」彼らは言った。「バプテスマのヨハネだと言う人もあり、エリヤだという人もあります。またほかの人たちはエレミヤだとか、また預言者のひとりだとも言っています。」イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」シモン・ペテロが答えて言った。「あなたは、生ける神の御子キリストです。」するとイエスは、彼に答えて言われた。「バルヨナ・シモン、あなたは幸いです。このことをあなたに明らかに示したのは人間ではなく、天にいますわたしの父です。」

—マタイ16:13-17

## 観察し、考える

イエスの時代の人々は、イエスが誰かということではいろいろな意見を持っていました。私たちの時代でもあまり変わっていません。路上でイエスが誰であるか聞けば、たくさんの異なる答えが返ってくるでしょう。ある人は、ペテロが先の聖句で言ったように、イエスはキリスト、生ける神の子だと答えるかもしれません。しかし別の人は、ただ偉大な教師であるとか預言者であるとか、おそらくは奇跡を行った人と答えるにちがいません。

「あなたは、わたしを誰だと言いますか。」というイエスがペテロに尋ねた質問は、人が答えるべき多くの質問の中で最も大切な質問です。これまで学んできたイエスの奉仕や主張を踏まえ、私たちがこの質問について考える時が来ました。

様々な意見がある中で、イエスはただの偉大な教師に過ぎないとか、ただの預言者に過ぎないとか、奇跡を行ったただの人といった認識は排除されたとと言えます。そう言える理由は、最初C. S. ルイスが、後にジョシュ・マクダウェルが行った議論にまとめられています。「イエスは誰か」という質問には三つの答だけが可能だという議論です。

イエスは自分が神であると主張しました。これを否定する人々が居ますが、事実はこの主張こそ、宗教指導者たちがイエスを殺そうとした理由なのです。イエスの主張は明確で、その主張を基に可能な答え三つの中から一つの答えが浮かび上がります。

1. イエスは自分が神の子であると真面目に信じていた。しかし自分は惑わされていたのであり、その結果、そのために喜んで死のうとした。この考えはイエスを気遣いの範疇に入れるものです。
2. イエスは自分が神の子であることを知っていたが、そのことで嘘をつきたくなかった。これはイエスを嘘つき呼ばわりするだけでなく、意図的に人を惑わしたと非難することにもなります。その結果多くの人が彼を信じて苦しんだり、死んだりしたのですから、非常に悪い人間だと決めつけることになります。
3. イエスは自分で言われた通りのお方、すなわち生ける神のみ子であった。

イエスはこれ以外の答えの余地を残しませんでした。ただの良い人であるという答えは不十分です。なぜなら良い人は、自分が本当はそうでない者であると言って、人々を惑わしたりしないからです。ただの良い教師であるとも言えません。なぜなら良い教師は真実でないことを教えないからです。意図的であれ、誘惑された結果であれ、もしイエスが人を惑わしていたなら、外の力、即ちサタンの力が及んでいたと推測する方がより納得できるでしょう。

ルイス自身が、この議論を次のように結論付けています。「わたしたちは、ぎょっとするような選択に直面している。私たちが語っているこの人は、ご自分が言われる通りの方が、あるいは気遣いか、あるいはもっと悪いものかということなのだ。私にはイエスが気遣いでもなく、悪魔のような人間でもないことは明らかだ。だから結果的に、それがどんなに奇妙で恐ろしく本当でないように見えても、私はイエスが神であるという見方を受け入れなければならない。神はこの敵の占領している地に、人間の形をとって降り立ってくださったのだ。

あなたはイエスを誰だと言いますか——嘘つきですか、気遣いですか、それとも主ですか。それはあなたが答えるべきもっとも大切は質問なのです。

## 質問し、黙想する

- C.S. ルイスによって出された議論について、あなたは どう思いますか。彼の論理に同意しますか。同意しませんか。なぜですか。
- なぜある人たちは、イエスをただの偉大な人物とだけ見て、それ以上には見ないと思いますか。

## 決心し、行動する

「あなたがたは、わたしを誰だと言いますか。」というイエスの質問に未だ答えていないなら、早く答を出しましょう。この課で学んだように、イエスは私たちに多くの選択肢を与えてはなりません。決心しないことも、決心です。この学びの最後の「神を知る」を読んで、結論を出して下さい。結局、私たちは、神の子であるというイエスの主張を信じるか、否定するか、のいずれかを選択しなければならないのです。もし信じるなら、膝まづいて共にイエスを礼拝しましょう。この学びの「神にあって成長する」のテーマに移動して、あなたの信仰の歩みを深めてください。

<sup>1</sup>C. S. Lewis, *Mere Christianity*. (© Macmillan Publishing Co, New York, NY, 1952, pp.55–56).

<sup>2</sup>Josh McDowell, *More Than a Carpenter*. (© Tyndale House, 1977). This classic by a Master Apologist is still consistently one of the top titles in apologetics! McDowell gives readers insights into the events surrounding Christ's life, asking whether they could all be explained by coincidence. He asks the hard questions about the reliability of biblical records, psychological profiles of disciples and apostles (would they die for a lie if the stories are not true?), and whether or not Jesus can be considered simply a good man who spoke some wise words.

McDowell is also well-known for another quote from this book, one that is applicable to this lesson: "Why don't the names of Buddha, Mohammed, Confucius offend people? The reason is that these others didn't claim to be God, and Jesus did."

<sup>3</sup>C.S. Lewis, *Mere Christianity*. (© Revised edition, New York, Macmillan/Collier, 1952, p.55 ff.).

# 良いことか神のことか

## 10章 51課



それは、イエスが弟子たちに、「人の子は人々の手に引き渡され、殺される。しかし、殺されて三日の後に人の子は復活する」と話しておられたからである。しかし、弟子たちは、このみ言葉を理解できなかった。また、イエスにたずねるのを恐れていた。

—マルコ9:31-32

その時から、イエス・キリストは、ご自分がエルサレムに行って、長老、祭司長、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、そして三日後に復活することになっていることを弟子たちに打ち明け始められた。するとペテロは、イエスを引き寄せて、いさめ始めた。「主よ。神の御恵みがありますように。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」しかし、イエスは振り向いて、ペテロに言われた。「下がれ。サタン。あなたはわたしの邪魔をするものだ。あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を背負い、そしてわたしについて来なさい。自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見出すのです。」

—マタイ16:21-25

イエスはご自分の宣教の真の意味を、弟子に説明し始めました。まもなく宗教指導者に引き渡されて殺され、三日後に死からよ甦るであろうと告げました。弟子たちはイエスの言葉を聞いても、その意味を十分に理解することができませんでした。

—ザ・ホープ 10章

## 観察し、考える

地上での宣教に終わりが近づいた時、イエスは苦しみの中で死ぬこと、そして3日目によみがえることを弟子に語り始めました。上記のマルコ9章「弟子たちは、このみことばが理解できなかった。またイエスに尋ねるのを恐れていた」ため、イエスが言われたことに弟子たちの考えが及ばなかったのは明白です。その上、イエスの言葉は分かり難く、弟子たちは説明を求め、それを恐れていました。

上記マタイの章の中のペテロの応答は、さらにドラマチックです。ペテロは単に理解出来なかったのではなく、イエスの言葉を大胆に否定しました。「主よ。神の御恵みがありますように。そんなことが、あなたに起こるはずはありません。」ペテロは「神の御恵みがありますように。」と神であるイエスに語っています!これに対するイエスの答えは非常に厳しく、周囲を驚かせるほどでした。「下がれ。サタン。…あなたは神のことを思わないで、人のことを思っている。」イエスは、ペテロの言葉を通してサタンが働き、神のみ旨の成就を妨害しようとしていると言われたのです。

それからイエスはペテロだけでなく、従う意志のあるすべての人に言われました。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を背負い、そしてわたしについて来なさい。自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見出すのです。」普通に考えるならば、何という矛盾でしょうか!もし自分のいのちを救いたいなら、主のためにそれをあきらめなさいと教えています。ここで求められるのは、単純にイエスがキリスト(救い主)であり、生ける神の子(マタイ16:16)であると認めること以上に大きなチャレンジです。ここでのチャレンジは、主のみこころに完全に降伏することです。

イスラエル人の歴史を通して、神は救い主を送る約束をくり返されました。その救い主はある日サタン、罪、死から人類を解放し、約束されている祝福をすべての民族に与えてくださるので、イエスは、祝福への道は想像を絶する苦しみや損失を伴うと言われました。もちろん私たちは祝福を受けたいと願っています。しかし祝福を受けるために、一体どれだけの人が望まない場所に連れて行かれる主に、喜んでついて行くでしょうか。

## 質問し、黙想する

- 弟子たちにとって、イエスの言葉を受け入れることが何故これほどまでに困難だったと思いますか?…まもなくイエスが苦しみ、死に、三日目に死から甦えるというイエス自身の言葉を。もしあなたが弟子の一人であったとしたら、どのように応答したと思いますか。
- 難しい試練に出会う時、あなたは最初にどんな反応をするでしょうか。ペテロのようにイエスに答えますか。(「そんなことが…起こるはずはありません。」) それとも別の答え方をしますか。

## 決心し、行動する

人生におけるすべての困難を振り返る時、何かの間違っていたかのように思ってはなりません。そうです、人生には神が意図しておられない試練もあります。信仰によって山をも動かすことができると、イエスは弟子たちに言われました。(マタイ17:20、21:21、マルコ11:23) 私たちの前にある試練を、神が取り除くか解決して下さると信じて、信仰の力を示して欲しいものです。試練を取り除いて下さる神を信頼せずに、一人で耐えているならそれは愚かしいことでしょう。

もう一方で、私たちの人生には、神が敢えて取り除こうとなさらない試練もあります。ペテロの信仰が(マタイ16:21–25)どんなに大きく深くても、イエスが受けなければならなかった試練、そして結果として弟子たちが直面する困難のいずれも神は取り除きませんでした。ペテロにとってその時は理解できなくても、それこそが神の目的そのものでした。ペテロは自分の考える良いこと(good thing)を望みましたが、イエスは神の事柄(God thing)を望まれました。もしペテロが、イエスに起ころうとしていることの栄光ある永遠の目的を知り、理解していたなら、それを受け入れたに違いないし、おそらく歓迎さえしたに違いありません。

ヤコブ1:2–4にこう述べられています:「さまざまな試練に会うときは、それをこの上ない喜びと思いなさい。信仰が試されると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたは、何一つ欠けたところのない、成長を遂げた、完全な者となります。」

最初の試練に出会う時、しばしばその目的がわかりません。しかしもしそれが神が私たちの人生に与える試練であるなら、それには目的があるということを確認できます。そして神が支配しておられる以上、究極の目的は私たちの善と神の栄光のためです!もし神が試練を取り除き解決して下さると信じる事が出来るなら、もちろんそう信じてください。ただ神への信仰を、そうでないものへの信仰と取り違えないでください。

もし試練の中で神に従うように召されているなら、神がそれに耐える恵みを与えて下さると確信してください。また究極の目的は、あなたの善と神の栄光であることを確信してください!

## 参照

- Rick James, *Unmasking Life's Trials*. (© Campus Crusade for Christ, Inc., 2004–2005). (<http://grow.campuscrusadeforchrist.com/library/journey/trials.html>). Retrieved November 2, 2006.
- Walter Chantry, *Take Up Your Cross*. (© The Reformed Reader, 1999–2006). (<http://www.reformedreader.org/rbb/chantry/takeyourcrossenglish.htm>). Retrieved November 2, 2006.

# 神の小羊が過越しの祭を祝う

10章 52課



さて時刻になって、イエスは食卓に着かれ、使徒たちもイエスと一緒に席に着いた。イエスは言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒に、この過越の食事をすることをどんなに望んでいたことか。あなたがたに言いますが、過越が神の国において成就するまでは、わたしはもはや二度と過越の食事をすることはありません。」そしてイエスは、杯を取り、感謝をささげて後、言われた。「これをとって、互いに分けて飲みなさい。あなたがたに言いますが、今から、神の国が来る時まで、わたしはもはや、ぶどうの実でつくったものを飲むことはありません。」それからパンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えるわたしの体です。わたしを覚えて、これを行いなさい。」食事の後、杯も同じようにして、言われた。「この杯は、あなたがたのために流されるわたしの血による新しい契約です。」

—ルカ22:14-20

彼らが食事をしているとき、イエスはパンを取り、祝福して後、これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「取って食べなさい。これはわたしの体です。」また杯を取り、感謝をささげて後、こう言って彼らにお与えになった。「みなこの杯から飲みなさい。これは、わたしの契約の血です。罪を赦すために多くの人のために流される私の血です。」

—マタイ26:26-28

そしてヨハネが神の小羊と呼んだイエスは、過越の祭りを守るためにエルサレムに上られました。…イエスは過越を祝うために弟子たちを集めました。過越のパンを取ってそれを裂き「これは、あなたがたのために与えるわたしの体です。」と言われました。それからヘブライ人の住まいの入口に塗られた過越の小羊の血を表わすぶどう酒をお取りになりました。そして「これは、多くの人の罪の赦しのために流される、わたしの血です。」と言われました。

—ザ・ホープ 10章

## 観察し、考える

神は、過越の祭りを毎年行うようにヘブライ人たちに教えられた、エジプトの奴隷状態から神がどのようにヘブライ人を救い出されたかを忘れない為であった(34課)。エジプトの支配者が、ヘブライ人の出国を拒んだ時、神はその地のすべての長子に死を与えました。しかし入口に小羊の血が塗られた住まいの人々は、過ぎ越されたのです。彼らは「血でおおわれ」ていました。多くのヘブライ人が、彼らの土地の中心都市エルサレムで過越の祭りを守るために、長い距離を旅しました。地上のつとめが終りに近づく頃、イエスは過越を守るために弟子たちをエルサレムに連れてこられました。

聖書の説明(出エジプト12:5-8、民数9:11-12)によると、過越の食事には、三つの基本的な食物が含まれていました—焼いた小羊、種なしパン、苦い植物です。これ等の食物は、イスラエルの祖先をエジプトの束縛から救い出すために行った神のみ業の数々を、後の世代が思い出すためのものでした。

小羊は、死が目印のある家の人々を「過ぎ越す」ために殺され、その血が目印として門柱に塗られた、それは又人々が傷のない小羊を思い出すためでした。苦味の植物は、エジプト人の下で強い奴隷生活を思い出すためでした。種なしパンには二つの意味がありました。第一に酵母入りのパンを準備する時間もない程、急いでエジプトを出発しなければならなかったことを(申命16:3)思い出すため。第二に、酵母菌は罪や腐敗の聖書的象徴とされ、このパンは罪に支配されない生活を思い出すためでもありました。この豊かな歴史観と比喩表現に対して、イエスは弟子たちを過越の食事に集め、さらに進んでこの神聖な伝統に、根本的に新しい霊的意味を吹き込まれました。

傷のない過越の子羊がヘブライ人を救うために殺されたように、洗礼者ヨハネが神の小羊と呼んだお方は、人類を救うために罪のない体をお捧げになるのです。…こう言って、イエス

はパンを与えられました。過越の小羊の血がヘブライ人家族を守ったように、イエスの血は、彼に避け所を求めるすべての人を罪の罰から守るのです。…こう言って、イエスはぶどう酒を与えられました。旧約聖書の中で神は、過越の伝統を常に守るようにとヘブライ人にいわれました。同様にイエスは「わたしを覚えるために、これを行いなさい。」と弟子たちに言われました。その晩イエスが指示されたことは、聖餐式または主の聖餐として知られています。1 コリント11:23-26で、主が来られるまで定期的にこの伝統を守り、主の死を告げしらせるようにと意図しておられたことが分かります。

この課で考えた象徴主義と劇的状況は、私たちの想像をはるかに超えています。今一度、聖書がただ賢い言葉や霊の真理の驚くべき集合体だけではないことを考えてみましょう。聖書はこれまでに書かれた中で最も注目すべき歴史書です。考えてみてください。—この歴史を書いたお方は、主人公としてご自分をその中に登場させ、死に至るまでご自分を従属させられました!この歴史の終わりはすでに記されていますが、その内容は未だ繰り広げられています。この言葉を読んでいる時でさえ、神はあなたに、この大いなる永遠の歴史における役割を与えておられるのです。

## 質問し、黙想する

- イエスがパンをご自分の体として、ぶどう酒をご自分の血としてお与えになった時、弟子たちの立場に自分を置いてみてください。弟子たちは何を考え、何を感じていたでしょうか。イエスによって喚起されたイメージは、あなたにとって奇妙に思えましたか。
- もし聖餐式、主の聖餐を守っているなら、あなたにとってそれはどのような意味がありますか。それは聖なる時ですか、それともお決まりの儀式ですか。説明してください。
- もし聖書が最も偉大な歴史書であるなら、そしてそれが今日も以前として展開しているなら、自分自身をその歴史の登場人物と見なしますか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。

## 決心し、行動する

聖書には、クリスマスを祝うための指示は一つも出てきません。しかしクリスマスは世界中で最も祝われている伝統行事の一つです。多くの人が大きな期待をもってクリスマスを迎えます。今日学んだ祝典は、四大福音書の中の三つ(マタイ、マルコ、ルカ)の福音書のほか、新約聖書の他の章にも記されています。この聖なる伝統は、時間を越えた豊かなドラマとして、イエスご自身によって定められました。この伝統の意義と象徴されるものを通して、それを守るあなたの内に、畏敬、尊敬、期待が呼び起こされますように。

## 参照

- Arthur L. Farstad, *The Lord's Supper*. (© Journal of the Grace Evangelical Society, Spring 1991– Vol.4:1, 2005). (<http://www.faithalone.org/journal/1991i/Farstad.html>). Retrieved November 2, 2006.
- John Piper, *Why and How We Celebrate the Lord's Supper*. (A sermon delivered by John Piper on August 13, 2006. © Desiring God, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/2006/1774\\_Why\\_and\\_How\\_We\\_Celebrate\\_the\\_Lords\\_Supper/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/2006/1774_Why_and_How_We_Celebrate_the_Lords_Supper/)). Retrieved November 9, 2006.
- Preston Gillham, *A Celebration Unlike Any Other*. (© Lifetime Guarantee Ministries, 1997–2006). (<http://www.lifetime.org/get/equipped/dj-read/celebration/>). Retrieved December 1, 2006.

<sup>1</sup>Margot R. Hodson, *Passover – Sacrificed for Us*. (©A Feast of Seasons, Kregel Publications, 2001 in the USA). (<http://www.hodsons.org/Afeastofseasons/id18.htm>). Retrieved November 2, 2006.

# 真理とは何か？

## 10章 53課



ピラトはもう一度官邸に入って、イエスを呼んで言った。「あなたはユダヤ人の王ですか。」——イエスは答えられた。「わたしの国はこの世のものではありません。もしこの世のものであったら、わたしのしもべたちが、わたしをユダヤ人に渡さないように、戦ったことでしょう。しかし、**事実**、わたしの国はこの世のものではありません。」そこでピラトはイエスに訊ねた。「それでは、あなたは王なのですか。」イエスは答えられた。「わたしが王であることは、あなたが言うとおりです。わたしは、真理のあかしをするために生まれ、このことのために世に來たのです。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」ピラトはイエスに言った。「真理とは何ですか。」

彼はこう言ってから、またユダヤ人たちのところへ出て行って、彼らに言った。「私はあの人には罪を認めません。しかし、**過越の祭りに**、私があなたがたのためにひとりの者を釈放するのが慣わしになっています。それで、あなたがたのために、ユダヤ人の王を釈放することにしましょうか。」すると彼らはみな、また大声をあげて、「この人ではない。バラバだ」と言った。バラバは強盗であった。そこで、ピラトはイエスを捕らえて、むち打ちの刑とした。

——ヨハネ18:33-19:1

イエスは、神の国についてしばしば語っています。それで或る時総督はイエスに、「あなたは王ですか。」とたずねました。イエスは、ご自分の王国は「この世のものではありません。」と答えました。総督は宗教指導者たちに、「あの人には罪を認めません。」と言いました。しかし宗教指導者たちはイエスの死を求め続け、イエスが国民と総督に脅威であると主張しました。イエスはご自分を弁護なさいませんでした。ピラトは驚きました。

——ザ・ホープ 10章

## 観察し、考える

イエスの地上の奉仕の最後の一週間に起こったできごとについては、詳細な本が書かれています。ザ・ホープは、聖書の概観の要約なので、聖書のすべてのできごとを、しかもその詳細にわたって扱うことはできません。この課では主として、一つのできごとに焦点を当てます。

過越の食事を祝った後で、イエスと弟子たちは園に行きました。そこでイエスは捕えられ、ヘブライの宗教指導者たちの前に連れて行かれました。彼らはイエスに質問し、神の御子と主張するイエスを有罪としました。それからヘブライの地を治めていた外国人総督(ピラト)のもとに送りました。ヘブライの宗教指導者たちは、もしピラトの前でイエスが王(あるいはどんな「支配者」であっても)であると主張するなら、ピラトはイエスを厳しく取り扱い、おそらく死に処するよう仕向けるだろうと考えたからです。これが、この課の始

りです。

ピラトはイエスに王であるかとたずねます。イエスはご自分の王国はこの世のものではないとお答えになります。それからイエスは、「真理の証しをするために生まれ、このことのために來たのです。真理に属する者はみな、わたしの声に聞き従います。」と言われます。この時点で、総督が何を考えていたのかは、推測の域を出ません。マタイ27:14とマルコ15:5の両方で、総督はイエスに「驚いた」と記されています。ピラトはイエスが誰なのか正確には理解していないかもしれませんが、イエスが特別な性格の持ち主であることは理解しています。それから総督は、「真理とは何ですか。」とたずねます。

この質問は真意だったのでしょうか、それとも単に修辭的な

ものだったのでしょうか。またもや推測の域を出ませんが、イエスから顔をそむけ、答えを待っていないようなピラトの素振りから判断すると、総督の質問は単なる型通りのもので、話題を変えるためのことばであったと結論づけることができるでしょう。巧みな策士であるピラトは、イエスと実際に係わり合うことを避け、答えられないだろうと思う質問をすることでその場を切り抜ける決心をしたのです。

イエスの求めに正面から立ち向かう人々は、同様のことをします！イエスについてすばらしい何かがあると感じるものの、イエスが誰であるかとか、イエスと正直に交わる自分の責任についてはそれを避けようとしています。そのかわりに次のような質問をするでしょう。「もし神が善いお方なら何故…？」「このように信じない人はみな地獄に行くのですか…？」等々の質問です。おそらく、真面目な質問をしているのか、それともただその場を繕っているだけなのかは、はっきりしません。しかしありがちな質問は、総督と同様の質問であり、答えるべき真面目な質問とは、イエスとそのおことばに対してあなたは何をしますかという質問なのです。

私たちはしばしば、真理を事実に関する正確な答えであると考えます。今日の相対的な世の中でさえ、事実は何でも真理であると言う人々が居ます。(40課を見てください。)ヨハネ14:6で、イエスは「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」と言われました。この節でイエスは、真理とは、主義や考えや理論で説明出来るものではなく、真理は人の前に具体的な形で現われ、イエスはその真理であると言っておられます。何という皮肉でしょうか！総督が「真理とは何ですか？」と質問したその時、彼が目にしたものは面前に立つ真理そのものでした。

結局ピラトは、イエスの運命を決定する際、ヘブライの宗教指導者たちの要求に屈します。そう、彼らに対して屈したかに見える。しかし実際は、イエスはご自分の運命を完全に支配しておられます。(ヨハネ10:17-18をご覧ください。)イエスを死に引き渡すやいなや、総督は流される血の責任を逃れるかのように、水を持って来させ手を洗います。(マタイ27:24)しかしもしあなた自身がその場に居たら、イエスの血が流されるのを見て手を洗うことが実際にできるでしょうか。

## 質問し、黙想する

- だれかが目の前の問題を避けて、偏った議論にあなただけを引きこむというような状況を考えることができますか。総督の質問(「真理とは何ですか。」)はまじめな質問だったと思いますか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。
- この課のポイントは、真理は考えとか理論ではなく、イエスの人格に具象化しているということです。このことは、あなたのイエスを見る見方に影響を与えますか。もしそうなら、どのようにですか。

## 決心し、行動する

最後に、すべての人が答えなければならない唯一の質問があります。「あなたはイエスに関して何をしますか。」(使徒4:12)もしあなたがその質問にすでに答え、イエスに信仰を置いているなら、イエスについて話をする時、相手の隠れた真意に気をつけてください。もしイエスが本当に言われる通りのお方であると信じるなら、相手の質問が何であろうと、それへの答えによって、イエスに関する応答が変わるべきではありません。

もしイエスに関して何をするか決めていないなら、総督の試みが無駄であったように、その質問を永遠に避けることは不可能だということに気付くべきです。これはすべての人が答えるべき質問です。今その準備ができていないなら、この学びの終わりにある「神を知る」の箇所に移ってください。

## 参照

- Matthew J. Slick, *What Is the Truth?* (© Christian Apologetics and Research Ministry, 2003). (<http://www.carm.org/cults/truth.htm>). Retrieved November 2, 2006.
- Daniel W. Jarvis, *Proof for Absolute Truth*. (© Absolute Truth Ministries, 2003). (<http://www.absolutetruth.net/truth/>). Retrieved November 2, 2006.



# 神の愛と正義の交差点

10章 54課



イエスを木に釘づけにした後、彼らは、死に至らせるために十字架を立てました。イエスの頭上には、ヘブライ人の王が十字架にかけられていることを示す札が掲げられました。宗教指導者たちはこれに反対しましたが、兵士たちは総督の命令に従い、札はそのままにされました。ある者たちは口ぎたなく非難しました…ある者たちは悲しみにくれました。しかし終始、イエスは一言も不快な言葉をはきませんでした。かわりに天の父に祈りを捧げ、「彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」と言われました。3時間の間、暗闇が地をおおいました。それは深い、大いなる意味を秘めた出来事でした。

神は義であり正しく清い方です。サタンを通して世に入った悪を受け入れることの出来ないお方でした。アダムを通して人類に広がった罪も受け入れることはできませんでした。もし受け入れたら、ご自身の品性や本質を汚すことになるからです。

しかし、神は愛です。神は愛するために人間を造り、また愛されるためにお造りになりました。神が人々をその悪のために裁くことは、まさに愛の対象である人間を滅ぼすことを意味します。

これは神的均衡のジレンマでした。しかし神の歴史上、この瞬間は創造以前から計画され、時代を通じて予告されていました。

十字架で、イエスは私たちの罪をご自身で背負われました。私たちの罪の罰を償ってくださったのです。イエスは私たちの身代わりとなりました。十字架上で、神の正義が満たされ、神の愛が達成されたのです。

—ザ・ホープ 10章

## 観察し、考える

世界中で数えきれない程多くの人たちが、十字架をアクセサリとして身につけます。しかし実際の十字架は死の道具であり、飾りではありません。ヘブライの宗教指導者たち、総督、ヘブライ王ヘロデによって「裁判」にかけられ、…死ぬほどに打ち打たれ、…狂乱した群集に拒絶され、…イエスは十字架上の死に向かって、ゴルゴタ（どくろの場所）と呼ばれる丘に引き出されました。

イエスの十字架にまつわるでき事は、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの最後の章で描写されていますが、いずれの描写も、十字架の意味やイエスが十字架上で成し遂げてくださったことの意味を十分に把握することはできません。イエスの十字架は、怖ろしくも美しい、おぞましくも神聖、目立たないが驚嘆すべき、素朴だが光り輝く出来事なのです。

もしまだでしたら、上のザ・ホープの抜粋を注意深く読んでください。「神的均衡のジレンマ」という言葉の意味を考えてください。辞書では、ジレンマとは互いに対立する選択肢の中から選ばなければならない状況、すなわち解決策を拒むように見える問題、と定義されています。もし世界を治めている力、または治めているかに見える力（すなわち人々の力や自然の力）をひっくり返せるならば、すべての背後で歴史の進行を形づくっている二つの見えない力に気付くことでしょう。一つ目は、人々への神の愛であり、二つ目は、人々を正しく裁く神の責任です。つまり愛する力と裁く力という二つの偉大な力は、互いに妥協できそうにない「神的均衡のジレンマ」です。しかしイエスの十字架で、この二つの偉大な力が永遠に融合したのです！

## 質問し、黙想する

- 言葉による描写は、イエスの十字架の意味を十分に表わしたり、把握したりできませんが、十字架はあなたにとってどんな意味がありますか。時々思いを言葉に置き換えることによって、理解を深めることが出来ます。
- ガラテヤ6:14で、使徒パウロは、彼の誇りとする唯一のことは、イエスの十字架だと書きました。なぜパウロはこのことを書いたと思いますか。パウロが意味したことは、何だと思いますか。

## 決心し、行動する

この課と冒頭の引用を読んだ後で、「神的均衡のジレンマ」を神のジレンマと見ることが出来るでしょう。しかし神は、神であるので、ご自分と決して争いません。神にはジレンマがないのです。ジレンマは私たちのものです。それは神的均衡の一つであり、神だけが解決できます。それが十字架で神がなさったことなのです。

イエスの十字架で、神の愛と正義の二つの大いなる力が、永遠に和解しました。しかし、自分の人生にその和解をとり入れるため、各人がイエスの十字架を受け入れなければなりません。十字架を拒絶する者には、この二つの大いなる力は永遠に解決しないまま残ります。十字架を受け入れましたか。もしそうでないなら、すぐにこの学びの終わりにある「神を知る」の箇所をもっとお読みください。

## 参照

- John Piper, *Christ Died for our Sins That We Might Die to Sin*. (A sermon delivered by John Piper on June 26, 1994. © Desiring God, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1994/878\\_Christ\\_Died\\_for\\_Our\\_Sins\\_That\\_We\\_Might\\_Die\\_to\\_Sin/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1994/878_Christ_Died_for_Our_Sins_That_We_Might_Die_to_Sin/)), Retrieved November 9, 2006.
- John Piper, *The Hour Has Come for the Son of Man to be Glorified*. (A sermon delivered by John Piper on March 31, 1985. © Desiring God, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1985/484\\_The\\_Hour\\_Has\\_Come\\_for\\_the\\_Son\\_of\\_Man\\_to\\_be\\_Glorified/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1985/484_The_Hour_Has_Come_for_the_Son_of_Man_to_be_Glorified/)). Retrieved November 9, 2006.
- John Piper, *I Thirst*. (A sermon delivered by John Piper on April 5, 1985. © Desiring God, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1985/485\\_I\\_Thirst/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1985/485_I_Thirst/)). Retrieved November 9, 2006.

<sup>1</sup>A. W. Tozer, *Gems from Tozer: Selections from the Writings of A. W. Tozer*. (Christian Publications, June, 1969, Chapter 7). "The old cross slew men; the new cross entertains them. The old cross condemned; the new cross amuses. The old cross destroyed confidence in the flesh; the new cross encourages it."

# あなたのためにイエスに注がれた神の怒り

10章 55課



神は、キリスト・イエスを、その血と信仰による、和解のいけにえとして、世界にお示しになりました。それは、ご自分の義を現すためです。というのは、これまで人類が犯した多くの罪を神は忍耐をもって見逃がして来られたからです。

——ローマ3:25

イエスは神の御前において、あわれみ深い、忠実な大祭司となるため、すべての点で兄弟たちと同じようにならなければなりません。それは民の罪を償い、和解し合うためなのです。

——ヘブル2:17

この方こそ、私たちの罪、いえ、私たちの罪だけでなく、全世界の罪を償ういけにえです。

——1ヨハネ2:2

私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪を償ういけにえとして御子を遣わされました。ここに愛があるのです。

——1ヨハネ4:10

十字架上のイエスは私たちの罪をご自分で背負われました。私たちの罪のために罰を償い、私たちの身代わりとなりました。十字架で神の正義が満たされ、神の愛が成就しました。その時イエスは、「完了した。」と言われました。そしてこうべを垂れ、ご自身の霊を神に渡されました。

——ザ・ホープ10章

## 観察し、考える

前の章で、イエスの十字架が、神のみ業のジレンマを解決したということを考えました。人への神の愛が満ち、罪に対する神の正義が満たされました。十字架上のイエスによって成し遂げられたものとは、罪への神の怒りと、この世に蔓延する罪の破壊でした。

はらわたが煮えくり返るほどの悪について聞いたり、読んだりしたことがありますか。多くの人「神が善いお方なら、このようなことが起こるのを何故お許しになるのか。」と自問するでしょう。しかしこの自問の裏には、彼らの気づいていない真理が隠されています。

罪と罪がこの世にもたらす結果について、神は私たちの理解をはるかに超える怒りをお持ちです。しかし、ただちにその怒りをあらわに示し、この罪深い世を裁こうとされないのには理由があります。この理由を11ペテロ3:9、10から知ることができます。「ある人たちは遅いと思っているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるわけではありません。そうではなく、主はあなたがたに対して忍耐深くあらられるので、ひとりも滅びることなく、すべての人が悔い改めるようにと望んでおられるのです。主の日は、盗人のようにやって来ます。その日、天は激しい音を立てながら消えうせ、自然界の万象は焼け落ち、地と地上の創造物は全て焼き尽くされます。」

この節では、いつかこの世とその被造物に何が起こるか考えてみましょう—何もかも焼き尽くされるのです。神はこの罪に汚染された世界を保つことも救出することもなさいません。新しい世界をお造りになるのです。(黙示21:1) 神はこの世の罪に怒りを示されるが、同時に又、イエスが約束(世を裁くために戻って来るという約束)を遅らせておられるのではなく、だれも滅びることを望まず忍耐しておられるのだということをご報告しています。言いかえると、イエスの人類愛は、罪に対するイエスの強い怒りと同じ位、いえ、それよりもっと強いのです。

イエスのこの世の裁きは直ぐには来ないかもしれませんが、それは必ずやって来ます。そしてそれは恐ろしいものです。そのことが今日の学びのポイントです。

この課の初めに引用した聖書の箇所「和解」という言葉があります。簡単に言えばこの言葉の意味は、この世の罪に対する神の怒りがイエスの上に注がれ、十字架の上で和解に導かれたということです。神学者J.I.パッカーは、和解は福音の中心であり、一般的に聖書を理解する鍵であると言います。

イエスを信頼する人々にとって、和解とは驚くべき神の業です。神の怒りは神を拒絶する人々に向けられますが、それは、イエスを信じる人々を神は決してお怒りにならないということでもあります。もしイエスを信じるなら、神はあなたを愛するがゆえに鍛えるかもしれません。(ヘブル12:6、10)しかし、イエスがすべてを十字架の上で背負ってくださったので、神はもう決してあなたをお怒りになることはないでしょう。

## 質問し、黙想する

- これまで誰かのことを怒ったことがありますか。「そんなことを私にすることは信じられない」と言ったり、考えたりしたことがありますか。(起こる前からすべてのことをご存知である)神がそのようなことを思われると思いますか。
- 人の怒りは普通、予想もしない不正に苦しむことから、引き起こされます。一方、神の怒りは意図的なものです。神は私たちの犯した罪のすべてをご存知であるだけでなく、将来私たちが犯すかもしれない罪についてもすべてをご存知です。それでもあなたは、神が「そんなことをなさるとは信じられない。」と言えますか。
- イエスの十字架のみわざによって、将来の罪深い行為に対する神の怒りは、このようにしてなだめられ、和解に至りました。このことを信じるのは難しいですか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。

## 決心し、行動する

神との平和（ローマ5:1）は、とても貴重な贈り物です。しかし前の課で考えたように、贈り物は受け取るまであなたのものではありません。イエスが自分の罪を償って下さったことを心から信じれば天国に行く確信を持てるでしょう、それでも同時に、神の怒りは自分の行いに原因があると思うのはごく普通のことなのです。ある種の贈り物を受け取り難く感じるのは、贈る側に原因があるのではなく、受け取る側にその原因があります、その為に受け取り難いと感じるのです。このような気持ちは、簡単には変わりません。しかし時間をかけて、私たちの学びを通して変えられて行くでしょう。もし神との平和を体験するのが困難であるなら、もしあなたに対して神は全く怒っておられないことを信じるのが困難であるなら、この課の最初に引用した聖書の箇所を暗唱し、黙想してください。その箇所の前後の文脈を含めて学んでください。神の真理があなたの内で生きたものとなるように、神に求めてください。神はみことばに真実なお方ですから、きっとそうして下さいます。

## 参照

- John Piper, *Jesus Christ Is an Advocate for Sinners*. (From a sermon delivered on February 10, 1985; © 2006, Desiring God). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1985/477\\_Jesus\\_Christ\\_is\\_an\\_Advocate\\_for\\_Sinners/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1985/477_Jesus_Christ_is_an_Advocate_for_Sinners/)). Retrieved November 8, 2006.

<sup>1</sup>2 Peter 3:7 – “But by His word the present heavens and earth are being reserved for fire, kept for the day of judgment and destruction of ungodly men.”

<sup>2</sup>J.I. Packer, *Knowing God*. (InterVarsity Press, 1973, p.167). Packer quotes John Murray’s definition of propitiation (from his book *The Atonement*) as follows: “The doctrine of propitiation is precisely this: that God loved the objects of His wrath so much that He gave His own Son to the end that He by His blood should make provision for the removal of this wrath. It was Christ’s so to deal with the wrath that the loved would no longer be objects of wrath, and love would achieve its aim of making the children of wrath the children of God’s good pleasure.”

<sup>3</sup>Ibid. p. 172. Packer writes: “A further point must now be made. Not only does the truth of propitiation lead us to the heart of the New Testament gospel; it also leads us to a vantage-point from which we can see to the heart of many other things, too. When you stand on top of Snowdon, you see the whole of Snowdonia spread out round you, and you have a wider view than you can get from any other point in the area. Similarly, when you are on top of the truth of propitiation, you can see the entire Bible in perspective, and you are in a position to take the measure of vital matters which cannot be properly grasped on any other terms. In what follows, five of these will be touched on: the driving force in the life of Jesus; the destiny of those who reject God; God’s gift of peace; the dimensions of God’s love; and the meaning of God’s glory. That these matters are vital to Christianity will not be disputed. That they can only be understood in the light of the truth of propitiation cannot, we think, be denied.”

<sup>4</sup>Merrill F. Unger, *The New Unger’s Bible Dictionary*. (Edited by R.K. Harrison, Howard Vos, and Cyril Barber; Originally published by Moody Press, 1988). “OMNISCIENCE. The divine attribute of perfect knowledge. This is declared in Psalm 33:13–15; Psalm 139:11–12; Psalm 147:5; Proverbs 15:3; Isaiah 40:14; Isaiah 46:10; Acts 15:18; 1 John 3:20; Hebrews 4:13, and in many other places. The perfect knowledge of God is exclusively His attribute. It relates to Himself and to all beyond Himself. It includes all things that are actual and all things that are possible. Its possession is incomprehensible to us, and yet it is necessary to our faith in the perfection of God’s sovereignty. The revelation of this divine property like that of others is well calculated to fill us with profound reverence. It should alarm sinners and beget confidence in the hearts of God’s children and deepen their consolation (see Job 23:10; Psalm 34:15–16; Psalm 90:8; Jeremiah 17:10; Hosea 7:2; 1 Peter 3:12–14). The Scriptures unequivocally declare the divine prescience and at the same time make their appeal to man as a free and consequently responsible being.”



# 復活：事実か虚偽か？

11章 56課



七日的☑一日，天快亮的☑候，抹大拉的☑利☑，和那个☑利☑，来看坟墓。忽然地地震☑，因☑有主的使者，从天上下来，把石☑滚开，坐在上面。他的像貌如同☑☑，衣服洁白如雪。看守的人，就因他吓得☑身乱☑，甚至和死人一☑。天使☑☑女☑：「不要害怕，我知道你☑是☑找那☑十字架的耶☑。他不在☑里，照他所☑的，已☑复活了，你☑来看安放主的地方。」

——☑太福音二十八章1~6☑

イエスが十字架にかけられてから三日後の朝、婦人たちが墓を訪れました。訪れたのは彼女たちが最初ではありません。その朝早く、神のみ使いが天から墓に舞い降りたのです。墓を守っていた兵士たちは恐れおののきました。天使が入口を封じていた石を動かすと墓の中はからっぽでした！

約束通り、イエスは死から甦ったのです！それから40日間、イエスは肉体をもって多くの人々の前に現われ、ある人々とは共に歩み、語り、また他の人々とは共に食事をしました。ある時には、500人を超える人々の前に姿を現わされました。

——ザ・ホープ11章

## 観察し、考える

イエスの復活という歴史的事実は、どれ程の意味を持つ出来事なのでしょう。使徒パウロは、イエスがもし死者の中から甦えなかったなら、私たちの信仰は価値のないものだと言っています！（1コリント15:17）続く課で、復活の重大性を考えながら、パウロの力強い言葉を更に深く検証します。しかしそれより先に、イエスの復活は実際に起こったことであり、ある懐疑論者が言うような単なる神話ではないという圧倒的な証拠を調べることにしましょう。

このテーマについては数多くの本が書かれてきましたが、私たちの学びの目的に沿って、4つの側面から証拠を考えてゆきましょう。

- **空の墓** — イエスは死者の中から甦えると公に宣告していました。このことを知ったヘブライの宗教指導者たちは、だれかがイエスの死体を盗んで復活のうわさを流し始めるのを恐れました。そこで総督に、墓の入り口に兵士を置き、墓を封印するように総督を説得しました。（マタイ27:62-66）もし命令の実行に失敗すれば、死の罰もあり得ることを知っていたので、総督の兵士たちは一生懸命墓を守りました。にも拘らず、お墓は空だったのです！
- **見証人** — 聖書によると、さまざまな人々（イエスを良

く知る人、イエスの内弟子たちを含む）が復活を遂げたイエスに会いました。（マタイ28:9-10、16-20；マルコ16:12-18；ルカ24:13-43；ヨハネ20:14-18、26-19、21:15-23）ある時は、一度に500人以上もの人々に現われました。（1コリント15:6）

- **弟子の反応** — 空っぽの墓と見証人の証言が与えられても、つくり話だと言う人々が居ました。しかし復活後の弟子たちの情熱的かつ献身的な生涯を見れば、その議論は力を失います。イエスに従った多くの人々（イエスの12弟子の一人を除く全員も）は、イエスを固く信じたゆえに殉教しました。もし復活が偽りであれば、他のだれよりもそのことを一番知っていたはずの人々です。しかし彼らは油で煮えたとられ、のこぎりで二つに切り裂かれ、十字架に逆さづりにされ、ライオンの檻に投げこまれ、剣で刺し殺されました。ある人は真実だと信じるその信念のために喜んで死を選びます。しかし嘘だと分かっていることのために一体誰が死を選ぶのでしょうか。彼等は真実であると信じたからこそ殉教したのです。
- **専門家の証言** — 法廷では証拠を調べるために、専門家が召喚されます。時代を通じて数え切れない学者たちが復活の証拠を調べてきました。そして復活は歴史の事実であると結論づけたのです。前に述べ

たように、何冊もの本がこのテーマについて書かれました。一つの例として、オックスフォード大学現代史教授トーマス・アーノルドの「ローマ史」から以下の引用文を参考に考えてみましょう。「私は他の時代の歴史を研究し、それを書いた人々の証拠を調べることで多くの年月を費してきた。人類の歴史の中で、公正な探求者の理解を得るためのあらゆる証拠の中で、キリストが死者の中から再び甦えられたという神が与えてくれたこの大いなるしるし以上のよい十分な証拠によって証明される一つの事実以外に私は知らない。」

## 質問し、黙想する

- これまでに挙げられた証拠は、復活を歴史的事実として確認するのに十分であると思いますか。なぜですか、あるいはなぜそうでないですか。もしそうでないと思うなら、どんなことが復活を事実として確認すると信じますか。
- イエスが死から復活されたことを信じるための十分な証拠を与えるために、神は他にどんなことがおできになったでしょうか。
- 既存のもの以外に実際の証拠が少ない中で、あなたは今日イエスの復活を事実として受け入れることが出来ますか。なぜこのことを信じることを選びましたか。

## 決心し、行動する

弟子の一人であるトマスは、イエスが死から甦られた事実を信じるまで悩み葛藤しました。周囲の人々に、イエスの傷に実際に触れるまでは信じないとさえ言いました。そのときイエスが現われ、ご自分の傷に触れさせる機会をトマスに与えました。トマスは即座に、「わが主、わが神。」と応答しました。

多くの聖書学者たちは、その後トマスがペルシャに行き、そこからインドに行って、神が約束された救い主イエスについて布教を続けたと信じています。ある学者は、中国まで足を伸ばしたと信じています。こうしてトマスは、多くの人をイエスの信仰に導いた後、インドで殉教したと信じられています。

トマスは疑い深い人でした。しかし回心した後、自分自身を完全にイエスのために捧げました。あなたは、トマスのようにイエスについて確信していますか。もしそうなら、イエスにどう応答しますか。

多くの人々がイエスについて疑いを抱きました（あるいは今も疑っています）。ある人たちはトマスのように自分に正直で、そして頭で否定しても心で信じることができないのです。しかし他の人たちは、真実に直面するのを避けるために、疑心を抱くのです。そのいずれに該当したとしても、あなたが懐疑主義者である限り出発点は同じであることを知る必要があります。神の前に正直になってください！トマスは自分の疑いについて正直でした。そして神は、彼が神を必要とする時と場所で彼に現れてくださったのです。

「もし、あなたがたが心を尽くしてわたしを捜し求めるなら、わたしを見つけるだろう。」（エレミヤ29:13）

## 参照

- Josh McDowell, *Evidence for the Resurrection*. (© Josh McDowell Ministries, 1992; © online Leadership U, 1995–2006). (<http://www.leaderu.com/everystudent/easter/articles/josh2.html>). Retrieved November 27, 2006.
- Matthew J. Slick, *Resurrection Chronology*. (© Matthew J. Slick, 1996–2003). ([http://www.carm.org/diff/table\\_resurrection.htm](http://www.carm.org/diff/table_resurrection.htm)). Retrieved November 30, 2006.

<sup>1</sup>William McBurnie, "Thomas" from his book *The Search for The Twelve Apostles*. (© 2006 BiblePath.Com, 2006). ([http://216.239.51.104/search?q=cache:jl\\_9hwOWlv8J:www.biblepath.com/thomas.html](http://216.239.51.104/search?q=cache:jl_9hwOWlv8J:www.biblepath.com/thomas.html)). Retrieved November 27, 2006.



# 復活の重要性

## 11章 57課



もしキリストが復活されなかったら、私たちの宣教は無意味になり、あなたがたの信仰も無駄になるのです。それどころか、私たちは神の偽証人とさえみなされます。なぜなら、もしもかりに、死者が復活していないとしたら、復活しなかったはずのキリストを、神が復活させたと言って、神に反して証言をしたことになるからです。死者が復活しないのなら、キリストも復活しなかったでしょう。そして、もしキリストが復活しなかったのなら、あなたがたの信仰は空しく、あなたがたは今なお、罪の中にあるのです。そうだとすると、キリストを信じて眠りについた者たちも、滅んでしまったわけです。もし、私たちがこの世の生活に限ってキリストに希望を置いているのなら、私たちは、すべての人の中で最も惨めな者です。

— | コリント15:14-19

## 観察し、考える

上記の聖書箇所で、使徒パウロは復活の重要性を強調しています。注意深くこの箇所を読むと、もしイエスが死から復活していなければ、少なくとも6つのことが現実になると言うのです。

1. イエスさまとそのメッセージを伝えることは無駄である。(14節)
2. イエスさまとそのメッセージを信じることは無意味である。(14、16節)
3. イエスさまについて語る者は嘘つきであり神に反する証人である。一神をけがす者である。(15節)
4. 私たちは以前として、希望もなく罪の力につながれている。(16節)
5. 私たちはみな死に定められており、死は永遠に私たちを愛する者から引き離す。(18節)
6. 嘘に望みをかけ、嘘に従って生きるなら、私たちはみじめな人間である。(19節)

パウロ以来の聖書学者は、イエスが十字架の上で成し遂げられたことは、その後に復活があつてこそ意味のあることであると強調してきました!この課と次の課で、パウロの議論をより詳細にわたって見ることで、復活の重要性について考えます。

パウロのすべての説教は、彼や他の使徒たち(イエスの新しい弟子たち)に啓示されたように、イエスがご自分をだれだ

と言われたかということに基づいています。イエスは繰り返し、十字架の後三日目に死人のうちより甦えると言われました。もしイエスがこのことで嘘をついていたなら、彼の言われたことはみな疑わしいし、さらに悪いことには神は嘘をつけないので、イエスは神ではあり得ないということになってしまいます。

このことから、もし嘘を信じるなら、その信仰はむなしく無意味であるだけでなく、私たちは皆希望のないことをするみじめな人間だということになってしまいます。時代を通じて、人々はイエスの信仰のために大きな犠牲をささげ、おそろしい困難に耐え、残酷な死を味わってきました。もしイエスが死から甦らなかつたならば、それはみな意味のないことです!その上そんな嘘を信じるなら、人々をみじめな犠牲者にするだけでなく、悪人にさえ変えてしまうことになります。

もしイエスがご自分で言われたような方でないなら、イエスを伝える者は二つの罪を犯したことになります。つまり、他の人を迷わす罪と、神について偽証をする罪です。49課を思い起こしてください。神だけに出来ること、すなわち罪を赦すことをイエスがなさると言われた時、ヘブライの宗教指導者たちは神への冒瀆であると言ってイエスを責めました。冒瀆とは本来、神の悪口を言ったり、神に反することを言ったり、自ら神であると主張したりすることです。もしイエスが死から甦らなかつたなら、イエスを伝える者は基本的に冒瀆の罪を犯していると見做されるのです。

このことが示唆する内容は、まだ十分に語られていないが、意味深い大切なことです。もしイエスが真実でないなら、サタンが勝利者であり、世の中の悪の力は破られないままです。

もしこの考え方が少し暗すぎると感じるのであれば、正にそれこそが、パウロが1コリント15:14-19で伝えようとした内容の意図なのです。もしイエスが死を征服していなければ、すべての希望は失われています!しかし全能の神、天地の創造主を賛美してください。イエスは甦えられました!もし役に立つなら、前の課の復活の証拠を読み直してください。そして読んだことを心に留めてください。

## 質問し、黙想する

- イエスの復活の意義に関するパウロの議論は、余りにも多過ぎると感じますか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。
- イエス以外に死から復活した者は、いかなる宗教の創設者の中にも見当たりません。あなたの経験で、世界の宗教について議論を交わす時、この真理が通常、会話の中に入ってきますか。なぜですか。あるいはなぜそうではないですか。
- この課は、あなたの復活に関する見方に、どんな形ででも影響を与えましたか。もしそうなら、どのようにか説明してください。

## 決心し、行動する

第一ペテロ3:15では、「あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。ただし、優しく、慎み恐れて、…」と言われて 있습니다。もちろん私たちの内にある望みとはイエスです。しかし見てきたように、この希望はイエスの復活にかかっています。もしあなたがイエスの信者であるなら、イエスの復活が事実であるという信仰がなぜ納得のいくものであるかを説明できるように備えて下さい。

もしイエスの復活についてまだ懐疑的であるなら、前の課に戻ってください。責任は自分自身にあります。

## 参照

- Bob Deffinbaugh, *The Significance of the Resurrection*. (© bible.org, 2006). ([http://www.bible.org/page.php?page\\_id=547](http://www.bible.org/page.php?page_id=547)). Retrieved November 28, 2006.
- *The Resurrection*. (© Campus Crusade for Christ, Canada, 1997-2002). (<http://www.face.org/jesus/muscle.html>). Retrieved November 28, 2006.
- *What Does Paul Say About the Resurrection of Jesus Christ?* (© AllAboutJesusChrist.org, 2002-2006). (<http://www.allaboutjesuschrist.org/what-does-paul-say-about-the-resurrection-of-jesus-faq.htm>). Retrieved November 29, 2006.
- *Jesus' Resurrection*. (© AllAboutJesusChrist.org, 2002-2006). (<http://www.allaboutjesuschrist.org/jesus-resurrection.htm>). Retrieved November 29, 2006.
- Andrew Knight, *Unforgiven: An Easterless World*. (© Lifetime Guarantee Ministries, 1997-2006). (<http://www.lifetime.org/get/equipped/egrace-read/138/>). Retrieved December 1, 2006.

<sup>1</sup>Matthew 16:21; Mark 8:31; Luke 9:22; Matthew 17:22-23; Mark 9:31; Matthew 20:17-19; Mark 10:32-34; Luke 18:31-34; John 2:19-21; John 16:16-23; Matthew 12:40

<sup>2</sup>John Fox (1516-1587) and William Byron Forbush, Editor. *Fox's Book of Martyrs, A history of the lives, sufferings and triumphant deaths of the early Christian and the Protestant martyrs*. (© Christian Classics Ethereal Library). (<http://www.ccel.org/f/foxe/martyrs/home.html>). Retrieved November 29, 2006.

# 復活の重要性 —— 2部

## 11章 58課



もしキリストがよみがえられなかったのなら、あなたがたの信仰はむなしく、あなたがたは今もなお、自分の罪の中にあるのです。

—— I コリント15:17

私たちは、バプテスマによって、キリストとともに葬られ、その死にあずかるものとなりました。それは、キリストが御父の栄光によって死者の中からよみがえられたように、私たちも、新しいのちに生きるためです。もし私たちが、キリストと一体になって、その死の姿にあやかるならば、必ずキリストの復活の姿にもあやかれるでしょう。私たちの古い自分がキリストとともに十字架につけられたのは、罪に支配されたからだが減びて、もはや罪の奴隷にならないためであることを、私たちは知っています。死んだ者は、罪から解放されているのです。

—— ローマ6:4-7

あなたがたは、バプテスマによってキリストとともに葬られ、また、キリストを死者の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、キリストとともによみがえらされたのです。

—— コロサイ2:12

キリストと結ばれる人はだれでも新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。。

—— II コリント5:17

## 観察し、考える

前の課で、使徒パウロがイエスの復活について述べた I コリント15:14-19を引用し考えました。この課ではその箇所1の1節目から始めて復活の学びを続けます。同じ箇所の17節で、もしキリストが死から甦えらなかつたら、私たちはまだ罪の中にいると述べられています。この箇所を深く掘り下げてみましょう。

罪はアダム以後のすべての人を汚したということを18課で学びました。善良な生活を送ることで、徐々により良い人になり罪を除くことができると考える人々が居ます。これは聖書の教えとは異なります。聖書によれば、罪を取り除く唯一の方法は、罪をさばき、死に渡すことであり(ローマ8:13)、それが十字架の死によってイエスが成し遂げたことでした。

上記ローマ6:5-6から学んだことは、イエスの十字架の死によって、あなた(古き自分)自身もイエスと共に十字架につけられ葬られたということです。時間と空間に支配されない神は、時間と空間を超越したみ業を行われます。こうしてイ

エスは、まだ生まれていなかったあなたを、ご自分と共に十字架に導いてくださったのです。

聖書で使われる「古い自分」と言う言葉に注意してください。罪をゆるされ神と和解するためにイエスを信じる以前の、あなたの状態のことなのです。言い換えれば「古い自分」とは、罪に対して罰が下される前のあなたの状態なのです。6節と7節を注意深く読むと、あなたの古い人は「罪のからだが減び」るため、「もはやこれからは罪の奴隷にならないため」、むしろ「罪から解放され」るために、キリストとともに十字架につけられたことが理解できます。神はあなた(あなたの古い人)を墓に連れて行くことで、罪を解決されます。7節に行くと、「死んでしまった者は、罪から解放されているのです。」罪の力から解放されるのはよいことですが、墓の中に死んだままの状態で居るのは、よくありません。ですから復活がとて大切なのです。

ローマ6:5とコロサイ2:12を読むと、私たちはイエスと共に

十字架につけられただけでなく、「新しい命に生きるため」(ローマ6:4)に、イエスとともに復活させられたのです。IIコリント5:17では、「キリストと結ばれる人はだれでも(キリストを隠れ家とするなら)、新しく造られた者であり、古いものは過ぎ去ったことがわかります!イエスとともに復活させられたのなら、古い自分(以前の自分)は墓に葬られ、あなたはキリストにある新しい人とされたのです!

「ちょっと待ってください。私はまだ罪と戦っています。罪に死んだのならどうしてこういうことがあり得るのでしょうか。」と  
思っているかもしれません。使徒パウロは、ローマ7章8章でこのことを深く掘り下げています。基本的にはあなたの肉には罪があるとパウロは説明しています。(ローマ7:18-23)しかしもはや望みもなく隷属になっているではありません。(ローマ8:12)今や内におられる神の力で、罪に勝利して自由に生きて行けるのです。そしてこのことは、復活のゆえに可能なのです!

ローマ6:4-6で学んだ復活は、基本的に霊的な復活です。罪に死んで、神に生きる者とされたのです。(ローマ6:11)聖書はまた、イエスを信じる者はある日、イエスのように罪に汚染されない新しい体を与えられ、文字通り肉体が復活すると教えています。(Iコリント15:50-53)この復活を遂げた肉体は、天で永遠に生きることができます。(Iコリント15:40-44)もう一度言いますがこのことは、私たちの先駆けとなられたイエスの復活によって可能になりました!

復活はどれほど大切なことなのでしょう。要約すれば、罪の罰から私たちを解放したのは十字架です。しかし私たちが罪の力から解放してくれたのは、イエスの霊的復活なのです。そして罪の存在から私たちを究極的に解放するのは、イエスによって可能になった私たちの体の復活なのです。

## 質問し、黙想する

- この課は、第一コリント15:17の意味をよりよく理解するのに役立ちましたか。もしそうなら、どのようにであるか説明してください。もし役立っていないなら、どの点でそうなのか説明してみてください。
- これまでの学びを通して、復活の重要性に関してあなたの見方が変わりましたか。

## 決心し、行動する

この課には多くの霊的な「栄養」がありました。未だ完全に消化していないなら、良く噛んで消化し続けて下さい!もう一度読んで深く祈り続けてください。ローマ5、6、7、8章を、通して読むことを勧めます。あなた目の前の真理は、これまで不可能に思えた方法であなたを解放してくれるにちがいありません!

## 参照

- John Piper, *But Christ Has Been Raised, You Are Not Still In Your Sins* (A Sermon Dated Easter Sunday, April 3, 1994). (© Desiring God Ministries, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1994/870\\_But\\_Christ\\_Has\\_Been\\_Raised\\_You\\_Are\\_Not\\_Still\\_In\\_Your\\_Sins/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1994/870_But_Christ_Has_Been_Raised_You_Are_Not_Still_In_Your_Sins/)). Retrieved November 29, 2006.
- Ray C. Stedman, *Romans* (Series 1). (© Discovery Publishing, a ministry of Peninsula Bible Church, 1962–1963). (<http://www.pbc.org/library/series/4518>). Retrieved November 30, 2006. For an in–depth study of Romans, this series of sermons by Ray C. Stedman should prove invaluable, especially as those on Romans 5–8 relate to this lesson.
- Bill Gillham, *We're Totally Forgiven*. (© Lifetime Guarantee Ministries, 1997–2006). (<http://www.lifetime.org/get/equipped/dj-read/totally-forgiven/>). Retrieved December 1, 2006.
- Bill Gillham, *The World's Best Kept Secret*. (© Lifetime Guarantee Ministries, 1997–2006). (<http://www.lifetime.org/get/equipped/dj-read/best-kept-secret/>). Retrieved December 1, 2006.
- Bill Gillham, *Lifetime Guarantee*. Harvest House Publishers, 1993.



# 復活による靈感

## 11章 59課



我らの主イエス・キリストの父なる神が褒め讃えられますように！ 神は、憐み深い方であるため、死者の中からイエス・キリストを復活させ、それによって私たちを新たに生まれさせ、生きる望みを与えてくださいました。

—— 1ペテロ1:3

それは人にはできないことです。しかし、神にはどんなことでもできます。

—— マタイ19:26

イエスが死んだことを確認した後、兵士たちは遺体を十字架から降ろしました。その日のうちにイエスの体は墓に納められ、巨大な石で封じられました。宗教指導者たちの要求で、墓を守るために兵士たちが配置されました。イエスを愛する者たちにとっては、大きな混乱と喪失の時でした。

イエスが十字架にかけられて三日目の朝、婦人たちが墓を訪れました。彼女たちが初めてではなく、それより早く神のみ使いが天から降りていました。墓を守る兵士たちが恐れおののく前で、天使は入口を封じていた石を動かしました。

墓の中は空でした！約束通り、イエスは死から甦えっておられたのです。

—— ザ・ホープ 11章

## 観察し、考える

これまでのレッスンでイエスの復活についての「重厚な」教えを学びました。今その教えを、自分にあてはめてみましょう。ザ・ホープの説明を読んで学んだことを考え、イエスを愛した人々の立場に自らを置いてみましょう。「イエスを愛する者たちにとっては、大きな混乱と喪失の時でした。」

イエスは使徒たちの心を、多くの希望と夢で満たしていました。墓に葬られたのは、単なる著名な宗教指導者ではありませんでした。葬られたお方は使徒たちの人生のあらゆる面の意味と目的を与えて来ました。イエスが死んだ時、かれらの中の全てが同じように死んだのです。彼らの生きる理由は、その墓の入口を封じた大きな石の背後に葬られたのです。

あなたの人生に靈感と意味を与えて来た何らかの夢が、消えたという経験をしたことがありますか。夢がなくなったのは、

だれかがあなたの夢は不可能だと告げたか、又は生活環境が変わり、夢を追うことができないほどの困難があなたを襲ったか、その理由は様々でしょう。理由が何であれ、夢が消えた時あなたのすべての希望も消えたかのように見えます。

もちろん、イエスが甦った復活のできごとを読み進めるうちに、彼を愛する人々の希望もまた甦ったことを私たちは知ることが出来ます！しかし神学の領域を越え、歴史上の証拠や証言を越えて、イエスの復活には個人としての深い意味があります。復活を通して、神には不可能なことは何もないということを知ります！誰が何と言おうと、環境がどんなに厳しかろうと、たとえ夢が消えたように見えても、神にとって不可能なことは何もありません！イエスが死から復活したことによって失望した心に希望が与えられます！

## 質問し、黙想する

- 大切な夢が消えたという経験をしたことがありますか。その夢にはどんな意味がありましたか。なぜその夢は消えたのでしょうか。その夢が消えた時どんな感じがしましたか。その夢について今どう感じていますか。
- あなたの人生で未完成のこと一望んでいたけれどもあきらめたことがありますか。夢見る夢や熱望する望みのすべてが必ずしも神からあたえられたものではありません。たとえ夢や熱望が神から与えられたとしても、全てが叶えられるほどにこの世は友好的ではありません。時々夢は消え去ってしまいます。しかしその夢が復活する時、それが神からのものであることを知り、そのことで神は栄光をお受けになります。あなたの人生において復活を真剣に願うものがありますか。それは何でしょうか。

## 決心し、行動する

この課を読んだ後で、心を静め、神があなたの心に語りかけて下さるようにと祈り求めて下さい。あなたの夢は墓の奥深くに葬られ、もはや見ることはできません。諦め忘れ去るかも知れませんが、でもいつか思い出す日が来ます。どんな墓も、神の復活の力がはいれるほど大きくはありません。その偉大な力を借りて、疑いや恐れの中を降り、神が与えてくださった夢を甦らせてください。神の現実があなたの現実になるように祈ってください。

もし役立つなら、次の祈りをあなた自身の祈りに加えて下さい。

全能の父よ。

あなたの力が、み子イエスの復活を通してあらわされたことを見ました。あなたは本当に不可能を可能にする神さまで。死と喪失で私の心は痛みます。しかしイエスさまは言われました。「まことに、あなたがたに告げます。一粒の麦がもし地に落ちて死ななければ、それは一つのままです。しかし、もし死ねば、豊かな実を結びます。」(ヨハネ12:24) 私には望みがなく最終的に見えても、あなたには同じようには見えません。私は\_\_\_\_\_を失いました。しかしあなたは復活の神でいらっしゃるの、あなたにあつて望みを失いません。ここでこの祈りを祈っているのは、あなたの大きな愛のおかげです。あなたのあわれみは絶えることはありません。それは朝ごとに新しいのです。(エレミヤ哀3:22-23) 私の人生でああなたの栄光をあらわすそれらのことを、復活させてくださるようお願い求めます。イエスさまのお墓を、希望の根拠といたします。そして私の全人生を通して、イエスさまに信仰を置きます。」

## 参照

- Ray C. Stedman, *The Living Hope*. (© Discovery Publishing, a ministry of Peninsula Bible Church, 1995). (<http://www.raystedman.org/misc/3565.html>). Retrieved December 1, 2006.
- Max Lucado, *He Still Moves Stones*. W Publishing Group, 1993, 1999.



# 最後の言葉

## 11章 60課



さて、そこでイエスは言われた。「わたしが未だあなたがたといっしょにいたころ、あなたがたに話したことはこうです。「わたしについてモーセの律法と預言者と詩篇に書かれていることは、必ず全部成就する」ということでした。そこで、イエスは、聖書を悟らせるために彼らの心を開いて、こう言われた。「次のように書いてあります。キリストは苦しみを受け、三日目に死人の中からよみがえり、その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に述べ伝えられる。あなたがたは、これらのことの証人です。さあ、わたしは、わたしの父が約束してくださったものをあなたがたに送ります。あなたがたは、いと高き所からの力に覆われるまでは、都にとどまっていなさい。」

—— ルカ24:44-49

イエスは、昔から預言者によって語り継がれた光で、起こったできごとを理解するようにと、彼らの心をお開きになりました。そして罪の赦しのためにご自身が死に復活することが必要であることを説明されました。そして天と地において、いっさいの権威が与えられたと告げ、神のみ国について語られました。ついにイエスが父のみもとに行き、ご自分を愛するすべての人のために場所を備える時が来ました。神の聖霊が現れ、全世界がイエスの真理と愛と赦しを分かち合うために弟子たちを力づけることを、イエスは約束されました。こう言い終わると、イエスは弟子たちを離れ、雲の中に上って行かれました。

——ザ・ホープ 11章

## 観察し、考える

時間が限られている時、私たちは言葉を慎重に選ぶようになります。このため最後の言葉というものはより重要であり、人生を変える言葉でもあり得ます。復活の後、そして昇天前の短い間、イエスは弟子たちと貴重な時を過ごされました。その間にイエスは以下のことを説明されました。

- ご自身に起こったこと—イエスの死と復活はすべて、聖書ににすでに書かれていたご計画の一部でした。罪の赦しのためにイエスが死ぬことは、必要なことでした。
- 次に弟子たちに起こること—十字架にかけられる前の晩イエスは、弟子たちのために天に場所を備えるために御父のもとへ行くと語られました。(ヨハネ 14:2、3) また父のみもとから助け主と言われるもう一人のお方(聖霊)を送ると約束されました。(ヨハネ 14:16-20) 天への旅立ちが近づいた時、神の御霊であり、聖書で聖霊として知られるお方を送ると、弟子たちに繰り返して約束されました。(使徒2:17、33 ; 4:31 ; 5:32)
- 再び主と一つになる時まで、弟子たちがやり続ける

べきこと—全世界に、すべての民族に証してきた真理を、再臨のときまで分かち合うようにと、イエスは弟子たちに告げられました。

次の章と最後の章では、聖霊を送ると言うイエスの約束と、真理を全世界と分かち合うようにという教えについて学びます。その前にこの課では、イエスの死と復活を、神の大きなご計画の流れの中で考えてみましょう。

最初に、イエスは、ルカ24:44、45の中で「イエスについてモーセの律法、預言者、詩篇に書かれたことは全て必ず成就する」と言われました。ある懐疑論者は、イエスは古代文書の知識を持っていたので、それを自分の人生に当てはめただけだと言います。ひとつやふたつのできごと、そしておそらく自分の死はやりくりすることができても、イエスが数百の預言を成就したことは無視出来ません。(4課を復習してください。)その上、これから死ぬ人間が自分の復活をつくり出すことなどできません!イエスが「聖書を悟らせるために彼らの心を開いた時、イエスが中心人物であることは疑いの余地がありませんでした!

またこのいずれも、イエスにただ「起こった」のではないことを考えてください。その死はむごたらしい死だったかもしれないが、イエスは決して犠牲者ではありませんでした。ヘブライの宗教指導者も外国人の総督も、イエスに死の責めを負わせることはできないのです。イエスご自身が、だれもわたしのいのちを取るのではない、「わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度受ける権威があります。」と確証されました。(ヨハネ 10:18) もし誰かがイエスに死の責めを負わせるとしたら、それはあなた自身と私自身、そして罪をもってこの世に生まれ救い主を必要とするすべての人なのです!

## 質問し、黙想する

- ・ ザ・ホープのこの学びの結果、聖書とイエスのできごとが新しい光の中で見えますか。もしそうなら、あなたの見方がどう影響されたか説明できるでしょうか。
- ・ もしあなたが世界中で、罪ある唯一人の人間であるなら、あなたの罪はイエスを十字架にかける十分な理由になるでしょうか。イエスはあえて、十字架に向かわれるでしょうか。あなたは自分自身を、神の大いなる歴史の登場人物とみなしますか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。

## 決心し、行動する

私たちの学びは終わりに近づいています。もう一度このテキストを(少なくともこの学びの文脈の中では)通して学ぶことはないと思います。もっと深く考えるためにもう一度読みたい箇所があるなら、今そうする時間をつくって下さい。この学びの後で、神についてまだ学び足りないことがあると感じたら、どんな教えでも、必要であれば求めてください。

## 参照

- ・ John Piper, *Irrevocable Joy*. (© Desiring God Ministries, 2006 — From a sermon delivered March 26, 1989). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1989/671\\_Irrevocable\\_Joy/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/Sermons/ByDate/1989/671_Irrevocable_Joy/)). Retrieved December 2, 2006.

# 聖霊の到来

## 12章 61課



わたしは父にお願いします。そうすれば、父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒に居るようにして下さいます。その方は、真理の聖霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見ようとも、知ろうともしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたの内にいるからです。わたしは、あなたがたを見捨てて孤児にはしません。わたしは、あなたがたのところに戻って来ます。その日が来ると、わたしが父の内におり、あなたがたがわたしの内におり、わたしもあなたがたの内にいることが、わかります。

——ヨハネ14:16-20

五旬節の日が来て、みなが一つ所に集まっていた。すると突然、天から、激しい風が吹いて来るような音が聞こえ、彼らの住む家全体に響き渡った。また、炎のような舌が分かれ分かれに現れて、ひとりひとりの上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、他の国々のことばで話し出した。さて、エルサレムには、敬虔なユダヤ人たちが、世界のあらゆる国から帰って来て住んでいたが、この物音を聞いて、大ぜいの人が集まって来た。彼らは、それぞれ自分の故郷のことばが話されているのを聞いて、驚きあつけにとられた。

——使徒2:1-6

——あの人たちが、私たちの故郷のことばで神の偉大なみ業を語るのを聞こうとは。

——使徒2:11

わたしは父にお願いします。そうすれば、父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒に居るようにして下さいます。その方は、真理の聖霊です。世はその方を受け入れることができません。世はその方を見ようとも、知ろうともしないからです。しかし、あなたがたはその方を知っています。その方はあなたがたとともに住み、あなたがたの内にいるからです。わたしは、あなたがたを見捨てて孤児にはしません。わたしは、あなたがたのところに戻って来ます。その日が来ると、わたしが父の内におり、あなたがたがわたしの内におり、わたしもあなたがたの内にいることが、わかります。

——ヨハネ14:16-20

## 観察し、考える

十字架にかけられる前の晩、イエスは弟子たちをみなし子にはしないと約束されました。御父が別の弁護者、いつまでも共にいてくださる聖霊(ヨハネ14:16)を送ってくださるであろうと、弟子たちに告げられました。復活の日から50日目(ペンテコステ)に、イエスの約束は成就しました。聖霊が降りて来て、弟子たちを満たしました。

創世記1:26、神はご自分のことを複数形で語っておられます。「さあ人を造ろう。われわれのかたちに似せて、」と。マタイ28:19では、イエスが「それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる

国の人々を弟子となさい。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを授けなさい、」と言われました。この意味について詳しい説明はありません。しかし聖書ははっきりと三位一体の真理に言及しています。神は唯一の主であり(申命6:4)、三位一体のお方です。三つの部分をもったおひとりの神ということではありません。三つの異なった神々ということではありません。神はおひとりで三位のお方なのです。この真理は三位一体の教理として知られ、聖書に示されていますが、人間の頭脳には以然として神秘です。

聖書が御父とみ子を神として語っているように、聖霊も神の属性を持つ存在として語られています。

- ・ 永遠一初めも終わりもない(ヘブル9:14)
- ・ 全能一すべての力を持っている(ルカ1:35)
- ・ 遍在一同時にどこにでもおられる(詩139:7)
- ・ 全知一すべてのことを理解しておられる  
(1コリント2:10、11)

聖霊は神であり、神のすべての属性を表わしますが、自身に注意を向けることはしません。むしろ多くの神学者が言うように、聖霊の役割は父なる神におけるイエス・キリストの人格と臨在を明らかにする(知らしめる)ことなのです。ヨハネ14:9で、イエスは「わたしを見た者は、父を見たのです。」と言われました。聖霊はイエスを顕し、イエスは御父を顕わすのです。(ヨハネ15:26)

1ヨハネ4:16でキリストは「神は愛である」と述べておられます。愛が実現するためには、その対象がなければなりません。神は愛の対象とするために人間を造られたと論じる人がいますが、そう言った対象は必要ありませんでした。なぜなら三位一体の神は永遠の昔から、ご自分のうちに愛の対象を持っておられるからです。事実、一部の神学者は、三位一体の神の内部では愛といのちが泉のように無限に湧き出ていると指摘します。愛と命が永遠に泉のように湧き出るとは何を意味するのか考えてみて下さい。

聖霊はイエスの弟子たちを霊で満たすために来てくださり、父・子・聖霊の間に存在する永遠の親密な交わりに彼らが入るよう備えてくださいました。このことが、上のヨハネ14章20節で「その日には、わたしが父の内におり、あなたがたがわたしの内におり、わたしもあなたがたの内におることが、あなたがたにわかります。」と言われた時に、イエスが意味しておられたことなのです。

イエスの弟子たちは聖霊に満たされると、力に満ちて世に出かけ、神のみ業を天の言葉で宣べ伝えました。使徒たちが自分たちの言葉で話すのを聞き、聞く者すべてが理解しました。聖霊がイエスさまについて話していたのです。そして今も尚聖霊はイエスさまについて良い知らせを述べ伝え続けています!

## 質問し、黙想する

三位一体の教理を説明するために様々な比喩や例が用いられてきました。20数年前、ある神学校の教授が、三位一体を長さ、幅、厚さがある本と比べて説明しました。長さ、幅、厚さは同じではありません。この三つの次元は、それぞれ別のものですが、ひとつに結合しています。もし一つの次元を取り去るなら、もう本ではなくなります。同時に、三位一体の神には、一つである三つの異なる位格があります。もし一つでも取り去るなら、もはや神ではないのです。

確かにどんな比喩や類似する例を使っても、三位一体の信じ難い神秘を、完全に究めることは困難です。しかし類似するものを例に説明するのは効果的です。そう思いますか。思いませんか。それは何故ですか? 誰かに三位一体の神秘を理解させるには、どうすれば良いと思いますか。

## 決心し、行動する

使徒パウロは、ローマびとへの手紙を締めくくる前に、こう書いています。(ローマ15:13)「どうか、希望の源である神が、あなたがたを信仰によるすべての喜びと平和をもって満たし、聖霊の力によって希望に満ちあふれさせてくださいますように。」明らかに神は、私たちが自分の力だけに頼って神を敬う生活を送ることを期待しておられません。神は聖霊の力に頼ってほしいと願っておられます。あなたは神と共に歩んでいますか。歩みに疲れませんか。イエスはこう言われました。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげよう。」(マタイ11:28)聖霊の力によって、またたゆまぬ信仰によって、あなたを通してイエスの臨在を明らかにしてくださるよう、父なる神に祈り求めてください。聖霊に絶えず満たされるように祈ってください。

## 参照

- Jorge Atiencia, *Witnesses Experience the Presence and Power of God the Holy Spirit* (Urbana 96 – Exposition: Acts 2). (© InterVarsity Christian Fellowship / USA). ([http://www.urbana.org/\\_articles.cfm?RecordId=681](http://www.urbana.org/_articles.cfm?RecordId=681)). Retrieved December 8, 2006.
- Mike Oppenheimer, *What Is the Trinity?* (© Let Us Reason Ministries, 2006). (<http://www.letusreason.org/Trin7.htm>). Retrieved December 8, 2006.
- Paul Kroll, *The Holy Spirit Is the Personal Presence of God Himself*. (© 2004 Worldwide Church of God). ([http://www.wcg.org/lit/God/presence.htm#\\_ftn2](http://www.wcg.org/lit/God/presence.htm#_ftn2)). Retrieved December 11, 2006.
- *Who Is the Holy Spirit?* (© EveryStudent.com, a site developed by Campus Crusade for Christ, International). (<http://www.everystudent.com/forum/hspirit.html>). Retrieved December 8, 2006.
- John Piper, *How Can We Be Clothed With Power?* (© Desiring God Ministries, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/TopicIndex/4/654\\_How\\_Can\\_We\\_be\\_Clothed\\_with\\_Power/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/TopicIndex/4/654_How_Can_We_be_Clothed_with_Power/)). Retrieved December 11, 2006.

<sup>1</sup>Genesis 3:22; Genesis 11:7; Isaiah 6:8; 2 Corinthians 13:14.

<sup>2</sup>Leonardo Boff, *Holy Trinity, Perfect Community*. Orbis Books, 2000, p.15.

<sup>3</sup>Harold Wilmington, *Wilmington's Bible Study Library 1 & 2: The Doctrine of the Trinity*. (ChurchPlantingVillage.net, © North American Mission Board, SBC, 2000–2007). (<http://www.churchplantingvillage.net/atf/cf/{087EF6B4-D6E5-4BBF-BED1-7983D360F394}/01thedoc.pdf>, p.9). Retrieved December 11, 2006.



# 教会の神秘

## 12章 62課



ペテロのこぼれを受け入れた者は、バプテスマを受け、その日、三千人ほどが弟子に加わった。そして、彼らは使徒たちの教えをかたく守り、交わりをし、パンを裂き、祈りをしていた。そして、一同の心に恐れが生じ、使徒たちによって多くの不思議な業と行われた。信者となった者たちはみな一つになって、いっさいの物を共有にしていた。そして、資産や持ち物を売っては、それぞれの必要に応じて、みなに分配していた。そして毎日、心一つにして神殿に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主は毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

——使徒2:41-47

その日から弟子たちは、神の真理、愛、赦しを他の人と分かち合いながら、世に出て行きました。イエスと共に歩いた当時のイエスの働きを、弟子たちは霊の助けを借りて行いました。一病人をいやし、悪霊を追い払い、人々を神と和解させました。そして弟子たちの周りに集まる人々は日を追って増えて行きました。

——ザ・ホープ 12章

## 観察し、考える

ある日聖霊がイエスの弟子たちを満たし、特別な出来事が生じました。多くの人に教会として知られているものを、聖書は神秘と呼びます。エペソ3:9、10でパウロはこう記しています。

「万物を創造した神のうちに世の初めから隠されていた秘められた計画がどの様に実現されるのかを、明らかにするためです。これは、今、天にある支配と権威とに対して、教会を通して、神の豊かな知恵が示されるためであって、」。

イエスと教会の関係を述べるために、聖書はいくつかのたとえを用います。そのいくつかを紹介すると、

- 教会は生ける神殿であり、イエスは神殿の礎石です。  
(第一ペテロ2:4-8)
- 教会は王なる祭司の王国であり、イエスは大祭司です。  
(第一ペテロ2:9、ヘブル10:19-21)
- 教会は神の群れであり、イエスは羊飼いです。  
(ヨハネ10:11、ヘブル13:20)
- 教会員は、ぶどうの木であるイエスにつながる枝です。  
(ヨハネ15:5)
- 教会は花嫁であり、イエスは花婿です。  
(エペソ5:31-32、黙示19:7)

このたとえのそれぞれが想像力をかき立てるものですが、中でも第一コリント12章の喩えがおそらく最も意味深いと言えるでしょう。聖書は教会を、かしらであるキリストの体に喩えています(エペソ5:23にあるように)。現在イエスは天の父と共におられることを、私たちは知っています。イエスは信じる者のために場所を備え(ヨハネ14:2)、その人々のために祈っておられます(ローマ8:34)。地上でのイエスの臨在は、聖霊により、イエスの体である教会を通して明らかにされています。この意味で、教会員は世にあってイエスの腕、手、足、目、唇なのです。イエスはからだの頭として、聖霊を通して、地上の教会の活動を導いておられます。

イエスと教会の関係をからだに喩えて、次の二つの真理を考えてください。

1. からだのすべての部分が、完全な機能を果たすために必要なのです。もしどの器官でも弱かったり失われたりすれば、からだ全体が苦しみます。
2. 体の部分が正常に機能して初めて、それを構成する自分の立場がわかります。指が手から離れるとその役目を果たせないように、イエスのからだとの正しい関係を離れると、イエスにある自分の立場が弟子たちにはわかりません。

## 質問し、黙想する

- イエスの教会との関係についての5つのたとえのうち、どれが一番あなたにとって意義深かったですか。なぜですか。
- あなたはキリストの体の生きた部分であると感じますか。なぜですか、あるいはなぜそうではないですか。
- キリストの体ともっと活発な関係を持つために、何をすることができますか。

## 決心し、行動する

地球規模の教会は、世界中の地域教会によって可能です。特別の教団を推進することが、このスタディ・ガイドの目的ではありません。むしろイエスの弟子が地域教会に忠実につながっているようにという聖書の教えを強調することです。(ヘブル10:25)

すべてのイエスの弟子の責任は、

- (a) 神を知り、永遠のいのちを受ける道としてのキリスト・イエスに対する信仰と (b) 神のことばである聖書を明確に教える教会を見つけること。
- 神に用いていただき、成長させていただけるように、キリストの体にどのように仕えることができるかを見出すこと。
- 地域教会への献身に忠実であること。

## 参照

- Ray C. Stedman, *EPHESIANS: The Calling of the Saints*. (© Discovery Publishing, a ministry of Peninsula Bible Church, 1967). (<http://www.pbc.org/library/files/html/0250.html>). Retrieved December 11, 2006.
- *Church*. (Wikipedia, 2006). (<http://en.wikipedia.org/wiki/Church>). Retrieved December 11, 2006.

<sup>1</sup>Review Lesson 5.

<sup>2</sup>John Piper, *There Is No Greater Satisfaction!* (© Young Disciples of Jesus, 2005). (<http://ph.ydjesus.org/template/article.htm?code=yd&id=3190>). Retrieved December 8, 2006.



# 教会 — 進行中の働き

## 12章 63課



夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身を捧げられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、その類いのものは何一つない、聖なる、汚れのない、栄光に輝く教会を、ご自分の前に立たせるためです。

— エペソ5:25-27

### 観察し、考える

「教会は偽善者に満ちている」という理由で、イエスを拒絶する人をあなたは知っていますか。そのような人が居ても不思議ではないでしょう。しかし教会でいやなことがあったり、指導者がイエスの弟子として模範的でないと感じたりした時、なぜ人々が教会から離れてしまうかが容易に理解出来ます。しかしそれはイエスを拒む正当な理由でしょうか。

音楽の世界には、モーツァルト、バッハ、ベートーベンのようにクラシック音楽の巨匠と呼ばれる人々が居ます。世界的なオーケストラの卓越した演奏を聴くと、心が魅了されます。しかし例えばバッハの曲を小学5年生のオーケストラが演奏したとします。それは完璧からほど遠いでしょう、しかし誰もバッハの天性の才能を疑わないでしょう。それは当然のことです。しかし教会が完全からほど遠いと、多くの人がイエスに従う意味に疑問をはさみます。

教会を理由にイエスを拒む人にとって、忘れてならない事が二つあります。第一に、教会がどの程度イエスを具現化しているか否かに関わらず、イエスは常に完全なお方であるということ。第二に、イエスの臨在が教会や教会員の間で充分でないと感じられたとしても、それはイエスの意志ではないということです。教会は今なおイエスの働きが進行中の場所なのです。

イエスについては、「しみや、しわや、その類いのものが何一つない」「聖なる、汚れのない」教会にしてくださいませ。十代の少年のように、教会は荒削りで、洗練されていないように見えるかもしれませんが。しかしどんな息を飲むように美しい花嫁でも、かつてはぎこちない少女でした。ある日教会は、キリスト・イエスの花嫁として整えられるでしょう(黙示19:7)。そして聖書が教えるように(黙示22:5)、教会はイエスと共に世々限りなく統治するのです!

### 質問し、黙想する

- 教会には多くの偽善者がいると、だれかが口にするのを聞いたことがありますか。この言葉をどう思いますか。
- 教会との個人的関係はどんなでしたか。全体的に良かったですか、悪かったですか。なぜそうだったかを説明してください。

## 決心し、行動する

これまでに学んだように、イエスを信頼する者は、「イエスにあって」義とされます。しかしイエスにあって義とされた者が、常に100パーセント、その義を貫くことができるとは、聖書のどこにも書かれていません。イエスの弟子たちの働きは目下進行中で、イエスが弟子たちの内に成し遂げて下さったことを、外に表わすことを学び続けています。それには教会以上に、成長に相応しい場所はありません。イエスがそのように教会を計画してくださったからです。

もし教会の状態を理由に足踏みを余儀なくされ、イエスに従う決心がつかないのであれば、あなたの焦点を教会から離して、イエスの方に向けてください。イエスご自身の生涯と本質に基づいて、イエスのことばを吟味し直してください。

もし、すでにイエスの弟子であるあなたが教会に失望し、傷ついたことがあったとしても、あきらめないでください。神は愛の対象として、あなたをあきらめたりなさいません!教会はあなたを必要としています。前の課で学んだように、イエスの体との正しい関係なしには、イエスにあるあなたの独自性は決して認められないでしょう。

## 参照

- Matt Slick, *Questions and Objections to Christianity, Part 3*. (© Matthew J. Slick, Christian Apologetics and Research Ministry, 1996–2006). ([http://www.carm.org/40\\_objections/40-3.htm](http://www.carm.org/40_objections/40-3.htm)). Retrieved December 11, 2006.
- *QUESTIONS, Answers to Tough Questions: What about all the hypocrites I see who call themselves Christians?* (© Global Media Outreach and Campus Crusade for Christ, Inc., 1993–2006). (<http://www.greatcom.org/resources/toughquestions/tq11/default.htm>). Retrieved December 11, 2006.

# 大いなる歴史の最終目標

12章 64課



王はまた、その左にいる者たちに言います。「のろわれた者ども。わたしから離れて、悪魔とその使いたちのために用意された永遠の火に入れ。」

—— マタイ25:41

この目が見たことのないもの、この耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神が備えてくださるものは、みなそうである。

—— 第一コリント2:9

私たちは、神の約束に従って、正義の宿る新しい天と新しい地を待ち望んでいます。

—— 第二ペテロ3:13

あなたは、巻物を受け取って、その封印を解くのにふさわしい方です。あなたは、屠られて、その血により、あらゆる部族、言葉の違う民、民族、国民の中から、ご自分の血で、神のために人々を贖い、私たちを神に仕える王とし、また祭司とされました。彼らは地上を治めるのです。

—— 黙示録5:9、10

主よ。だれがあなたを恐れず、御名をほめたたえずにおられましょうか。ただあなただけが、聖なる方です。すべての国民が来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しい裁きが、明らかにされたからです。

—— 黙示録15:4

そしてその時から今日までそのようなのです。犠牲となった神の小羊、すべての者の主、復活を遂げたイエスに信仰をもって向き直る時、すべての罪が赦され、神の霊が彼らの心に入り、永遠のいのちが与えられるのです。

イエスに従おうと決心した人たちの数は、何十億人にも上ります。神の歴史をひも解けば、イエスに従う人々は世界のあらゆる部族、民族に及びます。その時イエスは、約束通りお戻りになります。

時代を通じてイエスを拒んできた人々は、サタンとその使いたちに用意された場所で焼かれ、永遠に神から引き離されます。イエスを信頼した人々は、定められた通りに、神との生活を永遠に保障されます。

—— 「盼望」影片、第十二章

## 観察し、考える

地獄ほど、話題としていやなテーマはありません。しかしもし地獄が現実であるなら、その現実を語らないで無視することは愚かなことです。聖書は多くのページを割いて、地獄について語っています。イエスは、他の誰よりも地獄について語っています。地獄は現実であり、人々がそこに永遠に留まらないように、はっきりと警告を与えたからです。

この課題について、以下のことに注目してください。第一に、地獄は人のためではなく、サタンと悪霊たちのために用意されました。(マタイ25:41) 第二に、イエスが人々を地獄に送るのではなく、むしろ彼ら自身がイエスによる神の救いを拒絶して、自らそこに行くことを選ぶのです。(ヨハネ12:48) 真理は以下の通りです。すべてこの世に生まれた者は、もしイエスが罪の罰を償ってくださらなければ、また彼らのためになされたイエスの働きを受けとるようという神の求めを受け入れなければ、皆地獄に行くということです。あるいは別の見方をすれば天はイエスのおられる場所であり、もし人がイエスを拒むなら、それは天を拒んでいることになるのです。

イエスのおられる永遠とイエスから離れた永遠との間には最も遠い距離と最も大きな違いが存在します。比較することすら出来ません。第一コリント2:9を読むと、神がいかに素晴らしいお方であるかが分かります。聖書は又、(さらに多くの聖書箇所から) 神を愛する者は、新しい天と新しい地に住むために備えられると教えています。そこで彼らは、神と共に世々限りなく統治し、神の栄光をあらわすのです!(黙示録22:5、詩86:2)

私たちの学びの初めで、聖書は人類のすべての歴史を説明する大いなる歴史書であることを学びました。聖書はすべての人間の歴史を背景に書かれました。そして学びの結論に近づいているこの時、その究極的な目的は、人を祝福することであり、その結果として神が永遠に崇められ、栄光に満たされることです。大いなる歴史の目標は神の栄光なのです。神学者ジョン・パイパーはこのように書いています。「すべてのことの最終目標は、あらゆる部族、言語の違う民、民族、国家から、贖いに預かった数え切れないほどの人々の群れが情熱的愛をもって、神を礼拝することです。」これはあなたの目標に合致していますか。

## 質問し、黙想する

自分の一番の願いは天国に行くことであると考えている人々がいます。彼らは永遠に幸福になれると想像します。しかしもしジョン・パイパーの言葉が、この世における神の目標を正しく表現しているなら、天には永遠の目的があります。それは、地上にいた間に失ったものが、元通りに備えられることではありません。そうです、天では、私たちの一番強い願いが満たされ、幸せを得ることが出来ますが、それは必ずしもこの世で私たちを幸せにするものと同じではありません。天の市民は皆、永遠に神の栄光をあらわす目的に自分を捧げることによって心が満たされるのです!自分に尋ねてください。

- 神の栄光は、私の願うものでしょうか。
- 神は、私の望むお方でしょうか。
- そうでないなら、なぜそうでないのでしょうか。もし神が望むお方でないなら、何を望んでいいですか。もし神でないなら、誰が私の願いの対象になっているのでしょうか。

## 決心し、行動する

学びの終わりに近づいています。自分の永遠の行き先が確かではなく、確かにしたいなら、すぐにこの学びの終わりにある「神を知る」を注意深く読み、考えてください。後回しにしないでください。永遠は、あなたが考えているよりも、近くにあるかもしれませぬ。永遠について学ぶのを、待つ必要はありません。

## 参照

- Randy Alcorn, *In Light of Eternity*. Waterbrook Press, 1999. The author challenges us to live our lives in light of eternity, and helps us realize that what we really crave is found there.
- Randy Alcorn, *Heaven*. Tyndale House Publishers, 2004. This book provides us with a thoroughly researched biblical description of heaven. Many of us have serious questions about heaven, and also some not-so-serious questions. Alcorn addresses these issues and helps us to develop a greater understanding and deeper longing for our eternal destination.
- Ted Dekker, *The Slumber of Christianity: Awakening a Passion for Heaven on Earth*. Nelson Books, 2005. The author challenges believers, asking us to wake up from our bored slumber and remember our central hope. His goal is to ignite our passion for the exotic and pleasurable eternal inheritance that God has planned for those of us who will inherit His kingdom in heaven.
- Dr. Bill Gillham, *False Notions*. (© Lifetime Guarantee Ministries, 1997–2006. This article originally appeared in the October, 2000 issue of Discipleship Journal). (<http://www.lifetime.org/get/equipped/dj-read/false-notions> ). Retrieved December 8, 2006.

<sup>1</sup>John Piper, *There Is No Greater Satisfaction: A God-centered Motivation for World Missions*. (© Mission Frontiers, January–February, 1998). (<http://www.missionfrontiers.org/1998/0102/jf984.htm>). Retrieved December 11, 2006.

<sup>2</sup>Ibid.



# 大いなる歴史におけるあなたの役割

12章 65課



あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子とせよ。そして、父、子、聖霊の御名によってバプテスマを受け、

——マタイ28:19

全世界に出て行き、すべての造られた者に、福音を宣べ伝えなさい。

——マルコ16:15

その名によって、罪の赦しを得させる悔い改めが、エルサレムから始まってあらゆる国の人々に宣べ伝えられる。

——ルカ24:47

この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。

——マタイ24:14

こうして、福音が先ずあらゆる民族に宣べ伝えられなければなりません。

——マルコ13:10

ある人たちは遅いと思っているようですが、主は約束の実現を遅らせておられるわけではありません。そうではなく、あなたがたに対して忍耐深くあられる故に、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

—— II ペテロ3:9

## 観察し、考える

前の課で、人間に啓示された神の偉大な歴史における最終ゴールについて考えました。「あらゆる国民、部族、民族、言語の違う民のうちから数えきれないほどの大ぜいの群衆が、熱心な愛で神に礼拝をささげます。」(黙示5:9、7:9) I コリント2:9が示すように、神を愛する者のために神が備えてくださったものは全て、あまりにもすばらしく、想像以上であることを学びました。また神を愛する者は、永遠に神と共に世を治め、神の栄光の宿る新しい天と新しい地に住むことを学びました。(黙示22:5、詩篇86:12)

しかしこのことはいつ起こるのでしょうか。60課では、イエスは天に上げられないうちに、弟子たちに向かって最後の教えを受けました。この教えは一般に大宣教命令と呼ばれ、マタイ、マルコ、ルカの福音書にあります。(この課の初めに挙げられています。)*「終わりの日」*(神の偉大な歴史の最終ゴール)

は、福音が「全世界に宣べ伝えられて、すべての国民に証しされ」るまで終りは来ないと述べています(マタイ24:14)。

25課で学んだように、国民とは、聖書的意味合いでは、単なる地理的國家ではなく、言語、文化、部族関係等によって他のグループから区別されるグループのことであることを思い出してください。バベルでの神のさばきの直後、70の民族が生まれたとも言われます。今日の私たちの世界には何千という民族がいます。その多くにまだ福音が届いていません。彼らに福音が届けられるまで、終わり(あるいは見方によっては始まり)は来ません。

今 II ペテロ3:9(上記)を考えてください。この節の「約束」とは、イエスが戻られるための約束です。その時弟子に約束なされたことすべてが成就するのです。この節から分かること

は、イエスが約束の実現を遅らせているのではなく、だれも滅びることを望んでおられないということです。たとえどんなに世の中が悪と苦しみに満ちていても、全ての人が信仰によってみもとに来るために、「戻って来る」という約束の実現を喜んで遅らせるほど人々を愛しておられるのです。というのは再び来られる時はもう遅過ぎるからです。

マタイ24:14とⅡペテロ3:9は、大宣教命令の広さと深さを示し、イエスの民族、個人への愛情を表わしています。いつ戻って来られるのでしょうか？「だれも知りません。天の御使いたちも知りません。ただ父だけが知っておられます。」とイエスは言われました。(マルコ13:32) その日がいつなのか誰にも知らされていません、その日は(1)すべての民族が福音の証しを受けるまで、(2)イエスを信頼する最後の人が現れるまで、来ることはないだろうと告げています。

この数十年で教会は、福音を未だ届いていない地域に届けるためにかつてない進展を見せました。待ち望むすべての人に祝福を注ぐと、神はその日を待っておられます。(イザヤ30:18) しかしその日は、大宣教命令が果されるまでは来ないのです。

## 質問し、黙想する

- ご自分を愛する者のための約束を成就するために、イエスが戻ってこられる日を待ち望んでいますか。あなたはイエスを待望しますか。
- 大宣教命令が成就する助けとなるために、あなたは何をしていますか。

## 決心し、行動する

大宣教命令の主題に関して、ジョン・パイパーの宣教に関する言葉を再び引用することで、私たちの学びを締め括ることにしましょう。パイパーによれば、「宣教は教会の究極の目的ではありません。神の栄光が、教会の究極の目標です、一なぜならそれが、神の究極の目標だからです。すべてのことの最終目標は、あらゆる部族、言語の異なる民、民族、国民の間で贖いに預かった数えきれない人々の群れが、熱烈な愛情をもって神を礼拝することなのです。礼拝のために宣教があります。御国がついに栄光のうちに来る時、宣教は終わります。宣教は最後から二番目のことで、礼拝が最終的なことなのです。このことを忘れて役割を逆にすると、双方の情熱と力が減少します。」

ですから礼拝は、宣教の動機であると言えます、そして神が意図される礼拝は、大宣教命令が完成するまで、完全ではありません。牧師や宣教師のような「専門家」だけではなく、イエスの弟子たちは皆、大宣教命令成就の助けとなるように召されています。未宣教地域に行くよう召されていなくても、行くように召されている他の人たちを支援し、祈ることができるし、またそうすべきなのです。そしてあなたの隣人たちに、たしかにイエスを伝えることができます。イエスの再臨を伝える相手がどこの誰であるか、遠くに住む人か、近くに住む人かたとえ分からなくても。

あなたの隣人に対して、または世界に向けて、大宣教命令を成就する助けとなるために何ができるか見出してください。福音を国々に伝えている働きに世界の目を開かせてくださるよう神に求めてください。最後に、イエスを知って欲しいと思う隣人の10人のリストを作成してみてください。リストの中のそれぞれの人の救いのために、定期的に祈り続けてください。またそれぞれの人にイエスを信じる証しをする時と場所を、神が用意してくださるように祈ってください。

世界のどこに居ても神の働きに参加することで、神との関係が成長します。もし参加しなくても、神は他の人を立てて成長を促して下さるでしょう。ザ・ホープの学びで見たように、神は統治しておられ、そのご計画は曲げられません。しかしまた、この学びを通してで見えてきたように、神に「はい」と喜んで応答する人は、本当の意味で祝福されます。神と共に歩く時、神にとって、またまわりの世界にとって祝福となるよう、神があなたを祝福してくださいますように！



## 参照

- **Joshua Project.** (© Joshua Project, A Ministry of the U. S. Center for World Missions, 2006). (<http://www.joshuaproject.net/>). Retrieved December 11, 2006. The mission and passion of Joshua Project is to identify and highlight the people groups of the world that have the least exposure to the Gospel and the least Christian presence in their midst.
- The Traveling Team at <http://www.thetravelingteam.org/>. This website, although targeting college students, is a great place to check out the Biblical basis of missions, as well as to walk one through God's heart for the world from Genesis to Revelation – a wealth of mission related resources. Retrieved December 11, 2006.
- **Finish the Job** (VHS). © Mars Hill Productions, 1998. "A missionary doctor's passionate plea to trust God to do whatever it takes to complete the task of taking the gospel to every tongue, tribe and nation."
- **The Great Commission – The Great Adventure.** (© AllAboutJesusChrist.org, 2002–2006). (<http://www.allaboutjesuschrist.org/the-great-commission.htm>). Retrieved December 11, 2006.
- John Piper, **Tell How Much the Lord Has Done for You!** (© Desiring God Ministries, 2006). ([http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/TopicIndex/4/422\\_Tell\\_How\\_Much\\_the\\_Lord\\_Has\\_Done\\_for\\_You/](http://www.desiringgod.org/ResourceLibrary/TopicIndex/4/422_Tell_How_Much_the_Lord_Has_Done_for_You/)). Retrieved December 11, 2006.



# 神を知る

## 神との個人的関係の始め方



## 神との個人的関係の始め方

考えてみてください——宇宙の創造者との個人的な関係なのです!何という畏れ多い機会でしょうか!神との個人的関係を確立するための基礎となることから理解するために、次のことを読み通してください。時間をとって各ポイントを理解できるよう神に求めてください。

### この真理を考えてください

### 確かめてください

#### 1. 神について

- a. **神は聖い。**神はあなたが知っている誰よりもどんな物よりも、畏れ多い方です。
- b. **神は愛。**神の愛は完全です。神はあなたを愛しておられます。神はあなたの最善を望んでおられるのです。
- c. **神は創造者。**神は、あなたと他のすべてのものを創られました。ですから、神はあなたの、最善をご存知です。神はまた、あなたの益となるように、ご自身の栄光のために、律法(生きる指針)をおつくりになりました。

#### 聖句

イザヤ 2 : 2  
詩 99 : 3  
黙示 15 : 4  
第1ヨハネ 4 : 16  
ヨハネ 10 : 10  
コロサイ 1 : 16  
詩篇 139 : 13  
ヨシヤ 1 : 8  
詩篇 1 : 1 - 3

#### 2. あなたと私について

- a. **私たちはみな罪を犯しました。**造られた最初の人アダムは神に逆らい、罪と呼ばれる、死に至る霊的病いが、世に入りました。私たちはアダムの霊的子孙なので、みな罪に汚染されています。そしてアダムのように、律法を破ることで、みな神に罪を犯しました。
- b. **罪は裁かれなければなりません。**神は聖く義ですので、罪を受け入れたり、無視することはできません。そうするならば神の品性や性質が損なわれることとなります。罪の罰は、神との分離、死です。
- c. **より良い人間になったり、良いことをしても、自分の罪を償うことはできません。**無限の神に反するどんな罪にも、無限の結果があります。

ローマ 5 : 12  
ローマ 3 : 23  
イザヤ 5 : 6  
ローマ 2 : 5, 6  
ローマ 6 : 23  
イザヤ 59 : 2  
ローマ 8 : 3, 4  
第1ペテロ 1 : 18, 19

#### 3. 神の備え

- a. **神はあなたを愛しておられ、** 罪の罰を支払うために御子イエスを送ってくださいました。イエスは罪とその結果からあなたを救うために、十字架で死なれました。しかし死はイエスに打ち勝つことができず、葬られて3日目にイエスはよみがえられました。

ローマ 5 : 8  
エペソ 2 : 4 - 6

- b. **イエスの死と復活を通して**、神はあなたに次のものを差し出しておられます。 IIコリント 5:15
- **赦し** — あなたと神の間の壁はない。 使徒 13:38  
エペソ 1:17
  - **新しいいのちと出発** — 聖霊によって神はご自身のいのちを与えてくださる。すべての真理に導き入れ、罪に勝つ力を与えてくださる。 ヨハネ 3:3-8  
IIコリント 5:17  
ヨハネ16:3  
ガラテヤ 5:16
  - **目的** — 神はあなたの人生に計画をもっておられ、行き先がわかるように願っておられる。 エペソ 2:10
  - **永遠のいのち** — 神と共に永遠に生きる ヨハネ 3:16
  - **そして思う以上のもっと多くのこと!** Iコリント 2:9

#### 4. あなたの決心

- a. **救いは贈り物**。神がイエスによって差し出しておられるのは、贈り物です。それはただですが、高価な支払いがなされました。理解できないほどの代価、御子である神のいのちが支払われたのです。 エペソ 2:8  
ローマ 6:23  
IIコリント 9:15
- b. **贈り物は受け取るまであなたのものではありません**。贈り物は獲得するものでもないし、強制されるものでもありません。あなたが受け取る選択をするまで、あなたのものではありません。信仰によって、神に信頼することによって、神の贈り物を受け取るのです。次の簡単な祈りをする事で個人的な関係を始めることができます。 ヨハネ 1:12  
ヨハネ 5:24  
ローマ10:8-9

「神様、私は罪によってあなたから離れていました。主イエスさま。罪の罰と力から私を救い出すために、私のかわりに死んでくださったことを感謝いたします。私の人生をご支配ください。私を赦し、聖霊で満たしてください。私をあなたの望まれる者にしてください。イエス様のお名前によって。アーメン」

**もし、罪をゆるしてくださるように神に祈り、御子イエスに信頼したならば、だれかにそのことを知らせることが大切です。**  
**1-800-NEED HIM で、ザ・ホープ対応チームの誰かに連絡することができます。**

## キリストにある新しいのちについて、知っておく必要のある大切なことを以下に挙げます！

1. 信じて告白したので、あなたは救われています!(ローマ10:9-10)
2. これがあなたに起こったすばらしいことです。
  - あなたは新しく生まれました。キリストにあって新しくつくられました。(1ペテロ1:23;IIコリント5:17)
  - 今神の霊があなたの内に住んでおられ、神との個人的な関係を持つことができます。神を主としてお従いできるよう力づけてくださいます。(Iコリント 3:16;ローマ8:10, 11; Iコリント 6:17)
3. 天の御使いたちが、今あなたの決断を喜んでます。私たちも喜んでます。(ルカ15:10)。
4. 救いを獲得するために何もしなかったので(それは神の賜物です)、救いを失うことはありません。(エペソ2:8-10;ヨハネ 10:28)
  - あなたは聖霊によって印を押され、永遠の救いを保障されました。
  - あなたが神の子供であり、永遠に神と共にいることを神の霊が今あなたの霊に証ししてくださいます。(ローマ8:16, 17)。
5. イエス・キリストとの新しい関係の中で、成長することがとても大切です。神にたえず語りかけ、みことばを日々読むことによって成長します。交わり、礼拝、励まし、責任を持つ事、聖書研究、奉仕のために、他のクリスチャンと会うことで成長します。このように他のクリスチャンと一緒に会うことは、教会といわれます。聖書を信じ、教える教会を見つけ、出席することが必要です。
6. あなたの決断を、クリスチャンであれノン・クリスチャンであれ、他の人と共に喜ぶ事が今大切です。これからの24時間で、少なくとも5人の人に、あなたのイエス・キリストとの関係を話すようにしてください。

最後に、神との関係の中で成長するために必要な、基本的なことがあります。「**神にあって成長する**」を読み、さらに学んでください。



# 神にあって成長する

## 神との関係で成長するための基本事項



御子イエス・キリストを通して神に来ることは、すばらしい始まりです。——しかし、それはただ始まりにすぎません。「信仰に来る」旅の終わりであるかもしれませんが、「神にあって成長する」もう一つの旅の始まりなのです。使徒パウロは、イエス・キリストを「知る」ことは、人生の大いなる目標だと言いました。「私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることを知って、キリストの死と同じ状態になり、どうにかして、死者の中からの復活に達したいのです。」（ピリピ 3:10, 11）パウロにとって、神にあって成長することは、死が彼を御前に連れ行くまで、彼の身を焦がす仕事でした！

どのように私たちは救ってくださる大いなる神を知り、神にあって成長するようになるのでしょうか。多くの方法がありますが、いくつかのことが時を経るうちに鍵であると示されてきました。神のことは学び、祈りで語り合い、他の信者と生活を分かち合い、神がくださったことを他の人に告げ、信仰と従順さをもって神に日々従うならば、神を知る知識は成長せざるを得ません。これらのことを順番に短く見ることにしましょう。

## 1. 神のことは学ぶ

適切な食事なしには、子供が健康な大人に成長することを期待できません。子供は成長するために食べます。同様に、神のことは成長するクリスチャンを養う霊的食物なのです。使徒ペテロは、イエスの弟子を新しく生まれた赤子のように励ましました。「純粋な、みことばの乳をしたい求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。あなたがたはすでに主がいつくしみ深い方であることを味わっているのです。」（第1ペテロ 2:2, 3）。多くの食べ方があるように、いのちを与える神のことは「取り入れる」多くの方法があります。以下のことを始めるように考えてください。

- 日々の聖書通読。聖書の箇所を日々読むために、多くのプランがあります。もしキリストの新しい弟子であるなら、ヨハネの福音書を読み終わるまで日々数節ずつ読むことで始められます。それから他の福音書（マタイ、マルコ、ルカ）がエペソやピリピのようなパウロの「伝道」の手紙の一つに行きます。日々読む聖書箇所が選ばれており、その箇所の瞑想が含まれているような「デボーション」の聖書が見つかるかもしれません。
- 聖書全体を通して読んでください。ある聖書は、系統立った方法で聖書を読みとおす手引きつきで、出版されています。もしあなたの聖書にこのような手引きがないなら、簡単に見つけることができます。以下のアドレスでダウンロードして、いくつかのものをを用いることができます。

<http://www.navpress.com/Magazines/DiscipleshipZJournal/Bible-Reading-Plans/>

- 神のことはあなたのための約束で満ちています。お約束を暗記し、黙想してください。ある聖書には、神の約束の部分的なリストが、引照欄にあります。他のものは無料で利用できます。検索でGod's Promisesとキーワードを入れてください。（<http://www2.intouch.org/site/c.7nKFISHvEqG/b.1034467/k.9C8E/Gods-Promises.htm>）
- グループ聖書研究。神のことは他のクリスチャンと一緒に学ぶことは洞察や交わりにおいて成長するすばらしい方法です。あなたの地域の聖書を信じる教会でリーダーを探してください。そしてあなたが集まれるようなグループ研究について尋ねてください。

どんな場合にも、聖書研究で強調されるべきことは、ただ学問的なことだけであるべきではないし、学びのための学びであってはなりません。「頭の知識」を得るためではなく、救いのご計画にあなたを入れてくださった神を、もっと深く十分に知るために学んでいるのです。あなたは今や神の歴史の一部なのです！

## 2. 神と交わる

祈りは単に神と交わることです。——そしてそれがとても大切なのです。時々一方通行のように思えるかもしれませんが、そうではありません。祈りには、神に語り、逆に神のみ声を聞くことがあります。神のことば、神のしもべ、聖霊の静かな細いみ声によって神は語ってくださいます。祈りによって、神の善に感謝し、罪を告白し、神ご自身のゆえに賛美し、神に願い事をします。神との関係において成長し、信仰が成熟するのは、通常の祈りによってなのです。聖書は、すべてのことについて祈り、また『絶えず』いのるべきであると語ります。祈りをするのに神にとって小さすぎることは、本当にありません。神はすべてのいのちの主であるお方です。

- 神と共に時を過ごす習慣をつくってください。話すと共に聞くことを学んでください。ある人たちは、この神との時を「静まる時」と呼んでいます。しかし、全然、静かでないかもしれません。この間大きな声で祈り、賛美し、聖書の祈りを大きな声で読むかもしれません。大切なことは、毎朝毎晩の集中した数分であったとしても、譲れない神のための時を持つということです。
- 祈りの日誌をつけましょう。祈りを記録することによって、神がどのように導いてくださったかを見ることができます。また求めるものだけでなく、あなたに本当に必要なものを与えてくださる神の真実さのゆえに賛美することができます。祈りが答えられたら、他の人と分かち合うこともしてください。あなたへの神の真実によって、他の人の信仰が建て上げられるのです！
- この後の「祈りの模範」でイエスが祈りについて教えてくださったことを学んでください。弟子が「私たちにも祈りを教えてください」と言った時、それに答えて教えてくださったものです。多くの人がことばの意味をほとんど考えずに、暗記して繰り返し、この祈りを祈ります。この祈りを学ぶ時、それぞれの部分を学び、神の絶えざる配慮と関心について何と言われているのかを学んでください。
- 一日を通して神との継続的な対話を持つように、自分を訓練してください。ある人々は、これを神の「臨在の訓練」と言います。ただ、神が毎日、一日中一緒にいてくださることを思い起こしてください。いつでもどんなことでも神と自由にお話できることを覚えてください。

## 3. 他の信者と交わる

私たちが学んだように、ある人がキリストのみもとに来る時、その人はキリストの体である教会の一部分になります。ちょうど肉体のように、この霊的な体のすべての部分には、固有の目的、独自性があります。そしてちょうど指が手から離れては十分機能できないように個々のクリスチャンも地域教会との関係なしには、自分の独自性を十分に知ることと体験することもできないのです。交わりはクリスチャンの成長にとって必須のことであり、それをやめることには警告が与えられています。(ヘブル10:24-25)。他の信者との共同体もしくは交わりにおいて、神について、自分自身について他の方法では学べないことを学びます。

- 信仰の旅を始める時、(a) 神を知り永遠のいのちを受け取る道である、キリストへの信仰と、(b) 神のことばである聖書を、明確に教える近くの教会を見つけてください。
- 神があなたをお用いなり、成長させてくださるように、その地域教会を通してどのようにキリストの体に仕えることができるのか、見出してください。
- 地域教会への献身に忠実であってください。あなたに教会が必要であるだけでなく、教会にあなたが必要なのです！



## 4. あなたの信仰を他の人に証しする

実を結ぶように造られた木が実を結ばなくなるなら、それはその木が健康でない確かな証拠です。健康な木が実を結ぶように、健康なクリスチャンは、いのちを与えるイエスの真理を他の人にお分かちすることによって、実を結ぶのです。神が与えてくださったいのちは、自分に止めて他の人に語らないなら、結局は不活発になっていってしまいます神が与えてくださったものを他の人に伝えるなら、神はあなたを新鮮に満たしてください。罪責感からではなく、神の救いの愛の故に喜びと情熱をもって信仰を証しすることは、クリスチャン生活にとって必要不可欠です。

- ・ 神があなたに証してほしいと思われる人のリストを作ることができるように、神に祈り求めてください。それぞれの人に証しする良い時が与えられるよう祈り始めてください。
- ・ 証しの機会を日々探してください。「証しすることを聞くように、この人を備えてくださいましたか」と神に尋ねてください。あえて危険を冒してください。結果はあなたがわかるよりももっと興奮に満ちたものでしょう。
- ・ この学びの「神を知る」の部分に親しんでください。そしてあなたのうちにある希望について説明できる備えをしてください。(第1ペテロ3:15)
- ・ 簡単な会話的な方法で、自分の信仰の旅を証しする練習をしてください。いつ神が自分の話をする機会を与えてくださるかは決してわかりません!

## 5. 神にたよることで、信頼し従うことを学ぶ

すべての真の知識は、従順の結果であると言われます。他のすべてのことはただの情報です。もし、本当に神を知り、体験したいなら、神に信頼し、従わなければなりません。神から受けた聖霊により頼んで、従うことは、クリスチャンにとって選択事項ではありません。罪は赦されていますが、神の恵みをあてにして、故意に罪を犯してしまうかもしれません。神がすでに与えてくださったものに忠実にならないうちは、さらに多くの啓示や理解を与えてくださらないということは確かです。

神に信頼し、従う時、神に似た者にだんだん変えられてゆきます。これは「聖化」と言われ、すべての男女の救いの結果です。神の目標は、息子、娘のうちに「キリストが形づくられる」ことなのです。(ガラテヤ4:19)この仮定は自動的ではなく、むしろ「同じ方向への長い間の従順」であると著述家が言うものの結果なのです。どのように「聖化」の過程に加わりませんか。

### 我々如何参与在成圣的程中呢?

- ・ 神のことばを学ぶことによって、聖書はクリスチャンが従い方を学ぶ最高の手段です。聖書から学ぶために、また聖書によって超自然的に変えられるために――なぜなら、聖書は、私たちを変える力のある、生きている本だからです――聖書を読みます。(第1テモテ3:16-17)
- ・ 神との祈りの時にみことばに従順でない人生の領域を示してくださるよう祈り求めてください。繰り返し失敗する苦しんでいる領域があるなら、一緒に歩んで自分の責任をとらせてくれる、年上の知恵のあるクリスチャンの助言を求めましょう。
- ・ 毎瞬、毎瞬、神の御霊に聞き、応答することを学んでください。時が経つにつれてやさしくなる訓練ですが、イエスが「助け主」とよばれ、私たちと共に歩むために送ってくださったお方を知り、応答しなければなりません。
- ・ 救いのために信仰によってキリストに信頼したのと同じように、毎瞬、毎瞬神に従う力を得るために、聖霊に信頼することを学んでください。義人は信仰によって救われるだけでなく、救いに入った信仰によって生きるのです!



# イエスの奇跡

## イエスの記録されている奇跡リスト



- 水をぶどう酒に変える (ヨハネ 2:1-11)
- 貴族の息子をいやす (ヨハネ 4:46-54)
- 会堂で悪霊から人を救う (マルコ 1:21-28、ルカ 4:31-37)
- ペテロの姑をいやす (マルコ 1:29-31、ルカ 4:38-39、マタイ 8:14-15)
- 魚で網を満たす(一回目)、最初の弟子を召す (ルカ 5:1-11)
- らい病の人を病からきよめる (マルコ 1:40-45、マタイ 8:1-4)
- 中風の患者をいやす (マルコ 2:1-12、マタイ 9:2-8、ルカ 5:17-26)
- ベテスダで人をいやす (ヨハネ 5:1-15)
- なえた手の人をいやす (ルカ 6:6-11、マタイ 12:9-13、マルコ 3:1-5)
- 百人隊長のしもべをいやす (ルカ 7:1-10、マタイ 8:5-13)
- やもめの息子を死から生き返らせる (ルカ 7:11-16)
- 口をきけなくする盲目の霊を追い出す (ルカ 11:14-26、マタイ 12:22-32、マルコ 3:22-30)
- 嵐を静める (マルコ 4:35-41、マタイ 8:18-27、ルカ 8:22-25)
- ガダラで悪霊につかれた人をいやす (マルコ 5:1-20、マタイ 8:28、ルカ 8:26)
- 血の問題をもった婦人をいやす (マルコ 5:25-34、マタイ 9:18-26、ルカ 8:40-56)
- ヤイロの娘を死から生き返らせる (マルコ 5:21-43)
- 二人の盲人をいやす (マタイ 9:27-31)
- 悪霊を追い出す (マタイ 9:32-34)
- 5つのパンと2匹の魚で5000人の男を養う (ヨハネ 6:1-14、マタイ 14:13-21、マルコ 6:32-44、ルカ 9:10-17)
- 水の上を歩く (マタイ 14:22-33、ヨハネ 6:15-21、マルコ 6:45-52)
- スロフェニキヤ人の娘を悪霊から解放する (マタイ 15:21-28)
- 耳の聞こえない、口のきけない人をいやす (マルコ 7:31-37)
- もう一度4000人以上の人を養う (マルコ 8:1-10、マタイ 15:32)
- ベテスダの盲目の人をいやす (マルコ 8:22-26)
- 狂った男の子から悪霊を追い出す (マルコ 9:14-29、マタイ 17:14-21、ルカ 9:37-42)
- 魚の口から硬貨を取り出す (マタイ 17:24-27)
- うまれつき盲人の人をいやす (ヨハネ 9:1-41)
- 18年間病気の婦人をいやす (ルカ 13:10-17)
- 水腫の人を癒す (ルカ 14:1-6)
- ラザロを死から生き返らせる (ヨハネ 11:1-46)
- 10人のらい病人を病いから清める (ルカ 17:11-19)
- 盲目のバルテマイをいやす (マルコ 10:46-52)
- いちじくの木を枯らす (マルコ 11:12-14)
- マルコスの耳をいやす (ルカ 22:49-51)
- 魚で網を満たす(2回目) (ヨハネ 21:1-12)



# 祈りの模範

## 祈りについてのイエスの教え

もし祈り方を学びたいなら、だれを先生に選びますか。マタイ6:9-13には、イエスで自身が与えてくださった模範的な祈りがあります。それはただ暗唱するために与えられたのではなく、あなたに祈り方を教えるために与えられました。それは「すべての祈りのための真の手本」と呼ばれています。この祈りの各節が、祈りの大切な次元にかかわっています。

### 「天にいます私たちの父よ。御名があがめられ(聖とされ)ますように。」

#### — 9 節 (言葉追加)

祈りの始まる場所は、神ご自身です。自分自身や自分の環境よりも、神がどういうお方であるかということに心と思いを向けて、祈り始めてください。それが後に続くすべてのことに影響を与えます。イエスは、反対のように見える、同時に語られることがほとんど考えられないような二つの真理を一緒に持ち出すことで、模範の祈りを始めています。神はあなたの父です。神は情熱的で、完全な、また聖なるお方です。神の栄光と尊厳はとてすばらしいので、御座の周りの天使の軍勢でさえ、ご臨在に圧倒されてしまわないように、目や足をおおわなければなりません。(イザヤ6:2) 祈りには、極端な親しさと畏敬の両方が含まれているのです。

5つの勲章をつけた将軍(軍で最も高い位の仕官)は、多くの人に知られているかもしれませんが。彼が歩く時、彼らのほとんどが、注意を向けて敬礼するために立ち上がります。しかし彼の愛する者たち(妻や子供ら)は、彼を親しく知っており、いつでも彼のところに押し入ることができます。神について知っている多くの人がありますが、神の子供として、私たちは父に直接近づけるのです。祈りを通して、私たちはいつでも御座の部屋に入ることができます。…そして父は、私たちがそこにいてほしいと望んでおられることがわかります!

「ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。」(ヘブル4:16)

「あなたがたは、人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。私たちは御霊によって、「アバ、(文字通りに/パパ) 父」と呼びます。(ローマ8:5、説明追加)

私たちはみな、父親の世話を受ける深い必要をもって造られています。多くの方は、その必要が満たされていません。父親は、子供のために守り、備える人です。知恵と愛をもって、父親は子供を導き、人生で繁栄するように備えます。神はあなたの父になりたいと思っておられます。読み進む前に、聖く、全能で、すべてのものの創造者・支配者である神を父に持つとは、どういう意味なのかを少しの間考えてみてください。神を敬い、神の愛を受け取ってください。

### 「御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように。」— 10 節

天の父は神であるので、あなたの心にあることをご存知です。言う前から、何を言おうとしているのかご存知です。それではなぜ祈るのですか。祈りの(そしてすべての被造物の)究極の目的は、神の栄光をあらわすことです。祈りを通して、あなたは神のおそばに永遠のご計画に参加するという、信じられないような特権を持つのです。祈りは、神がしたくないことをしてもらおうということではありません。祈りとは、神のみこころを私たちが適用する(とらえ、つかまえる)手段なのです。

イエスは、ご自分を離れては私たちは何もすることができないと言われました。(ヨハネ15:5)もしそのお言葉を文字通りとるなら、イエスを離れては、私たちはいのることさえできないということです。み言葉を語ることによって、神は世界が存在するようになさったことを思い起こしてください。(詩33:6、9)神と親しくなり、み言葉を学び、従順に歩み、祈りで聞いてゆくにつれて、聖霊は、あなたの語ることによってみこころがこの世界になってゆくように、祈りの中であなたをお用いになります。「御国が来ますように。みこころが天で行われるように地でも行われますように。」みこころは完全でよいものであり(ローマ12:2)、あなたが求め思うことよりもはるかにまさって、神はなさることができ(エペソ3:20)を実感してください。ある意味で、祈りによってあなたが使えるものは、無制限の基金がある特別支出口座のようなものです。ある仕事—ここでは御国の働きを果たすために、すべての支払いの調整がなされ、支出口座が定義されます。私たちの多くは、その口座から引き出しません。引き出す時は、私たちのためにあるものに比べてわずかな額です。多くの人が基金のリクエストを提出しますが、口座の意図した目的に沿わないので却下されます。神があなたのために持っておられるものすべてを、祈りによって用いる方法を見出してください!

「あなたがたのものにならないのは、あなたがたが願わないからです。願っても受けられないのは、…悪い動機で願うからです。」(ヤコブ4:2、3)

## 「私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。」—11節

あなたの人生を神に捧げる時、あなたはもはやあなた自身のものではありません。あなたは神に属し、あなたの幸いは神の責任です。神はあなたの父であり、召してくださった人生を生きるために必要なものは備えてくださると、神は約束してください。(詩37:25、ピリピ4:19)「神の方法でなされる神の働きには、神の供給が不足することは決してない。」と言われます。その言葉は一番よく奉仕にあてはめられますが、人々にも同じように適用できます。

しかしなぜ「日ごと」とあるのでしょうか。一つのことは、日々の必要のために神に信頼することによって、神との関係が日々の新鮮なものとして保たれます。またあなたの必要と神の供給との間にある、明らかな関係を見るのに役立ちます。祈りの究極の目的は、物を得ることで、ことを成し遂げることでないことを覚えてください。それは神の栄光をあらわすことです。しかしあなたが特別な必要のために特別なしかたで祈り、その祈りが特別な方法で答えられる時、その時あなたにも、神がしてくださったことがわかるまわりの人々にも、神がより現実なお方となります。神は栄光をお受けになり、神の品性・性質・方法をよりよく理解してあなたも成長します。

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」(ピリピ4:6)

## 「私たちの負い目をお赦しください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。」—12節

ある著述家が次のように述べました。「パンが体の必要である。…それは父の愛すべてと子供の特性すべてにいたる入口である。」十字架上のキリストの功(いさお)に基づいて、赦しの贈り物を下さいます。しかし贈り物が自分のものとなるためには、それを受け取らなくてはなりません。あなたの救い主としてキリストに信頼する時、神の赦しに入ります。自分の罪を告白し、あなたに罪を犯した人を赦しながら、神の赦しの自由と祝福の中を歩み続けるのです。

「もし私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」(第一ヨハネ1:9)

「しかし、人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの罪をお赦しになりません。」(マタイ6:15)

## 「私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。」—13節

11節で体の必要のために、12節では魂の必要のために祈るよう導かれますが、13節では霊の必要のために祈るよう教えられます。第一ペテロ5:8が思い起こさせてくれます。「身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるしのように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。」しかし恐れる必要はありません。第一ヨハネ4:4にあるように、「あなたがたのうちにおられる方(聖霊)が、この世のうちにいる、あのもの(悪魔)よりも力があるからです。」(説明追加)

神は、あなたが敵を打ち破るために必要な、あらゆる霊的な力を与えてくださいます。体や魂のための神の備えのように、この霊的な力を祈りによって用いることができます。10節から13節まで、代名詞は複数であることに注意してください。自分の必要のためだけでなく、他の人の必要のためにも祈ってください。他の人のために祈ることは、とりなしと呼ばれています。考えてみてください。あなたの友の多くは今も、私たちの敵につきまとわれているのです。ある友は、悪霊の力で捕虜にされています。祈りによって、あなたは彼らの救出に参加する特権にあずかるのです。

*「国と力と栄えは、とこしえにあなたのもものだからです。」—13節*

13節後半は、聖書のすべての訳には出てきません。しかしこのスタディ・ガイドの目的に沿って、この箇所が神を賛美する力強い宣言であることを考えましょう。賛美は確かに、親密な神との交わりによって祝福された人の適切な応答なのです。

出エジプト記33章で、イスラエル民族が信じられないほど神の御名を汚した後でもたれた、モーセと神との対話が記されています。モーセには、神にたくさん語るべきことがありました。会話の結論部分で、もし神が共に行かなければ前には進みたくないと、モーセは神に語りました。神との祈りの時を締め括った後で、ご臨在の感覚なしにはあなたも進んでゆきたくないでしょうね。

神は、神の民の賛美の中に住まわれると聖書は教えています。(詩22:3)あなたが神を賛美する時、生活の中で御臨在をあらわしてくださるように、神をお招きしているのです。そして暗闇の力は、神の御臨在に耐えられないので逃げ去ります。

## 「アーメン。」

「アーメン」という言葉は、文字通りには「そうでありますように。」という意味です。ある著述家の言葉によれば、「祈りにアーメンとつけ加えることは、裁判官が小づちで机をたたいて、『完了しました。』と宣言するのに似ています。」